取扱説明書 基本編

FOMA® F900iT '04.8

i mode®

ドコモ　W-CDMA方式

このたびは、「FOMA F900iT」をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書『基本編』および別冊の『アプリケーション編』をよくお読みいただき、FOMA F900iTを正しく、効果的にお使いくださいますようお願いいたします。
FOMA F900iTは、あなたの有能なパートナーです。
大切にお取扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMAは無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中など電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社
- 本製品は、インターネット機能としてNetFront® v3.0 for FOMAを搭載しています。
  NetFront® v3.0＊は株式会社ACCESSの製品です。
  ＊：Copyright(C)1996-2004, ACCESS CO., LTD.

FOMA端末、FOMAカードをお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。また、電池パックおよびアダプタ(充電器含む)をお使いになる前には、機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。
なお、取扱説明書にご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください。

○お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合
(局番なしの)151(無料)
※一般電話からはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

この「FOMA F900iT 取扱説明書 基本編」の本文中においては、「FOMA F900iT」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

著作権について／商標について

著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標・登録商標

本書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA／フォーマ」「mova／ムーバ」「ｉモーション／アイモーション」「ｉモード」「ｉアプリ／アイアプリ」「ｉメロディ／アイメロディ」「mopera／モペラ」「WORLD CALL」「ドライブモード」「ｉモーションメール／アイモーションメール」「マルチアクセス」「ｉアプリ DX」「ｉショット／アイショット」「ｉエリア／アイエリア」「デュアルネットワーク」「FirstPass／ファーストパス」「ｉアプリサーチ／アイアプリサーチ」「M-stage V ライブ」「musea／ミュゼア」「デコメール」「着モーション」「キャラ電」「クイックキャスト」および「FOMA」「i-mode」ロゴはＮＴＴドコモの商標または登録商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
  （Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® operating system です。）
- Java および Java に関連するすべての商標は、米国およびその他の国において米国 Sun Microsystems,Inc. の商標または登録商標です。
- 「Multitask／マルチタスク」は日本電気株式会社の商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- NetFront®および**NetFront**®は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における商標または登録商標です。
  本ソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は Macromedia, Inc. の Macromedia® Flash™ テクノロジーを搭載しています。
  Copyright© 1995-2004 Macromedia, Inc. All rights reserved.
  Macromedia、Flash、Macromedia Flashは Macromedia, Inc. の米国内外における商標または登録商標です。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- *Bluetooth* とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の商標で、株式会社 NTT ドコモはライセンスを受けて使用しています。
- miniSD™ は SD アソシエーションの商標です。

- miniSD™ メモリーカードを miniSD メモリーカードと表記しています。
- Adobe および Reader は米国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

• 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  ・MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
  ・個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  ・MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

4,901,307	5,600,754	5,267,261	5,506,865	5,710,784
5,504,773	5,416,797	5,568,483	5,228,054	5,778,338
5,109,390	5,490,165	5,414,796	5,544,196	
5,535,239	5,101,501	5,659,569	5,337,338	
5,267,262	5,511,073	5,056,109	5,657,420	

取扱説明書の構成

FOMA F900iTの取扱説明書は『基本編』、『アプリケーション編』の2冊で構成されています。以下に各取扱説明書の概要をご紹介します。目的に合わせてお読みください。なお、取扱説明書はなくさないよう大切に保管してください。

FOMA F900iT取扱説明書　基本編（本書）

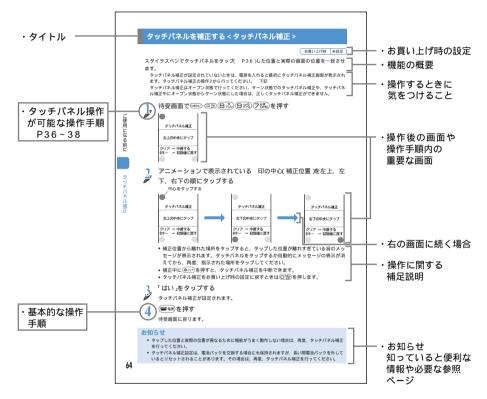
●各部の名称や機能など、FOMA端末の基本的な事柄について説明しています。
●電話のかけかた／受けかた、文字の入力方法など、FOMA端末の基本操作について説明しています。
●タッチパネルの使いかたやタッチパネルを利用した手書きメモ機能について説明しています。
●電話をかけるときの機能、通話中の機能、FOMA端末を便利に使うための各種設定方法や操作方法などについて説明しています。
●留守番電話サービスや転送でんわサービスなど、当社が提供するネットワークサービスについて説明しています。
●「故障かな？」と思ったときの対処方法やアフターサービスなどについて説明しています。

FOMA F900iT取扱説明書　アプリケーション編

●ｉモードでサイトへ接続する方法や、ｉアプリ、キャラ電、ｉモーションを利用する方法について説明しています。
●ｉモードメールやショートメッセージサービス（SMS）を利用してメールをやりとりする方法について説明しています。
●カメラの使いかたやFOMA端末に保存されている画像や動画／ｉモーション、メロディの操作方法などについて説明しています。
●赤外線通信機能やBluetooth®機能、miniSDメモリーカードの操作方法について説明しています。
●FOMA PC設定ソフトのインストールについて説明しています。
●FOMA端末のパケット通信機能、64Kデータ通信機能などについて説明しています。

本書の見かた　＜クイックマニュアル記載→P380＞

ここでは、本取扱説明書の構成や説明方法について紹介します。

- 操作の方法は、主にショートカット操作（→P48）で説明しています。
  各メニュー項目のショートカット操作については、メニュー一覧（→P334）をご覧ください。
- 本書では、（マルチカーソルキー）を押して項目を選ぶ操作を「選択」と表記しています。
- 操作方法が複数ある場合は、最も簡単な操作方法を記載しています。
- 本書では、お買い上げ時にMENUを押すと表示されるタッチメニューで操作を説明しています。→P45
- 文字の入力方法は、主にインライン入力（→P311）で説明しています。
- 操作番号や文頭にの付いている操作や説明は、スタイラスペン（→P36）を使って操作できます。
- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

※アプリケーション編にはデータ通信やBluetooth通信に関する用語集を記載しています。
　→『アプリケーション編』P323、P375
※タッチパネルの操作方法について→P36～38
※操作によっては、スタイラスペンを使って操作できない手順が含まれている場合があります。

本書では、各種機能を利用するときに行うユーザの認証操作（4～8桁の端末暗証番号を入力してを押す操作、または指紋認証を行う操作）をまとめて「4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う」と表記しています。認証操作が必要な場合は、端末暗証番号入力（→P192）か指紋認証（→P198）のどちらかを行ってください。

CONTENTS 目次

はじめに

各部の名称と機能

基本的な操作

ご使用になる前に

基本操作編

電話のかけかた／受けかた

電話に出られないときの応対方法を設定する

テレビ電話のかけかた／受けかた

電話帳を利用する

マナーモードを設定する

応用操作編

電話機能を利用する

音の設定を変更する

CONTENTS 目次

マルチアクセス・マルチタスク

ネットワークサービスを利用する

ドコモのネットワークサービス

文字の入力のしかた

文字入力のしかた

付録

付録

FOMA F900iTの多彩な機能

FOMAは、第三世代移動通信システム(IMT-2000)の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

ビジュアルコミュニケーション

キャラ電対応「テレビ電話」

テレビ電話に対応したFOMA端末どうしで相手の顔を見ながら通話できます。
また、自分の画像の代わりにキャラクタを表示させ、喜ぶ、怒るなどの気持ちを手軽に表現できます(キャラ電)。

→『アプリケーション編』P94

デコメール

静止画を挿入したり、文字に色を付けたり、サイズを変えたりできるので、表現力のあるメールを作成できます。

→『アプリケーション編』P130

ツインカメラ

アウトカメラと、テレビ電話に便利なインカメラを搭載。シーンに応じてワンタッチで切り替えて使用できます。

→『アプリケーション編』P234

手書きメモをメール送信

テンプレートを使った手書きメモの作成や、撮影画像の上に手書きメモを書き込むことができます。自分の気持ちを手書きの文字やイラストに託してメールで送信することもできます。

→『アプリケーション編』P137

充実のカメラ機能

メガピクセルカメラ

有効画素数128万画素(記録画素数123万画素)のCCDカメラを搭載。ディスプレイをターンさせてFOMA端末を両手で水平に持てば、安定したカメラ撮影ができます。サイドキーにはカメラの主要な機能を装備し、240×320ドット2.4インチのQVGA液晶画面が美しい画像を映し出します。

→『アプリケーション編』P212

多彩な撮影方法

16倍ズームの他、接写やフレーム付き撮影、連続撮影など、さまざまな撮影方法を用意しています。また、暗い場所での撮影にはワンタッチライトが便利です。

→『アプリケーション編』P233

パソコンとの連携や通信機能

パソコンPIM(Personal Information Manager)連携

パソコンのPIMソフト(Microsoft® Outlook®)とデータの同期を取ることができます。

→『アプリケーション編』P390

Bluetooth機能

FOMA端末のBluetooth機能により、パソコンとワイヤレス接続で下り最大240kbps※1のパケット通信と64Kデータ通信を実現します。※2
また、Bluetoothヘッドセット(オプション品別売)やBluetooth対応のハンズフリー機器(カーナビゲーションなど)と接続することで、ワイヤレス接続の音声通話を可能にします。

→『アプリケーション編』P335、P378

※1：実際のご利用にあたっては、接続機器や通信環境により、通信速度が低下する場合があり、上記速度を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
※2：Bluetooth対応パソコンでない場合は、Bluetooth USBアダプタなどが必要です。

「miniSDメモリーカード」対応

外部メモリの共通規格「miniSDメモリーカード」に対応。FOMA端末に保存されているデータを「miniSDメモリーカード」に移動またはコピーすることができるので、持ち運べるデータ量が大きくアップします。

→『アプリケーション編』P309

USB接続端子付卓上ホルダ

パソコンに卓上ホルダを接続すれば、FOMA端末を卓上ホルダに載せるだけで、充電しながらパソコンとの連携ができます。※

→『アプリケーション編』P327

※：市販のUSBケーブルが必要です。

便利な機能

タッチパネル
スタイラスペンでタッチパネルを操作することにより、直感的でダイナミックなイメージ編集や静止画への手書きメモ追加などができます。
→P255、『アプリケーション編』P253
ターン状態(→P35)で、メニューやマルチメディアコンテンツをタップ操作で選択、閲覧。iモードによる情報収集やタッチパネル対応のiアプリも快適に操作できます。
→『アプリケーション編』P20、P63

PDA感覚のスケジュール機能
待受画面でダイヤルキーを入力し、素早くスケジュール登録(クイックスケジュール)。さらに電話帳からメンバーを登録しておけば、スケジュール内容を電話やメールで簡単に伝えることができます。
→P227

赤外線通信機能
赤外線通信機能を持つ機器との間で電話帳データやブックマークなどのデータをやりとりできます。テレビのリモコンとしても使用できます。
→『アプリケーション編』P302

Flash対応
表現力豊かなFlash対応のサイトを利用できます。また、Flash画像を待受画面に設定することができます。
→P178

マルチタスク機能
複数のアプリケーションを同時に立ち上げて利用できるマルチタスク機能を装備。
「タスクキー」を押すと起動中のアプリケーションが一覧で表示され、使いたいアプリケーションに簡単に切り替えられます。テレビ電話通話中も電話帳やスケジュールなどに切り替え可能です。
→P273

バーコード読取機能
バーコード(JANコード、QRコード)を読み取れば、電話番号やメールアドレスなどの情報を電話帳に登録したり、iモードのサイトに簡単に接続したりできます。
→『アプリケーション編』P242

指紋認証機能
個人の大切な情報を守るために端末暗証番号のほか、指紋認証機能も利用することができます。
→P198

i モード機能

iモード(有料)
iモード端末を使ったオンラインサービスです。サイト接続やインターネット接続などをご利用いただけます。
→『アプリケーション編』P20

iモーション
サイトやインターネットから映像や音を取得して楽しむことができます。また、取得したiモーションを、着信メロディと同じように再生したり、着信画像へ設定(着モーション→P173)したりすることができます。iモーションはメールに添付して送信することも可能です。
→『アプリケーション編』P107

iモードメール
FOMA端末では、受信メールを1000件、送信メールを200件まで保存できます。
→『アプリケーション編』P127

iアプリ／iアプリDX
サイトからさまざまなゲームなどのソフトを取り込むことによりFOMA端末を便利に活用いただけます。FOMAでは大容量のiアプリの他、iアプリDXも楽しめます。
→『アプリケーション編』P63

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス(有料)※1→P281
- 転送でんわサービス※1→P289
- 話中着信サービス(キャッチホン)(有料)※1→P286
- ショートメッセージサービス(SMS)※2→『アプリケーション編』P175
- デュアルネットワークサービス(有料)※1→P299

※1：お申し込みが必要となります。
※2：お申し込みは不要です。

F900iTを使いこなす！

ここでは、F900iTの特長や各機能を紹介します。

キャラ電でテレビ電話

テレビ電話で通話中、自分の代わりにキャラクタが気持ちを表現。

→P94、『アプリケーション編』P23、P94

相手と自分の画像を表示

©BVIG
自画像の代わりにキャラクタを表示

©BVIG
画像を入れ替える

©BVIG
キャラクタがアクションで感情表現

通話中にワンショットメール

音声電話で通話中、目の前の風景を撮影してすぐにメールで送信。

→『アプリケーション編』P241

通話中

カメラ起動で撮影

メールを作成

メール送信

手書きメモでメール送信

手書きの文字とイラストで、自分の気持ちを相手に伝える。→P263

手書きメモ

メール起動

メールを作成

送信中

メール送信

表現豊かなデコメール

パソコンのメール機能のように、簡単な操作でメール本文をデザイン処理することができます。文字の色付けやサイズの変更だけでなく、静止画やラインの挿入、さまざまな文字飾りや位置指定などが可能です。 →『アプリケーション編』P130

文字色、サイズ変更

静止画挿入

背景色変更、テロップ

多彩な待受画面

QVGAサイズ(240×320ドット)の待受画面には静止画や動画／iモーション、iアプリの他、未読メールやカレンダー、スケジュールなどを任意で設定できます(カスタム待受画面)。機能が設定されたエリアから、それらの詳細画面にジャンプすることが可能です(フォーカスモード)。 →P177

静止画を設定

動画／iモーションを設定

未読メール一覧を設定

カレンダーとスケジュールを設定

合成機能で撮影画像の楽しさアップ

静止画／動画撮影時に静止画像の重ね撮りができる機能を搭載しています。静止画撮影時には、背景を入れ替えたり、人物を合成したり、バラエティ豊かな画像が作成できます。
→『アプリケーション編』P237

フレーム(人物合成)

フレーム(動画)

フレーム(静止画)

安全上のご注意(必ずお守りください)

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
●ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

区分	説明
⚠ 危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

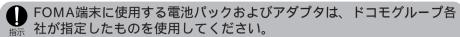
■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	説明
禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

絵表示	説明
指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の9項目に分けて説明しています。

危険

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。（指示）

指定品以外のものを使用した場合は、電池パックやその他機器を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
電池パック　F04　ACアダプタ　F03　Bluetoothヘッドセット　F01
DCアダプタ　F01　卓上ホルダ　F04　Bluetoothヘッドセット用　ACアダプタ　F01
その他互換性のある商品については当社窓口までお問い合わせください。

警告

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。（禁止）

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。（禁止）

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末、Bluetoothヘッドセットやアダプタを入れないでください。（禁止）

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、Bluetoothヘッドセット、アダプタの発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

注意

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。（禁止）

故障の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。（禁止）

落下して、けがや故障の原因となります。

直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。（禁止）

電池パックやBluetoothヘッドセットの内蔵電池を漏液、発熱、破裂、発火させたり、機器の変形、故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。（指示）

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。（指示）

けがなどの原因となります。

警告

禁止
自動車などを運転中に使用しないでください。

安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところに停車させてからご使用ください。
また、走行中の使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられることがあります。

指示
高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

分解禁止
分解、改造しないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

禁止
赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。
また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

禁止
火のそばやストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。

発熱、発火などの事故または故障の原因となります。

指示
航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。
自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられることがあります。

指示
スピーカーホン機能を動作させて通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴になる可能性があります。

禁止
医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットなどへの装着はおやめください。

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

指示
心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

禁止
点灯したワンタッチライトを直視しないでください。

目に影響を与える可能性があります。

注意

指示
屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

禁止
FOMAカード挿入口やminiSDメモリーカードスロットには、水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、故障、感電の原因となります。

指示
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診断を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

材　質	使用箇所
クロムメッキ	マルチカーソルキー、MENU、📖、📷、✉、サイドキー、アウトカメラパネル
金メッキ	指紋センサー面
マグネシウム合金	表示側フロントケース※

※：樹脂コートされていますが、これがはがれると肌に触れる可能性があります。

禁止
磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

指示
誤ってディスプレイ部、カメラのレンズ部を破損したときは、割れたガラスなどにご注意ください。

けがの原因となります。
ディスプレイ部、カメラのレンズ部の表面は、ガラス板上にプラスチックパネルを取り付け、ガラスが飛散しにくい構造になっていますが、万が一、切断面などに触れますとけがをすることがあります。

水濡れ禁止
FOMA端末を濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、故障、感電、けがなどの原因となります。
使用場所、取扱いにご注意ください。

禁止
内蔵のカメラのレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。

レンズの集光作用により、火災が発生する原因となります。

禁止
ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示
誤ってディスプレイ部を破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

失明や皮膚に傷害をおこす原因となります。

指示
自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

電池パックの取扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

分解禁止

分解、改造しないでください。また、直接はんだ付けしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水濡れ禁止

電池パックを濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、故障、感電、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

指示

電池パック内部の液体が目のなかに入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。

失明の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。また、電池パックの向きを確かめてから接続してください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

禁止

電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、FOMA端末から取り外し、使用しないでください。

そのまま使用すると電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏洩した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

電池パックの取扱いについて(つづき)

⚠ 警告

指示 **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。**

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止 **直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。**

漏液、発熱、性能、寿命を低下させる原因となります。

指示 **電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。**

皮膚に傷害をおこす原因となります。

⚠ 注意

禁止 **一般のゴミと一緒に捨てないでください。**

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから当社窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

スタイラスペンについて

⚠ 警告

指示 **乳幼児の手の届かない場所に保管してください。**

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示 **スタイラスペンは人に向けないでください。**

突起でけがや失明の原因となります。

指示 **FOMA端末に使用するスタイラスペンは、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。**

指定品以外のものを使用した場合、ディスプレイを破損、汚濁させる原因となります。

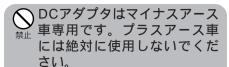
スタイラスペン　F01

禁止 **スタイラスペンは他の機器で使用しないでください。**

機器の故障、破損の原因となります。

オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取扱いについて

⚠警告

禁止 **DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。**

火災の原因となります。

指示 **指定の電源、電圧で使用してください。**

誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。また、海外での使用は故障などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（国内の家庭用交流100Vコンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

禁止 **ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。**

感電の原因となります。

電源プラグを抜く **万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。**

感電、発煙、火災の原因となります。

水濡れ禁止 **アダプタを濡らさないでください。**

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、故障、感電、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

禁止 **アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。**

感電、発熱、火災の原因となります。

濡れ手禁止 **濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。**

感電の原因となります。

分解禁止 **分解、改造しないでください。**

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

禁止 **コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。**
また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、故障、感電、傷害の原因となります。

指示 **DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。**

誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示 **ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属性ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。**

感電、ショート、火災の原因となります。

電源プラグを抜く **長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いてください。**

感電、火災、故障の原因となります。

指示 **プラグについたほこりは、拭き取ってください。**

火災の原因となります。

指示 **車内ホルダは確実に取り付けてください。**

急ブレーキなどで機器が外れると、事故や故障の原因となります。

禁止 **充電中は、卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。**

FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

注意

指示 **アダプタをコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。**

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

禁止 **濡れた電池パックやBluetoothヘッドセットを充電しないでください。**

電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

禁止 **アダプタのコードの上に重いものを載せたりしないでください。**

感電、火災の原因となります。

電源プラグを抜く **お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから抜いて、行ってください。**

感電の原因となります。

FOMAカードの取扱いについて

⚠警告

禁止 **電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器にFOMAカードを入れないでください。**

溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

⚠注意

指示 **FOMAカード(IC部分)を取り外す際にご注意ください。**

手や指を傷つける可能性があります。

分解禁止 **FOMAカードを分解、改造しないでください。**

データの消失、故障の原因となります。

禁止 **FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。**

故障の原因となります。

禁止 **ICを傷つけないでください。**

故障の原因となります。

禁止 **ICを不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**

データの消失、故障の原因となります。

禁止 **FOMAカード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。**

故障の原因となります。

禁止 **FOMAカードはほこりの多い場所には保管しないでください。**

故障の原因となります。

指示 **FOMAカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。**

指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、当社窓口までお問い合わせください。

禁止 **FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**

故障の原因となります。

水濡れ禁止 **FOMAカードを濡らさないでください。**

水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。

禁止 **FOMAカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。**

溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

禁止 **FOMAカードを火のそばやストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。**

溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

指示 **FOMAカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。**

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

miniSDメモリーカード、miniSDメモリーカードアダプタの取扱いについて

⚠ 警告

電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に入れないでください。

溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

⚠ 注意

分解、改造しないでください。

データの消失、故障の原因となります。

落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

故障の原因となります。

曲げたり、重いものを載せたりしないでください。

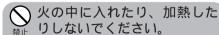
故障の原因となります。

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。

金属端子部分を傷つけないでください。

故障の原因となります。

火の中に入れたり、加熱したりしないでください。

溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

金属端子部分を手や金属で不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。

データの消失、故障の原因となります。

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。

溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

使用や保存は、以下のような場所は避けてください。

- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気の多い場所
- 腐食性のガスなどが発生する場所
- ほこりの多い場所

故障の原因となります。

Bluetoothヘッドセットの取扱いについて

⚠ 危険

指示
指定のACアダプタで充電してください。

指定品以外のものを使用した場合は、漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ　F01
その他互換性のある商品については当社窓口までお問い合わせください。

分解禁止
分解、改造、内蔵電池交換をしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

禁止
釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

内蔵電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

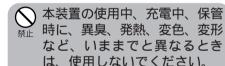
禁止
火のそばやストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。

漏液、発熱、発火などの事故または故障の原因となります。

禁止
火の中に投下しないでください。

内蔵電池を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

⚠ 警告

禁止
本装置の使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、使用しないでください。

そのまま使用すると漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示
歩行中は音量を上げすぎないようにしてください。

音量を上げすぎると、外部の音が聞こえなくなり、踏切や横断歩道などで、交通事故の原因となります。

禁止
自動車などを運転中に使用しないでください。

安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところに停車させてからご使用ください。

指示
高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、本装置の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
　補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
　植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

⚠警告

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本装置の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられることがあります。

指示

心臓の弱い方は、本装置の音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

⚠注意

禁止

日本国内で使用してください。

本装置は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診断を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

材　質	使用箇所
クロムメッキ	フックキー、音量調整キー
アルミ蒸着	ラベル※

※：樹脂コートされていますが、これがはがれると肌に触れる可能性があります。

水濡れ禁止

本装置を濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、故障、感電、けがなどの原因となります。
使用場所、取扱いにご注意ください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった場合は、当社窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

注意

指示

本装置の音量を上げすぎないように注意してください。

難聴になる可能性があります。

指示

本装置を装着する前に、FOMA端末本体および本装置の音量を最小にしてください。

突然大きな音が出て耳を痛めることがあります。

医用電気機器近くでの取扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（電波環境協議会〔旧不要電波問題対策協議会〕）に準ずる。

⚠ 警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

取扱上のお願い

■共通のお願い

- **水をかけないでください。**
  - ・FOMA端末、電池パック、アダプタは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。
    調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証の対象外となり修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証の対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。
  - ・FOMA端末が濡れたり湿気を帯びたりしてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。**
  - ・FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で行ってください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
  - ・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。**
  - ・端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることなどがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  - ・急激な湿度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。**
  - ・多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。
- **指紋センサーは時々乾いた柔らかい布で清掃してください。**
  - ・指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり認証率が低下したり、指が触れていない状態でも認証中として誤作動したりすることがあります。
- **電池パックやアダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
- **miniSDメモリーカード＜試供品＞の取扱いについては、miniSDメモリーカードに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
  - ・miniSDメモリーカード＜試供品＞は保証の対象外となります。

■FOMA端末についてのお願い

- **使用中、充電中、FOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。**
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  - ・温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - ・万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **FOMA端末を鞄の中などに入れるときには、ディスプレイが中面になるように端末を閉じてください(クローズ状態)。また、長い時間使用しない場合にも、クローズ状態で保管してください。**
  - ・ディスプレイが破損する原因となります。

● **FOMA端末を異物のある机上などに置かないでください。**
- ・アウトカメラが破損する原因となります。また、ディスプレイが外側になるターン状態では、ディスプレイが破損する原因になります。

● **ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。**
- ・故障、破損の原因となります。

● **スタイラスペンやストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。**
- ・故障、破損の原因となります。

■電池パックについてのお願い

● **電池パックは消耗品です。**
- ・十分に充電しても使用状態などによって異なりますが、使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

● **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

● **初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。**

● **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**

● **不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。**
- ・発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから当社窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

■アダプタについてのお願い

● **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

● **次のような場所では、充電しないでください。**
- ・周囲の温度が5℃以下、または35℃以上になるところ
- ・湿気、ほこり、振動の多い場所
- ・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く

● **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。**

● **DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
- ・車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■FOMAカードについてのお願い

● **極端な高温、低温は避けてください。**

● **IC部分の取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。**

● **ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。**

● **使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。**

● **他のICカードリーダライタなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**

● **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**

● **お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。**

● **お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
- ・万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● **環境保全のため、不要になったFOMAカードは当社窓口にお持ちください。**

■ディスプレイ（タッチパネル）についてのお願い

● **ディスプレイに保護シートやシールなどを貼らないでください。**
- ・機能劣化やディスプレイが破損する原因となります。

● **表面を固いものでこすったり、強く押しつけたりしないでください。**
- ・ディスプレイが破損する原因となります。

● **ディスプレイをタッチパネルとして操作する際は、必ず付属のスタイラスペンをお使いください。**
- ・爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作すると、ディスプレイが破損する原因となります。

■スタイラスペンについてのお願い

● **スタイラスペンは消耗品です。**
・紛失または破損した際は、指定のスタイラスペンをご用意ください。詳しくは、当社営業窓口などへお問い合わせください。

● **スタイラスペンでディスプレイを触れた際、滑りが悪くなったり、ディスプレイの反応が鈍かったりした場合には、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)でディスプレイの表面を拭いてください。** **お手入れについて(共通のお願い)→P26**

■Bluetooth機能を使用する場合のお願い

Bluetoothとは携帯電話やパソコンなどのBluetooth対応機器どうしをワイヤレス接続する技術です。**→『アプリケーション編』P376**

● **Bluetoothパスキー**
Bluetooth機器を他人に許可なく使われないためのパスワードです。半角英数字最大16桁まで設定できますが、機器によってはあらかじめ設定され、変更できない場合があります。ワイヤレス接続するBluetooth機器とFOMA端末の両方に同じBluetoothパスキーを入力する場合と、FOMA端末だけにBluetoothパスキーを入力する場合があります。
・安全のため、Bluetoothパスキーを設定する場合は最大16桁のできるだけ長い桁数でのご使用をおすすめします。また、名前や誕生日など容易に推測できる言葉をBluetoothパスキーに使わないようご注意ください。

● **良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。**
・他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。FOMA端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。
特に、鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
・他の機器(電気製品／AV機器／OA機器／デジタルコードレス電話機／ファックスなど)から2m以上離れて接続してください(特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください)。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります(UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります)。
・放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。

● **ワイヤレスLANとの電波干渉について**
Bluetooth機器とワイヤレスLAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、ワイヤレスLANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
・ワイヤレスLANと、FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、10m以上離してください。
・10m以内で使用する場合は、ワイヤレスLANまたはFOMA端末とワイヤレス接続するBluetooth機器の電源を切ってください。

● **FOMA端末は、Bluetoothを使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetoothを使用した通信を行う際にはご注意ください。**

● **Bluetoothを使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

● **FOMA端末では、ハンズフリーサービス、ヘッドセットサービス、ダイヤルアップ通信サービスの3つのサービスを利用できます。**

対応Bluetoothバージョン	Bluetooth標準規格Ver.1.1準拠※1
対応Bluetoothプロファイル※2	• Dial-Up Networking Profile(ダイヤルアップネットワーキングプロファイル) • Headset Profile(ヘッドセットプロファイル) • Hands-Free Profile(ハンズフリープロファイル)

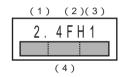
※1：FOMA端末およびヘッドセットを含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2：Bluetoothの接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

● **Bluetoothヘッドセットの内蔵電池を交換する際は、当社窓口までお持ちください。**

・危険ですから、お客様自身で分解して内蔵電池を交換しないでください。

● **周波数帯について**

FOMA端末が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

(1)2.4 ：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

(2)FH ：変調方式がFH-SS方式であることを示します。

(3)1 ：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

(4) ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。
3. その他、不明な点やお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先： 携帯・PHS OK **0120-800-000**

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。

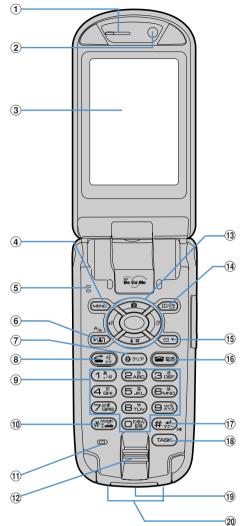
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

本体付属品について

■ 本体付属品

オプション・関連機器について→P355

はじめに

各部の名称

サイズ（mm）：高さ 110 ×幅 53 ×厚さ 32
※高さ、厚さはクローズ状態のとき
質量（g）：約 154
※電池パック装着時

① **受話口**
相手の声がここから聞こえます。

② **インカメラ**
ここから撮影した画像がディスプレイに表示されます。

③ **ディスプレイ（タッチパネル）→P39**

④ **MENU MENU／左上ソフトキー**
メニューの表示、ガイド行左上に表示される操作の実行、サイドキーロックの設定／解除などに使います。

⑤ **スピーカー**
着信音などがここから聞こえます。また、スピーカーホン機能使用時は相手の声がここから聞こえます。

⑥ **テレビ電話開始／▲（スクロール）／A/a／左下ソフトキー**
テレビ電話をかける／受ける、スピーカーホン機能でのテレビ電話発信、メールやサイト画面の1画面スクロール、文字入力時の大文字／小文字切り替え、ガイド行左下に表示される操作の実行などに使います。

⑦ クリアキー
文字入力時の入力内容の消去、1つ前の画面に戻る、セルフモードの設定／解除などに使用します。
また、ｉアプリ待受画面を設定中に押すとｉアプリソフトが起動します。

⑧ 音声電話開始／スピーカーホン／文字キー
音声電話をかける／受ける、スピーカーホン機能での音声電話発信や通話切り替え、文字入力時の入力モード切り替えなどに使います。

⑨ ダイヤルキー
電話番号や文字の入力、メニュー項目の実行などに使います。

⑩ ＊／ドライブモードキー
「＊」の入力、ドライブモードの設定／解除、カメラ使用時の画面表示モードの切り替えなどに使います。

⑪ 送話口／マイク
自分の声を伝えます。
※通話中や動画撮影中などに送話口／マイクをふさぐと、相手にお客様の声が聞こえにくくなったり、音声が録音されない場合があります。

⑫ 指紋センサー
指紋の登録、指紋認証時に指をスライドさせます。

⑬ マルチカーソルキー

決定キー
選択した操作の実行、フォーカスモードの実行、ワンタッチボタン登録したｉアプリソフトの起動などに使います。

カメラ／↑キー
カメラ／ビデオカメラの起動、カーソルの上方向への移動、音量の調整などに使います。

ｉモード／ｉアプリ／↓キー
ｉモードメニューの表示、ｉアプリフォルダ一覧の表示、カーソルの下方向への移動、音量の調整などに使います。

着信履歴／←（前へ）キー
着信履歴の表示、画面の切り替え、カーソルの左方向への移動、プライバシーモードの起動／解除などに使います。

リダイヤル／→（次へ）キー
リダイヤルの表示、画面の切り替え、カーソルの右方向への移動などに使います。

⑭ 電話帳／スケジュール／右上ソフトキー
電話帳やスケジュールの表示、ガイド行右上に表示される操作の実行などに使います。

⑮ メール／▼（スクロール）／右下ソフトキー
メールメニューの表示、新規メール作成、メールやサイト画面の1画面スクロール、ガイド行右下に表示される操作の実行などに使います。

⑯ 電源／終了／応答保留キー
電源を入れる／切る、通話の終了、操作中の機能の終了、応答保留、シークレットモードの解除などに使います。

⑰ ＃／マナーモード／改行キー
「＃」の入力、マナーモードの設定／解除などに使います。カメラモード時、アウトカメラの映像を鏡像反転に設定／解除します。

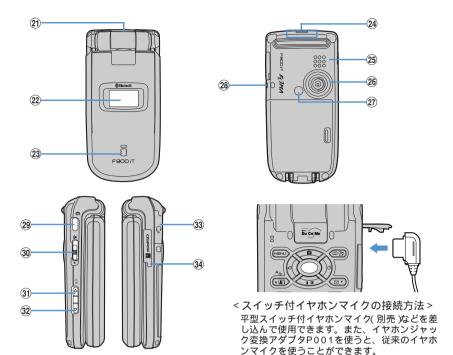
⑱ TASKキー
マルチアクセス・マルチタスク中の画面切替、通話中／操作中の別機能の実行などに使います。

⑲ 外部接続端子
各種オプション類などを接続します。

⑳ 充電端子→P59

お知らせ
- アンテナは本体に内蔵されています。→P34
- 操作の説明では各キーを上記のようにイラストで表しています。

<スイッチ付イヤホンマイクの接続方法>

※平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)などを差し込んで使用できます。また、イヤホンジャック変換アダプタP001を使うと、従来のイヤホンマイクを使うことができます。

㉑ 赤外線ポート
赤外線でデータをやりとりする際にここから通信します。

㉒ 背面ディスプレイ→P43
電話の着信時やメールの受信時、アラーム設定時刻になったときなどに情報を表示します。

㉓ 着信ランプ/充電ランプ
電話の着信時やメールの受信時などに点灯/点滅します。
Bluetooth電源ON(マルチサービス起動)中は点滅します。

㉔ アンテナ部分
※通話中/通信中はアンテナ部分を指で覆わないようにしてください。

㉕ スピーカー

㉖ アウトカメラ
ここから撮影した画像がディスプレイに表示されます。

㉗ ワンタッチライト
アウトカメラで撮影する際、ワンタッチライトを使用するときに点灯します。
カメラ撮影時に赤色に点灯します(カメラ撮影時にワンタッチライトを使用していると、点灯がわかりにくい場合があります)。

㉘ ストラップ取付口
スタイラスペンを付けたストラップを取り付けます。

㉙ サイドキー[ ]※→P51

㉚ 接写切替スイッチ
接写撮影時やバーコードリーダー利用時に が示す方向へスライドさせます。

㉛ サイドキー[▲]※→P51

㉜ サイドキー[▼]※→P51

㉝ イヤホンマイク端子
スイッチ付イヤホンマイク(別売)を接続します。→P353

㉞ miniSDメモリーカードスロット
miniSDメモリーカードを使用する際、ここに挿入します。

※:本書では、これらのキーの総称を「サイドキー」と呼びます。サイドキーの主な操作→P51

FOMA端末の操作状態

FOMA端末の操作状態には3種類あり、機能に合わせて使い勝手の良い状態を選ぶことができます。状態によってサイドキーに割り当てられている役割が異なるので、本書では3つの状態に名称を付けて区別しています。
なお、特に断りのない限り、本書は「オープン状態」での操作方法を説明しています。

クローズ状態

FOMA端末が閉じている状態です。背面ディスプレイから情報を得ることができます。

- FOMA端末を持ち運ぶときはこの状態にしてください。

オープン状態

すべての機能に対応している基本的な操作状態です。

ディスプレイをカチッと音がして止まるまで開く
- キー操作を行うときはFOMA端末をこの状態にしてください。

ターン状態

カメラ撮影をしたりタッチパネルで操作したりするときに使いやすい操作状態です。
- 逆方向に回したり、無理な力を加えて回したりすると破損の原因となります。
- FOMA端末のディスプレイは、180度以上回転しません。

FOMA端末をクローズ状態からターン状態にする

①

クローズ状態からディスプレイを約90度開く

②

ディスプレイを右回りに180度回転させる

③

<ターン状態>

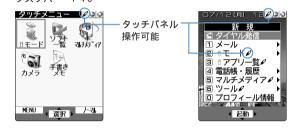
ディスプレイを表にして閉じる
- 待受画面表示中にFOMA端末をターン状態にすると、ディスプレイが点灯してメニューが表示されます。→P45

お知らせ

- FOMA端末がターン状態のときは、カメラ、またはタッチパネル操作に対応した操作のみ行うことができます。
- FOMA端末がターン状態のときは、マルチカーソルキーやダイヤルキーは操作できません。これらのキーで操作するときはFOMA端末をオープン状態にしてください。
- 文字入力画面のタスクバーに🖊が表示されているときは、ガイド行を操作して記号や絵文字を入力できます。入力設定をスロット入力(→P329)に設定すると、ガイド行の↕◂▸をスタイラスペンで操作して文字を入力できる場合があります。
  ただし、🖊が表示されていないときは、スロット入力に設定しても文字入力はできません。
  スロット入力以外の方法では、タッチパネルをタップして文字や記号を入力することはできません。

タッチパネルの操作方法

タッチパネルとは、専用のペン(スタイラスペン)でディスプレイに触れることで、FOMA端末の操作を行う装置のことです。表示されたキー表示をディスプレイ上で押すことができるので、マルチカーソルキーやダイヤルキーで入力する操作よりも直接的な入力方法といえます。機能を選択したりイラストを描いたりするときには、ダイヤルキーの代わりにスタイラスペンを使って、直接画面上で操作することができます。

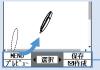
● タッチパネルにボールペンのペン先など固いものを押しつけないでください。
● タッチパネル操作を行うにはタッチパネル補正が済んでいる必要があります。→P64
● 画面の右上または項目の右側にが表示されている場合は、該当する機能や項目選択後の遷移先画面がタッチパネル操作に対応しています。
ただし、機能や項目によってはタッチパネル操作できない場合があります。→P334
● 画面の右上にが表示されていなくても、タスクバーをタップして行える操作があります。
タスクバー→P40

タップ／ドラッグとは

タップ／ポイント

画面に軽く1回触れ、すぐにスタイラスペンを離す操作を「タップ」と呼び、画面に軽く触れたままの状態を「ポイント」と呼びます。
メニューの選択や機能の実行はこれらの操作で行います。

ドラッグ

画面にスタイラスペンを軽く押しつけながら移動する操作を「ドラッグ」と呼びます。手書き文字を書いたり絵を描いたりするときなどに行う操作です。

お知らせ

• ガイド行の項目の選択時に目的の項目からずれた位置をポイントした場合は、項目の範囲外までドラッグしてからスタイラスペンを離すと、その操作を取り消すことができます。

• スタイラスペンによるタップやポイントなどの操作が弱いと、機能が動作しないことがあります。

キー操作とタッチパネル操作

F900iTは、キー操作またはスタイラスペンによるタッチパネル操作で各種機能を実行したり、各種設定を変更したりできます。

メニューから機能を実行するとき

本書は、キー操作によるショートカット操作(→P48)で操作方法を説明していますが、同様の順番でメニュー項目をタップして操作することもできます。

〈例〉「伝言メモ応答時間設定」を実行するとき

キーで操作するとき(本書での表記)	タッチパネルで操作するとき※
待受画面で(MENU)(□)(6)(6)(1)(3)を押す 待受画面でサイドキー[▲](1)(3)を押す	待受画面で(MENU)を押し、「ノーマル」－「ツール」－「伝言メモ／音声メモ」－「伝言メモ設定」－「応答時間の変更」の順にタップする

〈例〉「ｉMenu」を実行するとき

キーで操作するとき(本書での表記)	タッチパネルで操作するとき※
待受画面で(iα)(1)を押す	待受画面で(MENU)を押し、「ｉモード」－「ｉMenu」の順にタップする

〈例〉カメラを起動するとき

キーで操作するとき(本書での表記)	タッチパネルで操作するとき※
待受画面で(📷)を押す	待受画面で(MENU)を押し、「カメラ」をタップする

〈例〉着信履歴またはリダイヤルを確認するとき

キーで操作するとき(本書での表記)	タッチパネルで操作するとき※
待受画面で(◁)または(▷)を押す	待受画面で(MENU)を押し、「ノーマル」－「電話帳／履歴」の順にタップした後、「着信履歴」または「リダイヤル」の順にタップする

※：待受画面表示中にFOMA端末をターン状態にするとメニューが表示されます。その場合には、最初の待受画面で(MENU)を押す操作は不要です。

各種フォルダを操作するとき

タスクバーに✐が表示されているとき、タッチパネル操作でフォルダを選択し、開いたり、フォルダ内のデータを選択・実行したりできます。

〈例〉「イメージ」のフォルダ内の静止画を表示するとき

キーで操作するとき(本書での表記)	タッチパネルで操作するとき※
1. 待受画面で(MENU)(3)(1)を押す 2. (📷)(iα)(◁)(▷)でフォルダを選択し(●)を押す 3. (📷)(iα)(◁)(▷)でファイルを選択し(●)を押す	1. 待受画面で(MENU)を押し、「マルチメディア」－「イメージ」の順にタップする 2. 開きたいフォルダをタップして選択し、再度タップする 3. 実行したいファイルをタップして選択し、再度タップする

※：待受画面表示中にFOMA端末をターン状態にするとメニューが表示されます。その場合には、最初の待受画面で(MENU)を押す操作は不要です。

インターネットホームページを操作するとき

チェックボックスやプルダウンメニュー、ボタンなどの項目をタップして操作することができます。

- Flash画像を利用したサイトの操作について→『アプリケーション編』P32

キーで操作するとき（本書での表記）	タッチパネルで操作するとき
1. で項目を選択しを押す	操作したい項目をタップします。 • プルダウンメニューの項目をタップしてプルダウンメニューを開き、タップして項目を選択します。 • チェックボックスは、タップするたびに設定／解除が選択できます。

待受画面や1つ前のメニューに戻すとき

メニューを選択した後で待受画面や1つ前のメニューに戻すときは、次のキーを押すか、またはタスクバーのアイコンをタップします。

操作内容	キーで操作するとき（本書での表記）	タッチパネルで操作するとき
1つ前の画面に戻るとき	クリアを押す	をタップする
待受画面に戻るとき	電源を押す	をタップする

お知らせ

- FOMA端末をターン状態で操作中に待受画面に戻った場合は、一度ディスプレイを約90度開いてからFOMA端末をターン状態に戻すと、再度メニューが表示されます。
- スタイラスペンによるタッチパネル操作では、文字入力をはじめ端末暗証番号の入力や各種パスワードの入力などもできません。入力するときにはFOMA端末をオープン状態にし、ダイヤルキーで入力してください。
- 文字入力画面のタスクバーにが表示されているときは、ガイド行を操作して記号や絵文字を入力できます。入力設定をスロット入力（→P329）に設定すると、ガイド行のをスタイラスペンで操作して文字を入力できる場合があります。
  ただし、が表示されていないときは、スロット入力に設定しても文字入力はできません。
  スロット入力以外の方法では、タッチパネルをタップして文字や記号を入力することはできません。
- ガイド行、タスクバー、スクロールバーの操作について→P40、P42

ディスプレイの見かた

ここではディスプレイの上下に表示されるマーク（アイコン）の説明をします。

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬

07/12(月)

12:34

⑭

⑮⑯⑰⑱

⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙

		状　態	参照先
①		電池残量表示	P62
	漢	文字入力モード表示（半カナ／半英／半数／全カナ／全英／全数／全かな）	P311
②		受信レベル	P61
	圏外	圏外表示	P61
	Self	セルフモード中	P209
	TML	ターミナルリンク中	―
		データ転送モード中	P320
		赤外線起動中	P302
		miniSDメモリーカードコピー中／移動中／削除中／初期化中／情報更新中	P313、314、315、317、318
		データリンクソフト使用中	P390
③		ｉモード中（ｉモード接続中）	P27
		ｉモード中（データ送受信中）	P27
④※		赤外線リモコン使用中（優先度 高）	P307
	（黒）	Bluetooth低消費電力モード中	P386
	（青）	点滅：Bluetooth通信中	P335、378、384
	（青）	点灯：Bluetooth電源ON（マルチサービス起動）中	
		赤外線通信中（優先度 低）	P302
⑤		スピーカーホン機能動作中	P69
		USBハンズフリー通信中	P84
		Bluetoothハンズフリー通信中	P84
		Bluetoothヘッドセット通信中	P84
		通話継続（マイクミュート）中	P68
⑥		ｉモードセンター蓄積状態表示	P112、146
⑦		受信メール状態表示	P145、180
⑧	R	受信メッセージR状態表示	P111
⑨	F	受信メッセージF状態表示	P111
⑩		ｉアプリ実行状態表示	P68
		ｉアプリDX実行状態表示	P68
		ｉアプリ待受画面表示中	P86
		ｉアプリDX待受画面表示中	P86

		状　態	参照先
⑪	SSL	SSLページ表示中およびSSLページからダウンロードしたソフトを起動中	P29、68
⑫		シークレットモード中	P205
⑬		ｉアプリ自動起動失敗	P84
⑭		日付・時刻	P65
⑮		不在着信件数	P52
⑯		伝言メモ件数	P52
⑰		留守番電話新メッセージ件数	P52
⑱		未読メール件数	P52
⑲		マナーモード中	P156
⑳	S	着信音消音	P83
	V	バイブレータ	P158
	SV	着信音消音とバイブレータを同時に設定中	―
㉑		ドライブモード中	P86
㉒		伝言メモ設定中	P88
	Full	伝言メモ満杯	P88
㉓		USB経由で外部機器からテレビ電話使用中	P108
		USBケーブル接続状態表示	P326
㉔		フォーカスモード時の有効マルチカーソルキーの表示	P52
㉕	SD	miniSDメモリーカード装着中	P310
㉖		FOMAカード読み込み中	P61
㉗※		PIMロック中（優先度 高）	P206
		ダイヤル発信制限中	P207
		サイドキーロック中（優先度 低）	P210
㉘		目覚まし設定の設定中	P213
		目覚まし設定とスケジュールを同時に設定中	―
		スケジュール設定中	P220
㉙		ソフトウェア更新予約中	P362

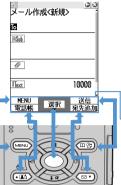
※：現在優先度の高いものを1つ表示

- 参照先の　は『アプリケーション編』のページを示します。

ガイド行

ガイド行には、MENU、▲、●、📖、✉を押して実行できる操作が表示されます。

■ キーで操作するとき

〈例〉メール作成画面表示中のガイド行

ガイド行

表示位置とキーは、図のように対応しています。ガイド行に表示される操作は画面により異なります。

- ガイド行の↕◀▶は、マルチカーソルキーの↕◀▶に対応しています（使用する機能やサイトの作りかたによっては異なる場合があります）。
- 🖊が表示されているときはスタイラスペンでも操作できます。→P36

■ タッチパネルで操作するとき

タスクバーに🖊が表示されている場合は、ガイド行の項目をタップして対応する操作を行うことができます。

タップして、表示されている機能を操作することができます。

↕◀▶をタップして、各種操作ができます。

タスクバー

タスクバーとは、使用中・動作中の機能（タスク）を示すアイコンが表示される行を指します。マルチアクセス・マルチタスク中（→P269、P273）は、複数の機能を同時に実行しているため、2つ以上のアイコンが表示され、使用中・動作中の機能を確認できます。

タスクバー

- 画面の右上に🖊が表示されている場合は、該当する機能がタッチパネル操作に対応しています。
- 画面の右上に🖊が表示されていない場合でも、次の操作はタッチパネルで行うことができます。
  - ・タスクバーをタップして新規起動メニューを表示、またはマルチアクセス・マルチタスク中にタスクバーをタップして画面切替メニューを表示できます。→P36、P274、P275
  - ・◀をタップするとクリアを押したときと同様の操作が、✖をタップすると電源を押したときと同様の操作ができます。→P38

お知らせ

- メニューを表示中に新規起動メニューまたは画面切替メニューを表示するときは、🔋などが表示されている行（ディスプレイ上部）をタップしてください。

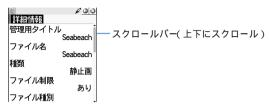
タスクバーに表示されるアイコン一覧

タスクバーに表示されるアイコンは次のとおりです。

※参照先の□は『アプリケーション編』のページを示します。

状　態	参照先	状　態	参照先
音声電話通話中	P68	伝言メモ・音声メモ起動中	P91、249
テレビ電話通話中(32K)	P93	メモ帳表示中	P252
テレビ電話通話中(64K)	P93	スケジュール帳表示中	P233
64Kデータ通信中	P350、373	スケジュールアラーム起動中	P226
Bluetooth経由で64Kデータ通信中	P350、373	電卓表示中	P251
メール作成・表示中	P127、143、150、175、178、182	着信履歴表示中	P80
iモードメール受信中	P145	リダイヤル表示中	P74
ショートメッセージ(SMS)受信中	P180	外部データ連携中	P302、390
メッセージR/F表示中	P115	miniSDメモリーカードアプリケーション起動中	P311
iモード問合せ／ショートメッセージ(SMS)問合せ中	P149、181	miniSDメモリーカード装着中	P310
iモード中	P27	目覚まし設定起動中	P213、216
iアプリ起動中	P68	プロフィール情報表示中	P66
USB経由で発信・通信中	P350、373	各機能の設定中／接続機器情報表示中	P47 P388
USB経由でパケット送受信中	P350、373	各機能の保留中(マルチタスク中)	P273
Bluetooth経由で発信・通信中	P335、350、373	ソフトウェア更新中	P361
Bluetooth経由でパケット送受信中	P335、350、373	ソフトウェア更新の通知あり	P361
「イメージ」起動中	P245	各種ネットワークサービス設定中	P280
「iモーション」起動中	P270	外部機器によるテレビ電話通話中	P108
「メロディ」起動中	P288	手書きメモ起動中	P255
「キャラ電」起動中	P95	Bluetooth機能実行中	P335、378、384
静止画撮影画面表示中	P216	**タッチパネル関連**	
動画撮影画面表示中	P224	タッチパネルで操作可能	P36
バーコードリーダー起動中	P242	1つ前の画面に戻る、文字入力時の入力内容の消去	P38
電話帳表示中	P128、135	操作中の機能の終了、通話の終了	P38

スクロールバー

一部の機能を実行すると、画面に表示しきれずに隠れている部分があることを示すスクロールバーが表示されます。を押すと、画面をスクロールして隠れている部分を表示できます。
タッチパネル操作に対応した機能の場合は、スクロールバーをスタイラスペンでドラッグして上下左右に画面をスクロールすることができます。また、一部の機能は画面を直接ドラッグしてスクロールすることができます。

一覧画面

〈例〉色選択画面

一覧が複数ページにわたる場合、現在表示中のページ番号と、全ページ数が表示されます。

▲▼は、選択中の項目の上下に別の選択項目が存在することを示しています。
- を押して項目を選択します。
- ページの最後の項目でを押すと次ページ、ページの先頭の項目でを押すと前ページが表示されます。
- タッチパネル操作に対応している場合は、▲▼をタップしてキー操作と同様の操作ができます。

◀▶は、選択項目が複数ページにわたって存在することを示しています。
- を押してページを切り替えます。
- タッチパネル操作に対応している場合は、◀▶をタップしてキー操作と同様の操作ができます。

お知らせ

- 次の現象は液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
  - ・F900iTのディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。
  - ・誤ってFOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、しばらくの間、ディスプレイから残像が消えないことがあります。
- ディスプレイを見る角度によっては、電灯などの光の映り込みが起こったり、斜めの縞や格子状に配列した点が見えたりすることがあります。これらはタッチパネルの特性です。ディスプレイは正面から見て操作してください。

背面ディスプレイの見かた

FOMA端末がクローズ状態のときにサイドキーを押すと、背面ディスプレイにFOMA端末の状態や日時が表示されます。日時の表示中にサイドキー[▲]を押すと、FOMA端末に蓄積情報(不在着信や未読のメール・メッセージR/Fなど)があるときは蓄積状態が表示されます。

日付・時刻表示

時刻表示

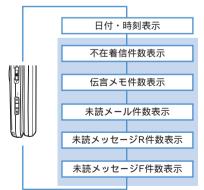
蓄積表示

⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭
⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

① 電池残量表示
② 受信レベル
③ iモード中(iモード接続中)に点滅
④ 圏外 圏外表示
⑤ 未読iモードメール、ショートメッセージ(SMS)あり(は満杯)
⑥ R 未読メッセージRあり(Rは満杯)
⑦ F 未読メッセージFあり(Fは満杯)
⑧日付・時刻
⑨ self セルフモード中
TML ターミナルリンク中
DATA データ転送モード中
Bluetooth Bluetooth電源ON
⑩ マナーモード中
⑪ SV 着信音消音とバイブレータを同時に設定中
V バイブレータ
S 着信音消音
⑫ ドライブモード中
⑬ iモードセンター蓄積状態表示
iモードセンターにメールやメッセージR/Fが満杯
⑭ 不在着信あり
⑮ miniSDメモリーカード装着中
→『アプリケーション編』P310
⑯ 目覚まし設定の設定中
目覚まし設定とスケジュールを同時に設定中
スケジュール設定中
⑰ 伝言メモ設定中
伝言メモ満杯
⑱ PIMロック中
⑲ 留守番電話新メッセージあり
⑳留守番電話サービスセンターへのメッセージ蓄積件数

背面ディスプレイの表示を切り替える

FOMA端末がクローズ状態のときには、サイドキー[▼]を押すたびに表示を切り替えることができます。サイドキーの操作一覧→P51

- サイドキーロックを設定しているときは使用できません。→P210

- の画面は、蓄積情報があるときのみ表示されます。各画面でサイドキー[▲]を押すと詳細情報がテロップ表示されます。
- 日付・時刻表示中に、約15秒間何も操作しないでいるか、サイドキー[ ]を押すと、背面ディスプレイの表示が消えます。日付・時刻表示中にサイドキー[▼]を押すと、蓄積情報がある場合は蓄積状態が表示されます。
- 件数表示中に、約5秒間何も操作しないでいると、背面ディスプレイの表示が消えます。

お知らせ

- 背面ディスプレイに情報が表示されているときにFOMA端末をオープン状態にすると、背面ディスプレイの表示が消えます。
- 背面情報表示設定(→P188)を「相手情報表示なし」に設定すると、電話着信時やメール受信時などに、相手の発信者情報(電話番号や名前、メールアドレス)は背面ディスプレイに表示されません。

詳細情報を表示するには

件数表示中にサイドキー[▲]を押すと、日時や電話番号、メールアドレスなどの詳細情報がテロップ表示されます。詳細情報は、サイドキー[▼]を押して10件まで切り替えて表示できます。11件以上あるときは、FOMA端末に保存できる件数が「あと×件」と表示されます。

〈例〉不在着信件数を表示しているとき

受けなかった電話の件数が表示されています。サイドキー[▲]を押すと、電話がかかってきた日時(当日の着信以外は日付のみ)と電話をかけてきた相手を確認できます。

- 電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されているときは、詳細情報には名前が表示されます。ただし、シークレット属性を設定した電話帳データの場合は、シークレットモードを設定しているときにだけ名前が表示されます。
- プライバシーモードの設定によっては名前が表示されず、電話番号またはメールアドレスのみ表示されます。→P208
- 発着信履歴表示設定を「OFF」に設定中は、不在着信の詳細情報を表示できません。→P210
- 詳細情報表示中に約15秒間何も操作しないでいると、背面ディスプレイの表示が消えます。

その他の表示について

次のようなときは背面ディスプレイにFOMA端末の状態が表示されます。

- 電池残量がなくなったとき→P63
- 音声電話の発信中/着信中/通話中/通話保留中にFOMA端末をクローズ状態にしたとき→P68、P73、P77
- テレビ電話の発信中/着信中/通話中/通話保留中にFOMA端末をクローズ状態にしたとき→P73、P94、P97
- 目覚まし設定、スケジュールアラームの設定時刻になったとき→P216、P226
- サイドキーロック中→P210
- オールロック中→P204
- 「メロディ」のメロディ再生中→『アプリケーション編』P288
- iモード問合せ/ショートメッセージ(SMS)問合せ中→『アプリケーション編』P149、P181
- iモードメールやショートメッセージ(SMS)、メッセージR/Fを受信したとき→『アプリケーション編』P111、P145、P180
- 赤外線通信中→『アプリケーション編』P302
- データ通信中(パケット通信中/64Kデータ通信中)→『アプリケーション編』P350、P373
- USB通信中→『アプリケーション編』P326
- Bluetooth電源OFF中/電源OFF完了/マルチサービス起動中→『アプリケーション編』P382、P384
- Bluetoothヘッドセット/Bluetooth対応のハンズフリー機器をワイヤレス接続して、通話機切替を行ったとき→P84
- 伝言メモガイダンス中/録音中→P88
- 伝言メモ/音声メモ再生中にFOMA端末をクローズ状態にしたとき→P91、P249
- テレビ電話伝言メモ中→P88
- 受話音量調整中/着信音量調整中→P82、P83
- 通話中音声メモ録音中→P248

※サイドキー[▲▼]を押すと表示されるものもあります。

FOMA端末のメニューについて

お買い上げ時	タッチメニュー

FOMA端末のメニューには、タッチメニューとノーマルメニューの2種類があります。タッチメニューでは機能や電話帳データなどを自由に登録してオリジナルのメニューを作ることができ、ノーマルメニューではすべての機能を操作できるようになっています。
お買い上げ時、タッチメニューにはスタイラスペンによるタッチパネル操作に対応した機能(テンプレートのサンプル1)が登録されています。→P239

● 本書では、タッチメニュー(テンプレートのサンプル1)に登録されていない機能を操作する場合、□を押してノーマルメニューを表示してから操作するように表記しています。

タッチメニューからは、着信音を設定したりディスプレイの表示を変更したりといった各種設定操作を行うことはできません。設定するときは必ず以下の操作でノーマルメニューに切り替えて操作してください。

メニューを表示する

1 MENUを押す

＜タッチメニュー＞

□を押す、または「ノーマル」をタップ

□を押す、または「タッチ」をタップ

＜ノーマルメニュー＞

MENUを押すと、タッチメニューが表示されます

□を押してノーマルメニューとタッチメニューを切り替えることができます。

- メニュー設定の起動メニューを「ノーマル」に設定すると、通常使うメニューをノーマルメニューに設定しておくことができます。→P46

お知らせ

- サイトやインターネットホームページによっては、タッチパネル操作ができない場合があります。「iモード」の中には、iモード設定の接続待ち時間設定や表示設定など、タッチパネル操作で設定できない項目も含まれています。
- PIMロックなどにより実行可能な機能が制限されている場合やFOMAカードが挿入されていない場合、利用できない機能のメニュー名がグレーなどで薄く表示されたり、アイコンが□で表示されたりして選択できません。

メニューの表示方法を設定する＜メニュー設定＞

お買い上げ時	ノーマル：タイルアイコン　タッチ：タイルアイコン　機能説明表示：ON　アイコンデザイン：タイプ1 アイコン拡大表示：OFF　起動メニュー：タッチ　タッチメニューショートカット：タッチ

メニューの表示形式を選択したり、起動メニューを設定したりします。

リスト

タイルアイコン

3D アイコン

1 待受画面で[MENU]を押し、[MENU][8]を押す

- 起動メニューを「ノーマル」に設定しているときは、待受画面で[MENU][▲]を押します。

メニュー設定
ノーマル　タイルアイコン
タッチ　タイルアイコン
機能説明表示　ON
アイコンデザイン　タイプ1
アイコン拡大表示　OFF
起動メニュー　タッチ
タッチメニューショートカット　タッチ

項　目	説　明
ノーマル	タッチメニューからノーマルメニューに切り替えたときのメニューの表示形式を設定します。
タッチ	タッチメニュー（お買い上げ時に表示されるメニュー）使用時のメニューの表示形式を設定します。
機能説明表示	メニュー項目選択時に機能説明を表示するかどうかを設定します。
アイコンデザイン	タイルアイコン表示と3Dアイコン表示の際に表示されるアイコンのデザインを設定します。 • ノーマルメニューの第1階層目のアイコンデザインが変更されます。→P348
アイコン拡大表示	アイコン選択時にアイコンを拡大表示するかどうかを設定します。
起動メニュー	メニュー起動時にノーマルメニューとタッチメニューのどちらを表示するかを設定します。 • お買い上げ時はタッチメニューが表示されます。→P45
タッチメニューショートカット	タッチメニュー使用時のショートカットの操作方法を設定します。 •「ノーマル」に設定すると、ノーマルメニューと同じ項目番号でショートカット操作ができます。 •「タッチ」に設定すると、タッチメニューに登録された各機能の位置に対応した項目番号でショートカット操作ができます。

※タッチメニューをカスタマイズした場合、本書の説明と操作が異なる場合があります。→P239

2 設定する項目を選択して[●]を押し、設定する

3 [📖]を押す

設定した内容が登録されます。

4 [電源]を押す

待受画面に戻ります。

リストメニュー

リストメニューでは、項目番号と項目名のリストが表示されます。

[▲][▼]を押して項目を選択し、[●]を押して選択する

現在選択されている項目の色が変わります。
▶ は、次の階層のメニューがあることを示します。

- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。
- [▲][▼]を押して項目を選択し、[▶]を押しても選択できます。
- 項目をタップしても選択できます。
- メニュー選択中に[◀]または[クリア]を押すと1つ前の画面に戻ります。

3Dアイコンメニュー

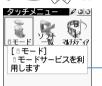
3Dアイコンメニューでは、機能のアイコンがリング状に並んで表示されます。

を押してアイコンのリングを回転させ、目的の項目を最前面にしてを押して選択する

- を押すと時計回りで回転し、を押すと反時計回りで回転します。
- を押すと奥のアイコンが最前面に表示されるように回転します（で反時計回り、で時計回り）。
- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。その場合の項目番号は他のメニュー表示と同じです。

アイコンをタップしても選択できます。

メニューの説明が見たいとき（機能説明表示）

を押し、メニュー項目を選択してしばらくすると、機能説明が表示されます。

「ｉモード」の説明が表示された状態

- 機能説明はしばらくすると自動的に消えます。
- 機能説明を表示しないように設定することもできます。→P46

メニューから機能を選択する

FOMA端末で機能を選択するには、以下の3つの方法があります。

選択方法	参照先
①マルチカーソルキーでメニュー項目を選択する	下記
②メニュー項目に対応したダイヤルキーを押して選択する	P48
③スタイラスペンでメニュー項目をタップして選択する	P49

①マルチカーソルキーでメニューを選択するには

メニュー項目をマルチカーソルキー（）を押して選択し、を押して実行します。

〈例〉タイルアイコンメニューから「着信音量調整」を実行するとき

1 待受画面でを押してノーマルメニューを表示させる

現在選択されている項目が枠で囲まれます。

メニュー設定の起動メニューで設定したメニューで表示されます。

「ノーマル」をタップしてノーマルメニューを表示させることもできます。

2 **を押して「設定」を選択し、を押す**

設定のメニューが表示されます。

3 **を押して「音／バイブ」を選択し、を押す**

音／バイブのメニューが表示されます。

4 **を押して「着信音量調整」を選択し、を押す**

5 **またはサイドキー[▲▼]で音量を調整し、を押す**

着信音量を調整します。→P83

6 **電源を押す**

待受画面に戻ります。

②ダイヤルキーでメニューを選択するには（ショートカット操作）

メニュー項目にはそれぞれ番号が割り当てられており、対応するダイヤルキー（1～9）を押して選択できます。項目の位置とダイヤルキーは次のように対応しています。

〈例〉タイルアイコンメニューから「着信音量調整」を実行するとき

1 **待受画面でMENU 8 1 2を押す**

着信音量を調整します。→P83

2 **またはサイドキー[▲▼]で音量を調整し、を押す**

着信音量を調整します。→P83

3 **電源を押す**

待受画面に戻ります。

③スタイラスペンでメニューを選択するには(タッチパネル操作)

メニュー項目をスタイラスペンでタップして選択できます。

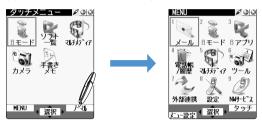
〈例〉タイルアイコンメニューから「着信音量調整」を実行するとき

1 **待受画面でMENUを押し、「ノーマル」をタップする**

2 **「設定」ー「音/バイブ」ー「着信音量調整」の順にタップする**

3 **またはサイドキー[▲▼]で音量を調整し、を押す**

着信音量を調整します。→P83

4 **をタップする**

待受画面に戻ります。

お知らせ

- タッチパネルに対応した機能を実行している場合でも、操作項目によってはタッチパネルで操作できない場合があります。タッチパネル操作が可能な機能→P334

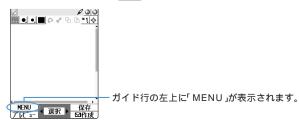
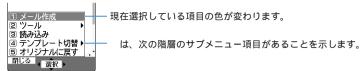
サブメニューから機能を選択する

機能によっては、画面からサブメニューを表示して、さまざまな操作ができる場合があります。サブメニューが選択できる画面では、ガイド行の左上に「MENU」が表示されます。

■ キーで操作するとき

〈例〉手書きメモのサブメニューを表示するとき

1 **待受画面でMENU 5 を押す**

ガイド行の左上に「MENU」が表示されます。

2 MENUを押す

3 を押してサブメニュー項目を選択し、を押す

サブメニュー項目が選択されます。

- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。
- を押して項目を選択し、を押しても選択できます。
- サブメニュー表示中にMENUを押すと、サブメニューが閉じます。

4 電源を押す

待受画面に戻ります。

■ タッチパネルで操作するとき

タスクバーにが表示されている場合で、ガイド行に「MENU」が表示されているときは、ガイド行の「MENU」をタップして各種操作ができます。

〈例〉手書きメモのサブメニューを表示するとき

1 待受画面でMENUを押し、「手書きメモ」をタップする

2 スタイラスペンで「MENU」をタップする

3 サブメニュー項目をタップする

サブメニュー項目が選択されます。

- サブメニュー表示中に「閉じる」をタップすると、サブメニューが閉じます。

4 をタップする

待受画面に戻ります。

お知らせ

- PIMロックなどにより実行可能な機能が制限されている場合やFOMAカードが挿入されていない場合、実行できない項目は文字がグレーなどで薄く表示され、その項目は選択できません。

サイドキーの主な操作

FOMA端末の状態により、サイドキーを押したときの操作が異なります。

機能		FOMA端末の状態			操作	機能を操作するための状態
		クローズ	オープン	ターン		
音	**受話音量調整**	○	○	○	サイドキー[▲▼]を押す	通話中、通話中着信中、受話音量調整の設定中、通話中音声メモ録音中
	着信音量調整		○	○	サイドキー[▲▼]を押す	着信音量調整の設定中※1
	着信音の停止	○	○	○	サイドキー[▲]を押す	着信中、メール／メッセージ受信中
	アラーム音の停止	○	○	○	サイドキー[▲]を押す	アラーム鳴動中
	音量調整		○	○	サイドキー[▲▼]を押す	待受ｉモーション再生中※2、動画／ｉモーション編集中、メロディ※1・動画／ｉモーション再生中
伝言メモ／音声メモ	**伝言メモ／音声メモメニューの表示**		○	○	サイドキー[▲]を押す	待受画面表示中
	伝言メモの設定／解除		○	○	サイドキー[▲]を1秒以上押す	待受画面表示中
	伝言メモ録音（クイック伝言メモ）	○	○	○	サイドキー[▲]を1秒以上押す	着信中
	通話中音声メモの起動／停止	○	○	○	サイドキー[▲]を1秒以上押す	通話中
	音量調整	○	○	○	サイドキー[▲▼]を押す	伝言メモ／音声メモ再生中
その他	**マナーモードの設定／解除**	○			サイドキー[▲]を1秒以上押す	待受中※3
	バイブレータの停止	○	○	○	サイドキー[▲]を押す	着信中、アラーム鳴動中、メール／メッセージ受信中
	背面ディスプレイの時計表示／表示切替	○			サイドキー[▲▼]を押す	待受中
	ｉモード問合せ	○	○	○	サイドキー[▼]を1秒以上押す	待受画面表示中
マルチアクセス・マルチタスク中の画面切り替え	**新規起動メニュー／切替メニュー表示**		○	○	サイドキー[▭]を押す	待受中
カメラ	**カメラの起動**			○	サイドキー[▭]を1秒以上押す	待受画面表示中
	カメラ／ビデオカメラの切り替え			○	サイドキー[▼]を1秒以上押す	静止画撮影画面、動画撮影画面
	撮影する		○	○	サイドキー[▭]を押す	静止画撮影画面
	ワンタッチライトの点灯			○	サイドキー[▲]を1秒以上押す	静止画撮影画面、動画撮影画面
Bluetooth	**Bluetooth電源ON（マルチサービス起動）／Bluetooth電源OFF**	○	○		サイドキー[▭]を1秒以上押す	待受画面表示中

※1 ： クローズ状態でも操作できます。
※2 ： マナーモード中は音量調整できません。また、ターン状態では再生できません。
※3 ： 背面ディスプレイが日付・時刻以外を表示しているときは操作できません。
＊サイドキーには、カメラ、ビデオカメラでも機能が割り当てられています。

情報をすばやく表示する<フォーカスモード>

待受画面に次のマークが表示されているときに、マークを選択して、対応する情報をすばやく表示できます。

2：不在着信(電話に出なかった履歴)あり　1：留守番電話サービスの新メッセージあり
1：未再生の伝言メモあり　2：未読の受信メールあり

- それぞれのマークの右に、蓄積されている情報の件数が表示されます。
- カスタム待受画面を設定しているときは、待受画面に情報が表示されます。表示されている情報を選択して、詳細情報を手早く確認することができます。→P181、P182

1 待受画面で を押し、 を押してマークを選択する

選択したマークの色が変わります。
有効なマルチカーソルキーの方向を表示します。

2 を押す

選択したマークに対応する画面が表示されます。

■ 2のとき

着信履歴の一覧が表示され、着信日時を確認できます。発信者番号が通知されていれば、相手の電話番号も確認でき、電話もかけられます。→P80

■ 1のとき

伝言メモ一覧が表示され、伝言メモを再生できます。→P91

■ 1のとき

留守番電話サービスのメッセージ再生画面が表示され、メッセージを再生できます。→P283

■ 2のとき

受信メールのフォルダ一覧が表示されます。フォルダ一覧から未読メールを表示できます。→『アプリケーション編』P150、P182

3 電源を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- マークを選択して クリアを1秒以上押すと、画面に表示されているマークおよび件数が一時的に消去されますが、新たに情報が蓄積されたり、情報を閲覧して件数が変化したりすると再度表示されます。また、電源を入れ直したときにも再度表示されます。
- ロックなどの設定により、対応する画面が表示されない場合があります。
- 待受画面設定でカレンダーを設定、またはカスタム待受画面でエリアにカレンダーを設定した場合、待受画面で を押し、カレンダーを選択して を押すと、スケジュール帳のカレンダーが表示されます。→P182　マークを選択するときは、待受画面で を押し、 でマークを選択して を押します。

FOMAカードを取り付ける

FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報を記録できるカードです。
FOMA対応の端末に挿入して使用します。

●FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

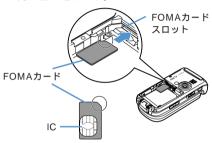
FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

- FOMAカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってからFOMA端末をクローズ状態にして、手で持って行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損する恐れがあります。

取り付けかた

① 親指でリアカバーを押し付けながら、矢印方向へスライドさせて外します。
電池パックが取り付けられている場合は、取り外してください。→P57

② FOMAカードのIC面を下にして、図のような向きでFOMAカードスロットへ矢印方向に差し込みます。

③ 図のようにロックがスライドしてFOMAカードが固定されるまで、さらに差し込みます。

④ 電池パックとリアカバーを取り付けます。
→P57

取り外しかた

① リアカバーと電池パックを取り外します。
→P57
FOMAカードに指が触れないようにロックを矢印方向にスライドさせ、FOMAカードを少し飛び出させます。

② FOMAカードをまっすぐ静かに取り出します。
このときFOMAカードが落ちないようにご注意ください。

お知らせ

- FOMAカードを無理に取り付けようとしたり、引き抜こうとしたりすると、FOMAカードが壊れることがありますので、ご注意ください。
- 取り外したFOMAカードはなくさないようにご注意ください。
- FOMAカードの取り付け／取り外しを行うときは、IC部分に触れたり、傷を付けたりしないようにご注意ください。
- FOMAカードを取り外すときは、強く押しつけないでください。変形や破損することがあります。
- ロックのスライド時にFOMAカードに指が触れるなどしてカードの飛び出し量が少なく、FOMAカードが取り外しにくい場合は、奥まで差し込んで再度ロックをスライドさせてください。

FOMAカードの暗証番号

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号があります。

- PIN1コード
  第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐために、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに入力する4～8桁の暗証番号です。PIN1コードを入力することにより、電話の発信、着信、各種通信機能の操作が可能になります。
  お買い上げ時は、PIN1コードを入力せずにFOMA端末を使用できます。PIN1コードによるチェックを行うように設定すると、電源を入れたときにPIN1コードの入力が必要になります。→P195
- PIN2コード
  ユーザ証明書発行申請時および利用時に使う4～8桁の暗証番号です。
  →『アプリケーション編』P24、P29、P60、P62

PINコードの変更

- ご契約時はPIN1コード、PIN2コードともに「0000」に設定されていますが、どちらも変更することができます。→P195、P196　なお、PIN1コード、PIN2コードとも3回連続して入力を失敗すると自動的にロックされますので、設定した番号はメモに控えるなどしてお忘れにならないようご注意ください。
- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。PIN1コード、PIN2コードを変更されていない場合は、「0000」となります。

PINロック解除コード

- PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための番号です。お買い上げ時にお客様にお知らせします。PINロック解除コード（8桁）を入力することにより、ロック状態を解除することができます。
- 10回連続してPINロック解除コードの入力を失敗すると自動的にロックされますので、PINロック解除コードはメモに控えるなどしてお忘れにならないようご注意ください。なお、PINロック解除コードを忘れた場合やPINロックを解除できなくなった場合は、当社窓口にお問い合わせください。

PINロック解除→P197

ご使用になる前に　FOMAカードを取り付ける

FOMAカード動作制限機能

FOMA端末にはお客様のデータを保護するためのFOMAカード動作制限機能が搭載されています。

●IP（情報サービス提供者）から提供された情報を保護するため、お客様自身の正しいFOMAカードが挿入されていない場合に、ダウンロードデータ・メール添付のファイル・メッセージR/Fの表示や再生を制限する機能です。
動作制限の対象となるデータは次のとおりです。

・画像（アニメーション、Flash画像を含む）　・ｉモーション　・メロディ
・キャラ電　・ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）　・画面メモ　・メッセージR/F
・ｉモードメールに添付されているファイル　・デコメール本文中に挿入されている画像

FOMAカード動作制限機能が設定されているｉアプリは、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合に次の操作ができなくなります。
・起動　・ソフト詳細情報の表示　・ソフト情報設定　・自動起動　・自動起動設定の変更
・ｉアプリ待受画面の設定　・バージョンアップ

お知らせ

- FOMAカード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定していると、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合に、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。データを受信・ダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、設定は元の状態に戻ります。
- 赤外線通信やminiSDメモリーカード、データリンクソフトを利用して入手したデータや内蔵のカメラで撮影した画像には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。

FOMAカードの機能差分

FOMAカードには緑色と青色の2種類があり、それぞれのカードは次のように機能が異なります。

項　目	FOMAカード（緑色）	FOMAカード（青色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録可能な電話番号の桁数	最大26桁	最大20桁	P125
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用可	利用不可	『アプリケーション編』P60
WORLD WINGサービスの利用	利用可	利用不可	下記

WORLD WING

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応の海外用携帯電話（GSM方式）に差し替えることにより、海外でのご利用時も、日本で契約している携帯電話番号のままで発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。WORLD WINGのご利用にはお申込みが必要です。詳しくは、下記にお問い合わせください。

	お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉	
WORLD WING	■ドコモの携帯電話、PHS からの場合 **（局番なしの）151（無料）** ※一般電話からはご利用になれません。	■一般電話などからの場合 **0120-800-000** ※ドコモの携帯電話、PHS からもご利用になれます。

充電する

お買い上げのとき、電池パックは十分に充電されていません。
必ず専用のアダプタで充電してからお使いください。
●電池パック単体での充電はできません。

充電時間(目安)

FOMA端末の電源を「切」にして、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。
FOMA端末の電源を「入」にして充電した場合、充電時間は長くなります。

ACアダプタ　F03	約140(分)	DCアダプタ　F01	約150(分)

十分に充電したときの使用時間(目安)

充電のしかたや使用環境によって、下表の時間は変動します。

連続待受時間(静止時)	約450(時間)	連続通話時間(音声電話通話時)	約160(分)
連続待受時間(移動時)	約340(時間)	連続通話時間(テレビ電話通話時)	約100(分)
連続待受時間(Bluetooth自動接続設定時)	約50(時間)		

- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態での目安です。
- 連続通話時間は、最大パワー送信した場合の目安であり、連続待受時間はF900iT をクローズ状態にし、電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かないまたは弱い場合など)などにより、通話(通信)・待受時間は約半分程度になる場合があります。ｉモード通信を行うと通話(通信)・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくてもｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させると通話(通信)・待受時間は短くなります。ｉアプリのソフトによって、ダウンロードした後も通信を行う場合があります。あらかじめ設定することによって、接続を行わないようにすることもできます。
- Bluetooth使用時は連続待受時間が上記の時間よりも短くなります。
- Bluetooth低消費電力モードON設定時の連続待受時間は、FOMA端末と接続するBluetooth機器により異なります。
- Bluetooth使用時の連続待受時間・連続通話時間は、Bluetooth設定のイルミネーション設定が「ON」の場合のものです。
- データ通信やマルチアクセス実行時、カメラの使用などによっても、通話(通信)・待受時間は短くなります。

お知らせ

- ｉアプリのソフトによっては、FOMA端末をクローズ状態にしても常に動作状態となり、電力を消費し続けるものがあります。この場合、通話(通信)・待受時間が短くなる場合があります。
- ｉアプリのソフトによっては、ソフトを起動した状態で充電を開始した場合、充電が完了しない場合があります。充電を完了させる場合は、ソフトを終了してから充電することをおすすめします。

電池パックの上手な使いかた

FOMA端末の性能を十分に発揮するために、専用の電池パックをご利用ください。

- **電源を入れたままでの長時間(数日間)充電はおやめください。**
  充電時にFOMA端末の電源を入れたままで長時間置くと、充電完了後、FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、短い時間しか使用できず、すぐに電池アラームが鳴ってしまう場合があります。その場合もう一度正しく充電し直してください。
  再充電の際はFOMA端末を一度ACアダプタまたはDCアダプタから外して、再度セットをし直してください。
- **電池パックの寿命は?**
  電池パックは消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すたびに1回の使用時間が次第に短くなっていきます。1回の使用時間が使用開始時に比べて半分以下になったら、電池パックの寿命とお考えください(電池パックの寿命の目安は、約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります)。
- **環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

Li-ion

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

- 電池パックの交換や取り付け／取り外しは、電源を切ってからFOMA端末をクローズ状態にして、手で持って行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損する恐れがあります。

取り付けかた

① 親指でリアカバーを押し付けながら、矢印方向にスライドさせて外します。

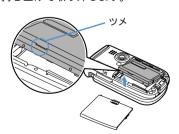
② 電池パックの印字面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、❷の方向に押し付けてはめ込みます。

③ リアカバーの2箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせます。FOMA端末とリアカバーのすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付けます。

取り外しかた

① 親指でリアカバーを押し付けながら、矢印方向にスライドさせて外します。

② 電池パックのツメを持って、矢印方向に持ち上げて取り外します。

お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとするとFOMA端末の端子が壊れることがありますので、ご注意ください。
- 力を入れすぎるとリアカバーが破損する恐れがあります。
- 上記以外の方法で取り付け／取り外しを行うとFOMA端末やリアカバーが破損する恐れがあります。

充電時の留意事項

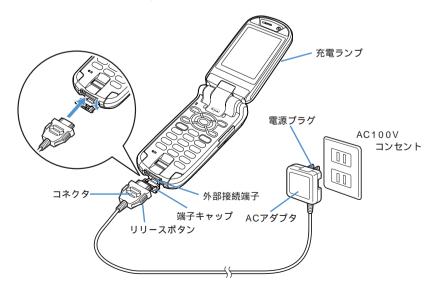
- 充電中に充電ランプが点滅する場合は、「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧ください。→P357
- 環境によっては、充電開始時に充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、故障ではありません。しばらくしても点灯しない場合は、FOMA端末を一度ACアダプタ（卓上ホルダ）またはDCアダプタから取り外し、再度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくしても点灯しない場合は、当社窓口にご連絡ください。
- 高温環境下で充電中にテレビ電話をかけたり、パケット通信や64Kデータ通信を行ったりするとFOMA端末が高温になり、充電が正常に終了しない場合があります。この場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。
- 充電中にメールを受信したり、カメラ撮影をしたりして着信ランプが使用されると、充電ランプは一時的に消灯します。
- 充電確認音設定を「OFF」に設定していると充電開始／終了時の確認音は鳴りません。→P176

ACアダプタでの充電方法

必ずACアダプタ F03の取扱説明書もご覧ください。

（1）FOMA端末に電池パックを取り付けます。
（2）FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き（①）、ACアダプタのコネクタを矢印の表記面を上にして差し込みます（②）。
（3）ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込みます。
（4）充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯したことを確認します。
- 待受中に充電する場合は、ディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークが点滅します。
- 充電中はFOMA端末や電池パック、ACアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。

（5）充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯します。
- ディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークの点滅も止まります。

（6）充電が終わったら、ACアダプタをコンセントから抜き、コネクタの両側のリリースボタンを押してFOMA端末からコネクタを外します。
（7）端子キャップを閉じてください。

卓上ホルダと組み合わせた充電方法

必ず卓上ホルダ F04の取扱説明書もご覧ください。

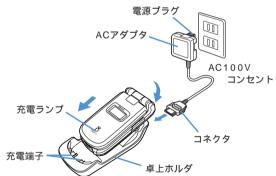
ACアダプタと卓上ホルダ F04を組み合わせると、FOMA端末本体の端子キャップを開かなくても充電できます。
正しく取り付けるために、端子キャップは閉じた状態で卓上ホルダに取り付けてください。
卓上ホルダだけでは充電することはできません。
卓上ホルダは平らな面に置いて使用してください。また、卓上ホルダへの取り付けや取り外しを行うときは、FOMA端末をクローズ状態にして行ってください。

（1）ACアダプタのコネクタを矢印の表記面を上にして卓上ホルダに接続します。
（2）ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込みます。
（3）電池パックを取り付けたFOMA端末と卓上ホルダの端子を合わせ（①）、FOMA端末を矢印方向（②）に「カチッ」と音がするまで押し込みます。
（4）充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯したことを確認します。
- 待受中に充電する場合は、ディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークが点滅します。
- 充電中はFOMA端末や電池パック、卓上ホルダ、ACアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。

（5）充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯します。
- ディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークの点滅も止まります。

（6）充電が終わったら、FOMA端末を卓上ホルダから取り外します。
- 長時間使用しないときはACアダプタをコンセントから抜いてください。

取り外しかた
卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を持ち上げ（①）、矢印方向（②）に引き抜きます。

お知らせ

- 電源が入っているパソコンと卓上ホルダを市販のUSBケーブルで接続した状態で充電を行った場合、充電時間が長くなります（約4時間）。
- 卓上ホルダの端子カバーは、指などで直接押さないでください。また、押した際に出てくる信号端子には絶対に触らないでください。

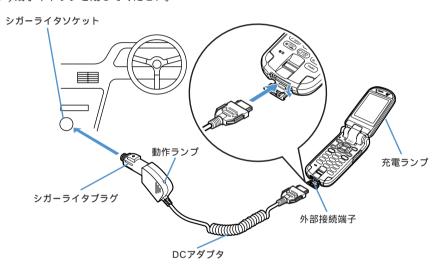
DCアダプタ（別売）での充電方法

必ずDCアダプタ F01の取扱説明書もご覧ください。

（1）FOMA端末に電池パックを取り付けます。
（2）FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き（①）、DCアダプタのコネクタを矢印の表記面を上にして差し込みます（②）。
（3）DCアダプタのシガーライタプラグを車のシガーライタソケットへ差し込みます。DCアダプタの動作ランプが赤く点灯したことを確認します。
（4）充電開始音が鳴り、FOMA端末の充電ランプが点灯したことを確認します。
- 待受中に充電した場合は、ディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークが点滅します。
- 充電中はFOMA端末や電池パック、DCアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。

（5）充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯します。
- ディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークの点滅も止まります。

（6）充電が終わったら、コネクタの両側のリリースボタンを押してFOMA端末から外し、シガーライタプラグをシガーライタソケットから抜きます。
（7）端子キャップを閉じてください。

お知らせ

- 車内ホルダ F04（別売）と組み合わせてお使いになると便利です。
- DCアダプタはエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリーを消耗させてしまう場合があります。
- DCアダプタをシガーライタソケットから外しても、DCアダプタに接続したFOMA端末の電源は切れません。FOMA端末を使用しないとき、または車から離れるときは、DCアダプタのシガーライタプラグをシガーライタソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。
- ヒューズ（1A）は消耗品ですので、交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 [電源]を2秒以上押す

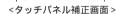
タッチパネル補正

左上の中央にタップ

クリア → 中断する
0キー → 初期値に戻す

<タッチパネル補正画面>

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。

- タッチパネル補正が設定されていないときは、最初にタッチパネル補正画面が表示されます。タッチパネル補正の操作2から行ってください。→P64

電池マーク
受信レベル
日付・曜日・時刻
グラフィック
FOMAカード読み込み中に表示されます

電波状態の表示			
Y.ıll	Y.ıl	Y.ı	圏外
強	中	弱	サービスエリア外や電波の届かないところ

- 日付・時刻が設定されていないときは、日付・時刻が設定されていない旨のメッセージが表示されます。[ ]を押して、日付時刻設定の操作2から行ってください。→P65
- FOMAカードが取り付けられていない場合、FOMAカードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMAカードを取り付けてから電源を入れ直してください。
- 設定により、PIN1コード入力画面が表示されることがあります。→P195
- 設定により、ｉアプリ待受画面を起動するかどうかの確認画面が表示されます。→『アプリケーション編』P86
- 待受中のグラフィックや日付・時刻の表示形式、電池マークは変更できます。→P177、P186
- FOMAカードを正しく取り付けていない場合や、FOMAカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。

電源を切る

1 [電源]を2秒以上押す

電源が切れます。

お知らせ

- サービスエリア外や電波が届かないところで圏外が表示されているときは、表示が消える場所まで移動してください。ただし、Y.ılが表示されていて、移動せずに通話していても、通話が切れることがあります。
- FOMA端末を5分間何も操作しなかった場合、ディスプレイは省電力モードとなり自動的に消灯します。ただし、キー操作をしたり、電話の着信などがあるとディスプレイは再び点灯します。

電池残量の確認のしかた

ディスプレイに電池残量の目安が表示されます。

- 3段階で表示されます。
- 電池残量表示は、あくまでも目安としてご覧ください。
- FOMA端末がクローズ状態のときにサイドキーを押すと、背面ディスプレイに電池残量が表示されます。

電池残量マーク

	電池残量3 (十分残っています)	電池残量2 (少なくなっています)	電池残量1 (充電することをおすすめします)
お買い上げ時			
マーク変更時※			

※：電池マーク設定でマークを変更できます。→P186

電池残量を音で確認する<電池レベル表示>

- 次の場合は確認音は鳴りません。
  - ・キー確認音を「OFF」に設定している場合
  - ・マナーモードを設定している場合(オリジナルマナーモードの場合は設定によります)
  - ・着信音量を消音に設定している場合

1 待受画面でMENU 8 4 3を押す

しばらく電池残量が表示された後、メニュー一覧表示に戻ります。

(電池残量3)

音が3回鳴ります

(電池残量2)

音が2回鳴ります

(電池残量1)

音が1回鳴ります

2 電源を押す

待受画面に戻ります。

電池が切れそうになると

電池が切れそうになると、ディスプレイのメッセージ表示や電池アラーム音でお知らせします。充電を開始すれば電池アラーム音は止まります。電池アラーム音をすぐに止めたい場合は、電源を押してください。

- 待受中のとき

ディスプレイに電池残量がない旨のメッセージが表示されます。◯を押すとメッセージが消えますが、しばらくすると電池アラーム音が鳴り、再度メッセージが表示されます。このとき、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅し、約1分後に自動的に電源が切れます。

- 通話中のとき

受話口から電池アラーム音が聞こえ、ディスプレイに電池残量がない旨のメッセージが表示されます。電池アラーム音が聞こえてから、約20秒後に通話が切れて待受画面に戻ります。その後、約1分後に自動的に電源が切れます。

- FOMA端末がクローズ状態のときにサイドキーを押すと、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示されます。

お知らせ

- FOMA端末のディスプレイに電池残量がない旨のメッセージが表示されても、Bluetooth機能は終了しません。

電池アラーム音を鳴らさないようにする<電池アラーム音設定>

お買い上げ時	ON

- 「ON」に設定していてもマナーモード中、ドライブモード中は、電池アラーム音は鳴りません。オリジナルマナーモードが設定されている場合は、その設定に従って動作します。

1 待受画面でMENU 📖 8 1 5 を押す

電池アラーム音設定画面が表示されます。

2 2を押す

電池アラーム音が解除されます。

- 電池アラーム音を設定するときは1を押します。

3 電源を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- 「OFF」に設定しても、通話中に電池が切れそうになったときは受話口から電池アラーム音が鳴り、ディスプレイに電池残量がない旨のメッセージが表示されます。

タッチパネルを補正する<タッチパネル補正>

お買い上げ時 | 未設定

スタイラスペンでタッチパネルをタップ(→P36)した位置と実際の画面の位置を一致させます。

● タッチパネル補正が設定されていないときは、電源を入れると最初にタッチパネル補正画面が表示されます。タッチパネル補正の操作2から行ってください。→下記

● タッチパネル補正はオープン状態で行ってください。ターン状態でのタッチパネル補正や、タッチパネル補正中にオープン状態からターン状態にした場合は、正しくタッチパネル補正ができません。

1 待受画面でMENU 8 9 7を押す

2 アニメーションで表示されている○印の中心(補正位置)を左上、左下、右下の順にタップする

中心をタップする

- 補正位置から離れた場所をタップすると、タップした位置が離れすぎている旨のメッセージが表示されます。タッチパネルをタップするか自動的にメッセージの表示が消えてから、再度、指示された場所をタップしてください。
- 補正中にクリアを押すと、タッチパネル補正を中断できます。
- タッチパネル補正をお買い上げ時の設定に戻すときは0を押します。

3 「はい」をタップする

タッチパネル補正が設定されます。

4 電源を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- タップした位置と実際の位置が異なるために機能がうまく動作しない場合は、再度、タッチパネル補正を行ってください。
- タッチパネル補正設定は、電池パックを交換する場合にも保持されますが、長い間電池パックを外しているとリセットされることがあります。その場合は、再度、タッチパネル補正を行ってください。

日付・時刻を合わせる<日付時刻設定>

FOMA端末の日付と時刻を設定します。

● 設定した時刻は、電池パックを交換する場合にも保持されますが、長い間電池パックを外しているとリセットされることがあります。その場合は、再度、日付・時刻の設定を行ってください。

1 待受画面で を押す

2 日付欄を選択して を押し、日付を入力して を押す

- 西暦は下2桁を入力します。西暦、月、日が1～9のときは、前に0を付けます。
- 2000年1月1日から2050年12月31日まで設定できます。
- を押して数字を増減することもできます。
- を押して変更する数字を選択してから入力することもできます。

3 時刻欄を選択して を押し、時刻を入力して を押す

- 24時間制で設定します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。
- 0時0分から23時59分まで設定できます。
- を押して数字を増減することもできます。
- を押して変更する数字を選択してから入力することもできます。

4 を押す

日付・時刻が設定されます。

5 を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- 日付・時刻を設定していないときは、次の機能は利用できません。

スケジュール	P217、220	ｉアプリの自動起動機能	P82
自動電源ON設定	P211	時刻設定を必要とするｉアプリDX	P68
自動電源OFF設定	P212	再生・保存期間や期限が設定されているｉモーションの取り込み	P272
目覚まし設定	P213		
ユーザ証明書操作	P60	データ（スケジュール）送受信	P303、305
		ソフトウェア更新	P360

※参照先の□は『アプリケーション編』のページを示します。

- 日付・時刻を設定していないときは、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」などと表示されます。さらに細分化するための番号（枝番）が付く場合もあります。
  - ・リダイヤル→P74
  - ・着信履歴→P80
  - ・伝言メモ、音声メモ→P88、P248
  - ・カメラで撮影した静止画／動画の日時（ファイル名）→『アプリケーション編』P218、P226
  - ・ソフトのダウンロード日時→『アプリケーション編』P80
  - ・送信メール・未送信メールの日時→『アプリケーション編』P143、P178
- 音声通話中にMENU 4を押して、日付・時刻を設定することができます。

自分の電話番号を確認する＜プロフィール情報＞

プロフィール情報で自分の電話番号（自局電話番号）や名前、メールアドレスなどを確認します。

● PIMロック中は本機能を利用できません。

1 待受画面でMENU 0を押す

- お買い上げ時は自局電話番号のみ表示されます。
- ｉモードのメールアドレスを確認するには、待受画面でｉ 1を押してｉMenuを表示し、「オプション設定」→「メール設定」→「アドレス確認」を選択して操作します。

2 確認が終わったら電源を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- 通話中に自分の電話番号（自局電話番号）を確認するには、TASK 0またはサイドキー[ ] 0を押します。→P275
- プロフィール情報のメールアドレス欄を変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、プロフィール情報のメールアドレス欄は自動的には変更されません。ｉモードのメールアドレスを変更する→『アプリケーション編』P164
- 電話番号以外のプロフィール情報を登録する→P236
- 赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末などとプロフィール情報を交換できます。→『アプリケーション編』P303、P305

基本操作編

電話をかける

FOMA端末では、音声のみで利用する音声電話と、映像を利用するテレビ電話の2種類の方法で電話をかけることができます。
ここでは、音声電話のかけかたを説明します。

- 相手の携帯電話の電源が入っていないとき、または相手が電波の届かない場所にいるときには、ガイダンスで接続できないことをお知らせします。
- ビル電話・PBXなど、ダイヤル市外通話のできない電話機からは、FOMA端末へもかけられません。
- 圏外が表示されているときは電話をかけることはできません。
- 他の機能を実行中に電話をかけることができない場合があります。→P349、P351
- オールロック中は電話をかけることはできません。→P204
- ダイヤル発信制限中は、ダイヤルキーを押して電話をかけることはできません。→P207

1 待受画面で電話番号を入力する

一般電話にかける	市外局番－市内局番－電話番号 • 同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
携帯電話にかける	090－XXXX－XXXX 080－XXXX－XXXX
PHSにかける	070－XXXX－XXXX

- 最大80桁入力できます。
- 電話番号を訂正するときは(クリア)を押します。
- (クリア)を1秒以上押すと、待受画面に戻ります。

2 (文字)を押す

「プップップッ」という発信音が聞こえます。相手が出たらお話しください。

- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。(電源)を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。→P74
- 通話中に(カメラ)を押すとカメラが起動し、通話しながら静止画を撮影することができます。→『アプリケーション編』P241

3 お話しが終わったら(電源)を押す

- FOMA端末をクローズ状態にしても電話を切ることができます(お買い上げ時の設定)。クローズ状態にしても電話が切れないようにするには、「通話中クローズ設定」で設定を変更します。→P169
  スイッチ付イヤホンマイク接続中または外部接続機器(Bluetoothヘッドセットなど)から音を鳴らすように設定して通話中の場合は、FOMA端末をクローズ状態にしても通話は継続されます。
- 通話中にFOMA端末をターン状態にすると、通話中クローズ設定の設定に関わらず「通話継続(マイクミュート)」の状態で通話は継続され、ディスプレイ上部にが表示されます。ただし、次の場合はマイクミュートされずに通話は継続されます。→P169
  ・スピーカーホン機能を利用して通話中
  ・スイッチ付イヤホンマイク接続中または外部接続機器(Bluetoothヘッドセットなど)から音を鳴らすように設定して通話中

お知らせ

- 操作1と操作2を逆にしても電話をかけられます。[発信/文字]を押して電話番号を入力した後、約5秒経過すると自動的に音声電話がかかります。
- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。→P71　発信者番号の通知／非通知を指定しないで電話番号を入力して電話をかけた場合は、発信者番号通知の設定に従って動作します。→P295
- 通話中クローズ設定で「通話継続(マイクミュート)」に設定しているとき(→P169)は、発信中や通話中にFOMA端末をクローズ状態にすると、背面ディスプレイにそのときの状態や相手の情報などが表示されます。→P43
- 音声電話通話中は、テレビ電話や64Kデータ通信の発信はできません。
- 音声電話通話中は、テレビ電話や64Kデータ通信の着信があっても電話を受けたり通信を受信することはできません。キャッチホンサービスを契約しているときは、着信履歴には不在着信として残ります。テレビ電話通話中に音声電話やテレビ電話の着信があった場合も同様です。
  キャッチホンサービスについて→P286
- 音声電話通話中にｉモードに接続するなど、パケット通信も同時に使用できます。→P269
- 通話中に電池残量がなくなった場合、アラーム音が鳴り、自動的に通話が切れます。→P63
- 電話帳データの画像選択に動画を設定した相手に電話をかけると、発信中の画面に動画の最初の画像が表示されます。→P115
- 通話中は、通話時間表示の秒数カウントの表示がスムーズでない場合があります。
- ハンズフリー機器、Bluetoothヘッドセットを使って話す→P84
- スイッチ付イヤホンマイクの使いかた→P353

スピーカーホン機能を利用する

待受画面で電話番号を入力して[発信/文字]を1秒以上押すと、相手の声がスピーカーから聞こえる状態で音声電話をかけることができます(スピーカーホン機能)。発信中や通話中は、[発信/文字]を押すたびに通常の通話とスピーカーホン機能を利用した通話の切り替えができます。

音声電話の状態	画面表示	音声の出力
通常の通話中	－	受話口
スピーカーホン機能利用中	[スピーカーアイコン]	スピーカー

- スピーカーホン機能を利用した通話に切り替えると、音量が急に大きくなり耳に傷害を与える恐れがありますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。
- 通話中、周囲や相手側の雑音が大きい場合は、聞き取りにくいことがあります。通常の通話を行ってください。

音声電話通話中の操作について

音声電話通話中にサブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明
1 **着信履歴**	着信履歴を表示します。→P80
2 **リダイヤル**	リダイヤルを表示します。→P74
3 **電話帳**	電話帳を表示します。→P128、135
4 **日付時刻設定**	日付・時刻を設定します。→P65
5 **再接続アラーム設定**※	電波状態が悪くて途切れた通話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラーム音を設定します。→P166
6 **通話品質アラーム設定**※	電波状態が悪くて通話が途切れそうになったときに、アラーム音で知らせるように設定します。→P166
7 **通話中クローズ設定**	FOMA端末をクローズ状態にして通話を終了するかどうかを設定します。→P169
8 **ダイヤル入力**	キャッチホンサービスをご契約の場合、通話中に別の相手に電話をかけられます。→P288

※：アラーム音が鳴っているときは設定を変更できません。

通話中には、次の操作もできます。

- サイドキー[▲]を1秒以上押すと通話中音声メモで相手の声を録音できます。→P248
- サイドキー[▲▼]を押すと受話音量を調整できます。

お知らせ

- 通話中に自分の電話番号（自局電話番号）を確認するには(TASK)(わをん記号)またはサイドキー[ ](わをん記号)を押します。→P275

ポーズ、タイマー、「＋」を入力する

ポーズ、タイマー、「＋」を入力して電話をかけられます。

〈例〉「03XXXXXXXXP12345」で発信したとき

電話がつながった後に( )を押すと、ポーズ以降の番号が送信されます。

- ポーズ（「P」）は、ポケットベル※へのメッセージ送信や自宅の留守番電話の操作、チケットの予約などに利用します。ポーズを入力するときは(*http://)を1秒以上押します。

※：2001年1月から、ドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。
  - ・電話番号の先頭に入力すると発信できません。
  - ・ポーズの入力後に「*」を入力しても、サブアドレスの区切りとしては使えません。
- 外線番号に続けて内線番号をダイヤルするときなどにタイマー（「T」）を利用します。外線番号と内線番号の間に「T」を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されるようになります。タイマーを入力するときは(#マナー)を1秒以上押します。
  - ・タイマー1つにつき、約1秒の間隔をとります。
  - ・タイマーは連続して入力できます。
  - ・電話番号の先頭に入力すると発信できません。
  - ・タイマーの入力後に「*」を入力しても、サブアドレスの区切りとしては使えません。
- 電話番号の先頭に「＋」を入力するときには、(わをん記号)を1秒以上押してください。

お知らせ

- プッシュ信号（DTMF）を送信する際、受信側の機器によっては信号を受信できない場合があります。
- チケットの予約など、音声ガイダンスに従ってプッシュ信号（DTMF）を送信する必要がある場合には、スピーカーホン機能を利用すると便利です。ただし、スピーカーホンに切り替えた後で、プッシュ信号（DTMF）を入力してください。

サブアドレスを指定して電話をかける

サブアドレス設定を「ON」にしているとき（→P165）は、電話番号の後に、(*http://)を押して「*」（サブアドレスの区切り）とサブアドレスを入力して(文字)を押します。

相手に自分の電話番号を通知するかどうかを設定する<発信者番号通知>

電話をかけたとき、相手の電話機のディスプレイに自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。
- 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
- 自分の電話番号を相手に通知するには、次の方法があります。

①あらかじめ一括して設定	電話をかけるときの発信者番号の通知／非通知を一括して設定します。	P295
②電話帳データに設定	電話帳データごとに、発信者番号の通知／非通知を設定します（発番号設定）。	P145
③ダイヤルするときに設定	電話をかけるたびに、発信者番号の通知／非通知を設定します。	下記

「186（＊31#）」／「184（#31#）」を付けてダイヤルする

電話をかけるたびに、電話番号の先頭に特定の番号を付加する方法です。

■ 発信者番号を通知するとき

「186＋相手の電話番号＋［発信］」または「＊31#＋相手の電話番号＋［発信］」

- テレビ電話をかけるときは、「186（または＊31#）＋相手の電話番号＋［テレビ電話］」を押します。

■ 発信者番号を通知しないとき

「184＋相手の電話番号＋［発信］」または「#31#＋相手の電話番号＋［発信］」

- テレビ電話をかけるときは、「184（または#31#）＋相手の電話番号＋［テレビ電話］」を押します。

ダイヤルするときに通知／非通知を設定する

電話番号を入力してから発信者番号の通知／非通知を設定します。また、電話帳やリダイヤルなどから電話番号を表示させてから設定することもできます。

〈例〉発信者番号を通知して音声電話をかけるとき

1 待受画面で電話番号を入力して MENU 3 を押す

- 発信者番号を通知しないときは MENU 4 を押します。

2 1 を押す

音声電話がかかります。

- テレビ電話をかけるときは 2 または 3 を押します。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  リダイヤルの一覧、着信履歴の一覧、伝言メモ一覧、音声メモ一覧から操作する場合はMENUを押し、「発番号通知」または「発番号非通知」を選択して操作します。FOMA端末（本体）電話帳の電話帳一覧または詳細（TOP）／詳細（電話）画面、FOMAカード電話帳の電話帳一覧または詳細画面、プロフィール情報の詳細（電話）画面から操作する場合はMENUを押し、「発信」を選択して操作します。
- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
- 相手の電話番号の前に「186(*31#)」／「184(#31#)」を付けないで電話番号を入力し、発信時にメニューから番号通知方法を選択せずに電話をかけた場合は、発信者番号通知方法の設定に従って動作します。→P295　ただし、発信時に番号通知方法を選択した場合でも、相手の番号の前に「186」／「184」が付いていた場合はそれらの設定に従って動作し、「*31#」／「#31#」が付いていた場合は番号通知方法の設定に従って動作します。→P71
- 国際電話では「186(*31#)」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合は、相手の電話番号がディスプレイに表示されます。このとき、相手の電話番号が電話帳に登録されている場合は、登録されている名前が表示されます。名前の表示→P110　次の場合は、通知されない理由（発信者番号非通知理由）が表示されます。

発信者番号非通知理由	意　味
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話から発信した場合※1
通知不可能	発信者番号を送出することができない回線から発信した場合※2

※１：NTTの公衆電話、ドコモの自動車公衆電話からの通話などです。
※２：海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由して着信があった場合などです。ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知される場合もあります。

通話中に保留にする<通話中保留>

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにします。

●保留中も、通話を始めた側に通話料金がかかります。

1 通話中に◯を押す

通話が保留になり、着信ランプが緑色で点滅し、自分と相手の端末にメロディが流れます。テレビ電話通話のときは、相手にはテレビ電話通話中保留画像が送信されます。

音声電話保留中

テレビ電話保留中

- 音声電話の保留中に◯または(文字)を押すと、保留が解除されます。
- テレビ電話の保留中に◯を押すと、保留が解除され、保留前に送信していた画像に戻ります。(▲)を押すと保留が解除されカメラ画像が、(文字)を押すと保留が解除され代替画像が相手に送信されます。→P106

お知らせ

- 通話中クローズ設定で「通話継続(マイクミュート)」に設定しているとき(→P169)は、保留中にFOMA端末をクローズ状態にしてサイドキーを押すと、背面ディスプレイに音声通話の場合は「保留中」、テレビ電話の場合は「TV電話保留中」と相手の情報が表示されます。
- テレビ電話通話中保留画像は変更することができます。→P107
- 保留中に流れるメロディは変更することができます。→P167

前にかけた相手にかけ直す<リダイヤル>

相手が話し中の場合などに、もう一度かけ直します(リダイヤル)。
日付・時刻が設定されていると、電話をかけた最新の日時が記録されます。

- 最大30件記録されます。
- 発着信履歴表示設定を「OFF」に設定しているときは、本機能を利用できません。→P210
- 同じリダイヤルにかけた場合は、通知または非通知でそれぞれ最新の1件のみが記録されます。
- シークレットモードで呼び出した電話番号へ発信した場合でも、リダイヤルの一覧には相手の電話番号が記録されます。
- ダイヤル発信制限やPIMロックを設定するとリダイヤルは削除されます。ダイヤル発信制限やPIMロック設定後に電話をかけた場合はリダイヤルに記録され、リダイヤルから発信することができます。

リダイヤルを表示する

1 待受画面でを押し、かけ直すリダイヤルを選択する

相手の電話番号が電話帳に登録されている番号と一致した場合は、名前と画像が表示されます。プライバシーモード起動中やシークレットモード中の名前の表示→P110

：テレビ電話の発信

選択されている相手への発信日時、電話番号、発信の状態が表示されます。

：発番号通知を設定した音声電話／テレビ電話の発信→P71

：発番号非通知を設定した音声電話／テレビ電話の発信→P71

2 を押す

音声電話がかかります。

- テレビ電話をかけるときはを押します。
- を押すと、選択しているリダイヤルの発信方法(音声電話／テレビ電話)と同じ方法で電話をかけます。
- を1秒以上押すと、リダイヤルの電話番号を宛先にしたショートメッセージ(SMS)の作成画面が表示されます。を押すと、リダイヤルの電話番号がメールアドレスとともに電話帳に登録されている場合はその1件目のメールアドレスを宛先に、それ以外の場合はリダイヤルの電話番号を宛先にしたｉモードメールの作成画面が表示されます。

お知らせ

- リダイヤルが30件を超えた場合は、古いものから削除されます。
- プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)は、リダイヤルを表示すると、電話帳に登録されていても名前は表示されずに電話番号が表示されます。
- 電話番号の通知／非通知を切り替えて電話をかける→P71
- プレフィックス設定で登録されている番号を付けてから電話をかける→P76、P164
- スピーカーホン機能を利用する→P69、P95
- リダイヤルに記録されている電話番号を電話帳に登録する→P126

リダイヤルを削除する

1件ずつ削除することも、すべてのリダイヤルをまとめて削除することもできます。

1 待受画面で[方向キー右]を押す

リダイヤルの一覧が表示されます。

2 削除するリダイヤルを選択して[MENU][8][1]を押す

- リダイヤルを全件削除するときは[MENU][8][2]を押します。

3 「はい」を選択して[決定]を押す

リダイヤルが削除されます。

4 [電源]を押す

待受画面に戻ります。

国際電話の利用について<WORLD CALL>

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

- 通話方法

> [0][0][9][1][3][0]▶[0][1][0]▶国番号▶市外局番▶相手先電話番号▶[発信]
> ※上記の操作方法をFOMA端末の電話帳に登録することができます。
> ※市外局番が「0」で始まる場合には「0」を除いてダイヤルしてください(ただし、 イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です)。

- 通話先は世界約220の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせてご請求します。
- 申込手数料・月額使用料は不要です。

※ FOMAサービスをご契約のお客様はお申し込み不要でご利用いただけます。

- 国際電話ダイヤル手順の変更について
  携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順(上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの)ではご利用いただけませんので、ご注意ください。

WORLD CALL	お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉	
	■ドコモの携帯電話、PHS からの場合 (局番なしの) 151 (無料) ※一般電話からはご利用になれません。	■一般電話などからの場合 (フリーダイヤル 携帯・PHS OK) 0120-800-000 ※ドコモの携帯電話、PHS からもご利用になれます。

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。
※ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
※ご契約の料金プランによっては本サービスをご利用いただけない場合があります。

- 海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様※1に対し、上記ダイヤル方法のあとにテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。※2

※1：2004年5月現在、ハチソン3G UK（イギリス）およびハチソン3G HK（香港）と通信可能。
※2：国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。
※1・2：詳しくはドコモのホームページを参照ください。

お知らせ

- プレフィックス設定をご利用いただくと、簡単な操作で国際電話サービスをご利用いただけます。→下記、P164

簡単な方法で国際電話をかける

プレフィックスを利用して簡単に国際電話をかけることができます。

- お買い上げ時、「プレフィックス設定」には国際電話用の「009130010」が登録されています。→P164

1 待受画面で国番号を含めた電話番号を入力する

2 MENU 7 1 を押す

3 📞 を押す

国際電話がかかります。

お知らせ

- 国番号を含めた電話番号をあらかじめ電話帳に登録しておくと、簡単に国際電話をかけることができます。→P164

電話を受ける

ここでは、音声電話の受けかたを説明します。

- 圏外、Self（セルフモード中）、（データ転送モード中）が表示されているときは電話を受けることはできません。
- ビル電話・PBXなど、ダイヤル市外通話のできない電話機からは、FOMA端末へもかけられません。

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ディスプレイのバックライトが点灯し、着信ランプが点灯／点滅します。

- （電源）を押すと応答保留の状態になります。→P85

2 （文字）を押す

お話しください。通話時間が表示されます。

- を押すと通話中保留の状態になります。→P73
- （文字）を押すとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えることができます。

3 お話しが終わったら（電源）を押す

- FOMA端末をクローズ状態にしても電話を切ることができます（お買い上げ時の設定）。クローズ状態にしても電話が切れないようにするには、「通話中クローズ設定」で設定を変更します。→P169
  スイッチ付イヤホンマイク接続中または外部接続機器（Bluetoothヘッドセットなど）から音を鳴らすように設定して通話中の場合は、FOMA端末をクローズ状態にしても通話は継続されます。
- 通話中にFOMA端末をターン状態にすると、通話中クローズ設定の設定に関わらず「通話継続（マイクミュート）」の状態で通話は継続され、ディスプレイ上部にが表示されます。ただし、次の場合はマイクミュートされずに通話は継続されます。→P169
  - ・スピーカーホン機能を利用して通話中
  - ・スイッチ付イヤホンマイク接続中または外部接続機器（Bluetoothヘッドセットなど）から音を鳴らすように設定して通話中

ディスプレイの表示について

相手からの発信状況やFOMA端末の設定に従って、電話番号や名前、静止画／動画などがディスプレイに表示されます。

- 着モーションについて→P174

■ 相手が電話番号を通知してきたとき

相手の電話番号が電話帳に登録されていない場合は、ディスプレイには相手の電話番号と電話発着信画像設定（→P184）で設定した画像が表示されます。着信音設定（→P173）の電話／TV電話に「iモーション」を設定している場合は、電話発着信画像設定の設定に関わらず、iモーションの映像が再生されます。ただし、iモーションが音声のみの場合は、お買い上げ時の着信画像が表示されます。

着信中

鈴木 太郎
090XXXXXXXX

相手の電話番号が電話帳に登録されている番号と一致した場合は、ディスプレイに名前や電話帳に設定している静止画／動画が表示されます。名前の表示→P110
各着信音の設定に「ｉモーション」を設定している場合は、「1.電話帳の着信音→2．電話帳の画像→3．着信音設定の電話／TV電話(→P173)」の優先順位で設定したｉモーションの映像が再生されます。ｉモーションや電話帳の画像を設定していない場合は、電話発着信画像設定(→P184)で設定した画像が表示されます。

■ 相手の都合で電話番号が通知されなかったとき

着信中

非通知設定

通知されなかった理由が表示されます。→P72
各着信音の設定に「ｉモーション」を設定している場合は、「1.発番号なし動作設定→2.着信音設定の電話／TV電話(→P173)」の優先順位で設定したｉモーションの映像が再生されます。ｉモーションを設定していない場合は、電話発着信画像設定(→P184)で設定した画像が表示されます。

着信中の操作について

音声電話がかかってきたとき、着信音が鳴っている間にサブメニューから次の操作ができます。
通話中に別の電話がかかってきたときの操作も同様です。

サブメニュー	説　明
1留守番電話※1	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターへ転送します。
2着信拒否	電話が切れます(相手側に通話料金はかかりません)。
3転送でんわ※2	かかってきた電話を転送登録先へ転送します。

※1： 留守番電話サービスをご契約いただき、音声電話がかかってきた場合のみ有効です。
※2： 転送でんわサービスをご契約いただき、転送先が登録されている場合に有効です。

着信中には、次の操作もできます。
- サイドキー[▲]を1秒以上押すと伝言メモで応対することができます(クイック伝言メモ)。→P89
- 着信音量を調整したり、バイブレータの動作を止めたりすることができます。→P51、P83

お話し中に「ププ‥ププ‥」という音(通話中着信音)が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホンサービス、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただき、サービスを「開始」に設定すると、通話中に別の電話がかかってくると「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作が可能です。

ご契約の内容	動　作
留守番電話サービス	留守番電話サービスセンターへ転送します。→P281
キャッチホンサービス	通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答します。→P286
転送でんわサービス	転送登録先へ転送します。→P289

FOMA端末をクローズ状態にしているとき

電話がかかってきたことを着信ランプの点灯／点滅と背面ディスプレイの表示、および着信音でお知らせします。FOMA端末をオープン状態にするだけでは電話に出ることはできません。

- 音声電話がかかってきたときは「着信中」、テレビ電話がかかってきたときは「TV電話着信中」と表示されます。
- 電話番号が通知されたときは、背面ディスプレイにも電話番号や、電話帳に登録している名前などが表示されます。
  - ・FOMA端末(本体)電話帳にシークレット属性が設定されている場合は、シークレットモードを設定しているときのみ名前が表示されます。
  - ・PIMロック中またはプライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)は、電話帳に登録されている相手から電話がかかってきても、相手の名前は表示されません。
  - ・背面情報表示設定で「相手情報表示なし」に設定している場合は表示されません。→P188
- 電話番号が通知されない場合は、発信者番号非通知理由が表示されます。→P72

お知らせ

- マナーモード中、ドライブモード中、着信音設定が「OFF」に設定されている場合は、着信音は鳴りません。オリジナルマナーモードが設定されている場合は、その設定に従って動作します。
- 電話帳に登録されていない相手からの着信に対して、着信音やバイブレータなどでの呼出動作をすぐに開始しないように設定できます。→P160
- すばやく応答することができます(エニーキーアンサー機能)。
  エニーキーアンサー設定を「ON」にしていると、電話がかかってきたとき、[文字]以外に[0 わをん 記号]～[9 WXYZ]、[# マナー]、[* http://]のいずれかを押して電話を受けることができます。ただし、通話中着信時は[文字]のみ有効です。
  エニーキーアンサー設定→P169
- 通話中に自分の電話番号(自局電話番号)を確認するには、[TASK][0 わをん 記号]、またはサイドキー[ ][0 わをん 記号]を押します。→P275
- 音声電話通話中は、テレビ電話や64Kデータ通信の着信があっても電話を受けたり通信を受信することはできません。キャッチホンサービスを契約しているときは、着信履歴には不在着信として残ります。テレビ電話通話中に音声電話やテレビ電話の着信があった場合も同様です。
  キャッチホンサービスについて→P286
- 音声電話通話中にｉモードに接続するなど、パケット通信も同時に使用できます。→P269
- 転送された他のFOMA端末からの電話を着信した場合は、着信中画面の左下に転送元の電話番号が表示されます。転送元の電話番号が電話帳に登録されていても、名前は表示されません。
- 電話帳データの画像選択に動画を設定した相手から電話がかかってきた場合、着信中はディスプレイに動画が再生され、電話帳データに設定された着信音が鳴ります。
- 電話帳データの電話着信音(→P117)や着信音設定(→P173)の電話／TV電話に動画／ｉモーションが設定されている場合は、画像選択の設定に関わらず、着信音に設定された動画／ｉモーション(映像と音声)が再生されます(着モーション)。ただし、着信音に設定した動画／ｉモーションが音声のみの場合には、着信中はディスプレイにお買い上げ時の画像が表示されます。 着モーションについて→P174
- ソフトウェア更新中に音声電話の着信があった場合、着信音に動画／ｉモーションを設定していても再生されません。
- 着信音にｉモーションを設定している場合、ｉモーションの削除や保存を行っているときに電話の着信があると、設定に関わらず着信音が「Chicken」になることがあります。メロディや発着信画像を設定している場合も、メロディや画像の削除や保存を行っているときに電話の着信があると、「着信音1」、「標準画像」になることがあります。
- 通話中は、通話時間表示の秒数カウントの表示がスムーズでない場合があります。
- ハンズフリー機器、Bluetoothヘッドセットを使って話す→P84
- 国際電話を着信した場合、発信者番号の先頭に「＋」が表示されます。
- スイッチ付イヤホンマイクの使いかた→P353

着信履歴を利用する<着信履歴>

かかってきた電話に応答した履歴や、電話に出なかったとき(不在着信)の履歴を記録しておく機能です。伝言メモに録音されたときも記録されます。
日付・時刻が設定されていると、電話がかかってきた日時が記録されます。また、電話番号が通知されたときは、その番号も記録されます。

● 最大30件記録されます。
● PIMロックを設定すると着信履歴は削除されます。PIMロック設定後に受けた電話は電話番号のみ表示され、発信もできます。
● ダイヤル発信制限を設定すると、着信履歴は削除されます。ダイヤル発信制限設定後に受けた電話は記録され、ダイヤル発信制限解除後に発信できます。
● 発着信履歴表示設定を「OFF」に設定しているときは、本機能を利用できません。→P210

着信履歴を表示する

1 待受画面で を押し、目的の着信履歴を選択する

電話番号が通知されたときは電話番号が、通知されなかったときは発信者番号非通知理由が表示されます。
相手の電話番号が電話帳に登録されている番号と一致した場合は、名前と画像が表示されます。プライバシーモード起動中やシークレットモード中の名前の表示→P110

：テレビ電話の着信
：64Kデータ通信の着信

選択されている相手の着信日時、電話番号、履歴の状態、呼出時間が表示されます。

：不在着信(未確認)
：不在着信(確認済み)
：伝言メモあり
：伝言メモ削除済み

- 不在着信の場合は、着信してから相手が呼び出しをやめるまでの時間(呼出時間)も表示されるので、覚えのない番号からの不在着信があった場合、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話(「ワン切り」など)かどうかを確認できます。
- 着信呼出動作開始時間設定を「ON」に設定しているときは、設定した開始時間に満たなかった不在着信は呼出開始時間内履歴として記録され、表示されません。→P160
該当する不在着信のみを表示するには MENU 9 2 を押します。通常の着信履歴を表示するには MENU 9 1 を押します。
- 呼出開始時間内の不在着信のみが着信履歴に記録されている場合、待受画面で を押すと、表示されていない着信履歴がある旨の確認画面が表示されます。「はい」を選択して を押すと、呼出開始時間内履歴が表示されます。
- を1秒以上押すと、着信履歴の電話番号を宛先にしたショートメッセージ(SMS)の作成画面が表示されます。 を押すと、着信履歴の電話番号がメールアドレスとともに電話帳に登録されている場合はその1件目のメールアドレスを宛先に、それ以外の場合は着信履歴の電話番号を宛先にしたｉモードメールの作成画面が表示されます。
ただし、発信者番号非通知理由(→P72)の着信履歴を選択した場合は、 を1秒以上押すと宛先が設定されていないショートメッセージ(SMS)の作成画面が、 を押すと宛先が設定されていないｉモードメールの作成画面が表示されます。

2 電源を押す

待受画面に戻ります。

着信履歴から電話をかける

着信履歴の一覧で目的の着信履歴を選択して[通話/文字]を押すと、電話をかけられます。

- [決定]を押すと、選択している着信履歴の着信方法(音声電話／テレビ電話)と同じ方法で電話をかけます。
- テレビ電話をかけるときは、目的の着信履歴を選択して[テレビ電話]を押します。
- 電話番号の通知／非通知を切り替えて電話をかける→P71
- プレフィックス設定で登録されている番号を付けてから電話をかける→P76、P164
- スピーカーホン機能を利用する→P69、P95

かかってきた電話に出なかったとき(不在着信)

かかってきた電話に出なかったときは、待受画面にマークと不在着信件数(数字は不在着信件数)が表示されます。また、FOMA端末がクローズ状態のときにサイドキー[▲]を2回押すと、背面ディスプレイにが表示されます。

- 待受画面のマークを選択して着信日時などをすばやく確認できます。→P52
- FOMA端末がクローズ状態のときに、不在着信件数などを確認できます。→P43

お知らせ

- 着信履歴が30件を超えた場合は、古いものから削除されます。
- 会社などでダイヤルインをご利用の相手からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります(ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです)。
- 着信履歴に記録されている電話番号を電話帳に登録する→P126
- プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)に、電話帳に登録されている相手からの不在着信があっても、名前は表示されずに電話番号のみが表示されます。

着信履歴を削除する

1件ずつ削除することも、すべての着信履歴をまとめて削除することもできます。

1 待受画面で[着信履歴]を押す

着信履歴の一覧が表示されます。

2 削除する着信履歴を選択して[MENU][8][1]を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 着信履歴を全件削除するときは[MENU][8][2]を押します。

3 「はい」を選択して[決定]を押す

着信履歴が削除されます。

4 [電源]を押す

待受画面に戻ります。

相手の声の音量を調整する<受話音量調整>

お買い上げ時 レベル4

相手の声の大きさを調整します。

- レベル1(最小)〜レベル6(最大)の6段階で調整できます。
- キー確認音、伝言メモ・音声メモの再生音、警告音の音量も連動します。
- 通話中に変更された音量は、通話終了後も保持されます。
- 受話音量は電源を切っても保持されます。

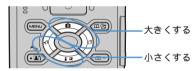
通話中に調整する

1 通話中にサイドキー[▲▼]または[カメラキー][iαキー]を押す

2 音量を調整する

- 次のキーで音量を調整できます。

〈サイドキーを使うとき〉

〈マルチカーソルキーを使うとき〉

- [決定キー]を押すか、キーの操作を止めてしばらくすると、自動的に音量が設定されます。
- テレビ電話通話中の音量調整はサイドキーのみ有効です。このとき、調整音量は画面右下に一時的に表示されます。

待受中に調整する

1 待受画面で[MENU][電話帳/履歴][8][1][3]を押す

受話音量調整画面が表示されます。

2 音量を調整する

3 [決定キー]を押す

音量が設定されます。

4 [電源キー]を押す

待受画面に戻ります。

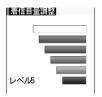
着信音の音量を調整する<着信音量調整>

お買い上げ時	レベル4

着信音の大きさを調整します。

● 消音、レベル1～レベル6の7段階で調整できます。待受中はステップトーンも設定できます。
● メール受信時の着信音量、スケジュールアラームなどの音量も連動します。
● 着信中に変更された音量は、通話終了後も保持されます。
● 着信音量は電源を切っても保持されます。

着信中に調整する

1 着信中に[▲][▼]を押して音量を調整する

キーの操作を止めてしばらくすると自動的に音量が設定されます。

• 通常マナーモードを設定中、または着信音設定を「OFF」に設定している場合は、着信中に音量調整はできません。

お知らせ

• 着信中にサイドキー[▲]を押すと、着信音とバイブレータの動作が止まります(消音になります)。
• 音量調整のキー→P82

待受中に調整する

1 待受画面で[MENU][電話帳][8][1][2]を押す

着信音量調整画面が表示されます。

2 音量を調整する

• 操作方法→P82
• レベル6のときに、[▲]または[サイドキー上]を押すと、ステップトーン(消音→レベル1…→レベル6)になります。また、レベル1のときに、[▼]または[サイドキー下]を押すと、消音になります。

3 [決定]を押す

音量が設定されます。

4 [電源]を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

• 着信音を消音に設定した場合は、待受画面にSが表示されます(S:SILENT(サイレント))。また、同時にバイブレータを設定した場合は、SVが表示されます。FOMA端末がクローズ状態のときにサイドキー[▲]を2回押すと、背面ディスプレイにSまたはSVが表示されます。
• 着信音を消音に設定しても、電話がかかってきたときにディスプレイのメッセージ表示の他にバイブレータの振動や着信ランプの点灯／点滅、背面ディスプレイのメッセージ表示でお知らせするように設定できます。→P158、P188、P246

車の中で手を使わずに話す＜車載ハンズフリー＞

ハンズフリー機器（カーナビゲーションなど）と接続することで、ハンズフリー機器から音声電話やテレビ電話の発着信などの操作ができます。
FOMA端末は、2つの方法でハンズフリー機器と接続することができます。
・FOMA USB 接続ケーブルや、市販のUSBケーブルと付属の卓上ホルダで接続する
・Bluetooth（ワイヤレス）で接続する
ハンズフリー機器の操作については、各ハンズフリー機器の取扱説明書をご覧ください。
※この機能は、対応機器がリリースされた場合に利用可能なオプション機能です。

● Bluetooth対応のハンズフリー機器を使用した音声電話やテレビ電話通話中にFOMA端末のを1秒以上押すと、音声がFOMA端末に切り替わります。

お知らせ

- 着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー機器から音を鳴らす設定にしている場合、ハンズフリー機器を接続中は、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音設定を「OFF」に設定していても、電話の着信時にハンズフリー機器から着信音が鳴ります。音量は着信音量の設定に従います。ただし、メール受信時には着信音は鳴りません。
- ドライブモード設定中の着信動作は、FOMA端末の設定に従います。→P86
- ハンズフリー機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、ハンズフリー機器からの通信速度設定に従います。設定されていない、またはBluetooth対応のハンズフリーの場合は、64K固定でテレビ電話を発信します。
- ハンズフリー機器からテレビ電話をかけた／受けた場合、相手には代替画像が送信されます。→P106
- ハンズフリー機器に接続中にFOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合は、通話中にFOMA端末をクローズ状態にすると通話中クローズ設定の設定に従って動作します。ハンズフリー機器から音を鳴らす設定にしている場合は、通話中クローズ設定の設定に関わらずFOMA端末をクローズ状態またはターン状態にしても通話は継続されます。
- 伝言メモ設定中は、ハンズフリー機器と接続中でも伝言メモの設定に従い動作します。→P88
- Bluetooth対応のハンズフリー機器と接続するには、機器の登録や接続が必要です。
→『アプリケーション編』P379
- ハンズフリー機器の特性や仕様によっては、FOMA端末の一部の通話操作が使用できないことがあります。
- 2004年5月現在、対応機器はリリースされておりません。

Bluetoothヘッドセットを使って話す＜Bluetoothヘッドセット＞

オプションのBluetoothヘッドセットとFOMA端末をBluetoothで接続することで、ワイヤレスで音声電話の発着信やテレビ電話の着信などの操作ができます。
Bluetoothヘッドセットの操作については、『アプリケーション編』P375以降およびBluetoothヘッドセットの取扱説明書をご覧ください。

● Bluetoothヘッドセットを使用するときは、FOMA端末の受話音量調整（→P82）や着信音量調整（→P83）など、各受話音量や着信音量を上げすぎないように注意してください。また、Bluetoothヘッドセットの音量を上げすぎないように注意してください。
● Bluetoothヘッドセットを使用した音声電話やテレビ電話通話中にFOMA端末のを1秒以上押すと、音声がFOMA端末に切り替わります。
● ヘッドセットを使用してテレビ電話で通話する場合は、FOMA端末を操作して発信後、ヘッドセットを操作してヘッドセットに通話機切替を行ってください。

お知らせ

- Bluetoothヘッドセットを接続中に電話の着信があった場合、イヤホン切替設定の設定に従って動作します。→P266
- Bluetoothヘッドセットから音を鳴らす設定にしている場合、Bluetoothヘッドセットを接続中は、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音設定を「OFF」に設定していても、電話の着信時にBluetoothヘッドセットから着信音が鳴ります。音量は着信音量の設定に従います。ただし、メール受信時には着信音は鳴りません。
- 着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- Bluetoothヘッドセットの操作でテレビ電話発信はできません。
- ドライブモード設定中の着信動作はFOMA端末の設定に従います。→P86
- Bluetoothヘッドセットを接続中にFOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合は、通話中にFOMA端末をクローズ状態にすると通話中クローズ設定の設定に従って動作します。Bluetoothヘッドセットから音を鳴らす設定にしている場合は、通話中クローズ設定の設定に関わらずFOMA端末をクローズ状態またはターン状態にしても通話は継続されます。

すぐに電話に出られないとき保留にする<応答保留>

電話がかかってきたとき、すぐに出られない場合は保留にします。

●応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

1 着信中に電源を押す

応答保留になります。相手には「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」という応答保留ガイダンスが流れます。テレビ電話がかかってきたときは、相手にはテレビ電話応答保留画像が送信されます。電話はつながった状態のまま保留になります。

音声電話応答保留中

テレビ電話応答保留中

- 応答保留中に電源を押すか、相手が電話を切ると、通話は切れます。

2 電話に出られる状態になったら文字を押す

保留が解除されます。

- テレビ電話の場合はを押します。文字を押すと、相手には代替画像が送信されます。→P106

お知らせ

- 応答保留ガイダンスは自分の声で録音できます。→P168
- テレビ電話応答保留画像は変更することができます。→P107

電話に出られないときの応対方法を設定する

Bluetoothヘッドセット／応答保留

ドライブモードを利用する＜ドライブモード＞

ドライブモードは、運転中の安全性を重視した自動応答サービスです。ドライブモードに設定すると、運転中のために電話に出られないことを伝えるガイダンスが相手に流れ、通話を終了します。

● ドライブモード中は、電話の着信やメール・メッセージR/Fの受信、スケジュールや目覚ましが起動しても、着信音、スケジュールアラーム、目覚まし音は鳴りません。また、バイブレータや着信ランプも動作しません。

● 電源が入っていないときや圏外にいるときは、相手には圏外時のガイダンスが流れ、ドライブモードのガイダンスは流れません。

● ドライブモード中は、充電確認音設定を「ON」に設定しても、充電の開始／終了時に充電確認音は鳴りません。→P176

● ドライブモードはお申し込み不要です。また、月額使用料もかかりません。

● 圏外が表示されているときでも、ドライブモードの設定や解除ができます。

詳細は『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

ドライブモードを起動する

待受中にドライブモードを設定していて電話がかかってきたときは、次のように動作します。

- 音声電話をかけてきた相手の端末にドライブモードのガイダンスが流れ、切断されます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には 2 が表示され、着信履歴に記録されます。
- テレビ電話をかけてきた相手の端末に「ドライブモード中です」と表示され、切断されます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には 2 が表示され、着信履歴に記録されます。

1 待受画面で ＊ を1秒以上押す

ドライブモードが設定されます。

- ドライブモード中は待受画面に が表示されます。FOMA端末がクローズ状態のときにサイドキー[▲]を2回押すと、背面ディスプレイに が表示されます。
- マナーモードを同時に設定しているときは、ドライブモードの設定が優先されます。

ドライブモードを解除する

1 ドライブモード中に ＊ を1秒以上押す

ドライブモードが解除されます。

- 待受画面から 、背面ディスプレイから が消えます。

お知らせ

- ドライブモードを設定していても、電話をかけることはできます。
- ドライブモード中の着信と、各ネットワークサービスの関係は次のとおりです。ネットワークサービス→P280

サービス名	動　作
留守番電話サービス	• 音声電話をかけてきた相手の端末にはドライブモードのガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。お客様のFOMA端末は着信動作を行いません。待受画面には（数字は不在着信件数）が表示され、着信履歴に記録されます。 ただし、留守番電話サービスの呼出時間を「0秒」に設定した場合、相手の端末にはドライブモードのガイダンスは流れずに留守番電話サービスセンターに接続する旨のガイダンスが流れます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、着信履歴にも記録されません。 • テレビ電話の場合、相手の端末には「ドライブモード中です」と表示され、お客様のFOMA端末には接続されません。
転送でんわサービス	• 音声電話をかけてきた相手の端末にはドライブモードのガイダンスが流れた後、指定した転送先に転送されます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には（数字は不在着信件数）が表示され、着信履歴に記録されます。 ただし、転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定した場合、相手の端末にはドライブモードのガイダンスは流れずに指定した転送先に転送されます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、着信履歴にも記録されません。 • テレビ電話の場合の動作→ P289
キャッチホンサービス	• 音声電話通話中の場合、音声電話をかけてきた相手の端末にはドライブモードのガイダンスが流れます。音声電話やテレビ電話通話中の場合、テレビ電話をかけてきた相手の端末には「接続できませんでした」と表示されます。どちらの場合もお客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には（数字は不在着信件数）が表示され、着信履歴に記録されます。
迷惑電話ストップサービス	• 音声電話をかけてきた相手が着信拒否に登録されている場合、相手の端末には着信拒否ガイダンスが流れます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、着信履歴にも記録されません。 • テレビ電話の場合、相手の端末には「接続できませんでした」と表示され、お客様のFOMA端末には接続されません。
番号通知お願いサービス	• 音声電話をかけてきた相手が電話番号を通知していない場合、相手の端末には番号通知お願いガイダンスが流れます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、着信履歴にも記録されません。 • テレビ電話の場合、相手の端末には「ドライブモード中です」と表示され、お客様のFOMA端末には接続されません。

電話に出られないときに用件を録音する<伝言メモ>

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスを再生し、相手の用件を録音します。
日付・時刻が設定されていると、用件を録音した日時も自動的に記録されます。また、電話番号が通知されたときは、その番号なども記録されます。

- 音声電話・テレビ電話合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音できます。
- テレビ電話に伝言メモで応答した場合、音声電話と同様に音声のみ録音され、画像は録画されません。
- 電話がかかってきてから応答ガイダンスを再生するまでの時間を変更できます。→P90
- 自分の声でオリジナルの応答ガイダンスを作成できます。→P90
- 伝言メモの内容は、手帳などに別にメモをお取りくださるようお願いします。
  FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音内容が消失してしまう場合もあります。万一、録音内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

伝言メモを設定する

- FOMA端末をオープン状態またはターン状態で操作してください。

1 待受画面でサイドキー[▲]を1秒以上押す

伝言メモが設定されます。

- 伝言メモ設定中は待受画面にが表示されます。FOMA端末をクローズ状態にしているときにサイドキー[▲]を2回押すと、背面ディスプレイにが表示されます。

お知らせ

- 伝言メモが4件録音されると、待受画面に(FOMA端末がクローズ状態のときにサイドキー[▲]を2回押すと、背面ディスプレイに)が表示されます。
- 伝言メモが既に4件録音されている場合は、伝言メモを設定できません。不要な伝言メモを削除してから操作をやり直してください。→P92

伝言メモを解除する

- FOMA端末をオープンまたはターン状態にして操作してください。

1 伝言メモ設定中に待受画面でサイドキー[▲]を1秒以上押す

伝言メモが解除されます。

- 待受画面から、背面ディスプレイからが消えます。ただし、伝言メモが4件録音されているときは、伝言メモを解除しても待受画面から、背面ディスプレイからは消えません。

伝言メモを設定中に電話がかかってくると

1 電話がかかってくる

応答時間の設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモガイダンス中画面が表示され、自動的に伝言メモ機能が応答します。

- 応答ガイダンスを「内蔵音」に設定しているときは、相手には「ただいま、電話に出ることができません。ピーッという発信音の後に30秒以内でメッセージをお話しください。なお、テレビ電話の場合でも音声メッセージのみのお預かりとなります。」というガイダンスが流れます。応答ガイダンスを「録音データ」に設定しているときは、自分で録音したガイダンスが流れます。
- 着信中や応答ガイダンス中に電話に出ることができます。を押すと通常の音声電話通話またはテレビ電話通話(相手には代替画像を送信)になり、を押すと自画像を送信してのテレビ電話通話になります。

2 相手のメッセージが録音される

音声電話伝言メモ録音中　テレビ電話伝言メモ録音中

- 録音の開始時と終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。また、録音開始時から約25秒後に、録音終了予告音(ピピッ)が鳴ります。
- 伝言録音中に電話に出ることができます。(通話キー)を押すと通常の音声電話通話またはテレビ電話通話(相手には代替画像を送信)になり、(カメラキー)を押すと自画像を送信してのテレビ電話通話になります。このとき、電話に出るまでの録音内容は記録されません。

3 録音が終了すると、電話が切れる

- 内容を確認していない伝言メモがあるときは、待受画面にマークと伝言メモ件数(1 数字は伝言メモ件数)が表示されます。
- FOMA端末がクローズ状態のときに、伝言メモ件数などを確認できます。→P43

クイック伝言メモで応対する

伝言メモ機能を開始に設定していなくても、着信中にサイドキー[▲]を1秒以上押すと伝言メモ機能を1回だけ動作させることができます。この操作は伝言メモ機能を開始に設定する操作ではありません。

お知らせ

- 圏外が表示されているときは、伝言メモ機能は動作しません。
- 伝言メモが既に4件録音されている場合は、伝言メモ機能は動作せず、着信音が鳴り続けます。また、着信中にサイドキー[▲]を1秒以上押してクイック伝言メモを動作させようとすると、警告音(ピピッ)が鳴り、着信音が鳴り続けます。伝言メモ機能またはクイック伝言メモを動作させるには、録音されている不要な伝言メモを削除してください。→P92
- ドライブモード中はドライブモードが優先され、伝言メモ機能は動作しません。
- 電波の状態により、録音内容が途切れる場合があります。
- 伝言メモで応答した場合でも、着信履歴に記録されます。
- 音声電話の場合、相手の声を録音中は、FOMA端末の受話口から録音中の相手の声が聞こえます。
- 伝言メモ録音中に他の人から電話がかかってきた場合は、着信を拒否して録音を継続します。キャッチホンサービスをご契約の場合、着信履歴に記録されます。
- テレビ電話に伝言メモで応答した場合、相手にはテレビ電話伝言メモ録音中の画像が送信されます。テレビ電話伝言メモ録音中の画像は変更することができます。→P107
- PIMロック中にテレビ電話の伝言メモを起動したときは、TV電話画像選択の伝言メモ画像(→P107)の設定に関わらず、お買い上げ時の画像が表示されます。
- 応答ガイダンス再生中やメッセージ録音中は、FOMA端末の操作状態に関わらず、応答ガイダンスや相手の声がFOMA端末の受話口から漏れることがあります。

録音が始まるまでの時間を設定する<伝言メモ応答時間設定>

お買い上げ時	8秒

電話がかかってきてから応答ガイダンスが流れるまでの時間を設定します。

1 待受画面でサイドキー[▲]1 3を押す

伝言メモ応答時間設定
応答するまでの時間を
設定してください
(0～120秒)
008 秒

2 応答時間を入力して●を押す

応答時間が設定されます。

- 0～120秒の範囲で設定できます。

3 電源を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- オート着信機能設定(イヤホンマイク接続時)・留守番電話サービス・転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの応答時間を留守番電話サービス・転送でんわサービスの呼出時間設定よりも短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されないことがあります。
- 伝言メモが既に4件録音されている場合は、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービス・転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが作動します。
- オート着信機能設定の自動着信機能時間と、伝言メモの応答時間は同じ時間に設定できません。
→P267

伝言メモガイダンスを設定する<伝言メモ応答ガイダンス設定>

お買い上げ時	内蔵音

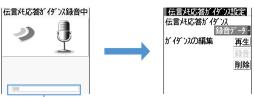
伝言メモの応答ガイダンスを設定します。自分の声を応答ガイダンスとして録音することもできます。

- ●FOMA端末がクローズ状態のときは本機能を利用できません。
- ●ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。

1 待受画面でサイドキー[▲]1 4を押す

2 伝言メモ応答ガイダンス欄を選択して○を押し、1～2を押す

✎ お買い上げ時の応答ガイダンスに戻すときは1を押し、操作4に進みます。

3 「録音」を選択して○を押し、発信音の後に応答ガイダンスを話す

録音できる残り時間の
目安が表示されます。

メッセージが表示された後、録音が開始されます。

- 録音開始から約10秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。

✎ ガイダンスの録音を途中で停止するときは○を押します。

✎ 既に録音データを登録してあるときは「録音」は選択できません。「削除」を選択して○を押し、「はい」を選択して○を押して録音データを削除してください。

✎ 録音した応答ガイダンスを確認するときは「再生」を選択して○を押します。

4 ［メニュー］を押す

応答ガイダンスが設定されます。

5 ［電源］を押す

待受画面に戻ります。

伝言メモを再生／削除する

伝言メモ一覧から、録音された伝言メモを再生／削除します。

● PIMロック中は本機能を利用できません。

伝言メモを再生する

1 待受画面でサイドキー[▲] 2を押す

伝言メモ
2004/07/07(水) 10:51
鈴木 太郎
2004/07/09(金) 21:48
鈴木 太郎
2004/07/09(金) 22:59
090XXXXXXXX
2004/07/11(日) 08:05
非通知設定
090XXXXXXXX

伝言メモの録音日時

電話番号が通知されたときは電話番号が、通知されなかったときは発信者番号非通知理由が表示されます。
電話帳に登録されている相手の場合は名前が表示されます。プライバシーモード起動中やシークレットモード中の名前の表示→P110

選択されている相手の電話番号

：音声電話伝言メモ（未確認）
：テレビ電話伝言メモ（未確認）
：音声電話伝言メモ（確認済み）
：テレビ電話伝言メモ（確認済み）

2 再生する伝言メモを選択して◯を押す

時間経過の目安が表示されます。

伝言メモが再生されます。

- 伝言メモの再生を途中で停止するときは◯を押します。
- サイドキー[▲▼]または◯◯を押して音量を調整します。
- 再生中に◯を押すと伝言メモがスピーカーから聞こえるようになります(スピーカーホン機能)。再度、◯を押すと受話口から聞こえるようになります。

3 再生した伝言メモを削除するかどうかを選択する

「はい」を選択して◯を押すと、伝言メモが削除されます。

4 ◯電源を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- 伝言メモ一覧で相手を選択して◯を押すと音声電話、◯を押すとテレビ電話をかけることができます。また、サブメニューから発信者番号通知／非通知を設定して音声電話やテレビ電話をかけたり、通信速度を指定してテレビ電話をかけたりすることもできます。
- 伝言メモに記録されている電話番号を電話帳に登録する→P126
- 伝言メモがあるときは、待受画面からすばやく伝言メモを再生できます。→P52

伝言メモを削除する

1件ずつ削除することも、すべての伝言メモをまとめて削除することもできます。

1 待受画面でサイドキー[▲]◯2を押す

伝言メモ一覧が表示されます。

2 削除する伝言メモを選択してMENU 2 1を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 伝言メモを全件削除するときはMENU 2 2を押します。

3 「はい」を選択して◯を押す

伝言メモが削除されます。

4 ◯電源を押す

待受画面に戻ります。

テレビ電話について

FOMA端末では、音声のみで利用する音声電話と、映像を利用するテレビ電話の2種類の方法で電話をかけることができます。
テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。また、自分の映像の代わりに静止画や代替画像、キャラ電(→『アプリケーション編』P23、P94)などを送信することもできます。
ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP(※1)で標準化された、3G-324M(※2)」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。
※ 1：3GPP(3rd Generation Partnership Project)
第三世代移動通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体。
※ 2：3G-324M
第三世代携帯テレビ電話の国際規格。

● テレビ電話の通信速度には、次の2種類があります。
・64K：通信速度64kbpsで通信をします。
・32K：通信速度32kbpsで通信をします。

テレビ電話中の画面の見かた

①	親画面	—
②	通信速度	[64K]：64K　[32K]：32K
③	テレビ電話の状態	表示なし：通常の通話中　[icon]：スピーカーホン機能利用中 [icon]：通話継続(マイクミュート)中
④	子画面	—
⑤	ズーム	[*1]：標準～[*12]：12倍(アウトカメラ) [*1]：標準～[*2]：2倍(インカメラ)
⑥	状態	[icon]：自画像送信中　[icon]：代替画像送信中 [icon]：キャラ電中　[icon]：フレーム送信中 [icon]：静止画送信中　[icon]：通話保留中 [icon]：応答保留中　[icon]：伝言メモ中 [icon]：音声メモ録音中
	アクションモード	[Action]：全体アクション　[Parts]：パーツアクション
⑦	撮影効果モード	[STD]：標準　[icon]：逆光　[icon]：セピア [icon]：モノトーン　[icon]：海・雪　[icon]：夕焼け
⑧	ワンタッチライト	表示なし：消灯　[icon]：点灯
⑨	送信画像品質	表示なし：標準　[HQ]：画質優先　[icon]：動き優先
⑩	チャンネル開設状態	[A]：音声チャンネル開設 [V]：映像チャンネル開設 [AV]：音声・映像チャンネル開設
	受話音量／スピーカーホン音量	通常：表示なし 受話音量／スピーカーホン音量調整中：[1]～[6]
⑪	通話時間	HH:MM:SSの形式で表示

テレビ電話をかける

ここでは、テレビ電話のかけかたを説明します。

- 圏外が表示されているときはテレビ電話をかけることはできません。
- 他の機能を実行中にテレビ電話をかけることができない場合があります。→P349、P351
- オールロック中はテレビ電話をかけることはできません。→P204
- ダイヤル発信制限中は、ダイヤルキーを押してテレビ電話をかけることはできません。→P207
- 相手の顔を見ながらテレビ電話通話をするには、スピーカーホン機能を利用するか、スイッチ付イヤホンマイクなどを接続してください。→P95、P353
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して、国際テレビ電話を利用することができます。→P75

1 待受画面で電話番号を入力する

- 音声電話の入力方法と同じです。→P68
- 電話番号を入力して[MENU][5]または[MENU][6]を押すと、通信速度（64Kまたは32K）を指定してテレビ電話をかけることができます。

2 [▲]を押す

テレビ電話接続中は、自分の画像が表示されます。

- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえ、ディスプレイには「お話中です」または「接続できませんでした」のメッセージが表示されます。[電源]を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。→P74
- 画面に「TV電話接続」と表示された時点から課金が始まります。

3 通話する

画面には、相手の画像が表示されます。

- [ ]を押すと通話中保留の状態になり（→P73）、相手にはテレビ電話通話中保留画像が送信されます。
- 相手の設定により画像が送信されなかった場合は、相手の画像は表示されず、代替画像などが表示されます。
- [文字]を押すとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えることができます。
- 通話中は、[▲]を押すたびに相手に送信する画像が「自画像」と「代替画像」とで切り替わります。→P99

4 お話しが終わったら[電源]を押す

- FOMA端末をクローズ状態にしても電話を切ることができます（お買い上げ時の設定）。クローズ状態にしても電話が切れないようにするには、「通話中クローズ設定」で設定を変更します。→P169
  スイッチ付イヤホンマイク接続中または外部接続機器（Bluetoothヘッドセットなど）から音を鳴らすように設定して通話中の場合は、FOMA端末をクローズ状態にしても通話は継続され、相手には代替画像が送信されます。→P106
- 通話中にFOMA端末をターン状態にすると、通話中クローズ設定の設定に関わらず「通話継続（マイクミュート）」の状態で通話は継続され、ディスプレイ上部にが表示されます。ただし、次の場合はマイクミュートされずに通話は継続されます。→P169
  - ・スピーカーホン機能を利用して通話中
  - ・スイッチ付イヤホンマイク接続中または外部接続機器（Bluetoothヘッドセットなど）から音を鳴らすように設定して通話中

スピーカーホン機能を利用する

待受画面で電話番号を入力して[キー]を1秒以上押すと、相手の声がスピーカーから聞こえる状態でテレビ電話をかけることができます(スピーカーホン機能)。発信中や通話中は、[キー]を押すたびに通常の通話とスピーカーホン機能を利用した通話の切り替えができます。

テレビ電話の状態	画面表示	音声の出力
通常の通話中	−	受話口
スピーカーホン機能利用中	[アイコン]	スピーカー

- スピーカーホン機能を利用した通話に切り替えると、音量が急に大きくなり耳に傷害を与える恐れがありますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。
- 通話中、周囲や相手側の雑音が大きい場合は、聞き取りにくいことがあります。通常の通話を行ってください。

テレビ電話通話中の操作について

テレビ電話通話中にサブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明
1 カメラ切り替え	インカメラ／アウトカメラを切り替えます。→P100
2 ワンタッチライトON／OFF	ワンタッチライトの点灯／消灯を切り替えます。→P100
3 TV電話カメラ設定	表示する画像に効果をかけたり、テレビ電話カメラ画像の明るさや色の濃さなどを設定したりします。→P101
4 受信画像品質設定	受信画像の品質を設定します。ただし、相手端末の機能によっては設定が有効にならない場合があります。→P102
5 TV電話動作設定	通話中に表示する画面の設定を変更します。→P103
6 キャラ電設定	キャラ電データの変更、全体アクションとパーツアクションの切り替え、アクションの選択をします。→『アプリケーション編』P23、94
7 ファイル送信	相手に送信するフレームや静止画を変更します。→P103、104
8 DTMF入力	テレビ電話通話中にプッシュ信号(DTMF)を送信します。→P104

通話中には、次の操作もできます。

- サイドキー[▲]を1秒以上押すと通話中音声メモで相手の声を録音できます。→P248
- サイドキー[▲▼]を押すと受話音量を調整できます。

キャラ電を利用する

キャラ電とは、テレビ電話通話中の相手に、自画像を送信する代わりにキャラクタを送信する機能です。キャラクタは音に反応して口を動かしたり、ダイヤルキーにより操作することができます。→『アプリケーション編』P23、P94

- キャラクタを操作するためのダイヤルキー入力では、キー確認音は鳴りません。

キャラ電

©BVIG

お知らせ

- 操作1と操作2を逆にしてもテレビ電話をかけられます。(▲👤)を押して電話番号を入力した後、約5秒経過すると自動的にテレビ電話がかかります。
- 代替画像やキャラ電を利用しても、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になりますのでご注意ください。
- テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージ(文字情報)が表示され、自動的に待受画面に戻ります。なお、通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。

メッセージ	説　明
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号です。
お話中です	相手が話し中、またはパケット通信中です。
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が電波の届かない所にいるか、電源が入っていません。
ドライブモード中です	相手がドライブモードを設定しています。
接続できませんでした	上記以外の場合に表示されます。

- 32Kによるテレビ電話は、ネットワーク状況によって64Kでのテレビ電話が利用できないPHSなどの機器と接続するためのものです。64Kでテレビ電話をかけたときでも相手が32Kエリアなどの通信環境だった場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。音声自動再発信設定(→P105)が「ON」に設定されている場合も、32Kでの再発信が優先されます。
  ※32Kでテレビ電話接続をした場合でも、64Kで接続したデジタル通信料と同一になります。
- テレビ電話をかけてつながらなかった場合、次のように再発信が自動で行われます。

発信方法	音声自動再発信設定	再発信動作
64K	ON	64K→32K→音声
	OFF	64K→32K→切断
32K	ON	32K→音声
	OFF	32K→切断

- テレビ電話の通信速度(64Kまたは32K)をあらかじめ電話帳に登録しておくと、テレビ電話をかける相手によって通信速度を切り替えることができます。→P146　電話番号入力後にサブメニューから通信速度を指定して発信した場合は、サブメニューの指定が有効となります。いずれの指定もされていない場合は64Kで発信します。
- 音声自動再発信(→P105)を「ON」に設定すると、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービス(→P299)でmovaサービスを利用中の場合などに、自動的に音声電話に切り替えて再発信するので、相手へのアクセスがより確実になります。
  ※音声電話で再発信した場合、かかる通話料金は音声通話料になります。
- 音声自動再発信(→P105)を「ON」に設定中にFOMA端末から110番、119番、118番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
- テレビ電話通話中は、音声電話やテレビ電話をかけることができません。また、ｉモード接続や、ｉモードメール、メッセージR/F、ショートメッセージ(SMS)の送受信もできません。
- テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合や、相手がテレビ電話に対応している電話機でも圏外にいる場合や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合で、音声自動再発信の設定を「ON」に設定しているときは、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M(→P93)に対応していないISDNのテレビ電話など(2004年5月現在)、間違い電話をした場合は、このような動作にならない場合があります。通話料金が発生する場合もありますのでご注意ください。
- 電話番号の通知／非通知を切り替えてテレビ電話をかけることができます。→P71
- ポーズやタイマーを入力した場合(→P70)、ポーズやタイマーの前のダイヤルで発信動作を行い、それ以降のダイヤルは無効となります。
- テレビ電話発信中、再発信中に着信があった場合、発信は中断され、着信音が鳴ります。
- テレビ電話通話中は、音声電話や64Kデータ通信の着信があっても電話を受けたり通信を受信することはできません。キャッチホンサービスを契約しているときは、着信履歴には不在着信として残ります。音声電話通話中やテレビ電話通話中にテレビ電話の着信があった場合も同様です。
  キャッチホンサービスについて→P263
- 音声や映像の送受信に失敗した場合(A または V が表示された場合)、自動的に復旧しません。再度テレビ電話をおかけ直しください。
- 通話中に電池残量がなくなった場合、アラーム音が鳴り、自動的に通話が切れます。→P63
- テレビ電話通話中に電波状況が悪くなった場合、画像がモザイク表示になることがあります。
- ハンズフリー機器、Bluetoothヘッドセットを使って話す→P84

テレビ電話を受ける

ここでは、テレビ電話の受けかたを説明します。

● エニーキーアンサー(→P169)ではテレビ電話を受けることができません。

1 電話がかかってくる

TV電話着信中

鈴木 太郎
090XXXXXXXX

着信音が鳴り、ディスプレイのバックライトが点灯し、着信ランプが点灯／点滅します。背面ディスプレイのメッセージ表示で着信をお知らせします。

- 相手からの発信状況やFOMA端末の設定に従って、電話番号や名前、静止画／動画などがディスプレイに表示されます。ディスプレイの表示→P77
- [電源]を押すと応答保留の状態になり、相手にはテレビ電話応答保留画像が送信されます。→P107

2 [▲👤]を押す

テレビ電話接続中は、自分の画像がディスプレイに表示されます。

■ 代替画像でテレビ電話を受けるとき

[☎ 文字]を押す

テレビ電話がつながったときから、相手には自画像の代わりに代替画像が送信されます。

- 代替画像にキャラ電が設定されている場合、キャラ電の起動に失敗することがあります。その場合、相手には代替画像設定の標準画像が送信されます。→P106

3 通話する

画面には、相手の画像が表示されます。

- [　]を押すと通話中保留の状態になり(→P73)、相手にはテレビ電話通話中保留画像が送信されます。
- 相手の設定により画像が送信されなかった場合は、相手の画像は表示されず、代替画像などが表示されます。
- [☎ 文字]を押すとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えることができます。
- 通話中は、[▲👤]を押すたびに相手に送信する画像が「自画像」と「代替画像」とで切り替わります。→P99

4 お話しが終わったら[電源]を押す

- FOMA端末をクローズ状態にしても電話を切ることができます(お買い上げ時の設定)。クローズ状態にしても電話が切れないようにするには、「通話中クローズ設定」で設定を変更します。→P169
  スイッチ付イヤホンマイク接続中または外部接続機器(Bluetoothヘッドセットなど)から音を鳴らすように設定して通話中の場合はFOMA端末をクローズ状態にしても通話は継続され、相手には代替画像が表示されます。→P106
- 通話中にFOMA端末をターン状態にすると、通話中クローズ設定の設定に関わらず「通話継続(マイクミュート)」の状態で通話は継続され、ディスプレイ上部に[マイクミュート]が表示されます。ただし、次の場合はマイクミュートされずに通話は継続されます(→P169)。相手には、FOMA端末がオープン状態のときに送信していた自画像または代替画像が送信されます。
  ・スピーカーホン機能を利用して通話中
  ・スイッチ付イヤホンマイク接続中または外部接続機器(Bluetoothヘッドセットなど)から音を鳴らすように設定して通話中

着信中の操作について

テレビ電話がかかってきたとき、着信音が鳴っている間にサブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明
1転送でんわ※	かかってきた電話を転送登録先へ転送します。
2着信拒否	電話が切れます。相手側に通話料金はかかりません。

※：転送でんわサービスをご契約いただき、転送先が登録されている場合に有効です。

着信中には、次の操作もできます。

- サイドキー[▲]を1秒以上押すと伝言メモで応対することができます(クイック伝言メモ)。→P89
- 着信音量の調整をしたり、バイブレータの振動を止めたりすることができます。→P51、P83

お知らせ

- マナーモード中、ドライブモード中、着信音設定が「OFF」に設定されている場合は、着信音は鳴りません。オリジナルマナーモードが設定されている場合は、その設定に従って動作します。
- テレビ電話通話中は、音声電話や64Kデータ通信の着信があっても電話を受けたり通信を受信することはできません。キャッチホンサービスを契約しているときは、着信履歴には不在着信として残ります。音声電話通話中やテレビ電話通話中にテレビ電話の着信があった場合も同様です。
キャッチホンサービスについて→P286
- スイッチ付イヤホンマイクを接続中にテレビ電話がかかってきた場合、イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押すと代替画像でテレビ電話を受けることができます。→P353
- イヤホンマイクを接続中は、オート着信機能設定(→P267)に従って動作し、自動的に代替画像を送信して応答することができます。→P106
- テレビ電話着信は、留守番電話サービスには対応していません。
- テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を3G-324M(→P93)に準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。
- 迷惑電話ストップサービスで登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合、着信拒否ガイダンスが流れずに切断されます。→P293
- 番号通知お願いサービスは、テレビ電話には対応していません。→P297
- 音声や映像の送受信に失敗した場合(AまたはVが表示された場合)、自動的に復旧しません。再度テレビ電話をおかけ直しください。
- ソフトウェア更新中(→P360)にテレビ電話を着信すると着信は拒否され、着信履歴に記録されます。
- テレビ電話着信時に外部機器を使用することができます。→P108
- テレビ電話の通話を終了したときに、端末の状態によっては、切断中の画像が表示されない場合があります。
- ハンズフリー機器、Bluetoothヘッドセットを使って話す→P84

テレビ電話通話中に画面の設定などを変更する

テレビ電話通話中に、画面の設定を変更します。

●設定できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先	項　目	参照先
ズームする	下記	明るさや色の濃さを設定する※	P101
送信画像を切り替える	下記	送信画像の品質を設定する	P102
親子画面の表示を切り替える※	P100	受信画像の品質を設定する	P102
親画面のサイズを変更する※	P100	画面表示を設定する※	P103
カメラを切り替える	P100	送信画像にフレームを重ねる	P103
ワンタッチライトを点灯する	P100	静止画像を送信する	P104
特殊な効果をかける	P101	プッシュ信号を送信する	P104

※：通話終了後も設定内容が保持されます。

ズームする

相手に送信する自画像の表示倍率を切り替えます。

• 自画像送信中、フレーム送信中（→P103）の場合のみ利用できます。

1 通話中に[カメラ][iα]を押す

自画像がズームします。

ズーム倍率が変更されます。

• [カメラ]を押すたびに次の順に切り替わります。[iα]を押すと逆順になります。

アウトカメラ：標準（*1）→2倍（*2）→4倍（*4）→6倍（*6）→8倍（*8）→10倍（*10）→12倍（*12）

インカメラ　：標準（*1）→2倍（*2）

送信画像を切り替える

お買い上げ時　自画像

相手に送信する画像を「自画像」と「代替画像」とで切り替えます。

1 通話中に[代替画像]を押す

代替画像

©BVIG

• [代替画像]を押すたびに自画像（[アイコン]）、代替画像（[アイコン]または[アイコン]）が切り替わります。→P106

• 代替画像にキャラ電が設定されている場合、キャラ電の起動に失敗することがあります。その場合、相手には代替画像設定の標準画像が送信されます。→P106

• キャラ電を代替画像として送信中は、アクションの切り替えやアクションの選択ができます。→『アプリケーション編』P23、P94

親子画面の表示を切り替える

親画面と子画面を切り替えます。

1 通話中にを押す

- を押すたびに次の順に切り替わります。

親：相手画像 → 親：自画像
子：自画像　　　子：相手画像

親画面のサイズを変更する

親画面の表示サイズを、「大」「中」「小」から選択します。

1 通話中にを1秒以上押す

親画面の表示サイズが変更されます。

- を1秒以上押すたびに次の順に切り替わります。

大 → 中 → 小

カメラを切り替える

通話中に使用するカメラを切り替えます。

- 自画像送信中、フレーム送信中（→P103）の場合のみ変更できます。

1 通話中にを押す

切り替わったカメラからの画像が表示されます。

- を押すたびにインカメラとアウトカメラが切り替わります。

お知らせ

- カメラを切り替えても、ズームや撮影効果モードの設定は保持されます。ただし、アウトカメラで4倍以上のズームを使用しているときにインカメラに切り替えた場合は、自動的に2倍ズームに変更されます。

ワンタッチライトを点灯する

ワンタッチライトの点灯／消灯を切り替えます。

- アウトカメラ使用中の場合のみ変更できます。

1 通話中にを1秒以上押す

ワンタッチライトが点灯します。点灯していた場合は消灯します。

- を1秒以上押すたびに点灯（）／消灯（表示なし）が切り替わります。

お知らせ

- 通話中の設定操作などによって一時的にワンタッチライトが消灯することがあります。

通話中のカメラの設定をする<TV電話カメラ設定>

テレビ電話通話中に、自画像に特殊な効果をかけたり、明るさや色の濃さを調整したりできます。

特殊な効果をかける<撮影効果モード>

- 自画像送信中、フレーム送信中(→P103)の場合のみ変更できます。

1 通話中にMENU 3 1を押す

次の効果をかけることができます。

項目	アイコン	説明
1標準	STD	標準的な画像を送信します(お買い上げ時の設定)。
2逆光		逆光になる被写体を撮影するときに使用します。
3セピア		セピア調にするときに使用します。
4モノトーン		白黒にするときに使用します。
5海・雪		海や雪面などの光の反射をより美しく撮影します。
6夕焼け		夕焼けをバックにした被写体を撮影するときに使用します。

2 1～6を押す

現在の効果のマークが表示されます。

- 効果を解除するときは1を押します。

明るさや色の濃さを設定する<明るさ/色の濃さ>

お買い上げ時	明るさ：3段階目　色の濃さ：3段階目

画像の明るさ・色の濃さを調整します。

- 明るさ・色の濃さは5段階で調整できます。
- 自画像送信中、フレーム送信中(→P103)の場合のみ変更できます。

1 通話中にMENU 3 2を押す

2 ▲▼を押して明るさのスライダを選択し、◀▶を押す

調整中、親画面には自画像が表示されます。スライダの位置を変えるたびに、明るさの変化が確認できます。

テレビ電話のかけかた/受けかた

テレビ電話通話中に画面の設定などを変更する

3 を押して色の濃さのスライダを選択し、を押す

調整中、親画面には自画像が表示されます。スライダの位置を変えるたびに、色の濃さの変化が確認できます。

4 を押す

設定が変更されます。

- 明るさ・色の濃さを調整後、しばらくの間何も操作しなかった場合、設定は変更されずに通話中の画面に戻ります。

送信／受信画像の品質を設定する

テレビ電話通話中に、相手に送信する画像または受信する画像の品質を変更できます。

送信画像の品質を設定する

お買い上げ時 標準

相手に送信する画像の品質を設定します。「動き優先」に設定すると画像の動きはなめらかになりますがやや粗く、「画質優先」に設定すると画像は細やかになりますが動きはやや鈍くなります。

1 通話中にを押す

送信画像の品質が変更されます。

- を押すたびに次の順に切り替わります。を押すと逆順になります。

標準（表示なし）→動き優先（）→画質優先（HQ）

受信画像の品質を設定する<受信画像品質設定>

お買い上げ時 標準

相手から送信されてくる画像の品質の変更を相手端末に要求します。「動き優先」に設定すると画像の動きはなめらかになりますがやや粗く、「画質優先」に設定すると画像は細やかになりますが動きはやや鈍くなります。

- 相手端末の機能によっては設定が有効にならない場合があります。

1 通話中にMENU 4を押す

2 1～3を押す

受信画像品質が設定されます。

画面表示を設定する＜通話中TV電話動作設定＞

お買い上げ時	通話中画像表示：両方　子画面表示：自画像　親画面サイズ：大　照明設定：常灯（標準）

通話中の画面表示を変更します。

1 通話中にMENU 5を押す

通話中TV電話動作設定
通話中画像表示
両方
子画面表示 自画像
親画面サイズ 大
照明設定
常灯（標準）

項　目	説　明
通話中画像表示	通話中に自画像または相手画像のどちらか一方のみを表示するか、両方の画像を表示するかを設定します。 •「両方」以外に設定した場合、「子画面表示」は設定できません。
子画面表示	通話中の子画面に自画像と相手画像のどちらを表示するかを設定します。
親画面サイズ	親画面の表示サイズを設定します。
照明設定	通話中のディスプレイの照明を設定します。 •「端末設定に従う」に設定すると、照明設定（→P187）の設定に従って点灯します。

2 設定する項目を選択して○を押し、設定する

3 を押す

設定が変更されます。

送信するフレームや画像を選択する＜ファイル送信＞

テレビ電話通話中に、自画像にフレームを重ねたり、自画像の代わりに静止画像を送信したりできます。

送信画像にフレームを重ねる＜フレーム選択＞

相手に送信する自画像に、FOMA端末に保存されているフレーム用の画像を重ねます。

- 自画像送信中の場合のみ設定できます。
- 表示サイズが176×144（QCIF）以下のフレームを選択できます。ただし、ダウンロードしたフレームは表示サイズが176×144（QCIF）のフレームのみ選択できます。
- PIMロック中は本機能を利用できません。

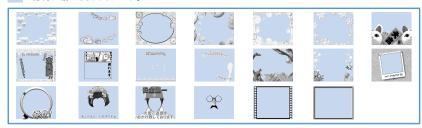
1 通話中にMENU 7 1を押す

2 フレームを選択して○を押す

相手にも同様の状態で自画像が送信されます。

- インカメラを使用中はディスプレイに鏡像が表示され、相手には正像が送信されます。アウトカメラを使用中は、ディスプレイの表示と同じ画像が相手にも送信されます。
- フレーム送信中に○を押すと、フレーム送信が解除されます。

お買い上げ時には次のフレームが登録されています。

- ■の部分に静止画が入ります。

- お買い上げ時に登録されている上記フレームを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードすることができます。→『アプリケーション編』P71

静止画像を送信する<画像選択>

相手に送信する画像を保存されている静止画像から選択します。FOMA端末で撮影した静止画を通話中の相手に見せることができます。

- フレーム送信中（→P103）の場合は設定できません。
- サイズが176×144（QCIF）以下で、FOMA端末外への出力が可能な静止画のみ設定できます。FOMA端末外への静止画の出力について→ファイル制限『アプリケーション編』P252
- PIMロック中は本機能を利用できません。

1 通話中にMENU 7 2を押す

画像フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して●を押し、一覧から静止画を選択して●を押す

相手にも同様の静止画像が送信されます。

- 画像一覧の見かた→『アプリケーション編』P245

静止画を選択して□を押すと静止画を表示できます。□□を押すと前後の静止画を表示できます。●を押すと設定されます。

- 静止画像送信中に●を押すと、設定が解除されて元の画像が表示されます。

プッシュ信号を送信する<DTMF入力>

通話中にプッシュ信号（DTMF）を送信します。

- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
- フレームを重ねていたり、静止画像を送信していたりした場合は、DTMF入力画面に入ったときにそれらが解除されます。
- テレビ電話通話中で、□（自画像送信中）または□（代替画像送信中）の場合のみ、ダイヤル入力によるDTMFの入力が可能です。

1 通話中にMENU 8を押し、ダイヤルキーを押す

押した番号が画面に表示され、プッシュ信号が送信されます。

- プッシュ信号（DTMF）送信を解除するときはCLRを押します。

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話通話中に画面の設定などを変更する

テレビ電話の設定を行う<TV電話動作設定>

お買い上げ時	音声自動再発信：OFF　通話中画像表示：両方　子画面表示：自画像　親画面サイズ：大 発信時自画像送信：ON　送信画像品質：標準　照明設定：常灯（標準）

テレビ電話がつながらなかったときの動作や、テレビ電話通話中の画像を設定します。

● 相手へのアクセスをより確実なものとするために、TV電話動作設定には、「音声自動再発信」という設定項目があります。音声自動再発信とは、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービス（→P299）でmovaサービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられない場合に、自動的に音声電話に切り替えて再発信する機能です。

1 待受画面でMENU 8 8 1を押す

TV電話動作設定
音声自動再発信　OFF
通話中画像表示　両方
子画面表示　自画像
親画面サイズ　大
発信時自画像送信　ON
送信画像品質　標準

項　目	説　明
音声自動再発信	テレビ電話がつながらなかった場合、自動的に音声電話で再発信するかどうかを設定します。
通話中画像表示	通話中に自画像または相手画像のどちらか一方のみを表示するか、両方の画像を表示するかを設定します。 • 「両方」以外に設定した場合、「子画面表示」は設定できません。
子画面表示	通話中の子画面に自画像と相手画像のどちらを表示するかを設定します。
親画面サイズ	親画面の表示サイズを設定します。
発信時自画像送信	相手に自画像を送信するかどうかを設定します。
送信画像品質	相手に送信する画像の画質を設定します。
照明設定	通話中のディスプレイの照明を設定します。 • 「端末設定に従う」に設定すると、照明設定（→P187）の設定に従って動作します。

2 設定する項目を選択して●を押し、設定する

3 を押す

設定内容が登録されます。

お知らせ

- 音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、相手やネットワークの状況によって再発信が行われない場合があります。
- 音声自動再発信を「ON」に設定中、音声で再発信した場合の通話料金はデジタル通信料ではなく音声通話料になります。
- テレビ電話通信が開始された場合、音声通話への再発信動作は行いません。

テレビ電話の表示画像を変更する<TV電話画像選択>

テレビ電話で表示される代替画像、テレビ電話伝言メモ録音中画像、テレビ電話応答保留中画像、テレビ電話通話中保留画像を変更します。変更した画像は、テレビ電話通話中(→P99)、伝言メモ録音中(→P88)、応答保留中(→P85)、通話保留中(→P73)に表示され、相手にも送信されます。

- PIMロック中は本機能を利用できません。
- 次の静止画は設定できません。
  - サイズが176×144(QCIF)を超える静止画
  - アニメーション、パラパラマンガ、連写画像
  - JPEG形式、GIF形式以外の静止画
  - FOMA端末外への出力が禁止されている静止画
    FOMA端末外への静止画の出力について→ファイル制限『アプリケーション編』P252

代替画像を変更する

お買い上げ時	標準キャラ電

1 待受画面でMENU 📖 8 8 2を押す

2 1を押し、イメージ表示欄を選択して●を押す

©BVIG

■ 標準のキャラ電を設定するとき

1を押す

「標準キャラ電(ブンブン(Dimo))」が設定されます。

■ 標準の静止画を設定するとき

2を押す

「標準画像(カメラオフ(camera off))」が設定されます。

■ その他のキャラ電を設定するとき

①3を押す

②「画像選択」を選択して●を押す

「キャラ電」のフォルダ一覧が表示されます。

③フォルダを選択して●を押し、キャラ電一覧からキャラ電を選択して●を押す

キャラ電が設定され、代替画像設定画面に戻ります。

- キャラ電一覧の見かた→『アプリケーション編』P95
- キャラ電を選択して📖を押すとキャラ電を表示できます。

■ その他の静止画を設定するとき

①4を押す

②「画像選択」を選択して●を押す

画像フォルダ一覧が表示されます。

③フォルダを選択して◯を押し、一覧から静止画を選択して◯を押す

静止画が設定され、代替画像設定画面に戻ります。

- 画像一覧の見かた→『アプリケーション編』P245
- 静止画を選択して[📖]を押すと静止画を表示できます。[📷][iα]を押すと前後の静止画を表示できます。◯を押すと設定されます。

3 [📖]**を押す**

代替画像が変更されます。

お知らせ

- キャラ電→『アプリケーション編』P23、P94
- 代替画像に設定したキャラ電または静止画を削除した場合、代替画像は「標準画像」に戻ります。
- 代替画像を変更後にPIMロックを設定すると、代替画像に「イメージ」の「プリインストール」フォルダ内の画像を設定した場合を除き、標準画像が表示され、相手にも送信されます。

伝言メモ録音中／応答保留／通話中保留の画像を変更する

お買い上げ時	伝言メモ画像：標準画像　応答保留画像：標準画像　通話中保留画像：標準画像

1 **待受画面で**[MENU][📖][8][8][2]**を押す**

2 [2]～[4]**を押す**

「伝言メモ画像」を選択した場合

3 **イメージ表示欄を選択して◯を押し、**[1]～[2]**を押す**

- お買い上げ時の画像に戻すときは[1]を押し、操作4へ進みます。
- 画像を選択するときは[2]を押します。操作方法は代替画像設定と同じです。→P106

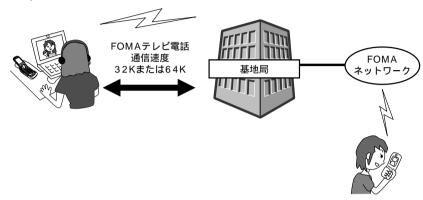
4 [📖]**を押す**

画像が変更されます。

お知らせ

- 伝言メモ録音中／応答保留／通話中保留の画像を変更後にPIMロックを設定すると、代替画像に「イメージ」の「プリインストール」フォルダ内の画像を設定した場合を除き、標準画像が表示され、相手にも送信されます。

外部機器と接続してテレビ電話を使用する<TV電話使用機器設定>

外部機器とFOMA端末をFOMA USB接続ケーブルで接続することで、外部機器からテレビ電話の着信操作を行うことができます。
この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやカメラなどの機器を用意するなどの必要があります。
※この機能は、対応するアプリケーションがリリースされた場合に利用可能なオプション機能です。

テレビ電話着信時に使用する機器を設定する

お買い上げ時	本体

FOMA端末と外部機器のどちらでテレビ電話を使用するかを設定します。
- FOMA端末が外部機器に接続されていないときは、本機能を利用できません。

1 待受画面でMENU 📖 8 8 3を押す

2 1〜2を押す

TV電話使用機器設定が設定されます。

お知らせ

- 音声電話通話中は、外部機器からテレビ電話をかけることはできません。
- 音声電話通話中に外部機器からのテレビ電話の着信があっても電話を受けることはできません。キャッチホンサービスを契約しているときは、着信履歴には不在着信として残ります。外部機器からのテレビ電話通話中に音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。
キャッチホンサービスについて→P286
- 外部機器からのテレビ電話は、対応アプリケーションや、対応機器がリリースされた場合に利用可能なオプション機能です。テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定・操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA F900iTでは、FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳を利用できます。

FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳の違い

項　目		FOMA 端末（本体）電話帳	FOMA カード電話帳	参照先
電話帳登録件数		最大700件※1	最大50件	—
登録内容				
	名前・フリガナ	姓と名に分けて設定	姓と名に分けずに設定	P113、123
	静止画・動画	○	×	P115
	グループ	29グループおよび「グループなし」に分類可能	10グループおよび「グループなし」に分類可能	P116、125
	電話番号・アイコン	1人につき最大5番号、電話帳全体で2105番号まで設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1人につき1番号のみ設定可能。アイコンは設定不可。	P116、125
	メールアドレス・アイコン	1人につき最大5アドレス、電話帳全体で2105アドレスまで設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1人につき1アドレスのみ設定可能。アイコンは設定不可。	P117、125
	電話着信時の設定※2	○	×	P117
	メール着信時の設定※2	○	×	P120
	その他の設定※3	○	×	P120
	メモリ番号	○	×	P122
電話帳検索				
	ロケットサーチ検索	○	○	P129、135
	グループ検索	○	○	P129、135
	五十音検索	○	○	P130、136
	メモリ番号検索	○	×	P132
	電話番号検索	○	○	P132、136
	シークレット検索	○	×	P149
	コミュニケーション検索	○	×	P131
各種設定				
	発番号設定	○	×	P145
	シークレットコード設定	○	×	P147
	シークレット属性設定	○	×	P148
	メモリ別着信拒否／許可設定	○	×	P161
	TV電話設定	○	×	P146
その他				
	コミュニケーション情報	○	×	P131
	電話番号入替・メールアドレス入替・メモリ番号入替	○	×	P143、144
	クイックダイヤル	○	×	P150
	クイックメール	○	×	P151
	サイト表示	○	×	P141
	データ送信	○	○	P152、『アプリケーション編』P305

○：可　　×：不可

※1：各電話帳データの登録内容により実際に登録できる件数が少なくなる場合があります。

※2：着信音・着信バイブレータ・着信イルミネーションの設定

※3：URL・テキストメモ・郵便番号・住所・会社名・役職名の設定

名前の表示について

FOMA端末（本体）電話帳やFOMAカード電話帳の登録状況によって、名前の表示は次のようになります。

電話帳に登録されている相手に電話をかけたとき／メールを送信したとき

リダイヤルや送信メール・未送信メールなどには、次のように表示されます。

- FOMA端末（本体）電話帳、またはFOMAカード電話帳を検索して、電話の発信／メールの送信を行った場合は、検索した電話帳に登録されている名前が表示されます。
- FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳に同じ電話番号／メールアドレスを登録している場合、電話帳を検索せずに電話番号／メールアドレスを入力して電話の発信／メールの送信を行うと、FOMA端末（本体）電話帳に登録されている名前が表示されます。
- iモード端末宛ての宛先を入力した際、電話帳に登録されているメールアドレスの「@docomo.ne.jp」の有無を含めて完全に一致した場合は名前が表示され、一致しない場合は入力した宛先がそのまま表示されます。→『アプリケーション編』P143、P178

電話帳に登録されている相手から電話がかかってきたとき／メールを受信したとき

着信履歴や伝言メモ・音声メモ一覧、受信メールなどには、次のように表示されます。

- FOMA端末（本体）電話帳、FOMAカード電話帳のどちらか一方だけに登録されている相手からの場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。
- FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳に同じ電話番号／メールアドレスを登録している場合は、FOMA端末（本体）電話帳に登録されている名前が表示されます。
- 電話帳にメールアドレスを登録する際、iモード端末のメールアドレスの@以降のドメイン名（「@docomo.ne.jp」）まで含めて登録することをおすすめします。「@docomo.ne.jp」は省略して登録できますが、省略した相手からメールを受信した場合、@以降の有無も含めて完全に一致していないと電話帳のメール着信時の設定では動作しません。
→『アプリケーション編』P146、P150、P183

お知らせ

- FOMA端末（本体）電話帳にシークレット属性が設定されている場合は、シークレットモードを設定しているときのみ名前が表示されます。シークレット属性が設定されている相手のデータがリダイヤルや着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモに表示されている場合なども同様です。
- シークレットモード中にシークレット属性が設定されている相手から着信やメールの受信があったときは、電話帳データに設定されている着信音、着信バイブレータ、着信イルミネーションで動作します。シークレットモードを設定していないときは、着信音設定、バイブレータ設定、着信イルミネーションの各設定で設定されている内容で動作します。
- PIMロック中またはプライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）は、電話帳に登録されている相手へ電話をかけても、または電話帳に登録されている相手から電話がかかってきても、相手の名前は表示されません。相手のデータがリダイヤルや着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモ、タッチメニューの人物に表示されている場合なども同様です。

FOMA端末(本体)電話帳に登録する

よく利用する電話番号やメールアドレスを、名前とともに登録できます。

● 電話帳には最大700人分、1人につき電話番号を最大5番号まで、メールアドレスを最大5アドレスまで登録できます。ただし、全体ではそれぞれ2105番号、2105アドレスまでになります。

● 次の設定もできます。
- 電話番号ごとに、携帯電話やPHSなどのアイコンを設定することで、一目で区別できます。メールアドレスにもアイコンを設定できます。→P116、P117
- 電話の発着信時に表示される静止画や動画などを設定できます。→P115
- グループに分けて登録できます。→P116
グループの名前は変更できます。→P138
- 電話がかかってきたときの着信音、バイブレータ、着信ランプのイルミネーションパターンやイルミネーションカラーを設定できます。→P117
メールを受信したときの設定も同様にできます。→P120
- 住所や会社名などを設定できます。→P120
- メモリ番号0～99に電話番号やメールアドレスを登録しておくと、簡単に電話をかけたり(クイックダイヤル→P150)、簡単にメールを作成したり(クイックメール→P151)することができます。
- FOMA端末(本体)に登録した電話帳データをFOMAカードにコピーすることができます。→P152

● PIMロック中、ダイヤル発信制限中は本機能を利用できません。

● プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→P208

● 電話帳機能利用中に一度認証操作(4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証)を行うと、電話帳機能を終了するまで認証操作は不要になります。

お知らせ

- 圏外と表示されている場合でも電話帳の登録はできます。
- 電話帳に登録した内容は、別にメモを取り保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト(→『アプリケーション編』P390)とFOMA USB接続ケーブルや市販のUSBケーブルと付属の卓上ホルダを利用して、パソコンに保管することもできます。
FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取り扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。また、電話帳の内容は電池パックを外した状態および空の状態でも約1ヶ月は保持されますが、それ以上経過すると内容が消失してしまう可能性があります。
万一、電話帳などに登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- シークレットモード中に電話帳登録を行った場合は、シークレット属性ありに設定されます。
シークレット属性→P148
- 機種変更時などに、当社窓口にて電話番号やメールアドレスを新機種へコピーすることができますが、新機種の仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

FOMA端末(本体)電話帳登録の流れ

FOMA端末(本体)電話帳への登録は、次の手順で行います。

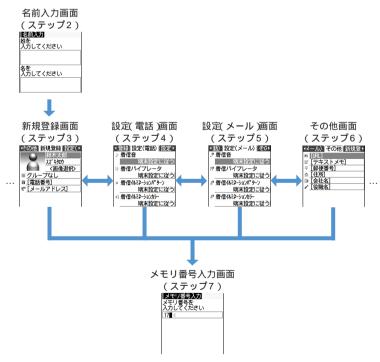
ステップ	内容	ページ
ステップ1	登録を開始する	P113
ステップ2	名前を設定する[名前入力画面]	P113
ステップ3	電話番号やメールアドレスなどを設定する[新規登録画面]	P114
ステップ4	電話着信時の設定をする[設定(電話)画面]	P117
ステップ5	メール受信時の設定をする[設定(メール)画面]	P120
ステップ6	いろいろな情報を設定する[その他画面]	P120
ステップ7	登録を完了する[メモリ番号入力画面]	P122

(灰色):必ず行ってください。　(白色):必要に応じて行ってください。

電話帳は次の画面を使って登録します。

- 項目は必要に応じて任意の順序で設定します。
- 画面は(左右キー)を押して切り替えます。

ステップ1　登録を開始する

1 待受画面で(MENU)(📖)(4)(1)(1)を押す

名前入力画面が表示されます。

ステップ2　名前を設定する［名前入力画面］

相手の名前を姓と名に分けて入力します。

- 姓または名の入力が必要です。
- 漢字、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。ただし、記号、絵文字を使用すると、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。→P317
- 姓と名を合わせて全角で最大16文字、半角で最大32文字入力できます。

〈例〉「鈴木太郎」と入力するとき

1 姓（鈴木）を入力する

①姓の入力欄を選択して姓を入力する

「す」→　(3)を3回押します。

　　　　(▷)を押して、カーソルを1つ右に移動します。

「ず」→　(3)を3回押し、(＊)を押します。

「き」→　(2)を2回押します。

- キーを押し間違えたときは(クリア)を押して取り消します。
- 文字に「゛」「゜」を付けるときは、文字を入力して(＊)を押します。

  （例）「ほ」を入力し、(＊)を押すたびに「ぼ」→「ぽ」→「ほ」というように変換されます。

②(📖)を押して( )を押す

- 目的の文字が表示されないときは、( )( )または(📖)を押して変換候補を一覧表示し、目的の文字を選択します。→P315

③( )を押す

「鈴木」が確定します。

2 名の入力欄を選択し、名前（太郎）を入力して( )を押す

名前が入力されます。

3 (📖)を押す

新規登録画面が表示されます。

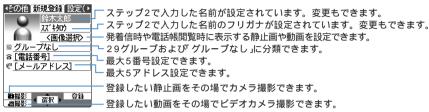
- 姓と名のいずれも入力されていないときは登録できません。( )を押して操作1からやり直してください。

お知らせ

- 文字入力のしかた→P309

ステップ3　電話番号やメールアドレスなどを設定する[新規登録画面]

電話番号やメールアドレスなどを設定します。また、電話発着信時の画面に表示する静止画や動画などを設定します。

- 184、186を付けた電話番号を電話帳に登録すると、ｉモードメール作成時の宛先に選択した際、送信できません。
- 新規登録画面の各項目は、必要に応じて任意の順序で設定します。
- 画像を設定しても、電話発着信時の画面に画像を表示しないように設定することができます。→P184

- 既に設定されているときは、その内容が表示されます。

1 名前を確認する

ステップ2で入力した名前が表示されます。

■ 名前を修正するとき

①名前欄を選択して◯を押す

名前入力画面が表示されます。

②名前を修正して(□)を押す

名前が修正され、新規登録画面に戻ります。

- 操作方法→P113

2 フリガナを確認する

ステップ2で入力した名前のフリガナが表示されます。

■ フリガナを修正するとき

- 操作1で名前を修正してもフリガナには反映されません。

①フリガナ欄を選択して◯を押す

②修正する入力欄を選択し、フリガナを修正して◯を押す

- フリガナは姓と名を合わせて半角で最大32文字入力できます。

③(□)を押す

フリガナが修正され、新規登録画面に戻ります。

3 画像選択欄を選択して[ ]を押す

画像選択
1 イメージを選択
2 静止画を撮影
3 iモーションを選択
4 動画を撮影
5 初期値に戻す

- お買い上げ時の状態に戻すときは[5]を押します。

■ 静止画を設定するとき

- Flash画像は設定できません。

①[1]を押す

画像フォルダ一覧が表示されます。

②フォルダを選択して[ ]を押し、一覧から静止画を選択して[ ]を押す

静止画が設定され、新規登録画面に戻ります。

- 画像一覧の見かた→『アプリケーション編』P245
- 静止画を選択して[ ]を押すと静止画を表示できます。アニメーション、パラパラマンガ、連写画像の場合、画像を表示すると自動的に再生されます。[ ][ ]を押すと前後の静止画を表示できます。[ ]を押すと設定されます。
- 電話着信時や電話帳データ確認時には、アニメーションは再生中の画像、パラパラマンガ・連写画像は最初の画像が表示されます。

■ カメラで静止画を撮影するとき

- オープン状態で撮影してください。
- 撮影する静止画のサイズは「電話帳サイズ96×72」に自動的に設定されます。

①[2]を押す

静止画撮影画面が表示されます。

- カメラを利用した静止画撮影→『アプリケーション編』P216

②被写体にカメラを向けて[ ]を押す

撮影確認音(シャッター音)が鳴り、着信ランプ、ワンタッチライト(アウトカメラ撮影時のみ)が赤色で点灯して静止画が撮影され、保存するかどうかの確認画面が表示されます。

- 静止画を撮り直すときは[クリア]を押します。

③[ ]を押す

静止画が「イメージ」の「撮影画像」フォルダに保存され、新規登録画面に戻ります。

■ 動画を設定するとき

- 自端末で撮影した音声のある動画、または撮影して編集した音声のある動画のみ設定できます。

①[3]を押す

「iモーション」のフォルダ一覧が表示されます。

②フォルダを選択して[ ]を押し、一覧から動画を選択して[ ]を押す

動画が設定され、新規登録画面に戻ります。

- 動画一覧の見かた→『アプリケーション編』P270
- 動画を選択して[ ]を押すと動画を再生できます。

■ ビデオカメラで動画を撮影するとき

- オープン状態で撮影してください。
- 撮影する動画のサイズは「176×144」に自動的に設定されます。

①[4]を押す

動画撮影画面が表示されます。

- ビデオカメラを利用した動画撮影→『アプリケーション編』P224

②被写体にカメラを向けて◯を押す

撮影確認音が鳴り撮影が開始され、着信ランプは5色で、ワンタッチライトは赤色で2秒間隔で点滅します。

③ ◯を押す

終了確認音が鳴り、撮影が終了します。保存するかどうかの確認画面が表示されます。

- 撮影中に動画のファイルサイズが制限値になると、撮影が自動的に終了し、保存するかどうかの確認画面が表示されます。

動画を撮り直すときは◯を押します。

④ ◯を押す

動画が「ｉモーション」の「撮影画像」フォルダに保存され、新規登録画面に戻ります。

4 グループを設定する

①グループ欄を選択して◯を押す

- グループの選択画面は4ページあります。◯を押して画面を切り替えます。
- 設定するグループは、グループ1～29および「グループなし」から選択できます。「グループなし」以外のグループ名は変更することができます。→P138

②◯～◯を押す

グループが設定され、新規登録画面に戻ります。

- 新規登録時は「グループなし」に設定されています。

5 電話番号とアイコンを設定する

①電話番号欄を選択して◯を押し、電話番号を入力して◯を押す

- 電話番号は市外局番から入力します。
- 最大26桁入力できます。
- ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）、「＋」、「＃」、サブアドレスの区切り（「＊」）を入力できます。→P70
- 184、186を付けた電話番号を電話帳に登録すると、ショートメッセージ（SMS）作成時の宛先に選択した際、送信できません。

②アイコンを選択して◯を押す

選択されているアイコン名称が表示されます。

選択したアイコンが表示されます。

- アイコンは26種類から選択できます。
- 初期登録時は◯が選択されています。

③2件目以降の電話番号を登録するときは、操作①から繰り返す

6 メールアドレスとアイコンを設定する

①メールアドレス欄を選択して○を押し、メールアドレスを入力して○を押す

- 半角で最大50文字入力できます。
- 宛先によく使う「@」「.」「-」などの記号は、英字入力モード時に(1)を押して入力します。また、「.co.jp」「.ne.jp」「.com」などは、英字入力モード時に(＊)を押して入力できます。
- iモード端末のメールアドレスを登録するときは、メールアドレスの@以降のドメイン名(「@docomo.ne.jp」)は省略できます。

②アイコンを選択して○を押す

- アイコンは22種類から選択できます。
- 初期登録時は が選択されています。

③2件目以降のメールアドレスを登録するときは、操作①から繰り返す

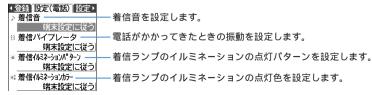
お知らせ

- 電話帳データの画像選択に動画を設定した相手に電話をかけた場合、発信中はディスプレイに動画の最初の画像が表示されます。相手から電話がかかってきた場合、着信中はディスプレイに動画が再生され、電話帳データに設定された着信音が鳴ります。
- 電話帳データの電話着信音(→下記)や着信音設定(→P173)の電話/TV電話に動画/iモーションが設定されている場合は、画像選択の設定に関わらず、着信音に設定された動画/iモーション(映像と音声)が再生されます。ただし、着信音に設定した動画/iモーションが音声のみの場合には、着信中はディスプレイにお買い上げ時の画像が表示されます。 着モーションについて→P174
- 横縦(または縦横)のサイズが640×480(ドット)を超える画像を設定している場合、電話帳の表示やその画像を利用した機能(電話の着信画面や着信履歴など)で画像の表示に時間がかかることがあります。
- 動画撮影中にキー操作を行うと、操作音が録音される場合があります。
- iモードメール送受信時の名前の表示→P110
- 相手がシークレットコードを登録しているとき→P147
- 文字入力のしかた→P309
- テロップを挿入した動画を電話帳データの画像選択欄に設定しても、電話帳を参照したときにテロップは再生されません。→『アプリケーション編』P280

ステップ4　電話着信時の設定をする[設定(電話)画面]

相手から電話がかかってきたときの着信音やバイブレータ、着信ランプの動作を設定します。

- 設定(電話)画面の各項目は、必要に応じて任意の順序で設定します。

1 ○を押す

- 初期登録時はいずれも「端末設定に従う」に設定され、着信音設定、バイブレータ設定、着信イルミネーション設定に従って動作します。既に設定されているときは、その内容が表示されます。

2 着信音欄を選択して◯を押し、設定する

- 着信音の設定を中止するときは「いいえ」を選択して◯を押します。
- 着信音設定の設定（→P173）に従った動作にするときは「端末設定に従う」を選択して◯を押します。

■ 着モーションを設定するとき

- 自端末で撮影した動画、または撮影して編集した動画、詳細情報の着信音設定が「可」になっている動画／ｉモーションのみ着信音に設定できます。 着モーションについて→P174

「モーションを選択」を選択して◯を押す

- 操作方法→P115

■ メロディを設定するとき

①「メロディを選択」を選択して◯を押す

「メロディ」のフォルダ一覧が表示されます。

②フォルダを選択して◯を押し、一覧からメロディを選択して◯を押す

メロディが設定され、設定（電話）画面に戻ります。

- メロディ一覧の見かた→『アプリケーション編』P288
- メロディを選択して◯を押すとメロディを再生できます。再生中はサイドキー[▲▼]◯を押して音量調整、◯◯を押して前後のメロディの再生ができます。◯を押すと設定されます。

3 着信バイブレータを設定する

①着信バイブレータ欄を選択して◯を押す

- バイブレータの設定を中止するときは「いいえ」を選択して◯を押します。
- バイブレータ設定の設定（→P158）に従った動作にするときは「端末設定に従う」を選択して◯を押します。

②「はい」を選択して◯を押す

バイブレータ設定
1 パターンA
2 パターンB
3 パターンC
4 メロディ連動
5 OFF

- ◯◯を押してパターンを選択すると、選択されているパターンで約60秒間振動します。ただし、「メロディ連動」の場合は振動しません。

③1～5を押す

バイブレータが設定され、設定（電話）画面に戻ります。

- 着信音で設定したメロディに合わせて振動させるときは4を押します（ダウンロードしたメロディのファイル仕様によっては連動しないことがあります）。着信音にｉモーションを設定しているときは4を押してもｉモーションには連動せず、「パターンA」で振動します。

電話帳を利用する

FOMA端末（本体）電話帳に登録する

4 着信イルミネーションの点灯パターンを設定する

①着信イルミネーションパターン欄を選択して◯を押す

- 着信イルミネーションの点灯パターンの設定を中止するときは「いいえ」を選択して◯を押します。
- 着信イルミネーションの設定(→P246)に従った動作にするときは「端末設定に従う」を選択して◯を押します。

②「はい」を選択して◯を押す

- ◯◯を押してパターンを選択すると、選択されているパターンで着信ランプが点灯／点滅します。ただし、「メロディ連動」の場合は点滅します。

③1～5を押す

着信イルミネーションの点灯パターンが設定され、設定(電話)画面に戻ります。

- 着信音で設定したメロディに合わせて点滅させるときは4を押します(ダウンロードしたメロディのファイル仕様によっては連動しないことがあります)。着信音にｉモーションを設定しているときは4を押してもｉモーションには連動せず、着信ランプは点滅します。

5 着信イルミネーションの点灯色を設定する

- 着信イルミネーションの点灯パターンを「メロディ連動」または「OFF」に設定している場合は、着信イルミネーションの点灯色を設定できません。

①着信イルミネーションカラー欄を選択して◯を押す

- 着信イルミネーションの点灯色の設定を中止するときは「いいえ」を選択して◯を押します。
- 着信イルミネーションの設定(→P246)に従った動作にするときは「端末設定に従う」を選択して◯を押します。

②「はい」を選択して◯を押す

- 色の選択画面は3ページあります。◯◯を押して画面を切り替えます。
- ◯◯を押して色を選択すると、選択されている色で着信ランプが点灯／点滅します。

③1～9を押す

着信イルミネーションの点灯色が設定され、設定(電話)画面に戻ります。

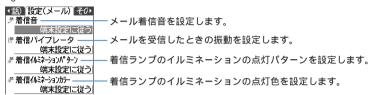
お知らせ

- バイブレータのパターン→P158
- 着信イルミネーションの色→P247

ステップ5　メール受信時の設定をする[設定(メール)画面]

相手からメールが送られてきたときの着信音を設定します。また、受信時のバイブレータや着信ランプの動作を設定することもできます。

- 設定(メール)画面の各項目は、必要に応じて任意の順序で設定します。
- 着信音にｉモーションは設定できません。

1 を押す

- 初期登録時はいずれも「端末設定に従う」に設定され、着信音設定、バイブレータ設定、着信イルミネーションの設定に従って動作します。既に設定されているときは、その内容が表示されます。

2 設定する項目を選択してを押し、設定する

- 操作方法→P117(ステップ4)

ステップ6　いろいろな情報を設定する[その他画面]

住所や会社名などを設定します。

- パーソナル画面の各項目は、必要に応じて任意の順序で設定します。

1 を押す

- 初期登録時はいずれも設定されていません。既に設定されている場合は、その内容が表示されます。

2 URL欄を選択してを押し、URLを入力してを押す

URLが設定され、その他画面に戻ります。

- 半角で最大100文字入力できます。
- URL によく使う「／」「．」「-」などの記号は、英字入力モード時に(1)を押して入力します。また、「http://www.」「.co.jp 」「.ne.jp 」「.com 」「.html 」などは、英字入力モード時に(＊)を押して入力できます。

3 テキストメモを入力する

①テキストメモ欄を選択してを押し、テキストメモを入力してを押す

- 全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。

②を押す

テキストメモが設定され、その他画面に戻ります。

電話帳を利用する

FOMA端末(本体)電話帳に登録する

4 郵便番号欄を選択して◯を押し、郵便番号を入力して◯を押す

郵便番号が設定され、その他画面に戻ります。

- 半角数字で最大7桁入力できます。

5 住所を入力する

①住所欄を選択して◯を押し、住所を入力して◯を押す

- 全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。

②◯を押す

住所が設定され、その他画面に戻ります。

6 会社名を入力する

①会社名欄を選択して◯を押し、会社名を入力して◯を押す

- 全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。

②◯を押す

会社名が設定され、その他画面に戻ります。

7 役職名を入力する

①役職名欄を選択して◯を押し、役職名を入力して◯を押す

- 全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。

②◯を押す

役職名が設定され、その他画面に戻ります。

お知らせ

- 文字入力のしかた→P309

ステップ7　登録を完了する[メモリ番号入力画面]

- メモリ番号0～99の1件目の電話番号に相手の電話番号を登録しておくと、簡単に電話をかけられます(クイックダイヤル)。→P150
- メモリ番号0～99の1件目の電話番号に相手の電話番号を登録しておくと、簡単にショートメッセージ(SMS)が作成できます(クイックメール)。→P151
- メモリ番号0～99の1件目のメールアドレスに相手のメールアドレスを登録しておくと、簡単にiモードメールを作成できます(クイックメール)。→P151
- スイッチ付イヤホンマイクのスイッチ、Bluetoothヘッドセットのキーで電話をかけるには、相手の電話番号をメモリ番号0の1件目の電話番号に登録しておきます。

1 を押す

メモリ番号入力画面には、最も小さい空きメモリ番号が自動的に入力されています。

2 メモリ番号(0～699)を入力して を押す

電話帳データがFOMA端末(本体)電話帳に登録されます。

- 100の位や10の位の0は省略できます。
- 700以上の番号は登録できません。0～699までの番号を設定してください。
- 登録済みのメモリ番号を指定したときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きしないときは「いいえ」を選択して を押し、他のメモリ番号を指定してください。

3 電源を押す

待受画面に戻ります。以上で電話帳の登録操作は終了です。

お知らせ

- メモリ番号にシークレット属性(→P148)が設定されている場合は、シークレットモードを設定(→P205)しているときのみ上書きできます。

FOMAカード電話帳に登録する

FOMAカード電話帳登録の流れ

FOMAカード電話帳への登録は、次の手順で行います。

- PIMロック中、ダイヤル発信制限中は本機能を利用できません。
- プライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）は、4 ～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→P208
- 電話帳機能利用中に一度認証操作（4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証）を行うと、電話帳機能を終了するまで認証操作は不要になります。

ステップ	内容	参照
ステップ1	登録を開始する	下記
ステップ2	名前を入力する［名前入力画面］	下記
ステップ3	電話番号やメールアドレスなどを設定する［FOMAカード登録画面］	P124

※電話番号やメールアドレスを設定しなくても登録することができます。

ステップ1　登録を開始する

1 待受画面で MENU 📖 4 1 📖 を押す

電話帳メニュー（FOMAカード）
1 FOMAカード新規登録
2 FOMAカードグループ検索
3 FOMAカード五十音検索
4 FOMAカード電話番号検索
5 FOMAカードグループ名変更

- 📖 を押すたびにFOMAカード電話帳メニューとFOMA端末（本体）電話帳メニューが切り替わります。

2 1 を押す

名前入力画面が表示されます。

ステップ2　名前を入力する［名前入力画面］

名前は姓と名に分けずに入力します。

- 名前は必ず入力してください。
- 漢字、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。ただし、記号、絵文字を使用すると、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。→P317

1 名前を入力して ◯ を押す

- 全角で最大10文字、半角で最大21文字入力できます。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カナが含まれている場合は、登録を行うと最大10文字になります。

2 📖 を押す

FOMAカード登録画面が表示されます。

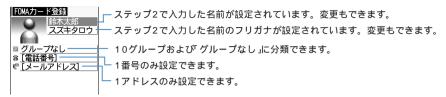
- 名前が入力されていないときは ◯ を押して操作1からやり直してください。

お知らせ

- 文字入力のしかた→P309

ステップ3　電話番号やメールアドレスなどを設定する［FOMAカード登録画面］

電話番号やメールアドレスなどを設定します。

- 184、186を付けた電話番号を電話帳に登録すると、ｉモードメール作成時の宛先に選択した際、送信できません。
- FOMAカード登録画面の各項目は、必要に応じて任意の順序で設定します。

- 既に設定されているときは、その内容が表示されます。

1 名前を確認する

ステップ2で入力した名前が表示されます。

■ 名前を修正するとき

①名前欄を選択して◯を押す

名前入力画面が表示されます。

②名前を修正して◯を押す

- 操作方法→P123

名前が修正され、FOMAカード登録画面に戻ります。

2 フリガナを確認する

ステップ2で入力した名前のフリガナが表示されます。

■ フリガナを修正するとき

①フリガナ欄を選択して◯を押す

②フリガナを修正して◯を押す

フリガナが修正され、FOMAカード登録画面に戻ります。

- フリガナは、全角カタカナと半角英数字で入力できます。
- 全角で最大12文字、半角で最大25文字入力できます。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カナが含まれている場合は、登録を行うと最大12文字になります。

3 グループを設定する

①グループ欄を選択して◯を押す

- グループの選択画面は2ページあります。◁▷を押して画面を切り替えます。
- 設定するグループは、グループ1～10および「グループなし」から選択できます。「グループなし」以外のグループ名は変更することができます。→P138

②1～9を押す

グループが設定され、FOMAカード登録画面に戻ります。

- 新規登録時は「グループなし」に設定されています。

4 電話番号欄を選択して◯を押し、電話番号を入力して◯を押す

- 電話番号は1件のみ設定できます。アイコンの設定はできません。
- 電話番号は市外局番から入力します。
- 最大26桁（FOMAカードの種類によっては最大20桁）入力できます。→P55
- ポーズ（「P」）、「＋」、「＃」、サブアドレスの区切り（「＊」）を入力・登録できます。タイマー（「T」）は入力できますが、登録できません。→P70

5 メールアドレス欄を選択して◯を押し、メールアドレスを入力して◯を押す

- メールアドレスは1件のみ設定できます。アイコンの設定はできません。
- 半角で最大50文字入力できます。
- 宛先によく使う「@」「．」「-」などの記号は、英字入力モード時に1を押して入力します。また、「.co.jp」「.ne.jp」「.com」などは、英字入力モード時に＊を押して入力できます。
- ｉモード端末のメールアドレスを登録するときは、メールアドレスの@以降のドメイン名（「@docomo.ne.jp」）は省略できます。

6 📖を押す

FOMAカード電話帳に登録されます。

7 電源を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- リダイヤルや着信履歴などの電話番号をFOMAカード電話帳に登録することもできます。→P126
- ｉモードメール送受信時の名前の表示→P110
- 文字入力のしかた→P309

リダイヤルや着信履歴などから登録する

リダイヤルや着信履歴などの電話番号を電話帳に登録します。新規に登録することも、登録済みの電話帳に追加することもできます。

● 次の画面から登録できます。
・ダイヤル入力画面　・リダイヤルの一覧　・着信履歴の一覧　・伝言メモ一覧　・音声メモ一覧

● サイトやｉモードメールなどから電話番号やメールアドレスを登録することもできます。
→『アプリケーション編』P52、P200

新規登録する

〈例〉リダイヤルの一覧から登録するとき

1 待受画面で を押す

2 登録するリダイヤルを選択して MENU 1 を押す

3 1～2を押す

選択した電話番号が登録された新規登録画面が表示されます。

4 名前、メールアドレスなどを設定して登録する

- 操作方法→P113、P114

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  ダイヤル入力画面、着信履歴の一覧、伝言メモ一覧、音声メモ一覧から操作する場合はMENUを押し、「電話帳新規登録」を選択して操作します。

登録済みの電話帳に追加する

〈例〉リダイヤルの一覧から登録するとき

1 待受画面で◯を押す

2 追加するリダイヤルを選択して MENU 2 を押す

3 1～2を押す

- ◯を押すたびにFOMAカード電話帳一覧とFOMA端末(本体)電話帳一覧が切り替わります。

4 登録先の電話帳データを選択して◯を押す

選択した電話番号が追加されます。

- 登録先の電話帳データに電話番号が最大件数登録されているときは選択画面が表示されます。上書きする電話番号を選択してください。
- シークレット属性を設定した電話帳データは、シークレットモードを設定していないと表示されません。→P205

5 内容を確認して◯を押し、メモリ番号を確認して◯を押す

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

- FOMAカード電話帳の場合は、内容を確認して◯を押すと上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

6 「はい」を選択して◯を押す

電話番号を追加した電話帳データが登録されます。

- メモリ番号を上書きしないときは「いいえ」を選択して◯を押し、他のメモリ番号に変更してください。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  ダイヤル入力画面、着信履歴の一覧、伝言メモ一覧、音声メモ一覧から操作する場合はMENUを押し、「電話帳更新登録」を選択して操作します。

FOMA端末（本体）電話帳を利用して電話をかける

電話をかける相手の電話帳データを電話帳から呼び出し、簡単に電話をかけることができます。

● 電話帳データは、次の検索方法を指定して呼び出すことができます。

ロケットサーチ	ダイヤルキーに割り当てられている文字から検索します。	P129
グループ検索	グループから検索します。	P129
五十音検索	フリガナから検索します。	P130
コミュニケーション検索	電話の通話回数／メールの送受信回数の多い電話帳データを検索します。	P131
メモリ番号検索	メモリ番号から検索します。	P132
電話番号検索	電話番号の一部から検索します。	P132
シークレット検索	シークレット属性を設定した電話帳データを検索します。	P149

● 電話帳の登録内容は表示して確認できます。→P133
● シークレット属性が設定されている電話帳データも含めて検索する場合は、シークレットモードに設定してから検索してください。→P205
シークレット属性の設定されている電話帳データを選択中は、ディスプレイ上部のが点滅します。
● PIMロック中は電話帳を検索できません。
● プライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→P208
● 電話帳機能利用中に一度認証操作（4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証）を行うと、電話帳機能を終了するまで認証操作は不要になります。

電話帳を利用して電話をかける

電話帳を使って簡単に電話をかけることができます。

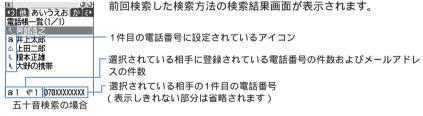
1 待受画面でを押す

五十音検索の場合

• FOMAカード電話帳から検索するときはを押します。→P135

2 を押して相手を選択する

■ 1件目に登録されている電話番号に電話をかけるとき

を押す

• テレビ電話をかけるときはを押します。

■ 2件目以降に登録されている電話番号に電話をかけるとき

①**を押す**

詳細（TOP）画面が表示されます。→P133

②**を押す**

詳細（電話）画面が表示されます。

③**を押して電話番号を選択し、を押す**

• テレビ電話をかけるときはを押します。

お知らせ

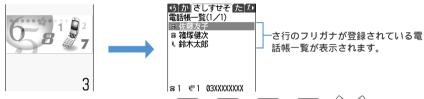
- お買い上げ後、初めて操作したときは五十音検索結果画面（あ行のフリガナが登録されている電話帳）が表示されます。
- 電話番号の通知／非通知を切り替えたり、プレフィックスを付加したりして電話をかけることもできます。→P139

ロケットサーチで検索する

ダイヤルキー0～9に割り当てられている文字から電話帳データを検索します。

- ロケットサーチでは、前回使用した電話帳（FOMA端末（本体）電話帳またはFOMAカード電話帳）を検索します。

〈例〉「鈴木」を検索するとき

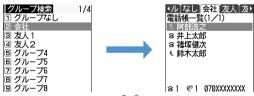
1 待受画面で3 を押す

- ロケットサーチの結果画面では、0～9、#、*、を押して行を切り替えることができます。
- を押すとFOMAカード電話帳検索結果画面に切り替わります。→P135
- を押すと待受画面に戻ります。

グループで検索する＜グループ検索＞

グループに登録されている電話帳データを検索します。
グループを設定せずに登録した電話帳データは「グループなし」に登録されています。

1 待受画面でMENU 4 1 2を押す

グループ検索画面が表示されます。

2 検索するグループを選択してを押す

- グループ検索画面ではを押して画面を切り替えることができます。また、グループ検索結果画面でを押してグループを切り替えることができます。
- グループ検索結果画面では、お買い上げ時のグループ番号に対応したダイヤルキーを押しても、画面を切り替えることができます。2桁の番号の場合は、対応する数字のダイヤルキーを連続して押します。0を押すと「グループなし」が表示されます。
- 同一グループ内の電話帳データは次の順に表示されます。
  ①五十音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの　⑤記号
- を押すとFOMAカード電話帳検索結果画面に切り替わります。→P135
- を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

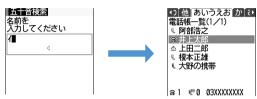
- ダイヤルキーの文字割り当て一覧→P313

名前で検索する<五十音検索>

フリガナを入力して、その文字から始まる電話帳データを検索します。

1 待受画面でMENU 4 1 3を押す

五十音検索画面が表示されます。

2 フリガナを入力してを押す

- フリガナは一部の入力で検索できます。
- フリガナは、半角で最大32文字入力できます。
- 五十音検索結果画面では、0～9、#、*を押すと、キーに割り当てられた行の電話帳が表示されます。たとえば、3を押すと、さ行の電話帳が表示されます。
- を押すとFOMAカード電話帳検索結果画面に切り替わります。→P136
- 電源を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 文字入力のしかた→P309

通話回数／メール回数のランキングを表示する<コミュニケーション検索>

FOMA端末(本体)電話帳には、電話帳データごとに累積通話・メール回数や、最終通話・メール日時が記録されています(コミュニケーション情報)。この情報をもとにして、FOMA端末(本体)電話帳に登録してある電話帳データを、通話回数が多い順に表示したり(通話回数ランキング)、ｉモードメール送受信回数が多い順に表示したり(メール回数ランキング)できます。

- PIMロック中は本機能を利用できません。
- プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→P208
- 電話帳機能利用中に一度認証操作(4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証)を行うと、電話帳機能を終了するまで認証操作は不要になります。
- FOMAカード電話帳については、コミュニケーション検索はできません。
- 通話回数、メール回数は最大9999 回カウントされます。既に9999 回カウントされている状態で通話やメールの送受信を行った場合、回数は更新されません。

通話回数ランキングを表示する

1 待受画面でMENU 電話帳 4 1 4 1 を押す

コミュニケーション検索(通話)
電話帳一覧(1/2)
阿部浩之 8回
井上太郎 7回
上田二郎 7回
榎本正雄 7回
大野の携帯 6回
篠塚健次 6回
鈴木太郎 5回
1 1 070XXXXXXXX

累積通話回数

- 累積通話回数は、お買い上げ時、または前回リセット(→P132)したときから現在までの電話発着信の回数です。電話帳データをFOMA端末(本体)電話帳に登録した後からの通話がカウントの対象となります。

2 電源を押す

待受画面に戻ります。

メール回数ランキングを表示する

1 待受画面でMENU 電話帳 4 1 4 2 を押す

コミュニケーション検索(メール)
電話帳一覧(1/2)
阿部浩之 7回
井上太郎 7回
上田二郎 6回
榎本正雄 6回
大野の携帯 6回
篠塚健次 5回
鈴木太郎 5回
1 1 docomo. ΔΔ. t…

累積メール回数

- 累積メール回数は、お買い上げ時、または前回リセット(→P132)したときから現在までのメール送受信の回数です。電話帳データをFOMA端末(本体)電話帳に登録した後からのｉモードメールの送受信がカウントの対象となります。

2 電源を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- 累積通話回数／累積メール回数が同じ場合は、次の順に表示されます。
  ①五十音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの　⑤記号
- シークレット属性が設定されている相手も含めたすべての相手についてランキングを表示するときは、シークレットモードにしてから操作してください。→P205

通話回数／メール回数をリセットする

FOMA端末（本体）電話帳の検索結果画面から、記録されている個々のコミュニケーション情報（累積通話回数、最終通話日時、累積メール回数、最終メール日時）をお買い上げ時の状態に戻します。

1 待受画面で[電話帳]を押す

前回検索した検索方法の検索結果画面が表示されます。

2 リセットする相手を選択して[MENU][9][3]を押す

リセットするかどうかの確認画面が表示されます。

3 「はい」を選択して[●]を押す

コミュニケーション情報がリセットされます。

4 [電源]を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  FOMA端末（本体）電話帳の詳細画面から操作する場合は[MENU]を押し、「設定／確認」→「コミュニケーションリセット」を選択して操作します。
- すべてのコミュニケーション情報を一度にリセットすることはできません。

メモリ番号で検索する＜メモリ番号検索＞

メモリ番号を入力して、検索します。

1 待受画面で[MENU][電話帳][4][1][5]を押す

メモリ番号検索画面が表示されます。

2 メモリ番号を入力して[●]を押す

- 100の位や10の位の0は省略できます。
- [電源]を押すと待受画面に戻ります。

電話番号で検索する＜電話番号検索＞

電話番号の一部だけを入力して、その数字を含む電話番号を検索します。

1 待受画面で[MENU][電話帳][4][1][6]を押す

電話番号検索画面が表示されます。

2 電話番号の一部を入力して◯を押す

- 最大26桁入力できます。
- ◯を押すとFOMAカード電話帳検索結果画面に切り替わります。→P136
- ◯を押すと待受画面に戻ります。

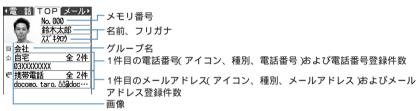
FOMA端末(本体)電話帳の詳細表示について

電話帳の登録内容を表示して確認します。

1 待受画面で◯を押す

FOMA端末(本体)電話帳の検索結果画面が表示されます。

- 前回FOMAカード電話帳を利用した場合はFOMAカード電話帳の検索結果画面が表示されます。

2 詳細表示する電話帳データを選択して◯を押す

- 電話帳データの画像選択(→P115)に動画を設定した場合、動画が再生されます。
- ◯◯を押すと前後の電話帳データの詳細(TOP)画面を表示できます。
- 電話帳データに着信拒否/許可設定や発番号設定、シークレットコードが設定されている場合は、メモリ番号の右に！が表示されます。→P145、P147、P161
- ◯を押すと音声電話、◯を押すとテレビ電話をかけることができます。
  発信方法を選択して電話をかけることもできます。→P139
- ◯を押すと、1件目に登録されているメールアドレスを宛先にしたｉモードメールを作成できます。電話帳データに電話番号のみ登録されている場合は、ショートメッセージ(SMS)の作成画面が表示されます。→P140
- ◯を1秒以上押すと、1件目に登録されている電話番号を宛先にしたショートメッセージ(SMS)を作成できます。→P140

■ 詳細(TOP)画面の登録内容をすべて表示するとき

◯を押す

- 詳細(TOP)画面表示中と同様の操作で、音声電話やテレビ電話をかけたり、メールを作成できます。
- 全登録内容を表示中に◯を押すと詳細(TOP)画面に戻ります。

■ 登録内容の詳細を表示するとき

を押す

を押すたびに「詳細(メール)画面」「詳細(その他)画面」「詳細(電話)画面」の順に切り替わります。を押すと逆順に切り替わります。

- 電話番号を選択してを押すと音声電話、を押すとテレビ電話をかけることができます。
  発信方法を選択して電話をかけることもできます。→P139
- 詳細(メール)画面には、累積メール回数と最終メール日時が表示されます。
  メールアドレスを選択してを押すとｉモードメールを作成できます。→P140
- 詳細(電話)画面には、累積通話回数と最終通話日時が表示されます。
  電話番号を選択してを押すとショートメッセージ(SMS)を作成できます。→P140

3 確認が終わったら電源を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- 累積通話回数／累積メール回数や最終通話日時／最終メール日時は、発信／送信した場合だけでなく、着信／受信した場合も対象になります。ただし、相手が電話に応答しなかったり、電波状況などの理由でメールが届かなかったりした場合は、対象になりません。

FOMAカード電話帳を利用して電話をかける

FOMAカード電話帳を使って簡単に電話をかけることができます。

● 次の検索方法があります。
　・ロケットサーチ→下記　・グループ検索→下記　・五十音検索→P136　・電話番号検索→P136
● FOMAカード電話帳検索結果画面では、相手の名前の前に[アイコン]が表示されます。
● 電話帳の登録内容は表示して確認できます。→P137
● PIMロック中は電話帳を検索できません。
● プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→P208
● 電話帳機能利用中に一度認証操作(4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証)を行うと、電話帳機能を終了するまで認証操作は不要になります。

ロケットサーチで検索する

ダイヤルキー[0]～[9]に割り当てられている文字から電話帳データを検索します。

- ロケットサーチでは、前回使用した電話帳(FOMA端末(本体)電話帳またはFOMAカード電話帳)を検索します。
- 操作方法→P129

グループで検索する<FOMAカードグループ検索>

グループに登録されている電話帳データを検索します。
グループを設定せずに登録した電話帳データは「グループなし」に登録されています。

1 待受画面で[MENU][電話帳][4][1][電話帳][2]を押す

FOMAカードグループ検索画面が表示されます。

2 検索するグループを選択して[●]を押す

- 同一グループ内の電話帳データは次の順に表示されます。
  ①五十音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの　⑤記号
- [電話帳]を押すとFOMA端末(本体)電話帳検索結果画面に切り替わります。→P129
- [電源]を押すと待受画面に戻ります。

名前で検索する＜五十音検索＞

フリガナを入力して、その文字から始まる電話帳データを検索します。

1 待受画面で MENU 📖 4 1 📖 3 を押す

FOMAカード五十音検索画面が表示されます。

2 フリガナを入力して ⬭ を押す

- フリガナは全角カタカナと半角英数字で入力できます。
- 全角で最大12文字、半角で最大25文字入力できます。一部の入力で検索できます。
- 電話帳データは次の順に表示されます。
  ①五十音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの　⑤記号
- 📖を押すとFOMA端末（本体）電話帳検索結果画面に切り替わります。→P130
- 電源を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

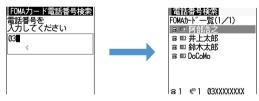
- 文字入力のしかた→P309

電話番号で検索する＜電話番号検索＞

電話番号の先頭から一部だけを入力して、その数字を含む電話番号を検索します。

1 待受画面で MENU 📖 4 1 📖 4 を押す

FOMAカード電話番号検索画面が表示されます。

2 電話番号の一部を入力して ⬭ を押す

- 最大26桁（FOMAカードの種類によっては最大20桁）入力できます。→P55
- 該当する電話帳データが複数ある場合、次の順に表示されます。
  ①五十音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの　⑤記号
- 📖を押すとFOMA端末（本体）電話帳検索結果画面に切り替わります。→P133
- 電源を押すと待受画面に戻ります。

FOMAカード電話帳の詳細表示について

FOMAカード電話帳の登録内容を表示して確認します。

1 待受画面で を2回押す

FOMAカード電話帳の検索結果画面が表示されます。

- 前回FOMAカード電話帳を利用した場合は、待受画面で を押すとFOMAカード電話帳の検索結果画面が表示されます。

2 詳細表示する電話帳データを選択して を押す

- を押すと前後の電話帳データの詳細画面を表示できます。
- を押すと音声電話、 を押すとテレビ電話をかけることができます。
  発信方法を選択して電話をかけることもできます。→P139
- を押すと、電話帳データに登録されているメールアドレスを宛先にしたｉモードメールを作成できます。電話帳データに電話番号のみ登録されている場合は、ショートメッセージ(SMS)の作成画面が表示されます。→P140
- を1秒以上押すと、登録されている電話番号を宛先にしたショートメッセージ(SMS)を作成できます。→P140
- を押すと全登録内容を表示できます。

3 確認が終わったら を押す

待受画面に戻ります。

グループ名を変更する<グループ名変更>

FOMA端末(本体)電話帳の「グループ1」〜「グループ29」と、FOMAカード電話帳の「グループ1」〜「グループ10」のグループ名を自由に変更できます。

- 「グループなし」のグループ名は変更できません。
- プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)は、4〜8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→P208
- 電話帳機能利用中に一度認証操作(4〜8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証)を行うと、電話帳機能を終了するまで認証操作は不要になります。
- PIMロック中、ダイヤル発信制限中は、本機能を利用できません。

1 待受画面で[MENU][電話帳][4][1][8]を押す

グループ選択 1/4
1 グループ1
2 グループ2
3 グループ3
4 グループ4
5 グループ5
6 グループ6
7 グループ7
8 グループ8
9 グループ9

- FOMAカード電話帳のグループ名を変更するときは、[MENU][電話帳][4][1][電話帳][5]を押します。
- FOMA端末(本体)電話帳のグループの選択画面は4ページ、FOMAカード電話帳のグループの選択画面は2ページあります。[左右]を押して画面を切り替えます。

2 [1]〜[9]を押す

3 グループ名を入力して[●]を押す

- FOMA端末(本体)電話帳のグループ名は、全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。
- FOMAカード電話帳のグループ名は、全角で最大10文字、半角で最大21文字入力できます。ただし、全角/半角が混在している場合や、半角カナが含まれている場合は、登録を行うと最大10文字になります。

4 [電話帳]を押す

グループ名が変更されます。

5 [電源]を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- 文字入力のしかた→P309

電話帳を使いこなす

FOMA端末(本体)電話帳には、発信方法を設定して電話をかけたり、電話帳データから直接ｉモードメールやショートメッセージ(SMS)を作成したりする機能があります。また、電話帳データに登録したURLのサイトを表示したり、電話帳データの内容をコピーしたりすることができます。

● プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→P208
● 電話帳機能利用中に一度認証操作(4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証)を行うと、電話帳機能を終了するまで認証操作は不要になります。
● PIMロック中は本機能を利用できません。

発信方法を選択して電話をかける

お買い上げ時	発信方法：音声電話　発番号通知：事前設定に従う　プレフィックス：なし

FOMA端末(本体)電話帳の検索結果画面から発信方法を選択したり、プレフィックスを付加したりして電話をかけます。

- プレフィックスを付加して電話をかけるときは、あらかじめプレフィックスを登録しておく必要があります。→P164

1 **待受画面で[電話帳]を押す**

前回検索した検索方法の検索結果画面が表示されます。

2 **電話をかける相手を選択して[MENU][5]を押す**

項　目	説　明
発信方法	音声電話とテレビ電話(64Kまたは32K)のどちらで電話をかけるかを設定します。
発番号通知	発信者番号を通知するかしないかを設定します。 ・「事前設定に従う」に設定すると、発番号設定で設定した動作で電話をかけます。→P145
プレフィックス	登録済みのプレフィックスを付加して電話をかけるかどうかを設定します。→P164

- 選択した相手の1件目に登録されている電話番号が対象となります。
- 2件目以降の電話番号に電話をかけるときは、FOMA端末(本体)電話帳の詳細(電話)画面を表示し、電話番号を選択して[MENU][5]を押します。

3 **設定する項目を選択して[●]を押し、設定する**

4 **「発信」を選択して[●]を押す**

設定した方法で電話がかかります。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。

メールを作成する

FOMA端末(本体)電話帳の検索結果画面から、ｉモードメールやショートメッセージ(SMS)を作成します。

ｉモードメールを作成する

- 電話帳データにメールアドレスが登録されていないときは、本機能を利用できません。

1 待受画面でを押す

前回検索した検索方法の検索結果画面が表示されます。

2 メールを送信する相手を選択してを押す

選択した相手の1件目に登録されているメールアドレスが宛先に設定されています。

- 相手の電話帳データに電話番号のみ登録されている場合は、ショートメッセージ(SMS)の作成画面が表示されます。
- 電話帳データの2件目以降のメールアドレスを利用してｉモードメールを作成するには、FOMA端末(本体)電話帳の詳細(メール)画面でメールアドレスを選択してを押します。
- ｉモードメールの作成・送信方法→『アプリケーション編』P127

ショートメッセージ(SMS)を作成する

- 電話帳データに電話番号が登録されていないときは、本機能を利用できません。

1 待受画面でを押す

前回検索した検索方法の検索結果画面が表示されます。

2 ショートメッセージ(SMS)を送信する相手を選択してを1秒以上押す

SMS作成画面が表示されます。選択した相手の1件目に登録されている電話番号が宛先に設定されています。

- 相手の電話帳データに電話番号のみ登録されている場合は、を押すとショートメッセージ(SMS)作成画面が表示されます。
- 電話帳データの2件目以降の電話番号を利用してショートメッセージ(SMS)を作成するには、FOMA端末(本体)電話帳の詳細(電話)画面で電話番号を選択してを押します。
- ショートメッセージ(SMS)の作成・送信方法→『アプリケーション編』P175

お知らせ

- 電話番号とメールアドレスが登録されている場合は、FOMA端末(本体)電話帳の詳細画面、FOMAカード電話帳の電話帳一覧または詳細画面、プロフィール情報の詳細画面からを1秒以上押すとショートメッセージ(SMS)を作成できます。

サイトを表示する

電話帳データにURLが登録されている場合に、FOMA端末（本体）電話帳の検索結果画面から直接、指定のサイトに接続します。

1 待受画面で◁を押す

前回検索した検索方法の検索結果画面が表示されます。

2 目的の相手を選択して●を押し、◁▷を押して詳細（その他）画面を表示する

3 URLが選択されている状態でMENU 1 3を押す

お知らせ

- プロフィール情報の詳細画面から操作する場合はMENUを押し、「メール／URL起動」→「URL起動」を選択して操作します。

登録内容をコピーする

FOMA端末（本体）電話帳の検索結果画面から、電話帳データ中の内容をコピーできます。コピーした内容は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。

- コピーした内容は電源を切るまでFOMA端末に保持され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
- 保持できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと内容は上書きされます。

1 待受画面で◁を押す

前回検索した検索方法の検索結果画面が表示されます。

2 コピーする相手を選択してMENU 7を押す

3 1～8を押す

選択した相手に登録されている項目がコピーされます。

- 登録されていない項目のコピーはできません。
- 名前コピーは、姓と名を合わせた状態でコピーされます。
- 電話番号コピー、メールアドレスコピーでは、1件目に設定されている内容がコピーされます。

4 貼り付け先の文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける

- 操作方法→P324

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  FOMA端末（本体）電話帳の詳細画面、FOMAカード電話帳の電話帳一覧または詳細画面、プロフィール情報の詳細画面から操作する場合はMENUを押し、「コピー」を選択して操作します。
- 2件目以降の電話番号やメールアドレスをコピーするには、FOMA端末（本体）電話帳やプロフィール情報の各詳細画面で、コピーする電話番号やメールアドレスを選択してから操作します。

電話帳を修正する

FOMA端末(本体)電話帳に登録した電話帳データの内容を修正したり、電話帳データ内の電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えたりします。また、2つの電話帳データのメモリ番号を入れ替えることができます。

- プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→P208
- 電話帳機能利用中に一度認証操作(4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証)を行うと、電話帳機能を終了するまで認証操作は不要になります。
- PIMロック中、ダイヤル発信制限中は、本機能を利用できません。

登録内容を修正する

FOMA端末(本体)電話帳の検索結果画面から、登録済みの電話帳データを修正します。

1 待受画面で(電話帳)を押す

前回検索した検索方法の検索結果画面が表示されます。

2 修正する相手を選択して(MENU)(3)を押す

編集画面が表示されます。

3 電話帳データを修正して登録する

- 操作方法→P113
- メモリ番号を変更しなかった場合、登録時に上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「いいえ」を選択して( )を押すと、再度メモリ番号入力画面に戻ります。メモリ番号を変更した場合やFOMAカード電話帳の場合は、登録時に登録方法の確認画面が表示されます。上書きするときは「上書き登録」を、上書きしないときは「新規登録」を選択して( )を押します。

4 (電源)を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- FOMA端末(本体)電話帳の詳細画面、FOMAカード電話帳の電話帳一覧または詳細画面から操作する場合は(MENU)を押し、「編集」を選択して操作します。
- FOMAカード電話帳の電話帳データの電話番号に「*」が含まれている場合は上書き登録ができないことがあります。その場合は新規登録するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して( )を押すと、新規登録されます。
- シークレットモード中に電話帳データを修正した場合、その電話帳データにはシークレット属性が設定されます。→P148、P205

電話番号やメールアドレスの順番を入れ替える

電話帳データに複数の電話番号やメールアドレスが登録されている場合に、FOMA端末(本体)電話帳の検索結果画面から、電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えます。

〈例〉電話番号の順番を入れ替えるとき

1 待受画面で(電話帳)を押す

前回検索した検索方法の検索結果画面が表示されます。

2 **目的の相手を選択して[MENU][9][2][1]を押す**

電話番号入替え
03XXXXXXXX
090XXXXXXXX

- メールアドレスの順番を入れ替えるときは[MENU][9][2][2]を押します。

3 **1件目に登録する電話番号を選択して[●]を押す**

選択した電話番号と1件目の電話番号が入れ替わります。

4 **[電源]を押す**

待受画面に戻ります。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  FOMA端末(本体)電話帳の詳細画面から操作する場合は[MENU]を押し、「設定／確認」→「入替え」→「電話番号入替え」または「メールアドレス入替え」を選択して操作します。

メモリ番号を入れ替える

FOMA端末(本体)電話帳の検索結果画面から、2つの電話帳データのメモリ番号を入れ替えます。

1 **待受画面で[電話帳]を押す**

前回検索した検索方法の検索結果画面が表示されます。

2 **目的の相手を選択して[MENU][9][2][3] を押す**

3 **メモリ番号を入れ替える相手を選択して[●]を押す**

メモリ番号が入れ替わります。

4 **[電源]を押す**

待受画面に戻ります。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  FOMA端末(本体)電話帳の詳細画面から操作する場合は[MENU]を押し、「設定／確認」→「入替え」→「メモリ番号入替え」を選択して操作します。

電話帳に各種機能を設定する

FOMA端末(本体)電話帳に登録されている電話帳データ内の電話番号ごとに、発信者番号の通知／非通知を設定したり、テレビ電話をかけるときの通信速度を設定することができます。また、メールアドレスごとにシークレットコードを設定することができます。

● プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→P208
● 電話帳機能利用中に一度認証操作(4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証)を行うと、電話帳機能を終了するまで認証操作は不要になります。
● PIMロック中、ダイヤル発信制限中は、本機能を利用できません。
● FOMAカード電話帳の電話帳データに対しては、ここで説明する機能を設定することはできません。

電話番号に発信者番号通知／非通知を設定する<発番号設定>

お買い上げ時	設定なし

FOMA端末(本体)電話帳の検索結果画面から電話をかけるときの発信者番号の通知／非通知を、電話番号ごとに設定します。

1 待受画面で[電話帳]を押す

前回検索した検索方法の検索結果画面が表示されます。

2 設定する相手を選択して[MENU][9][1][2]を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

3 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

4 電話番号を選択して[●]を押す

5 [1]～[3]を押す

発番号設定が設定されます。

• 発番号設定を解除するときは[3]を押します。

6 [電源]を押す

待受画面に戻ります。

電話帳を利用する

電話帳に各種機能を設定する

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  FOMA端末(本体)電話帳の詳細画面から操作する場合は MENU を押し、「設定/確認」→「設定」→「発番号設定」を選択して操作します。
- 「設定なし」に設定すると、発信者番号通知の設定に従って動作します。→P295
- 発番号設定をした電話帳データの詳細(TOP)画面には、メモリ番号の右に ! が表示されます。→P133
- 通話ごとに発信者番号の通知/非通知を指定したとき(→P71)は、電話番号ごとの発番号設定よりも優先されます。

テレビ電話をかけるときの通信速度を設定する<TV電話設定>

FOMA端末(本体)電話帳の検索結果画面からテレビ電話をかけるときの通信速度を、電話番号ごとに設定します。

1 待受画面で 📖 を押す

前回検索した検索方法の検索結果画面が表示されます。

2 設定する相手を選択して MENU 9 1 5 を押す

3 目的の電話番号を選択して ● を押す

4 1 ～ 2 を押す

通信速度が設定されます。

5 電源 を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  FOMA端末(本体)電話帳の詳細画面から操作する場合は MENU を押し、「設定/確認」→「設定」→「TV電話設定」を選択して操作します。
- 通話ごとにテレビ電話の通信速度を指定した場合(→P94)は、電話番号ごとの通信速度設定よりも優先されます。

メールアドレスにシークレットコードを設定する<シークレットコード設定>

相手がメールアドレス(電話番号@docomo.ne.jp)にシークレットコードを登録している場合は、そのシークレットコードを電話帳データのメールアドレスに設定しておくことで、電話帳を検索してｉモードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

1 待受画面で[電話帳]を押す

前回検索した検索方法の検索結果画面が表示されます。

2 設定する相手を選択して[MENU][9][1][4]を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

3 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

4 メールアドレスを選択して[●]を押す

- シークレットコード設定を解除するには、[クリア]を1秒以上押してシークレットコードを消去してください。

5 4桁のシークレットコードを入力して[●]を押す

シークレットコードが設定されます。

6 [電源]を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  FOMA端末(本体)電話帳の詳細画面から操作する場合は[MENU]を押し、「設定／確認」→「設定」→「シークレットコード設定」を選択して操作します。
- シークレットコード→『アプリケーション編』P166
- シークレットコードを設定した電話帳データの詳細(TOP)画面には、メモリ番号の右に[!]が表示されます。→P133
- メールアドレスを「電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手にメール送信や返信ができなくなります。「電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードの登録を行ってください。
- プロフィール情報に、シークレットコードは設定できません。

電話帳を削除する

FOMA端末（本体）電話帳に登録されている1人分の電話帳データ（メモリ番号 1件分）を削除します。

● プライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→P208

● 電話帳機能利用中に一度認証操作（4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証）を行うと、電話帳機能を終了するまで認証操作は不要になります。

● PIMロック中、ダイヤル発信制限中は、本機能を利用できません。

1 待受画面で[電話帳]を押す

前回検索した検索方法の検索結果画面が表示されます。

2 削除する相手を選択して[MENU][4]を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「はい」を選択して[●]を押す

1人分の電話帳データが削除されます。

4 [電源]を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

• サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
FOMA端末（本体）電話帳の詳細画面、FOMAカード電話帳の電話帳一覧または詳細画面から操作する場合は[MENU]を押し、「電話帳削除」を選択して操作します。

他人に見られたくない電話帳を守る＜シークレット属性＞

他人に見られたくない電話帳データは、認証操作（4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証）をしないと呼び出せないシークレット属性をもったデータとして登録します。シークレット属性を設定するにはシークレットモード（→P205）中に設定操作をする必要があります。

● プライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→P208

● 電話帳機能利用中に一度認証操作（4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証）を行うと、電話帳機能を終了するまで認証操作は不要になります。

● PIMロック中、ダイヤル発信制限中は、本機能を利用できません。

電話帳にシークレット属性を設定する＜シークレット属性設定＞

登録済みの電話帳データにシークレット属性を設定します。

• FOMAカード電話帳データにはシークレット属性を設定できません。
• シークレットモードを設定していないときは、シークレット属性の設定／解除はできません。

1 シークレットモードを設定する

• 操作方法→P205

2 待受画面で（電話帳/履歴）を押す

前回検索した検索方法の検索結果画面が表示されます。

3 設定する相手を選択して（MENU）（9）（1）（1）を押す

選択されている相手にシークレット属性が設定されていると点滅します。

- シークレット属性を解除するには、シークレット属性が設定されている電話帳データを選択して（MENU）（9）（1）（1）を押します。

4 （電源）を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  FOMA端末（本体）電話帳の詳細画面から操作する場合は（MENU）を押し、「設定／確認」→「設定」→「シークレット属性設定」を選択して操作します。シークレット属性を解除する場合は（MENU）を押し、「設定／確認」→「設定」→「シークレット属性解除」を選択して解除します。
- シークレットモード中に電話帳データを登録・編集した場合でもシークレット属性が設定されます。
- シークレット属性が設定されている電話帳データは、シークレットモードを設定していないと検索できません。また、クイックダイヤルやクイックメールも利用できません。
- シークレットモードを設定していないときは、着信画面、リダイヤル、着信履歴、受信メール一覧、背面ディスプレイなどに、シークレット属性が設定されている電話帳データの名前は表示されません。
  名前の表示→P110

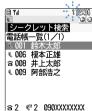
シークレット属性を設定した電話帳を検索する＜シークレット検索＞

シークレット属性が設定されている電話帳データだけを検索します。

- シークレットモードを設定していないときは検索できません。

1 シークレットモードを設定する

- 操作方法→P205

2 待受画面で（MENU）（電話帳/履歴）（4）（1）（7）を押す

- 以降の操作は通常の検索方法と同じです。→P128

3 （電源）を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- シークレットモードを設定してシークレット検索以外の検索を行うと、シークレット属性が設定されている電話帳データと設定されていない電話帳データの両方が検索の対象となります。
- 前回シークレット検索を行った状態で電話帳一覧を表示したとき、シークレットモードを設定中の場合は、前回と同じシークレット検索結果画面が表示されます。シークレットモードが解除されている場合は、メモリ番号検索結果画面が表示されます。

少ないダイヤル操作で電話をかける<クイックダイヤル>

FOMA端末（本体）電話帳のメモリ番号0～99の相手には、簡単な操作で電話をかけることができます。

● 電話帳データの1件目の電話番号が電話をかける対象となります。
● PIMロック中、プライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）は、本機能を利用できません。

〈例〉メモリ番号8の電話番号に電話をかけるとき

1 待受画面でメモリ番号（この場合は（8））を入力して（発信）を押す

- メモリ番号の前に0などは付けずに入力します。上記画面で（0）（8）のように入力すると、クイックダイヤルは利用できません。
- メモリ番号を入力して（テレビ電話）を押すと、テレビ電話をかけることができます。

お知らせ

- 入力したメモリ番号の電話帳データに電話番号が登録されていない、または電話帳データが登録されていない場合は、（発信）を押すと該当するデータがない旨の確認画面が表示されます。（ ）を押すと待受画面に戻ります。
- シークレット属性が設定されている電話帳データの場合、シークレットモードに設定してから操作してください。→P205
- 電話番号の順番を入れ替える→P143

手早くメールを作成する<クイックメール>

FOMA端末(本体)電話帳のメモリ番号0～99の相手には、簡単な操作でショートメッセージ(SMS)やｉモードメールを作成できます。

● ショートメッセージ(SMS)の場合は1件目の電話番号、ｉモードメールの場合は1件目のメールアドレスが宛先となります。
● PIMロック中、プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)は、本機能を利用できません。

〈例〉メモリ番号23のメールアドレスにｉモードメールを送信するとき

1 待受画面でメモリ番号(この場合は2 3)を押して✉を押す

電話帳の1件目のメールアドレスが宛先に設定されています。

- メモリ番号の前に0などは付けずに入力します。上記画面で0 2 3のように入力すると、クイックメールは利用できません。
- ✉を1秒以上押すと、入力したメモリ番号の電話帳データに登録されている電話番号を宛先にしたショートメッセージ(SMS)の作成画面が表示されます。
- ｉモードメールの作成・送信方法→『アプリケーション編』P127
- ショートメッセージ(SMS)の作成・送信方法→『アプリケーション編』P175

お知らせ

- 入力したメモリ番号の電話帳データにメールアドレスが登録されていない、または電話帳データが登録されていない場合は、✉を押すと宛先または電話帳データが登録されていない旨の確認画面が表示されます。◯を押すと宛先が設定されていないメール作成画面が表示されます。
- 入力したメモリ番号の電話帳データに電話番号が登録されていない、または電話帳データが登録されていない場合は、✉を1秒以上押すと宛先または電話帳データが登録されていない旨の確認画面が表示されます。◯を押すと、宛先が設定されていないショートメッセージ(SMS)の作成画面が表示されます。
- シークレット属性が設定されている電話帳データの場合、シークレットモードに設定してから操作してください。→P205
- メールアドレスの順番を入れ替える→P143

電話帳をコピーする

FOMA端末(本体)電話帳からFOMAカードにコピーしたり、FOMAカード電話帳からFOMA端末(本体)にコピーしたりします。

● プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)は、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→P208

● 電話帳機能利用中に一度認証操作(4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証)を行うと、電話帳機能を終了するまで認証操作は不要になります。

FOMA端末(本体)電話帳をFOMAカード電話帳にコピーする

- FOMA端末(本体)電話帳の検索結果画面から操作する場合は、複数の電話帳データをまとめてコピーできます。詳細画面から操作する場合は、表示中の電話帳データがコピーされます。
- コピーするFOMA端末(本体)電話帳の電話帳データのグループと同じ名前のグループがFOMAカード電話帳に存在する場合は、そのグループにコピーされます。
- 次の項目がコピーされます。ただし、FOMAカードに保存できる最大文字数を超えた部分は切り捨てられます。
  - ・名前　：名前(姓と名)をコピーします(全角で最大10文字、半角で最大21文字。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、最大10文字)。
  - ・フリガナ　：フリガナ(姓と名)をコピーします(半角で最大25文字)。FOMAカードでは、半角カタカナは全角カタカナに置き換えられます。
  - ・電話番号　：1件目に登録されている電話番号をコピーします(最大26桁。FOMAカードの種類によっては最大20桁となります。→P55)。タイマー(「T」)または「+」が登録されている場合は、タイマー(「T」)または「+」のみが削除されます。FOMAカードでは、アイコンはすべて☎に置き換えられます。
  - ・メールアドレス　：1件目に登録されているメールアドレスをコピーします(半角で最大50文字)。FOMAカードでは、アイコンはすべて📧に置き換えられます。

1 **待受画面で[電話帳]を押す**

前回検索した検索方法の検索結果画面が表示されます。

- 前回FOMAカード電話帳を利用した場合は、待受画面で[電話帳]を2回押すとFOMA端末(本体)電話帳の検索結果画面が表示されます。

2 **[MENU][8][3]を押す**

電話帳選択画面が表示されます。

3 **コピーする相手を選択して[決定]を押す**

ら か さしすせそ た な
電話帳選択(1/1)
□ 篠塚健次
☑ 鈴木太郎
□ 鈴木誠
☎2 📧2 03XXXXXXXX

- [決定]を押すと□が☑に変わり、選択されます。
- 既に選択されている電話帳データ(☑)を選択して[決定]を押すと、選択が解除(□)されます。
- [MENU]を押すとすべての電話帳データを選択／解除できます(選択状況によりガイド行の表示が異なります)。

4 **[電話帳]を押す**

FOMA端末(本体)電話帳からFOMAカードにコピーされます。

5 **[電源]を押す**

待受画面に戻ります。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  FOMA端末(本体)電話帳の詳細画面から操作する場合はMENUを押し、「データ送信」→「FOMAカードへコピー」を選択して操作します。

FOMAカード電話帳をFOMA端末(本体)電話帳にコピーする

- FOMAカード電話帳の検索結果画面から操作する場合は、複数の電話帳データをまとめてコピーできます。詳細画面から操作する場合は、表示中の電話帳データがコピーされます。
- コピーするFOMAカード電話帳の電話帳データのグループと同じ名前のグループがFOMA端末(本体)電話帳に存在する場合は、そのグループにコピーされます。
- 次の項目がコピーされます。
  - ・名前　：FOMA端末(本体)電話帳の姓にコピーされます。
  - ・フリガナ　：FOMA端末(本体)電話帳の姓のフリガナにコピーされます。
    FOMA端末(本体)では、全角カタカナは半角カタカナに置き換えられます。
  - ・電話番号　：電話番号にコピーされます。アイコンはが設定されます。
  - ・メールアドレス　：メールアドレスにコピーされます。アイコンはが設定されます。

1 待受画面でを2回押す

FOMAカード電話帳の検索結果画面が表示されます。
- 前回FOMAカード電話帳を利用した場合は、待受画面でを押すとFOMAカード電話帳の検索結果画面が表示されます。

2 MENU 8 3 を押す

電話帳選択画面が表示されます。

3 コピーする相手を選択してを押す

- 操作方法→P152

4 を押す

FOMAカード電話帳からFOMA端末(本体)にコピーされます。

5 電源を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  FOMAカード電話帳の詳細画面から操作する場合はMENUを押し、「データ送信」→「メモリ内へコピー」を選択して操作します。

電話帳の登録状況を確認する

FOMA端末(本体)電話帳の登録件数やシークレット設定されている件数などを表示して確認します。

1 待受画面で[電話帳]を押す

前回検索した検索方法の検索結果画面が表示されます。

2 [MENU][9][4]を押す

3 確認が終わったら[ ]を押す

検索結果画面に戻ります。

4 [電源]を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  FOMA端末(本体)電話帳の詳細画面から操作する場合は[MENU]を押し、「設定／確認」→「登録件数確認」を選択して操作します。FOMAカード電話帳の電話帳一覧または詳細画面から操作する場合は[MENU]を押し、「登録件数確認」を選択して操作します。

電話から鳴る音を消す<マナーモード>

マナーモードは、着信を振動で知らせたり、キーを押したときの確認音を消したりして、周囲の迷惑にならないようにする機能です。

- マナーモード中でも、カメラ撮影時の撮影確認音は鳴ります。
- 動画／iモーションやメロディの再生時には、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。

マナーモードの種類を選択する

お買い上げ時	通常マナーモード

マナーモードは、通常マナーモードとオリジナルマナーモードの2種類があります。マナーモードを起動したときの動作を設定します。

1 待受画面でMENU 📖 8 1 6を押す

2 1～2を押す

- 通常マナーモードに設定した場合に、マナーモードを起動すると次のように動作します。

項　目	設　定	説　明
バイブレータ	ON	待受中の着信を振動で知らせます。ただし、通話中に着信があった場合は振動しません。
キー確認音	OFF	キーを押しても確認音は鳴りません。
着信音量	消音	着信音は鳴りません。
電池アラーム音	OFF	電池が切れたときにアラーム音は鳴りません。
目覚まし／スケジュール音	OFF	目覚まし音、スケジュールアラームは鳴りません。 • 目覚まし設定時、着信ランプとバイブレータの設定は目覚まし設定の設定に従います。→P215 • スケジュール設定時、着信ランプは着信イルミネーションの音声電話の設定（→P246）に従い、マナーモードのバイブレータによる振動で動作します。
マイク感度UP	ON	小さな声で話しても、通話相手には普通の大きさで聞こえます。

- オリジナルマナーモードに設定するとオリジナルマナーモード設定画面が表示され、項目ごとに動作を設定できます。→P157

3 電源を押す

待受画面に戻ります。

マナーモードを起動する

1 待受画面で(#マナー)を1秒以上押す

バイブレータが振動し、マナーモードが設定されます。

- マナーモード中は、待受画面にが表示されます。
- マナーモード中は、マナーモード選択画面で設定したモード(通常マナーモードまたはオリジナルマナーモード)で動作します。
- FOMA端末がクローズ状態のときは、サイドキー[▲]を1秒以上押しても設定できます。FOMA端末がクローズ状態のときにサイドキー[▲]を2回押すと、背面ディスプレイにが表示されます。

マナーモードを解除する

1 マナーモード中に(#マナー)を1秒以上押す

マナーモードが解除されます。

- 待受画面からが消えます。
- FOMA端末がクローズ状態のときは、サイドキー[▲]を1秒以上押しても解除できます。背面ディスプレイからが消えます。

お知らせ

- サイドキーロック中(→P210)は、FOMA端末がクローズ状態のときにサイドキー[▲]を1秒以上押してもマナーモードの設定/解除はできません。
- マナーモード中にPIMロックを設定した状態で電話帳に登録されている番号からの着信があってもマナーモードが動作します。
- マナーモード中は、添付ファイル自動再生設定(→『アプリケーション編』P163)を「自動再生する」に設定して受信メールや受信メッセージR/F を表示しても、メロディは再生されません。ただし、メロディを選択した場合は、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、通常マナーモード中は着信音量調整(→P83)で着信音に設定されている音量で、オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモード設定の着信音量(→P157)に設定されている音量で再生されます。

マナーモードを変更する<オリジナルマナーモード設定>

お買い上げ時	通常マナーモード

マナーモードの動作を変更します。

1 待受画面で MENU 📖 8 1 6 2 を押す

オリジナルマナーモード設定	
バイブレータ	ON
キー確認音	OFF
着信音量	消音
電池アラーム音	OFF
目覚まし/スケジュール音	OFF
マイク感度UP	ON

項　目	説　明
バイブレータ	オリジナルマナーモード中に電話の着信やメールの受信があったときのバイブレータの動作を設定します。 •「ON」に設定すると、待受中の着信をバイブレータ設定に従って振動で知らせます。→P158　ただし、バイブレータ設定が「OFF」に設定されている項目の着信や受信があった場合は、「パターンA」で振動します。
キー確認音	オリジナルマナーモード中のキー確認音を設定します。
着信音量	オリジナルマナーモード中に電話の着信やメールの受信があったときの着信音の音量やｉアプリの音量を設定します。
電池アラーム音	オリジナルマナーモード中に電池が切れそうなとき、アラーム音を鳴らすかどうかを設定します。
目覚まし／スケジュール音	オリジナルマナーモード中に目覚まし設定やスケジュールの設定日時になったとき、目覚まし音やスケジュールアラームを鳴らすかどうかを設定します。 •「ON」に設定中は、目覚まし音は目覚まし設定の設定に従います。→P214　スケジュールアラームの音量は、オリジナルマナーモードの「着信音量」に従います。
マイク感度UP	オリジナルマナーモード中のマイクの感度を設定します。

2 設定する項目を選択して ○ を押し、設定する

3 📖 を押す

オリジナルマナーモードが設定されます。

4 ☎電源 を押す

待受画面に戻ります。

着信やアラームを振動で知らせる<バイブレータ設定>

お買い上げ時	電話：OFF　メール：OFF　メッセージR：OFF　メッセージF：OFF　TV電話：OFF

電話着信時、メールやメッセージR/F受信時、アラーム設定日時に振動でお知らせします。

● バイブレータを設定して机などの上に置いたままにすると、バイブレータが動作したときに振動で落下する恐れがあります。
● 通話中に着信があった場合は振動しません。

1 待受画面でMENU 8 1 7を押す

2 設定する種類を選択して◯を押す

バイブレータ設定
1 パターンA
2 パターンB
3 パターンC
4 メロディ連動
5 OFF

項　目	説　明
1パターンA	0.5秒振動→0.5秒停止→0.5秒振動→1.5秒停止の繰り返しで振動します。
2パターンB	1秒振動→2秒停止の繰り返しで振動します。
3パターンC	0.25秒振動→0.25秒停止の繰り返しで振動します。
4メロディ連動	着信音設定で設定したメロディに合わせて振動します。ただし、ダウンロードしたメロディのファイル仕様によっては連動しないことがあります。
5OFF	振動しません。

- を押してパターンを選択すると、選択されているパターンで約60秒間振動します。ただし、「メロディ連動」の場合は振動しません。

3 1～5を押す

4 を押す

バイブレータが設定されます。

5 電源を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- 電話の着信をバイブレータに設定すると待受画面にVが表示されます。また、同時に着信音量を消音に設定するとSVが表示されます。FOMA端末がクローズ状態のときにサイドキー[▲]を2回押すと、背面ディスプレイにVまたはSVが表示されます。
- スケジュールアラーム／予告アラーム開始日時になったときは、「電話」の設定パターンで振動します。
- 次の機能でもバイブレータを設定できます。
  ・電話帳登録→P118　・メール着信設定→『アプリケーション編』P202
  ・メッセージ着信設定→『アプリケーション編』P113
- 電話帳の電話着信バイブレータ、メール着信バイブレータを設定している場合は、電話帳の設定が優先されます。→P118
- バイブレータ設定中でも、Flash画像の効果音が鳴った場合は振動しないことがあります。

応用操作編

呼出動作をすぐに開始しないようにする<着信呼出動作開始時間>

お買い上げ時	着信呼出動作：OFF

FOMA端末(本体)電話帳またはFOMAカード電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときに、着信音やバイブレータ、背面ディスプレイや着信ランプの動作(呼出動作)をすぐに開始せずに、設定した時間が経過後に開始するように設定します。

● 設定を「ON」にしている場合、次の動作となります。
- 電話がかかってくると、設定した時間内はディスプレイ表示のみで着信をお知らせします。設定した時間が経過すると、通常の呼出動作を開始します。
- 設定した時間に満たない不在着信は着信履歴に表示されません。ただし、着信の記録は呼出開始時間内履歴として残りますから、設定を「OFF」にすると、設定「ON」中の履歴も含めてすべて表示されます。→P80
- PIMロック中に電話帳に登録されている相手から着信があっても、相手の名前は表示されず、本機能が動作します。
- 通常の着信履歴と呼出開始時間内履歴は、合わせて最大30件記録されます。
- 発信者番号が通知されない電話がかかってきた場合も、本機能が動作します。

● 設定した時間が経過する前でも、電話に出たり伝言メモで応対したり、通常の着信中の操作(→P78)を行うことはできます。その場合は着信履歴に表示されます。

● 電話帳に登録されている相手から電話がかかってきた場合は、本機能の設定に関わらず、着信と同時に呼出動作を開始します。

1 待受画面でMENU 📖 8 1 8 を押す

項　目	説　明
着信呼出動作	着信呼出動作開始時間を有効にするかどうかを設定します。
開始時間(秒)	着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定します。

2 着信呼出動作欄を選択して◯を押し、1～2を押す

- 電話がかかってくると同時に呼出動作を開始するときは2を押し、操作4 に進みます。

3 開始時間欄を選択して◯を押し、開始時間を入力して◯を押す

- 1 ～99 秒の範囲で設定できます。

4 📖を押す

着信呼出動作開始時間が設定されます。

お知らせ

- 伝言メモやオート着信機能を設定中は、本機能の設定に関わらず、着信後に設定した時間が経過するとそれらの機能が作動します。留守番電話サービスや転送でんわサービスを開始に設定している場合や、ドライブモード設定中も同様です。
- オート着信機能と同じ時間を設定すると、着信のタイミングによっては着信音が鳴る場合があります。
- メモリ別着信拒否／許可やメモリ登録外着信拒否、発番号なし動作設定で着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってきた場合は、本機能よりそれらの動作が優先されます。→P161、P162、P163
- 本機能は音声電話、テレビ電話ともに有効です。

電話番号を指定して着信を拒否／許可する<メモリ別着信拒否／許可>

FOMA端末（本体）電話帳に登録されている電話番号を指定して、着信拒否／許可を設定します。

- FOMA端末（本体）電話帳に登録されている電話番号それぞれに着信拒否／許可を設定できます。
- 相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
- 着信拒否を設定した相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、本機能の設定に関わらず、発番号なし動作設定に従った動作となります。
- 番号通知お願いサービス（→P297）、および発番号なし動作設定（→P163）を併用されることをおすすめします。
- PIMロック中、ダイヤル発信制限中は本機能を利用できません。

着信を拒否／許可する電話番号を指定する

FOMA端末（本体）電話帳に登録されている電話番号に対して、着信拒否／許可を設定します。

- 電話番号に設定した着信拒否／許可は、メモリ別着信拒否／許可設定で「拒否設定」または「許可設定」を設定しないと有効になりません。→P162
- FOMAカード電話帳には着信拒否／許可を設定できません。
- プライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）は、4 ～8 桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→P208

1 待受画面で［電話帳］を押す

前回検索した検索方法の検索結果画面が表示されます。

2 設定する相手を選択して［MENU］［9］［1］［3］を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

3 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

4 電話番号を選択して［●］を押す

5 ［1］～［3］を押す

着信拒否／許可設定が設定されます。

- 設定を解除するときは［3］を押します。

お知らせ

- FOMA端末（本体）電話帳の詳細画面から操作する場合は［MENU］を押し、「設定／確認」－「設定」－「着信許可／拒否設定」の順に選択して操作します。
- 着信拒否／許可を設定した電話帳データの詳細（TOP）画面には、メモリ番号の右に［!］が表示されます。→P133
- 着信拒否／許可を設定した電話番号にも、着信拒否／許可の有効／無効に関わらず、電話をかけることはできます。
- 着信拒否／許可を設定している電話番号を変更した場合、本設定は解除されますので、変更後の電話番号に対して着信拒否／許可を設定し直してください。

着信拒否／許可設定を有効にする

お買い上げ時 | 設定解除

着信拒否／許可を有効にするかどうかを設定します。

- あらかじめ着信拒否／許可する電話番号を設定する必要があります。→P161

1 待受画面で MENU 📖 8 6 5 を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

メモリ別着信拒否/許可設定
1 設定解除
2 拒否設定
3 許可設定

3 1～3を押す

メモリ別着信拒否／許可設定が設定されます。

- 設定を解除するときは1を押します。

お知らせ

- 「拒否設定」にしている場合、着信拒否を設定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音は鳴らずに電話は切れ、相手には話中音が流れます。ただし、着信履歴には記録されます。留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。
- 「許可設定」にしている場合、着信許可を設定していない電話番号から電話がかかってきたときは、着信音は鳴らずに電話は切れ、相手には話中音が流れます。ただし、着信履歴には記録されます。留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。
- ショートメッセージ（SMS）やｉモードメールは、本機能の設定に関わらず、受信されます。

電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する<メモリ登録外着信拒否設定>

お買い上げ時 | OFF

FOMA端末（本体）電話帳またはFOMAカード電話帳に登録されていない相手からの着信を拒否します。

- 設定を「ON」にしている場合、電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきたとき、またはシークレット属性を設定した電話帳データからシークレットモード設定中以外に着信があったとき、発信者番号の通知／非通知に関わらず着信を拒否します。ただし、着信履歴には記録されます。
- PIMロック中は本機能を利用できません。

1 待受画面で MENU 📖 8 6 6 を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

メモリ登録外着信拒否設定画面が表示されます。

3 1～2を押す

メモリ登録外着信設定が設定されます。

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する<発番号なし動作設定>

お買い上げ時	非通知設定：設定解除　公衆電話：設定解除　通知不可能：設定解除

発信者番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由(発信者番号非通知理由→P72)によって異なる着信動作を設定します。

- 発番号が通知されない着信があったときに鳴る着信音は、着信音設定より本機能の設定が優先されます。
- PIMロック中は本機能を利用できません。

1 待受画面でMENU 📖 8 6 2を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 非通知設定欄を選択して◯を押す

- 公衆電話の着信動作を設定するときは公衆電話欄を選択して◯を押します。
- 通知不可能の着信動作を設定するときは通知不可能欄を選択して◯を押します。

■ 着信音設定の「電話」で設定した着信音を鳴らすとき

1を押す

■ 着信音を鳴らさずに電話を切るとき

2を押す

■ 着信音を鳴らさないようにするとき

3を押す

■ 着信メロディを設定するとき

①4を押す

②メロディ欄を選択して◯を押す

「メロディ」のフォルダ一覧が表示されます。

③フォルダを選択して◯を押し、一覧からメロディを選択して◯を押す

メロディが設定され、発番号なし動作設定画面に戻ります。

- メロディ一覧の見かた→『アプリケーション編』P288

メロディを選択して📖を押すとメロディを再生できます。再生中はサイドキー[▲▼]、◁▷を押して音量調整、📷 iαを押して前後のメロディの再生ができます。◯を押すと設定されます。

■ 着モーションを設定するとき

- 自端末で撮影した動画、または撮影して編集した動画、詳細情報の着信音設定が「可」になっている動画／ｉモーションのみ着信音に設定できます。
  着モーションについて→P174

①5を押す

②動画／ｉモーション欄を選択して○を押す

「ｉモーション」のフォルダ一覧が表示されます。

③フォルダを選択して○を押し、一覧から動画／ｉモーションを選択して○を押す

動画／ｉモーションが設定され、発番号なし動作設定画面に戻ります。

- 動画／ｉモーション一覧の見かた→『アプリケーション編』P270
- 動画／ｉモーションを選択して［ⅰαppli］を押すと動画／ｉモーションを再生できます。

4 ［ⅰαppli］を押す

発番号なし動作設定が設定されます。

お知らせ

- ショートメッセージ（SMS）やｉモードメールは、本機能の設定に関わらず、受信されます。
- 「着信拒否」に設定した場合、拒否された着信は着信履歴に記録されます。
- 電話番号が通知されないテレビ電話の着信があった場合は、該当する発信者番号非通知理由の設定欄が「着信拒否」に設定しているときのみ本機能が動作します。それ以外に設定した場合は、着信音設定のテレビ電話の設定に従って動作します。

電話番号の先頭に付加する番号を登録する＜プレフィックス設定＞

お買い上げ時	009130010

国際電話をかける際の「009130010」など、電話番号の先頭に付加する番号（プレフィックス）を登録しておくと、電話番号をダイヤルした後でも、簡単にプレフィックスを付加して電話をかけることができます。

● 最大3件登録できます。

1 待受画面で［MENU］［ⅰαppli］［8］［7］［5］を押す

プレフィックス設定
プレフィックス1
009130010
プレフィックス2
プレフィックス3

2 プレフィックス欄を選択し、番号を入力して○を押す

- 最大10桁入力できます。

3 ［ⅰαppli］を押す

プレフィックスが登録されます。

お知らせ

- プレフィックスを付加して電話をかける→P76、P139
- ［0］を1秒以上押して、「＋」を入力できます。
- ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を含めてプレフィックスを設定すると、そのプレフィックスを付加して電話をかけることはできません。

サブアドレスを指定して電話をかける＜サブアドレス設定＞

お買い上げ時	ON

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出すように設定します。

●サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です(ISDN回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など)。また、「M-stage Vライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

1 待受画面で MENU 📖 8 7 6 を押す

サブアドレス設定画面が表示されます。

2 1 ～ 2 を押す

サブアドレス設定が設定されます。

サブアドレスを指定して電話をかける

電話番号の後に、＊ を押して「＊」(サブアドレスの区切り)とサブアドレスを入力して、📞 または ▲ を押します。ただし、相手の電話機や通信機器にサブアドレスが設定されている必要があります。

お知らせ

- 「ON」に設定していても、電話番号の先頭に「＊」を入力した場合やプレフィックスで付加した番号内に「＊」がある場合は、「＊」以降の番号はサブアドレスとして認識されません。
- 本機能は音声電話、テレビ電話ともに有効です。

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする＜ノイズキャンセラ設定＞

お買い上げ時	ON

FOMA端末は、通話中の周囲の騒音を抑える機能(ノイズキャンセラ)を備えています。ノイズキャンセラを設定すると、通話時に明瞭な声を相手に送ることができます。また、相手の声も明瞭に聞こえるように調整します。

●通常は、「ON」に設定した状態でのご使用をおすすめします。

1 待受画面で MENU 📖 8 7 1 を押す

ノイズキャンセラ設定画面が表示されます。

2 1 ～ 2 を押す

ノイズキャンセラが設定されます。

お知らせ

- 本機能は音声電話、テレビ電話ともに有効です。

再接続するときのアラームを設定する＜再接続アラーム設定＞

お買い上げ時	アラーム高音

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた通話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラーム音を設定します。

● 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
● 利用状態や電波状態により、再接続が可能な時間は異なります。目安は約10秒間です。
● 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
● 利用状態や電波状態により、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 待受画面で MENU 📖 8 7 2 を押す

再接続アラーム設定
1 アラーム高音
2 アラーム低音
3 アラームOFF

2 1 〜 3 を押す

再接続アラームが設定されます。

お知らせ

- 本機能は音声電話、テレビ電話ともに有効です。

通話が途切れそうなときにアラームで知らせる＜通話品質アラーム設定＞

お買い上げ時	アラーム高音

通話状態が悪く、途中で音声通話が途切れてしまう恐れのある場合、直前にアラーム音を鳴らしてお知らせします。

● 急に通話状態が悪くなった場合は、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 待受画面で MENU 📖 8 7 4 を押す

通話品質アラーム設定
1 アラーム高音
2 アラーム低音
3 アラームOFF

2 1 〜 3 を押す

通話品質アラームが設定されます。

お知らせ

- 本機能は音声電話にのみ有効です。

通話保留音を設定する<通話保留音設定>

お買い上げ時	内蔵音(ENTERTAINER)

通話保留時に流すメロディを設定します。FOMA端末にあらかじめ登録されているメロディだけでなく、ｉモードのサイトやメールから保存したメロディを設定することもできます。

● 音声電話、テレビ電話とも、保留中はここで設定したメロディが流れます。

● PIMロック中は本機能を利用できません。

1 待受画面でMENU 8 7 3を押す

2 保留音欄を選択してを押し、1～2を押す

- お買い上げ時のメロディに戻すときは2を押し、操作4に進みます。

3 保留音メロディを設定する

①保留音メロディ欄を選択してを押す

「メロディ」のフォルダ一覧が表示されます。

②フォルダを選択してを押し、一覧からメロディを選択してを押す

メロディが設定され、通話保留音設定画面に戻ります。

- メロディ一覧の見かた→『アプリケーション編』P288
- メロディを選択してを押すとメロディを再生できます。再生中はサイドキー[▲▼]、を押して音量調整、を押して前後のメロディの再生ができます。を押すと設定されます。

4 を押す

通話保留音が設定されます。

お知らせ

- 通話保留時に流れる保留音の音量は変更できません。
- 保留音を変更後にPIMロックを設定すると、選択音に「メロディ」のプリインストールフォルダ内のメロディを設定した場合を除き、内蔵音が再生されます。

応答保留ガイダンスを設定する<応答保留ガイダンス設定>

お買い上げ時 | 内蔵音

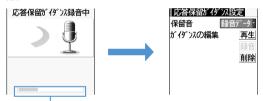
応答保留時、相手に流すガイダンスを設定します。自分の声を応答保留ガイダンスとして録音することもできます。

● ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。
● 音声電話、テレビ電話とも、応答保留中はここで設定したガイダンスが流れます。

1 待受画面でMENU 8TUV 6MNO 7PQRSを押す

2 保留音欄を選択してを押し、1あ.,/@～2かABCを押す

- お買い上げ時のガイダンスに戻すときは1あ.,/@を押し、操作4に進みます。

3 「録音」を選択してを押し、発信音の後に応答保留ガイダンスを話す

録音できる残り時間の目安が表示されます。

メッセージが表示された後、録音が開始されます。

- 録音開始から約10秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。
- ガイダンスの録音を途中で停止するときはを押します。
- 既に録音データを登録してあるときは「録音」は選択できません。「削除」を選択してを押し、「はい」を選択してを押して録音データを削除してください。
- 録音した応答保留ガイダンスを確認するときは「再生」を選択してを押します。

4 を押す

応答保留ガイダンスが設定されます。

お知らせ

- 「内蔵音」に設定すると、応答保留時に自分と相手に「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。
- 保留音を「録音データ」に設定しても、次の場合は、応答保留ガイダンスは内蔵音になります。
  - ・ガイダンスを録音後に削除した場合
  - ・応答保留ガイダンス設定の設定中、クリアなどを押して設定画面を終了した場合

ダイヤルキーなどを押して電話に出られるようにする<エニーキーアンサー設定>

お買い上げ時　ON

電話がかかってきたとき、(通話キー)以外のキーを押して電話に出られるように設定します。

● エニーキーアンサーを「ON」に設定すると、0〜9、#、*を押して電話に出られます。
● エニーキーアンサーは音声電話にのみ有効です。テレビ電話に出るには(テレビ電話キー)を押します((通話キー)を押しても応答できますが、相手には代替画像が送信されます)。

1 待受画面でMENU (メモ) 8 6 8を押す

エニーキーアンサー設定画面が表示されます。

2 1〜2を押す

エニーキーアンサーが設定されます。

FOMA端末をクローズ状態にして通話を終了する<通話中クローズ設定>

お買い上げ時　切断

FOMA端末をクローズ状態にして、音声通話／テレビ電話を終了するように設定します。

● 64Kデータ通信中、パケット通信中は、本機能は動作しません。

1 待受画面でMENU (メモ) 8 7 7を押す

通話中クローズ設定
1 切断
2 通話継続(ﾏｲｸﾐｭｰﾄ)

2 1〜2を押す

通話中クローズ設定が設定されます。

お知らせ

- スイッチ付イヤホンマイクや外部機器(Bluetoothヘッドセットなど)を接続して音声電話／テレビ電話通話中にFOMA端末をクローズ状態にした場合の動作は次のようになります。
  - ・接続中の機器から音を鳴らす設定にしている場合は、通話中クローズ設定の設定に関わらず通話を継続でき、テレビ電話通話中の場合は、相手にはTV電話画像選択(→P106)の代替画像で設定した静止画／キャラ電が表示されます。自画像にフレームを付けて送信中の場合は、フレームは解除され、相手にはTV電話画像選択(→P106)の代替画像で設定した静止画／キャラ電が表示されます。再度FOMA端末を開いたときは、代替画像が静止画の場合は自画像送信に戻り、代替画像がキャラ電の場合は継続してキャラ電が送信されます。
  - ・FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合は、通話中クローズ設定の設定に従います。
- 「通話継続(マイクミュート)」に設定している場合の動作は次のようになります。
  - ・通常の受話口を利用して通話中、またはスピーカーホン機能を利用して通話中にFOMA端末をクローズ状態にすると、マイクミュートされます。
  - ・音声電話／テレビ電話通話中にFOMA端末をクローズ状態にすると、相手にはTV電話画像選択(→P106)の代替画像で設定した静止画／キャラ電が表示されますが、静止画を送信してのテレビ電話通話中の場合は、相手には継続して静止画が送信されます。→P104
- 音声電話／テレビ電話で通話中にターン状態にした場合、通話中クローズ設定の設定に関わらず「通話継続(マイクミュート)」の状態で通話は継続され、ディスプレイ上部に(アイコン)が表示されます。ただし、スピーカーホン機能を利用して通話中の場合は、通話はマイクミュートされずに通話は継続されます。

通話中やパケット通信中に着信があったときの画面を設定する<優先通信モード設定>

お買い上げ時	設定なし

音声電話通話中にパケット通信の着信があったとき、またはパケット通信中に音声電話がかかってきたときに、どちらの画面を優先的に表示させるかを設定します。

● 本設定により画面の表示が切り替わっても、通話やパケット通信は中断されません。

1 待受画面でMENU 📖 8 6 9を押す

2 1～3を押す

優先通信モードが設定されます。

• 表示の優先を決めずに後から着信した方の画面を表示するときは1を押します。

表示される画面について

優先通信モードの設定内容によって、画面の表示は次のようになります。

• 音声電話通話中

設定内容	メール受信時	ｉモード以外のパケット着信時
設定なし	音声電話通話中の画面	音声電話通話中の画面
音声通話表示優先	音声電話通話中の画面	音声電話通話中の画面
パケット通信表示優先	メール受信結果画面	パケット着信中の画面

※電話着信時に表示される画面は、通話中着信動作選択の設定に従って動作します。→P303

• ｉモード中

設定内容	電話着信時	メール受信時
設定なし	音声電話着信中の画面	ｉモード中の画面
音声通話表示優先	音声電話着信中の画面	ｉモード中の画面
パケット通信表示優先	ｉモード中の画面	ｉモード中の画面

※ｉモード中にｉモード以外のパケット着信は受けられません。→P349

• ｉモード以外のパケット通信中

本機能の設定に関わらず、電話着信時には電話着信中の画面が表示されます。メールは受信できません。また、ｉモード以外のパケット着信も受けられません。→P349

通話時間・積算情報を確認する

最後に行った音声／テレビ電話の通話時間、またはデータ通信の通信時間を確認します。
また、これまでに行った通話・通信の積算時間を確認します。

直前の通話時間を見る<通話時間>

直前に行った音声／テレビ電話の通話時間、またはデータ通信の通信時間の目安を表示します。

- 発信／着信を問わず、直前に行った通話・通信時間の目安が表示されます。
- 表示される時間はあくまでも目安であり正確なものではありません。

1 待受画面でMENU 📖 8 4 1を押す

2 1を押す

直前に行った通話・通信時間の目安が表示されます。

積算通話時間を見る<積算通話時間>

これまでに行った音声電話通話、テレビ電話通話、データ通信の、それぞれの積算時間の目安を表示します。

- 以前に積算情報をリセット（→P172）した場合は、リセット時から現在までの積算通話時間の目安が表示されます。
- 表示される時間はあくまでも目安であり正確なものではありません。

1 待受画面でMENU 📖 8 4 1を押す

通話時間画面が表示されます。

2 2～4を押す

積算通話・通信時間の目安が表示されます。

お知らせ

- 積算通話・通信時間が9999時間59分59秒を超えると0秒に戻り再カウントされます。
- パケット通信で使用した時間は含まれません。

積算情報をリセットする<積算情報リセット>

積算通話時間をリセットします。

1 待受画面でMENU 8 4 4を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 1～4を押す

リセットするかどうかの確認画面が表示されます。

- すべての積算情報をリセットするときは4を押します。

4 「はい」を選択して●を押す

積算情報がリセットされます。

FOMA端末の着信音を変更する<着信音設定>

お買い上げ時	電話：メロディ／着信音1　メール：ON／着信音1　メッセージR：ON／着信音1 メッセージF：ON／着信音1　通話保留音：内蔵音（ENTERTAINER） TV電話：メロディ／ハープ

電話がかかってきたときや、メールやメッセージR/Fを受信したときに鳴る音を設定します。また、通話保留中に鳴る音を設定します。
音声電話やテレビ電話着信時の画面には、動画／iモーションを再生させるように設定することもできます（着モーション）。

● PIMロック中は本機能を利用できません。

〈例〉電話の着信音を設定するとき

1 待受画面でMENU 8 1 1を押す

2 設定する項目を選択してを押す

■ 電話・テレビ電話を設定するとき

1〜3を押す

次の項目を選択できます。

項　目	説　明
メロディ	メロディを設定します。→P118
iモーション	動画／iモーションを設定します。→P118
OFF	着信音を鳴らさないように設定します。

■ メール・メッセージR/Fを設定するとき

1〜2を押す

次の項目を選択できます。

項　目	説　明
ON	メロディを設定します。→P118
OFF	着信音を鳴らさないように設定します。

■ 通話保留音を設定するとき

1〜2を押す

次の項目を選択できます。

項　目	説　明
選択音	メロディを設定します。→P118
内蔵音	内蔵音（ENTERTAINER）を鳴らすように設定します。

3 [key]を押す

着信音が設定されます。

お知らせ

- 次の機能でも着信音を設定できます。
  ・電話帳登録→P117、P120
  ・メール着信設定→『アプリケーション編』P202
  ・メッセージ着信設定→『アプリケーション編』P113
- FOMA端末(本体)電話帳に登録されている相手から電話の着信やメールの受信があったときは、電話帳に設定されている着信音で動作します。

着信音の優先順位について

- 発信者番号が通知された場合は、次の優先順位で鳴ります。
  ①FOMA端末(本体)電話帳の設定
  ※FOMAカード電話帳のみに登録されている相手からの場合は、着信音設定に従った動作となります。
  ②着信音設定
  ※電話着信音を「iモーション」に設定した場合は、動画/iモーションの音声とともに、映像が再生されます。ただし、動画/iモーションが音声のみの場合は音声のみが再生され、お買い上げ時の着信画像が表示されます。
- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合、音声電話の着信音は発番号なし動作設定に従い、テレビ電話の着信音は着信音設定のTV電話の設定に従います。
  ※上記以外の場合は、着信音設定に従います。

着モーションについて

自端末で撮影した動画、または撮影して編集した動画、またサイトからダウンロードしたiモーションで着信音設定が「可」になっているiモーションは着モーションとして設定できます。着モーションに設定できるかどうかは、各動画/iモーションの詳細情報参照(→『アプリケーション編』P276)で確認できます。

メロディ一覧

お買い上げ時は次のメロディが「プリインストール」フォルダに登録されています。
ディスプレイに表示しきれない曲名は、一部「…」で表示されます。

曲　名	作曲者
着信音1	――
着信音2	
着信音3	
着信音4	
着信音5	
着信音6	
RIDE ON TIME	山下達郎
True Blue	町田 紀彦
DSCHINGHIS KHAN	JUN RALPH SIEGEL
第三の男	ANTON KARAS
アイーダより凱旋行進曲	GIUSEPPE VERDI
カノン	JOHANN PACHELBEL
ハバネラ	GEORGES BIZET
フニクリフニクラ	LUIGI DENZA
猫ふんじゃった	外国民謡
アイネクライネナハトムジーク	WOLFGANG AMADEUS MOZART
展覧会の絵	MODEST PETROVICH MUSSORGSKY
トッカータとフーガ　ニ短調	JOHANN SEBASTIAN BACH
さくら	日本古謡
ます	FRANZ (KLASSIKER) SCHUBERT
ピアノ協奏曲第１番	CHAJKOVSKIJ PETR ILICH
ENTERTAINER	SCOTT JOPLIN
ハーモニカ	――
和風	
中華風	
癒し	
残念	
キラキラ	
打ち上げ	
蚊	
モデム音	
警報	
ナイスショット！	
元気ですか？	
LIVE	
アテンションプリーズ	
時間です	
電話です	
電話だ、ヤバイよ！	
ロボット	
黒電話	
ハープ	

許諾番号：T-0430052

キーを押したときの音を設定する<キー確認音設定>

お買い上げ時	エレクトロニック

操作時にキーが確実に押されたかどうかを音で確認します。

● 次の場合は、キー確認音は鳴りません。
- ・本設定を「OFF」にしている場合
- ・通話中(ダイヤルキーを押すと受話口からプッシュ音(DTMF)が聞こえます)
- ・マナーモードを設定している場合(オリジナルマナーモードの場合は設定によります)
- ・ｉアプリを起動している場合(TASKを押すと鳴ります)

1 待受画面でMENU 📖 8 1 4を押す

2 1～4を押す

キー確認音が設定されます。

- キー確認音を鳴らさないときは4を押します。
- 📷 iαを押してキー確認音を選択すると、選択されている音でキー確認音が鳴ります。●を押すとキー確認音が設定されます。

お知らせ

- 「OFF」に設定すると、次の音も鳴らなくなります。
  - ・電池レベル表示時の確認音
  - ・通信終了音→『アプリケーション編』P308
- キー確認音の音量は受話音量に連動します。→P82
- 本機能の設定に関わらず、サイドキーを押してもキー確認音は鳴りません。

充電開始／終了時の音を設定する<充電確認音設定>

お買い上げ時	ON

充電の開始／終了時に確認音が鳴るように設定します。

● マナーモード中、ドライブモード中は充電確認音は鳴りません。

1 待受画面でMENU 📖 8 1 9を押す

充電確認音設定画面が表示されます。

2 1～2を押す

充電確認音が設定されます。

待受画面の表示を変更する<待受画面設定>

お買い上げ時	標準画像

待受画面に表示されている画像を別の画像や動画／ｉモーション、カレンダーに変更することができます。ｉアプリ待受画面を設定したり、時計や各種情報表示を設定(カスタム待受画面)したりすることもできます。

・画像を設定する
・ｉアプリ待受画面を設定する→P179
・時計の表示を設定する→P180
・画像以外の設定を解除する→P184
・動画／ｉモーションを設定する→P178
・カレンダーを設定する→P180
・カスタム待受画面を設定する→P181

● 画像や動画／ｉモーション、ｉアプリによっては、待受画面に設定しても、ダウンロード時と同じFOMAカードを挿入していないと設定が無効になるものがあります。
● PIMロック中は、イメージ設定、ｉモーション設定、ｉアプリ設定を選択できません。
● オールロック中は、設定した待受画面が解除され、一時的にお買い上げ時の画像が表示されます。オールロックを解除すると設定した待受画面が再度表示されます。

画像を設定する

内蔵の画像や、ｉモードのサイトやメールから保存した画像、FOMA端末で撮影した静止画を待受画面に設定します。また、アニメーションやパラパラマンガ、連写画像なども設定できます。

1 待受画面で[MENU][m][8][2][1][1]を押す

画像フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して[●]を押し、一覧から画像を選択して[●]を押す

設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 画像一覧の見かた→『アプリケーション編』P245

✎ 画像を選択して[m]を押すと画像を表示できます。アニメーション、パラパラマンガ、連写画像の場合、画像を表示すると自動的に再生されます。[📷][iα]を押すと前後の画像を表示できます。[●]を押すと設定されます。

- 選択した画像が拡大表示できる場合は、画像の表示方法の選択画面が表示されます。

3 「はい」を選択して[●]を押す

画像が設定されます。

- 画像の表示方法の選択画面が表示されたときは、「はい(等倍表示)」を選択して[●]を押すと画像サイズのまま、「はい(拡大表示)」を選択して[●]を押すと画面サイズに合わせて画像を拡大して待受画面に表示します。
- 既にｉアプリ待受画面が設定されているときは、操作3の後にｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。ｉアプリ待受画面を解除するときは「はい」を選択して[●]を押します。

お知らせ

- アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash画像を待受画面に設定すると、待受中にFOMA端末をオープン状態にしたとき、クリアまたは電源を押したときや待受画面に戻ったときに再生します。再生中にクリアを押すと一時停止し、再度クリアを押すと再生を再開します。再生中に電源を押すと停止し、再度電源を押すと始めから再生します。
- アニメーションに再生回数が設定されていない場合、または再生回数が16回以上に設定されている場合は、最大16回まで繰り返して再生します。
- Flash画像を待受画面に設定すると、一定時間再生後に一時停止します。
- アニメーションを拡大表示で設定した場合、表示が乱れる場合があります。
- お買い上げ時には、待受画面サイズの画像として次の画像が「プリインストール」フォルダに登録されています。

Firenze

Toy

Cat

Strawberry

Seabeach

Desktop

Flap

動画／ｉモーションを設定する

FOMA端末で撮影した動画や、サイトなどから取り込んで保存したｉモーションを待受画面に設定します。

1 待受画面でMENU 8 2 1 2を押す

「ｉモーション」のフォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して●を押し、一覧から動画／ｉモーションを選択して●を押す

設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 動画／ｉモーション一覧の見かた→『アプリケーション編』P270
- 動画／ｉモーションを選択してを押すと動画／ｉモーションを再生できます。
- 選択した動画／ｉモーションが拡大表示できる場合は、動画／ｉモーションの表示方法の選択画面が表示されます。

3 「はい」を選択して◯を押す

ｉモーションが設定されます。

- 動画／ｉモーションの表示方法の選択画面が表示されたときは、「はい(等倍表示)」を選択して◯を押すと画像サイズのまま、「はい(拡大表示)」を選択して◯を押すと画面サイズに合わせて画像を拡大して待受画面に表示します。
- 既にｉアプリ待受画面が設定されているときは、操作3の後にｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。ｉアプリ待受画面を解除するときは「はい」を選択して◯を押します。

お知らせ

- ｉモーションを待受画面に設定すると、最初の画像が待受画面に表示されます。ｉモーションは、(クリア)を押したときに再生され、再生中に(クリア)または(電源)を押すと停止します。音声・音楽が含まれている場合は、映像とともに再生されます。再生時の音量は、「ｉモーション」の動作設定に従います。→『アプリケーション編』P285
- マナーモード中は、再生時に音声・音楽が鳴りません。
- 動画／ｉモーションの再生中は、サイドキー[▲▼]を押して音量を調整します。
- 動画／ｉモーションによっては待受画面に設定できないものがあります。
  再生可能なｉモーション→『アプリケーション編』P272
- テロップ中にリンクのある動画／ｉモーションを待受画面に設定しても、待受画面からのWeb To、Phone To(AV Phone To)、Mail Toはできません。
- miniSDメモリーカード内のデータはFOMA端末に移動／コピーすると待受画面に設定できます。
  →『アプリケーション編』P314
- お買い上げ時には次の動画が「プリインストール」フォルダに登録されています。

Chicken

Dance

Skydiving

ｉアプリ待受画面を設定する

ｉアプリ待受画面に対応しているソフトを待受画面に設定します。

- ネットワークに接続して通信を行うソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。また、ソフトや設定によっては自動的に通信を行います。
  →『アプリケーション編』P85
- お買い上げ時に登録されている次のソフトはｉアプリ待受画面に対応しています。
  ・Dimo絵文字メール　・ちびわんふれんず2　・フリーセル　・マイリモコン
- ｉアプリ待受画面には、対応しているソフトを１つのみ設定できます。
- ｉアプリ待受画面を解除すると(→『アプリケーション編』P87)、以前に設定した待受画面に戻ります。

1 待受画面で(MENU)(iアプリ)(8)(2)(1)(3)を押す

ｉアプリ待受画面に対応したソフトが一覧表示されます。

- ｉアプリ待受画面一覧の見かた→『アプリケーション編』P85

2 ソフトを選択して◯を押す

設定するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「はい」を選択して◯を押す

ｉアプリ待受画面が設定されます。

お知らせ

- ｉアプリ待受画面を設定すると待受画面にまたはが表示されます。
- ｉアプリ待受画面表示中に(クリア)を押すと、設定しているソフトの画面に切り替えて操作や設定ができます。→『アプリケーション編』P86
- PIMロック中(→P206)は、ｉアプリ待受画面は表示されず、以前に設定した待受画面が表示されます。

カレンダーを設定する

待受画面にカレンダーを表示するよう設定します。

- 日付・時刻が設定されていないときは、待受画面にカレンダーは表示されません。

1 待受画面で(MENU)(📖)(8)(2)(1)(4)を押す

設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して◯を押す

待受カレンダーが設定されます。

- 既にｉアプリ待受画面が設定されているときは、操作2の後にｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。ｉアプリ待受画面を解除するときは「はい」を選択して◯を押します。

お知らせ

- 祝日は表示されません。
- イメージ設定でアニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash画像を設定した場合、再生が停止／一時停止したときに情報が表示されます。
- カレンダーの月と曜日は、バイリンガルの設定に従って表示されます。→P190
  また、表示形式はカレンダーモード設定の表示モードの設定に従って表示されます。→P217
- カレンダーの解除方法→P184

時計の表示を設定する

お買い上げ時	待受時計：大きく表示　形式：24時間表示　曜日：日本語

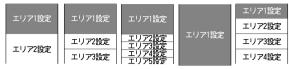
待受画面の時計表示の有無や、時計の表示サイズを設定します。

1 待受画面で(MENU)(📖)(8)(2)(1)(5)を押す

- 操作方法→P191

カスタム待受画面を設定する

待受画面をいくつかの領域に分割し、未読メールや不在着信などの情報を表示します。

- 領域の分けかたは次の5種類から選択できます。

パターン1　パターン2　パターン3　パターン4　パターン5

- 各エリアに表示する情報は次の中から選択できます。
  - ・表示なし　・未読メール一覧※　・メッセージR※　・メッセージF※
  - ・不在着信一覧　・伝言メモ一覧※　・待受履歴　・メモ※
  - ・スケジュール※　・カレンダー

  ※：PIMロック中は選択できません。
- 画面の半分に満たないエリア（パターン2のエリア2設定など）には、カレンダーを設定できません。

1 待受画面で MENU 📖 8 2 1 6 を押す

2 ◁▷を押してパターンを選択し、エリアを選択して●を押す

3 0～9 を押す

選択したエリアに表示する情報が設定され、パターンの選択画面が表示されます。

■ メモを設定するとき

①**8を押す**

登録済みのメモの一覧が表示されます。

- 表示するメモをあらかじめ登録してください。→P252

②**表示するメモを選択して●を押す**

- 📖を押すとメモの内容を表示できます。クリアを押すとメモ一覧に戻ります。

4 （メール/電話帳キー）を押す

設定するかどうかの確認画面が表示されます。

5 「はい」を選択して（決定キー）を押す

カスタム待受画面が設定されます。

- 既にｉアプリ待受画面が設定されているときは、手順5の後にｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。ｉアプリ待受画面を解除するときは、「はい」を選択して（決定キー）を押します。

お知らせ

- 文字入力のしかた→P309
- イメージ設定でアニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash画像を設定していた場合、再生が停止／一時停止したときに情報が表示されます。
- スケジュールの同一日に当日スケジュールと日付をまたいだ長期間スケジュールを登録すると、カスタム待受画面には長期間スケジュールが表示されます。
  ただし、当日スケジュールが終日に設定されている場合や、当日スケジュールの開始時刻になっていなかった場合は、カスタム待受画面にはどちらのスケジュールも表示されます。

カスタム待受画面の表示情報を確認する

カスタム待受画面を設定すると次のように表示されます。

〈未読メール一覧〉

〈スケジュール〉

〈カレンダー〉

待受画面の情報を選択して、詳細情報を表示することができます（フォーカスモード）。

1 待受画面で（決定キー）を押す

画面内で一番上（または一番左）に表示されている情報が選択されます。

2 エリアを選択して（決定キー）を押す

選択した情報に対応する画面が表示されます。

- 複数のエリアがあるときは（カメラキー）（iαキー）（左右キー）を押してエリアを選択します。

3 各画面で確認する情報を選択して（決定キー）を押す

詳細情報を確認します。

エリアの表示内容について

表示される情報の件数・行数はエリアのサイズによって異なります。また、各情報の日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。

- **未読メール一覧**
  未読メールが新しい順に一覧表示されます。表示内容は受信日時と題名の先頭部分です。
  エリアを選択して◯を押すと、受信メールのフォルダ一覧が表示されます。
  →『アプリケーション編』P150、P182

- **メッセージR、メッセージF**
  未読のメッセージR/Fが新しい順に一覧表示されます。表示内容は受信日時とタイトルの先頭部分です。
  エリアを選択して◯を押すと、メッセージRまたはメッセージFの一覧が表示されます。
  →『アプリケーション編』P115

- **不在着信一覧**
  電話に出なかった履歴が新しい順に表示されます。表示内容は着信日時と相手の電話番号(電話帳に登録されているときは名前)です。
  エリアを選択して◯を押すと、着信履歴の一覧が表示されます。→P80

- **伝言メモ一覧**
  伝言メモが新しい順に一覧表示されます。表示内容は録音日時と相手の電話番号(電話帳に登録されているときは名前)です。
  エリアを選択して◯を押すと、伝言メモ一覧が表示されます。→P91

- **待受履歴**
  情報が新しい順に一覧表示されます。先頭に情報の種類を示すマークが付きます。
  ・マークの意味は次のとおりです。
  ✉：未読メール　　不在着信マーク：不在着信
  R：メッセージR　　伝言メモマーク：伝言メモ
  F：メッセージF
  エリアを選択して◯を押すと、最新の情報に対応する画面が表示されます。

- **メモ**
  メモの内容の冒頭部分が表示されます。
  エリアを選択して◯を押すと、メモが表示されます。設定後にすべてのメモを削除したときは、メモ帳編集画面が表示されます。→P252

- **スケジュール**
  開始日時が経過していないスケジュールが早い順に表示されます。
  ・表示内容はアイコン、日時、内容の冒頭部分です。
  ・当日を含む、日付をまたいだ長期間スケジュールは、終了日時が経過するまで表示されます。開始日時を過ぎた長期間スケジュールの場合は「開始日付〜」のように表示され、当日のスケジュールより後ろに並びます(開始日時順)。
  ・終日に設定したスケジュールが当日の場合は、開始日時は表示されずに「終日」と表示します。
  エリアを選択して◯を押すと、先頭部分のスケジュールの内容が表示されます。スケジュールがないときは、カレンダーが表示されます。→P217、P233

- **カレンダー**
  カレンダーが表示されます。
  エリアを選択して◯を押すと、スケジュールのカレンダーが表示されます。→P217

お知らせ

- PIMロック中は、未読メール一覧、メッセージR/F 、伝言メモ一覧、メモ、スケジュールを設定したエリアの情報は表示されません。また、待受履歴を設定したエリアには、不在着信以外は表示されません。
- 発着信履歴表示設定を「OFF」に設定中は、不在着信一覧を設定したエリアには情報が表示されません。また、待受履歴を設定したエリアにも、不在着信が表示されません。
- シークレットモードを設定していないと、電話帳にシークレット属性が設定されている相手から電話の着信や伝言メモの録音があっても、不在着信一覧や待受履歴、伝言メモ一覧を設定したエリアには名前は表示されずに電話番号が表示されます。また、シークレット属性が設定されているスケジュールは、スケジュールを設定したエリアには表示されません。
- プライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）は、電話帳に登録されている相手から電話の着信や伝言メモの録音があっても、不在着信一覧や待受履歴、伝言メモ一覧を設定したエリアには名前は表示されずに電話番号が表示されます。また、プライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」または「指定フォルダを非表示」に設定した場合）は、すべての未読メールが、未読メール一覧や待受履歴を設定したエリアには表示されません。

画像以外の設定を解除する

ｉモーション、ｉアプリ待受画面、待受カレンダー、カスタム待受画面の設定を解除し、画像を待受画面に表示します。

- 以前に画像を設定していればその画像、設定していなければお買い上げ時の画像が設定解除後の待受画面に表示されます。

1 待受画面でMENU 8 2 1 7を押す

設定解除の確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して◯を押す

設定が解除され、待受画面設定画面が表示されます。

電話やメールの発着信時の画面を変更する<発着信画面選択>

電話の発着信時やメールの送受信時、ｉモード問合せ時の各画像を設定します。

- PIMロック中は本機能を利用できません。
- 横縦（または縦横）のサイズが640×480（ドット）を超える画像を設定している場合、画像の表示に時間がかかることがあります。
- Flash画像は設定できません。

電話発着信時の画面を変更する<電話発着信画像設定>

お買い上げ時	人物画像表示：ON　イメージ表示：標準画像

電話の発着信時に表示される画像を設定します。また、電話の発着信時にその相手の電話帳データに登録した画像を表示するように設定することもできます。

- 発番号なし動作設定（→P163）で「着信ｉモーション選択」を選択している場合、相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、本機能の設定に関わらず、発番号なし動作設定に従った動作となります。

1 待受画面で MENU 電話帳 8 2 2 1 を押す

電話発着信画像設定
人物画像表示 ON
イメージ表示 標準画像
イメージ一覧 画像選択

項　目	説　明
人物画像表示	FOMA端末(本体)電話帳に登録されている静止画や動画を表示するかどうかを設定します。 • 「ON」に設定すると、FOMA端末(本体)電話帳に登録されている画像が表示されます。 • 「OFF」に設定すると、イメージ表示で設定した画像が表示されます。
イメージ表示	FOMA端末(本体)電話帳に登録されていない相手の電話の発着信があったときや、人物画像表示を「OFF」に設定したときの画像表示を設定します。 • 「標準画像」に設定したときは、「イメージ一覧」は設定できません。
イメージ一覧	表示する画像を選択します。 • 画像一覧の見かた→『アプリケーション編』P245

2 設定する項目を選択してを押し、設定する

3 電話帳 を押す

電話発着信時の画像が設定されます。

メール送受信画面や問合せ画面を変更する<メール送受信画像設定／問合せ画像設定>

お買い上げ時	イメージ表示：標準画像

メールの送受信時やｉモード問合せ時に表示される画像を設定します。

1 待受画面で MENU 電話帳 8 2 2 を押す

発着信画面選択画面が表示されます。

2 2 ～ 4 を押す

- メール送信画像を設定するときは 2 を押します。
- メール受信画像を設定するときは 3 を押します。
- ｉモード問合せ画像を設定するときは 4 を押します。

3 画像を選択して登録する

• 以降の操作は、電話発着信画像設定の「イメージ表示」「イメージ一覧」と同じです。→上記

お知らせ

• メール送信画面の画像を変更した場合は、ｉモードメールおよびショートメッセージ(SMS)の送信時に設定した画像が表示されます。
• メール受信画面およびｉモード問合せ画面の画像を変更した場合は、ｉモードメール、ショートメッセージ(SMS)、メッセージR/F共通で、受信時およびｉモード問合せ時に設定した画像が表示されます。
• パラパラマンガや連写画像を設定すると、再生されずに最初の画像が表示されます。

画面のカラー配色を変更する＜スクリーン設定＞

お買い上げ時	AccessoriesSapphire

画面の配色を変更します。

● カラー配色は24種類から選択できます。

1 待受画面でMENU 中央キー 8 2 3を押す

スクリーン設定 1/3
1 AccessoriesSapphire
2 Camouflage
3 Carrot
4 ClassicalGreen
5 ClassicalTomato
6 FancyPink
7 FantasyMorning
8 ForestAqua
9 ForestYellow

- カラー配色の選択画面は3ページあります。左右キーを押して切り替えます。
- 上下キーを押して配色の種類を選択すると、選択されている配色で画面が表示されます。

2 1～9を押す

配色が選択され、スクリーン設定が設定されます。

お知らせ

- スクリーン設定を変更しても、背面ディスプレイの配色は変わりません。

電池残量のマークを変更する＜電池マーク設定＞

お買い上げ時	電池マーク→電池マーク→電池マーク

待受画面の電池残量のマークを変更します。

● 電池マークは3種類から選択できます。

1 待受画面でMENU 中央キー 8 2 4を押す

2 1～3を押す

電池マークが設定されます。

お知らせ

- 電池マーク設定を変更しても、背面ディスプレイの電池マークは変更できません。

ディスプレイとキーの照明を設定する<照明設定>

お買い上げ時	照明方法：点灯　点灯時間：10 秒　範囲：ディスプレイ＋キー　明るさ：標準 AC アダプタ接続時動作：端末設定に従う

ディスプレイとキー部分の照明を設定します。

1 待受画面でMENU 8 2 5を押す

照明設定
照明方法 点灯
点灯時間 10秒
範囲 ディスプレイ＋キー
明るさ 標準
ACアダプタ接続時動作
端末設定に従う

項　目	説　明
照明方法	照明の点灯方法を設定します。 ・「点灯」に設定すると、設定した時間点灯します。 ・「消灯」に設定した場合は、「点灯時間」「範囲」「明るさ」は設定できません。
点灯時間	照明の点灯時間を設定します。
範囲	ディスプレイのみを点灯させるか、ディスプレイとキー部分を点灯させるかを設定します。
明るさ	ディスプレイとキー部分が点灯する際の明るさを設定します。
ACアダプタ接続時動作	ACアダプタ、DCアダプタ接続中にディスプレイを常時点灯させるか、上記の設定内容に従って点灯させるかを設定します。 ・「常時点灯」に設定すると、ディスプレイが「高輝度」で点灯します。 ・「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイ部分は「照明方法」の設定に従って動作します。

2 設定する項目を選択して○を押し、設定する

3 を押す

照明が設定されます。

お知らせ

- 背面ディスプレイの明るさは調節できます。→P188
- FOMA 端末を5分間何も操作しなかった場合、ディスプレイは省電力モードとなり自動的に消灯します。ただし、キー操作をしたり、電話の着信などがあるとディスプレイは再び点灯します。

背面ディスプレイの表示や明るさを設定する＜背面ディスプレイ設定＞

背面ディスプレイの表示方法や、背面ディスプレイの明るさを設定できます。

着信時の表示を設定する＜背面情報表示設定＞

お買い上げ時	相手情報表示あり

電話着信時やメール受信時などに、背面ディスプレイに相手の電話番号やメールアドレス、名前を表示するかどうかを設定します。

- FOMA端末がクローズ状態のときに背面ディスプレイに表示されます。

1 待受画面で MENU 📖 8 2 6 1 を押す

背面情報表示設定
1 相手情報表示あり
2 相手情報表示なし

2 1～2を押す

背面情報表示が設定されます。

お知らせ

- 「相手情報表示なし」に設定すると、背面ディスプレイには「着信中」などの状態のみが表示されます。
- 名前の表示→P110

明るさを設定する＜背面輝度設定＞

背面ディスプレイの明るさを設定します。

1 待受画面で MENU 📖 8 2 6 2 を押す

背面輝度設定

背面ディスプレイの
明るさを調節できます
▲ 明るく ▼ 暗く

- 背面ディスプレイが点灯され､設定されている明るさで「F900iT」が表示されます。

2 📷 iα を押して明るさを調整し、● を押す

背面ディスプレイの明るさが調整されます。

お知らせ

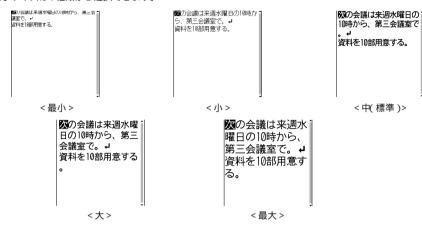
- 背面ディスプレイの特性上、明るさを調整しても大きく変化はしません。

文字(フォント)の設定を変更する<フォント設定>

お買い上げ時	中(標準)

全画面入力で文字を入力するときの、文字サイズを変更できます。

● 文字サイズは5種類から選択できます。

1 待受画面でMENU 8 2 7を押す

- を押して文字サイズを選択すると、選択されている文字サイズの表示例が表示されます。

2 1〜5を押す

フォントが設定されます。

お知らせ

- 本機能では、メール本文の文字サイズは変更されません。→『アプリケーション編』P197
- ｉモードやメッセージR/Fを表示するときの文字サイズも変更されます。ただしその場合には「最小」を設定したときは「小」、「最大」を設定したときは「大」の文字サイズで表示されます。
- インライン入力時(入力欄に直接入力)の文字サイズは変更されません。→P311

画面を英語表示に切り替える<バイリンガル>

お買い上げ時	FOMAカードの設定に従う

画面表示を英語に切り替えられます。

日本語表示から英語表示に切り替える

待受画面で [MENU] [◁] [8] [2] [8] を押す

2 **[2] を押す**

英語表示に設定されます。

英語表示から日本語表示に切り替える

待受画面で [MENU] [◁] [8] [2] [8] を押す

2 **[1] を押す**

日本語表示に設定されます。

お知らせ

- 英語表示に切り替えると、文字入力モードは「半角英字」→「半角数字」→「漢字」→「半角カタカナ」の順に切り替わります。

時計の表示を設定する<時計表示設定>

お買い上げ時	待受時計：大きく表示　形式：24時間表示　曜日：日本語

待受画面の時計表示の有無や、時計の表示サイズを設定できます。また、待受画面や背面ディスプレイの表示形式(24時間／12時間)、曜日の表示言語も設定できます。

● 待受画面設定で時計表示を設定することもできます。→P180

〈小さな時計〉

〈大きな時計〉

〈時計を表示しないとき〉

1 待受画面でMENU・(辞書/時計キー)・8・5・4を押す

時計表示設定
待受時計　大きく表示
形式　24時間表示
曜日　日本語

項　目	説　明
待受時計	時計を表示するかどうかを設定します。また、表示するときの時計のサイズを設定します。
形式	時計の表示形式を12時間表示と24時間表示のどちらで表示するかを設定します。
曜日	曜日の表示を日本語と英語のどちらで表示するかを設定します。 • 「バイリンガルに従う」に設定すると、バイリンガルの設定に従って表示します。→P190

2 設定する項目を選択して●を押し、設定する

3 (辞書/時計キー)を押す

時計表示が設定されます。

お知らせ

- 次の場合は、待受時計を「大きく表示」に設定することができません。待受時計を「大きく表示」に設定していても、待受時計は小さく表示されます。
  - ・待受画面に動画／ｉモーション、カレンダー設定中
  - ・ｉアプリ待受画面表示中
  - ・カスタム待受画面のパターン4～5設定中
  - ・カスタム待受画面のパターン1～3設定中で、エリア１設定に「表示なし」以外が設定されている場合

暗証番号について

FOMA端末の機能には、暗証番号の必要なものがあります。暗証番号には、各種機能用の端末暗証番号、お申し込みいただくサービスで使用するネットワーク暗証番号、FOMAカード用PIN1コード・PIN2コード、ｉモードパスワードの4種類があります。

- 他人に知られることを防ぐため、各暗証番号入力画面に入力された番号は「*」で表示されます。
- 万一、暗証番号やパスワードをお忘れになった場合は、他人に勝手に変更されることを防止するために、FOMA端末、および契約されたご本人と確認できるもの（運転免許証など）を当社窓口までご持参いただくことになりますのでご注意ください。
- いたずら防止のため、端末暗証番号はご契約後に変更してください。また、設定した端末暗証番号は忘れないようにお気を付けください。

端末暗証番号

次の機能を利用する場合、端末暗証番号入力画面が表示されます。ダイヤルキーで4〜8桁の端末暗証番号を入力して◯を押し、認証操作を行ってください。お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、自由に変更することができます。→P193

・発番号設定
・オールロック
・シークレットモード
・積算情報リセット
・端末暗証番号変更
・PIN1コード変更
・PIN2コード変更
・各種設定リセット
・全件送信／全件受信
・ソフトウェア更新
・メモリ登録外着信拒否設定
・ダイヤルアップの全接続
・メモリ別着信拒否／許可
・PIMロック
・シークレットコード設定
・ダイヤル発信制限
・発番号なし動作設定
・各機能の全件削除※
・プロフィール情報変更
・miniSDメモリーカードの初期化
・指紋設定
・プライバシーモード設定
・タッチメニューのリセット
・ヘッドセット／ハンズフリーの機器登録

※：機能によっては表示されません。

指紋設定で指紋を登録して利用設定を行っている場合は、指紋認証画面が表示されたときに、端末暗証番号を入力する代わりに指紋認証を利用することもできます。→P198
MENUを押すと端末暗証番号入力画面に切り替わります。

- 現在の端末暗証番号の入力を5回連続して失敗すると、FOMA端末の電源が自動的に切れます（再度電源を入れることはできます）。

ネットワーク暗証番号

一部のネットワークサービスやeサイトを利用するときに必要となる4桁の暗証番号で、FOMA端末のご契約時にお客様ご自身であらかじめ設定できます。ネットワーク暗証番号は、FOMA端末や他の電話機などから変更することはできません。

PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号があります。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、自由に変更することができます。→P195、P196

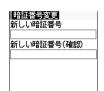
ｉモードパスワード

マイメニュー登録・削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスのお申し込み・解約を行う際には「パスワード」が必要となります。ご契約時のパスワードは「0000」に設定されていますが、自由に変更することができます。→『アプリケーション編』P35
この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。

端末暗証番号を変更する＜端末暗証番号変更＞

お買い上げ時	0000

お買い上げ時の端末暗証番号や、現在設定している端末暗証番号を変更します。

1 待受画面でMENU 📖🕒 8 3 6を押し、4〜8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

- 現在使用中の端末暗証番号を入力します。

2 4〜8桁の新しい端末暗証番号を入力して◯を押す

新しい端末暗証番号が入力されます。

- 入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

3 新しい暗証番号(確認)欄を選択し、操作2で入力した端末暗証番号をもう一度入力して◯を押す

確認用の新しい端末暗証番号が入力されます。

- 入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

4 📖🕒を押す

端末暗証番号が変更されます。

PINコードを設定する

PIN1コードは、FOMA端末を不正に使用されないための4～8桁の暗証番号です。
PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の暗証番号です。

● PIN1コード、PIN2コードは変更できます。→P195、P196

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定する<PIN1コードON/OFF>

お買い上げ時	OFF

FOMA端末の電源を入れたときにPIN1コードの入力を要求するように設定します。

1 待受画面で MENU 〈 8 3 5 3 を押す

PIN1コードON／OFF画面が表示されます。

2 1 を押す

- FOMA端末の電源を入れたときにPIN1コードの入力を要求しないように設定するには 2 を押します。

3 PIN1コードを入力して ◯ を押す

PIN1コードONが設定されます。

- ご契約時のPIN1コードは「0000」に設定されています。

お知らせ

- アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定している場合、目覚まし設定やスケジュールアラームの設定により自動的に電源が入ったときには、PIN1コード入力画面の表示に優先してスケジュールアラーム、目覚まし音が鳴ります。 電源 を押してスケジュールアラーム、目覚まし音を終了させると、PIN1コード入力画面が表示されます。

PIN1コードを入力する

ご契約時	0000

PIN1コードON/OFF設定を「ON」に設定しているときは、FOMA端末の電源を入れるとPIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。

1 FOMA端末の電源が入っていない状態で［電源］を2秒以上押して電源を入れる

2 PIN1コードを入力して［ ］を押す

FOMAカードの読み取りが始まると表示され、終わると消えます。

- PIN1コードの入力を3回連続して失敗すると、PIN1コードが自動的にロックされます。［ ］を押すとPINロック解除コード入力画面が表示されます。→P197

PIN1コードを変更する<PIN1コード変更>

ご契約時	0000

- PIN1コードを変更するときは、PIN1コードON/OFF設定を「ON」にする必要があります。→P194

1 待受画面で［MENU］［メール］［8］［3］［5］［1］を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 現在のPIN1コードを入力して［ ］を押す

現在のPIN1コードが入力されます。

- 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。

4 新しいPIN1コード欄を選択し、4～8桁の新しいPIN1コードを入力して［ ］を押す

新しいPIN1コードが入力されます。

- 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。

5 **新しいPIN1コード(確認)欄を選択し、操作4で入力したPIN1コードをもう一度入力して◯を押す**

確認用の新しいPIN1コードが入力されます。

- 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。

6 **(📖)を押す**

PIN1コードが変更されます。

- 現在のPIN1コードの入力に失敗すると、認証失敗の確認画面が表示されます。◯を押して再度現在のPIN1コードを入力し直してください。現在のPIN1コードの入力を3回連続して失敗すると、PIN1コードが自動的にロックされます。◯を押すとPINロック解除コード入力画面が表示されます。→P197

PIN2コードを変更する<PIN2コード変更>

ご契約時	0000

- PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用します。→『アプリケーション編』P24、P29、P60、P62

1 **待受画面で(MENU)(📖)(8)(3)(5)(2)を押す**

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

2 **4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う**

PIN2コード変更画面が表示されます。

3 **現在のPIN2コードを入力して◯を押す**

現在のPIN2コードが入力されます。

- 入力したPIN2コードは「*」で表示されます。

4 **新しいPIN2コード欄を選択し、4～8桁の新しいPIN2コードを入力して◯を押す**

新しいPIN2コードが入力されます。

- 入力したPIN2コードは「*」で表示されます。

5 **新しいPIN2コード(確認)欄を選択し、操作4で入力したPIN2コードをもう一度入力して◯を押す**

確認用のPIN2コードが入力されます。

- 入力したPIN2コードは「*」で表示されます。

6 **(📖)を押す**

PIN2コードが変更されます。

- 現在のPIN2コードの入力に失敗すると、認証失敗の確認画面が表示されます。◯を押して再度現在のPIN2コードを入力し直してください。現在のPIN2コードの入力を3回連続して失敗すると、PIN2コードが自動的にロックされます。◯を押すとPINロック解除コード入力画面が表示されます。→P197

PINロックを解除する

PINコード入力画面でPINコードの入力を3回連続して失敗すると、PINコードが自動的にロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

● PIN1コード、PIN2コードともに操作方法は同じです。

〈例〉PIN1コードのロックを解除するとき

1 PINコードロックの確認画面で◯を押す

2 8桁のPINロック解除コードを入力して◯を押す

PINロック解除コードが入力されます。

- 入力したPINロック解除コードは「*」で表示されます。
- PINロック解除コードは、お買い上げ時にお客様にお知らせします。
- PINロック解除コードを忘れた場合やPINロックを解除できなくなった場合は、当社窓口にお問い合わせください。

3 新しいPIN1コード欄を選択し、4～8桁の新しいPIN1コードを入力して◯を押す

新しいPIN1コードが入力されます。

- 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。

4 新しいPIN1コード(確認)欄を選択し、操作3で入力したPIN1コードをもう一度入力して◯を押す

確認用の新しいPIN1コードが入力されます。

- 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。

5 ⊂ш⊃を押す

PIN1コードが変更されます。

- PINロック解除コードの入力に失敗すると、認証失敗の確認画面が表示されます。◯を押して再度PINロック解除コードを入力し直してください。

お知らせ

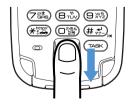
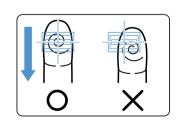
- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMA端末が自動的にロックされます。◯を押すと待受画面に戻りますが、電話の発着信、メールの送受信など電波を送受信する操作はできません。
- PINロック解除コード→P54

指紋認証機能を利用する

指紋認証機能を利用すると、指紋センサー上で指をスライドさせるだけで、ダイヤルキーで4〜8桁の端末暗証番号を入力(→P192)する操作を省略することができます。

指紋認証機能利用時のご注意

- 本機能は指紋画像の特徴情報を認証するものです。このため、お客様によっては指紋の特徴情報が少なく、登録操作ができない場合があります。
- 指紋の登録には同一の指で3回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行うと、認証できない場合があります。
- 指の状態が以下のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証率(正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される割合)が低下することがあります。
  なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変える、手荒れや乾いている場合はクリームを塗るなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、登録・認証時の状況が改善されることがあります。
  ・お風呂上がりなどで指がふやけている場合
  ・指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっている場合
  ・手が荒れたり、指に損傷(切傷、ただれなど)を負っている場合
  ・手が極端に乾燥していたり、乾燥肌の場合
  ・指が泥や油などで汚れている場合
  ・太ったり、やせたりして指紋が変化した場合
  ・磨耗して指紋が薄くなった場合
  ・指紋登録時に比べ、指紋認証時の指の表面状態が極端に異なる場合
  ・濡れたり、汗をかいたりしている場合
- 指紋センサー表面が濡れていたり結露していたりすると、誤作動の原因となります。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。
- 認証率はお客様の使用状況により異なります。
- 指紋の登録・認証を行う際には、右図のように、指紋センサーに第1関節を合わせ、指をスライドさせながら指紋センサーに指を押し当て、再度指紋センサーが見えるまで下の方向へスライドさせてください。登録時と認証時の、指の位置の違いによる認証失敗を減らすことができます。

- スライドが速すぎたり遅すぎたり指を押し当てていない場合、正常に認識できない場合があります。画面のメッセージに従い、スライドの速さ、圧力を調節してください。
- 指を置く方向は、上図のように、端末と同じ方向にしてください。
- 親指などでは指紋の渦の中心が大きくずれたり歪んだりすることがあります。この場合は、登録が困難になったり、認証率が低下したりすることがあるため、指紋の渦の中心を確認し、渦の中心が指紋センサーの中央を通過するように指紋センサー上をスライドさせてください。

- 指紋センサーに指をスライドさせる際には、指を指紋センサーに突き立てるのではなく、右図のように、指を指紋センサーと平行になるように押し当てながらスライドさせてください。

- 各指で指紋が異なりますので、必ず登録を行った指で認証の操作を行ってください。
- 指紋が正常に読み取れなかったときは、警告メッセージが表示されます。一定時間内に認証されなかったときは、確認メッセージが表示され1つ前の画面に戻ります。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 指紋認証画面でMENUを押すと端末暗証番号入力画面に切り替わり、端末暗証番号を入力して認証操作ができます。FOMA端末を安心してお使いいただくために、お買い上げ時の端末暗証番号「0000」は変更されることをおすすめします。→P193

指紋センサー

- 次のような場合は、故障および破損の原因となります。
  - ・指紋センサー表面をひっかいたり、先のとがったものでつついたりした場合
  - ・指紋センサー表面を爪や硬いもので強く擦り、指紋センサー表面にキズが入った場合
  - ・泥などで汚れた手で指紋センサーに触れ、細かい異物などで指紋センサー表面にキズが入ったり、表面が汚れたりした場合
  - ・指紋センサーの表面にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりした場合
- 次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証率が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
  - ・指紋センサー表面がほこりや皮脂などで汚れている
  - ・指紋センサー表面に汗などの水分が付着している
  - ・指紋センサー表面が結露している
- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面の清掃を行ってください。現象が改善されることがあります。
  - ・「センサー表面の汚れを取り除いてください」が表示される
  - ・指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する
- 指紋センサーを清掃する際には、メガネ拭きなどの乾いた柔らかい布で指紋センサー表面の汚れを軽く拭き取ってください。
- 指紋センサーに指を置く前に金属に手を触れるなどして、静電気を取り除いてください。静電気が故障の原因となる場合があります。冬期など乾燥する時期は特にご注意ください。
- 長期間使用することにより、指紋センサー周辺にゴミがたまることがありますが、先のとがったもので取り除かないようにしてください。

認証に利用する指紋を登録する

指紋認証機能を利用するには、最初に指紋を登録します。

- 指紋は最大10個登録できます。

1 待受画面でMENU (8 3 7 を押す

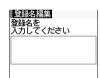
端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

指紋登録一覧 (0/10件)

3 (を押す

指紋登録の確認画面が表示されます。

4 ○を押し、メッセージに従って指紋センサーに指を押し当てスライドさせる

指紋の登録が行われます。

- 指紋の読み取りに失敗したり、指のスライドのさせかたが速かったり遅かったりするとメッセージが表示されますので、メッセージに従い読み取りを完了させてください。

5 登録名を入力して○を押し、(を押す

認証に利用するかどうかの確認画面が表示されます。

- 登録名は、全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

6 「はい」を選択して○を押す

指紋データの登録が終了し、指紋登録一覧画面に戻ります。

お知らせ

- 文字入力のしかた→P309

認証に利用する指紋データを変更する

認証に利用する指紋データを変更します。

1 待受画面でMENU (8 3 7 を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

指紋登録一覧画面が表示されます。

- 認証に利用されている指紋データには、登録名の左に が表示されます。

3 認証に利用する指紋データを選択してMENU 2を押す

指紋データが認証に利用されます。

- 認証に利用されている指紋データを選択して◯を押すと、利用設定が解除されます。

登録した指紋データを削除する

登録した指紋データを削除します。

- 認証に利用している指紋データを削除すると、指紋認証機能の利用が解除されます。

1 待受画面でMENU 📖 8 3 7を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

指紋登録一覧画面が表示されます。

3 削除する指紋データを選択してMENU 3を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「はい」を選択して◯を押す

指紋データが削除されます。

登録名を変更する

指紋データの登録名を変更します。

1 待受画面でMENU 📖 8 3 7を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

指紋登録一覧画面が表示されます。

3 登録名を変更する指紋データを選択してMENU 4を押す

4 登録名を変更して◯を押し、📖を押す

登録名が変更されます。

- 登録名は、全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

お知らせ

- 文字入力のしかた→P309

指紋認証を行う

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されると、4～8桁の端末暗証番号を入力する代わりに指紋で認証ができます。

- 指紋認証を行うときは、指紋を登録してから行ってください。→P200
- 指紋認証を行うときは、利用設定した指で認証操作を行ってください。

1 端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されたら、指紋センサー上で指をスライドさせる

認証が正しく終了すると、それぞれの設定画面が表示されます。

- 指紋の認証が正しく行われなかった場合は、指を指紋センサーから離し、再度認証操作を行ってください。

お知らせ

- 端末暗証番号入力が必要な機能→P192
- 指紋認証を5回連続して失敗すると、端末暗証番号入力画面が表示されます。
- 認証率が低いときは、指紋の登録からやり直してください。→P200
- 指紋認証画面でMENUを押すかダイヤルキーを押すと、端末暗証番号入力画面に切り替わります。

ロック機能について

FOMA端末を他人に勝手に使用されたり、個人情報や電話帳データを見られたりしないように、さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。

● シークレットモード以外の下記ロック機能は、電源を切っても設定は保持されます。

項　目	説　明	参照先
オールロック	各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が勝手に使用するのを防ぎます。	P204
シークレットモード	電話帳データやスケジュールデータにシークレット属性を設定すると、そのデータは4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行ってシークレットモードを設定したときのみ表示され、通常の状態では表示されなくなります。	P205
PIMロック	電話帳やプロフィール情報、スケジュールなどが表示・編集できなくなり、個人情報の表示や改ざんを防ぎます。	P206
ダイヤル発信制限	ダイヤルキーを押して電話をかけられないようにします。	P207
プライバシーモード設定	FOMA端末が一定時間操作されなかった場合、自動的に電話帳やメールの表示ができなくなり、他人が勝手に閲覧するのを防ぎます。	P208
セルフモード	電話の発着信やメールの送受信、赤外線通信、Bluetoothなどの通信機能を利用できないようにします。	P209
サイドキーロック	FOMA端末がクローズ状態のとき、サイドキーの操作を無効にして誤動作を防ぎます。	P210

※ ロック機能を設定したことによって待受画面に端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示された場合、画面の上部は待受画面の一部が表示されたままとなります。

複数のロック機能を同時に設定する

たとえば、ダイヤルキーによる電話発信と、電話帳・プロフィール情報などの表示を同時に制限するときは、ダイヤル発信制限とPIMロックを同時に設定します。

- 同時に設定した場合の待受画面の表示→P39

他人が使用できないようにする<オールロック>

オールロックを設定すると、各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が勝手にFOMA端末を使用するのを防ぐことができます。

オールロック中は、電話をかけたり、受けたりすることもできなくなります。

● オールロック中は、緊急通報(110番、119番、118番)もできません。

オールロックを設定する

1 待受画面でMENU 📖 8 3 1を押す

端末暗証番号入力/指紋認証画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

オールロックが設定されます。

オールロックを解除する

- 万一、端末暗証番号をお忘れになった場合は、他人に勝手に変更されることを防止するためにFOMA端末、および契約されたご本人と確認できるもの(運転免許証など)を当社窓口までご持参いただくことになりますのでご注意ください。

1 オールロック中に4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

オールロックが解除されます。

- 指紋認証を利用するように設定している場合は、最初に0～9のいずれかのキーを押して指紋認証画面を表示させる必要があります。

お知らせ

- オールロック中に電話がかかってきたときは、着信は拒否されて相手には話中音が流れますが、着信履歴には記録されます。オールロックを解除すると待受画面に 2 (数字は不在着信件数)が表示されます。
- オールロック中にメールやメッセージR/Fを受信しても、受信結果画面は表示されません。

シークレット属性が設定されている情報を表示する<シークレットモード>

お買い上げ時 未設定

シークレットモードを設定すると、シークレット属性(→P148、P231)を設定した電話帳データやスケジュールデータを表示することができます。シークレット属性を設定したり、解除したりする場合にも、FOMA端末をシークレットモードにする必要があります。

シークレットモードを設定する

1 待受画面でMENU 8 3 2を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

シークレットモードが設定されます。

- シークレットモード中は、待受画面にが表示されます。

シークレットモードを解除する

1 待受画面で電源を押す

シークレットモードが解除されます。

- 待受画面からが消えます。

お知らせ

- 電話帳データにシークレット属性を設定する→P148
- スケジュールにシークレット属性を設定する→P231

電話帳やスケジュールなどを表示しないようにする<PIMロック>

お買い上げ時 OFF

PIMロックを設定して、個人情報の表示や改ざんを防ぎます。

- メモリ登録外着信拒否設定を「ON」に設定しているときは本機能を利用できません。
- PIMロックを設定しても、緊急通報(110番、119番、118番)はできます。
- PIMロックを設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されますが、設定後に発信したリダイヤルと設定後にかかってきた着信履歴からの発信はできます。
- PIMロック中に電話帳に登録されている相手と電話の発着信や、メールの受信があっても、相手の名前は表示されません。

1 待受画面でMENU 8 3 3を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 1～2を押す

PIMロックが設定／解除されます。

- PIMロック中は、待受画面にが表示されます。FOMA端末がクローズ状態のときにサイドキー[▲]を2回押すと、背面ディスプレイにが表示されます。

PIMロックを設定すると

- 次の機能は利用できなくなります。
  - ・メール／SMS／メッセージR/F※ ・ｉMenu ・Bookmark ・Internet
  - ・画面メモ ・メッセージ ・ｉモード問い合わせ ・ｉアプリ ・電話帳
  - ・マルチメディア ・イメージ ・ｉモーション ・メロディ ・キャラ電
  - ・カメラ ・ビデオカメラ ・バーコードリーダー ・スケジュール帳 ・メモ帳
  - ・伝言メモ一覧、音声メモ一覧 ・目覚まし設定 ・手書きメモ
  - ・赤外線によるデータ送受信 ・miniSDカード
  - ※：受信されますが、受信結果画面は表示されません。
- PIMロック中にメニューを表示すると、利用できない機能のメニュー名がグレーなどで薄く表示されたり、アイコンがで表示されたりして選択できません。
- PIMロック中は、電話帳に登録されている相手から電話がかかってきても、相手の名前は表示されません。
- 外部機器からのATコマンドによるPIMロックの設定／解除はできません。
- PIMロックの対象となっている機能を待受画面や着信音などに設定していると、PIMロック中はお買い上げ時の状態に戻ります。PIMロックを解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「プリインストール」フォルダ内に登録されているデータを設定している場合は、PIMロック中でも設定は変更されません。

ダイヤルキーを押して電話をかけられないようにする<ダイヤル発信制限>

お買い上げ時 OFF

ダイヤルキーを押して電話をかけられない状態にします。

- ダイヤル発信制限を設定しても、緊急通報(110番、119番、118番)はできます。
- ダイヤル発信制限を設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されますが、設定後に電話帳から発信した電話はリダイヤルに記録されます。

1 待受画面で MENU 📖 8 3 4 を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 1～2を押す

ダイヤル発信制限が設定／解除されます。

- ダイヤル発信制限中は、待受画面にが表示されます。

ダイヤル発信制限を設定すると

- 次の操作はできません。
  - ・着信履歴からの発信
  - ・電話帳の修正、登録、削除
  - ・プロフィール情報の修正、リセット
  - ・ショートメッセージ(SMS)／iモードメールの送信(電話帳を利用しての送信、または電話帳に登録された相手からのメールへの返信は可能)
  - ・Phone To(AV Phone To)、Mail To機能
  - ・iアプリからの発信
  - ・ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用
  - ・外部機器との電話帳データの送受信
- 外部機器からのATコマンドによるダイヤル発信制限の設定／解除はできません。

他人が電話帳やメールの閲覧をできないようにする<プライバシーモード設定>

FOMA端末の電話帳やメールを表示できないように設定します。
プライバシーモードは、手動で起動することもできますが、一定時間内に何も操作しなかった場合に自動的に起動させることもできます。
プライバシーモードの動作設定で、メールを「認証後に表示」または「指定フォルダを非表示」に設定すると、ｉアプリのメール機能が使用できなくなります。

プライバシーモードの動作を設定する

お買い上げ時	電話帳：表示する　メール：表示する　自動起動：OFF

プライバシーモードを起動中に電話帳やメールを表示したとき、認証操作を行うかどうかを設定します。プライバシーモードを自動的に起動するように設定することもできます。

1 **待受画面でMENU 📖 8 3 8を押す**

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

2 **4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う**

項　目	説　明
電話帳	プライバシーモード起動中に電話帳を表示する際、認証操作を行うかどうかを設定します。
メール	プライバシーモード起動中にメールを表示する際、認証操作を行うかどうかを設定します。また、プライバシー属性を設定したフォルダ内のメールを表示できないように設定することもできます。 • 「指定フォルダを非表示」に設定すると、フォルダ設定でプライバシーを「ON」に設定したフォルダは表示されません。→『アプリケーション編』P190
自動起動	待受中にFOMA端末を何も操作しなかった場合、プライバシーモードが自動起動するまでの時間を設定します。 • 「OFF」に設定すると、プライバシーモードは自動起動しません。

3 **設定する項目を選択して◯を押し、設定する**

4 **📖を押す**

プライバシーモードの設定／解除操作の確認画面が表示されます。

5 **◯を押す**

プライバシーモードの動作が設定されます。

プライバシーモードを起動する

プライバシーモードの動作の設定を有効にするためには、プライバシーモードを起動する必要があります。

1 **待受画面で◁を1秒以上押す**

プライバシーモードが起動されます。

プライバシーモードを解除する

1 **待受画面で（ボタン）を1秒以上押し、4〜8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う**

プライバシーモードが解除されます。

- メールを「指定フォルダを非表示」に設定し、受信メール、送信・未送信メールの「フォルダ設定」でフォルダを「プライバシー」に設定している場合は、各フォルダ一覧画面で（クリア）を1秒以上押し、4〜8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行うことにより、一時的にプライバシーモードを解除し、フォルダを表示することができます。→『アプリケーション編』P190

お知らせ

- 電話帳を「認証後に表示」に設定しているときにプライバシーモードを起動すると、文字入力中の電話帳引用は行えません。→P327
- メールを「認証後に表示」に設定しているときにプライバシーモードを起動すると、メール連動型ｉアプリの再ダウンロードやバージョンアップの操作を行ってもダウンロードできない旨のメッセージが表示され、実行できません。また、メールフォルダ削除またはメール連動型ｉアプリの削除の操作を行っても、削除に失敗した旨のメッセージが表示され、実行できません。再ダウンロードやバージョンアップなどの操作を行う場合は、プライバシーモードを解除してから行ってください。

セルフモードを利用する＜セルフモード＞

お買い上げ時	OFF

セルフモード中は、電話の発着信やメールの送受信など、通信を必要とするすべての機能が使えなくなります。また、赤外線通信や赤外線リモコン、Bluetooth機能も利用できません。

●セルフモード中でも緊急通報（110番、119番、118番）はできますが、セルフモードは解除されます。

セルフモードを起動／解除する

1 **待受画面で（クリア）を1秒以上押す**

■ セルフモードを起動したとき

セルフモードを起動するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して（ボタン）を押すと起動できます。

- セルフモード中は、待受画面に Self が表示されます。FOMA端末がクローズ状態のときにサイドキーを押すと、背面ディスプレイに SeLf が表示されます。

■ セルフモードを解除したとき

- 待受画面から Self 、背面ディスプレイから SeLf が消えます。

お知らせ

- セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。

サイドキーの誤動作を防止する<サイドキーロック>

お買い上げ時 OFF

FOMA端末をクローズ状態にしたときの日付・時刻表示以外のサイドキーの操作を無効にし、鞄などに入れて持ち歩く際の誤動作を防ぎます。

- サイドキーロック中でもかかってきた電話は受けることができます。
- サイドキーロック中でも、オープン状態またはターン状態のときは、サイドキーの操作は有効です。

サイドキーロックを起動／解除する

1 待受画面でMENUを1秒以上押す

■ サイドキーロックを起動したとき

サイドキーの操作が無効になります。

- サイドキーロック中は、待受画面にが表示されます。

■ サイドキーロックを解除したとき

- 待受画面からが消えます。

お知らせ

- サイドキーロック中は、着信中にFOMA端末がクローズ状態のときにサイドキー[▲]を押しても、着信音とバイブレータの振動は停止しません。

リダイヤル／着信履歴を表示できないようにする<発着信履歴表示設定>

お買い上げ時 ON

リダイヤルと着信履歴の表示を規制して、他人に発着信情報を見られないようにします。

- 本設定を「OFF」に設定しても、発着信情報はリダイヤル／着信履歴に記録されます。

1 待受画面でMENU 4 4を押す

発着信履歴表示設定画面が表示されます。

2 1～2を押す

発着信履歴表示設定が設定されます。

- 発着信情報を表示できないようにするときは2を押します。

お知らせ

- 発着信履歴表示設定を「OFF」に設定しても、伝言メモの再生はできます。

指定した時刻に自動的に電源をONにする<自動電源ON設定>

お買い上げ時	OFF

指定した時刻にFOMA端末の電源が自動的に入るように設定します。

● 日付・時刻の設定が必要です。→P65
● 自動電源OFFと同時刻に設定することはできません。

1 待受画面でMENU ⊂Ⅲ⊃ 8 5 2を押す

項　目	説　明
自動電源ON	自動電源ONを設定／解除します。
時刻	自動的に電源をONにする時刻を設定します。
繰り返し	自動電源ONの繰り返しを設定します。

2 自動電源ON欄を選択して●を押し、1～2を押す

• 自動電源ONの設定を解除するときは2を押し、操作5に進みます。

3 時刻欄を選択して●を押し、時刻を入力して●を押す

• 24時間制で入力します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。

4 繰り返し欄を選択して●を押し、1～2を押す

• 毎日指定した時刻に自動的に電源を入れるときは1を押します。
• 1回のみ指定した時刻に自動的に電源を入れるときは2を押します。

5 ⊂Ⅲ⊃を押す

自動電源ONが設定されます。

お知らせ

• 指定した時刻にFOMA端末の電源が入っている場合は、本機能は動作しません。また、繰り返しを「OFF」に設定したときは、指定した時刻に一度だけFOMA端末の電源が入り、自動電源ONの設定は解除されます。
• PIN1コードON／OFF設定機能(→P194)を「ON」に設定している場合は、指定した時刻に電源が入った後、PIN1コード入力の画面が表示されます。PIN1コード入力後、待受画面が表示されます。
• スケジュールや目覚まし設定と本設定を同時刻に設定すると、自動電源ON後にスケジュールや目覚まし設定に設定した動作を行います。→P213、P220

指定した時刻に自動的に電源をOFFにする<自動電源OFF設定>

お買い上げ時	OFF

指定した時刻にFOMA端末の電源が自動的に切れるように設定します。

● 日付・時刻の設定が必要です。→P65
● 自動電源ONと同時刻に設定することはできません。

1 待受画面で[MENU][📖][8][5][3]を押す

自動電源OFF設定
自動電源OFF　OFF
時刻　00時00分
繰り返し　OFF

項　目	説　明
自動電源OFF	自動電源OFFを設定／解除します。
時刻	自動的に電源をOFFにする時刻を設定します。
繰り返し	自動電源OFFの繰り返しを設定します。

2 自動電源OFF欄を選択して[●]を押し、[1]〜[2]を押す

- 自動電源OFFの設定を解除するときは[2]を押し、操作5に進みます。

3 時刻欄を選択して[●]を押し、時刻を入力して[●]を押す

- 24時間制で入力します。時、分が0〜9のときは、前に0を付けます。

4 繰り返し欄を選択して[●]を押し、[1]〜[2]を押す

- 毎日指定した時刻に自動的に電源を切るときは[1]を押します。
- 1回のみ指定した時刻に自動的に電源を切るときは[2]を押します。

5 [📖]を押す

自動電源OFFが設定されます。

お知らせ

- 待受中以外のときに指定した時刻になった場合、電源は切れません。動作中のそれぞれの機能を終了させて待受画面に戻った後、電源が切れます。ただし、待受画面からの端末暗証番号入力／指紋認証画面や、端末本体の電源を入れた際に表示されるPIN1コード入力画面表示中に指定した時刻になった場合は、電源は切れます。
- 指定した時刻にFOMA端末の電源が入っていない場合は、本機能は動作しません。また、繰り返しを「OFF」に設定したときは、指定した時刻に一度だけFOMA端末の電源が切れ、自動電源OFFの設定は解除されます。
- スケジュールや目覚まし設定と本設定を同時刻に設定すると、スケジュールや目覚まし設定の動作後に自動電源OFFを行います。アラーム音や目覚まし音鳴動後スヌーズ動作が開始すると、スヌーズ動作を解除した後に自動電源OFFを行います。→P213、P220

アラーム時刻に自動的に電源をONにする<アラーム自動電源ON設定>

お買い上げ時	OFF

スケジュールや目覚まし設定の指定した日時に電源が入っていなかったときは、電源を自動的に入れてスケジュールアラームや予告アラーム、目覚まし音が鳴るように設定します。

1 待受画面で[MENU][📖][8][5][5]を押す

アラーム自動電源ON設定画面が表示されます。

2 [1]〜[2]を押す

アラーム自動電源ON設定が設定されます。

- 電源がOFFのとき、アラームの時間に電源をONにするには[1]を押します。

お知らせ

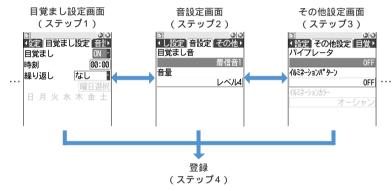
- PIN1コードON／OFF設定機能（→P194）を「ON」に設定している場合は、目覚まし設定やスケジュールアラームで指定した時刻に電源が入りアラームが動作した後、PIN1コード入力の画面が表示されます。PIN1コード入力後、待受画面が表示されます。

指定した時刻に目覚まし音を鳴らす<目覚まし設定>

指定した時刻に、目覚まし音や振動などでお知らせします。1回のみ行うか、毎日繰り返し行うか、特定の曜日で繰り返して行うかを選択できます。また、目覚まし音、着信ランプの色、バイブレータ動作を設定できます。

- 日付・時刻の設定が必要です。→P65
- PIMロック中は本機能を利用できません。

目覚まし設定登録の流れ

目覚まし設定は、次の手順で行います。

- 目覚まし設定を利用するには、必ずステップ1で目覚まし欄を「ON」にし、ステップ4で登録操作をしてください。それ以外の項目は、必要に応じて任意の順序で設定します。
- 画面は◀▶を押して切り替えます。

ステップ1　目覚まし時刻を設定する［目覚まし設定画面］

お買い上げ時	目覚まし：OFF

1 待受画面でMENU▷📖6 MNO 7 PQRSを押す

目覚まし設定画面が表示されます。

2 目覚まし欄を選択して●を押し、1～2を押す

- 目覚まし設定を解除するときは2を押し、ステップ4に進みます。→P216

3 時刻欄を選択して●を押し、時刻を入力して●を押す

- 24時間制で入力します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。

4 繰り返し欄を選択して●を押し、1～3を押す

- 1回のみ目覚まし設定を起動させるときは1を押し、ステップ2へ進みます。
- 毎日目覚まし設定を起動させるときは2を押し、ステップ2へ進みます。
- 特定の曜日に目覚まし設定を起動させるときは3を押します。

5 曜日を設定する

①「曜日選択」を選択して◯を押し、1～7を押す

曜日選択
1 □ 日曜日
2 □ 月曜日
3 □ 火曜日
4 □ 水曜日
5 □ 木曜日
6 □ 金曜日
7 □ 土曜日

- 押したダイヤルキーに対応した数字の□が☑に変わり、選択されます。
- 既に選択されている曜日(☑)を選択して◯を押すと、選択が解除(□)されます。
- MENUを押すとすべての曜日を選択／解除できます(選択状況によってガイド行の表示が異なります)。

②を押す

曜日が設定されます。

ステップ2　目覚まし音を設定する[音設定画面]

お買い上げ時	目覚まし音：着信音1　音量：レベル4

目覚まし時刻になったときに鳴らす音と音量を設定します。

- 目覚まし音にｉモーションは設定できません。

1 を押す

し設定 音設定 その他
目覚まし音
着信音1
音量
レベル4

2 目覚まし音を設定する

①目覚まし音欄を選択して◯を押す

「メロディ」のフォルダ一覧が表示されます。

②フォルダを選択して◯を押し、一覧からメロディを選択して◯を押す

メロディが設定され、音設定画面に戻ります。

- メロディ一覧の見かた→『アプリケーション編』P288
- メロディを選択してを押すとメロディを再生できます。再生中はサイドキー[▲▼]、を押して音量調整、を押して前後のメロディの再生ができます。◯を押すと設定されます。

3 目覚まし音量を設定する

①音量欄を選択して◯を押す

②音量を調整して◯を押す

音量が設定され、音設定画面に戻ります。

- 音量の調整方法→P82

タイマー機能を利用する
目覚まし設定

ステップ3　目覚まし動作を設定する[その他設定画面]

お買い上げ時　バイブレータ：OFF　イルミネーションパターン：OFF

目覚まし時刻になったときの動作を設定します。

1 を押す

2 バイブレータを設定する

①バイブレータ欄を選択して　を押す

- 　を押してパターンを選択すると、選択されているパターンで約60秒間振動します。ただし、「メロディ連動」の場合は振動しません。

②1～5を押す

バイブレータが設定され、その他設定画面に戻ります。

- 目覚まし音で設定したメロディに合わせて振動させるときは4を押します。ただし、ダウンロードしたメロディのファイル仕様によっては振動しないことがあります。

3 着信ランプのイルミネーションの点灯パターンを設定する

①イルミネーションパターン欄を選択して　を押す

- 　を押してパターンを選択すると、選択されているパターンで着信ランプが点灯／点滅します。ただし、「メロディ連動」の場合は点滅します。

②1～5を押す

イルミネーションの点灯パターンが設定され、その他設定画面に戻ります。

- 4を押すと、着信ランプは目覚まし音で設定したメロディに合わせて「レインボー」で点滅します。ステップ4に進みます(ダウンロードしたメロディのファイル仕様によっては連動しないことがあります)。
- 着信ランプを点灯させないときは5を押し、ステップ4に進みます。

4 着信ランプのイルミネーションの点灯色を設定する

①イルミネーションカラー欄を選択して　を押す

- 色の選択画面は3ページあります。　を押して切り替えます。
- 　を押して色を選択すると、選択されている色で着信ランプが点灯／点滅します。

②(1)〜(9)を押す
イルミネーションの点灯色が設定され、その他設定画面に戻ります。

お知らせ

- バイブレータのパターン→P158
- 着信イルミネーションの色→P247

ステップ4　登録する

1 (📖)を押す

設定内容が登録されます。

- 目覚まし設定を設定すると、待受画面にまたは(スケジュールも設定しているとき)が表示されます。FOMA端末がクローズ状態のときにサイドキー[▲]を2回押すと、背面ディスプレイにまたは(スケジュールも設定しているとき)が表示されます。

目覚まし時刻になると

- 設定した時刻になるとディスプレイに左の画面が表示され、設定した音量で目覚まし音が鳴ります。また、イルミネーションやバイブレータを設定している場合は、その設定に従って動作します。
FOMA端末がクローズ状態のときは、背面ディスプレイに「目覚まし時計」と表示され、と時刻表示が15秒間点滅します。

✎ 目覚まし音鳴動中に(電源)を押すと目覚まし音などが止まり、待受画面に戻ります。

- 目覚まし音鳴動中に約1分間何も操作しないか、(電源)またはサイドキー[▼]以外を押すと、ディスプレイの表示はそのままで目覚まし音などが止まり、「1分間鳴った後、4分間停止」する動作(スヌーズ動作)を30分間繰り返します。
- 設定した日時に通話などの動作を行っていた場合は、次のように動作します。

通話中の場合	目覚まし音ではなく警告音が鳴ります。また、バイブレータの振動で通知する設定になっていても、バイブレータは動作しません。
電源を切っている場合	設定した時刻になっても電源は入らず、目覚まし音も鳴りません。鳴らしたい場合は、アラーム自動電源ON 設定を「ON」に設定してください。→P212
データ送受信中(パケット通信の送受信中は除く)や電話の発着信・切断中、赤外線リモコンの操作中に設定した時刻になった場合	左記動作終了後に目覚ましが動作します。

お知らせ

- ドライブモード中は目覚まし音が鳴らず、ディスプレイの点灯やバイブレータも動作しません。
- マナーモード中は目覚まし音が鳴らず、目覚まし設定で設定しているバイブレータが動作し、着信ランプが点灯／点滅します。
オリジナルマナーモード設定で、バイブレータと目覚まし／スケジュール音を「ON」に設定している場合は、目覚まし設定の設定に従います。
- オールロック中、PIMロック中は目覚まし設定は動作しません。
- FOMA端末がクローズ状態のときにサイドキーで目覚まし音を止めるにはサイドキー[▲]を押してください。サイドキー[▼]またはサイドキー[　]を押しても目覚まし音は止まりません。

カレンダーを表示する

カレンダー画面からは、スケジュールの登録や表示などができます。

● PIMロック中はスケジュールを表示することができません。

1 待受画面で[ボタン]を1秒以上押す

お買い上げ時は、当日はオレンジ色、土曜日は青色、休日は赤色で表示されます。

カーソル
スケジュールが設定されている日は、その日の一番早い時刻に登録されているスケジュールの用件アイコンが表示されます。
繰り返しのスケジュールが設定されている日付には、日付の右上に◥が表示されます。
日付をまたいだ長期間スケジュールが設定されている日付には、日付の右上に◺が表示されます。

- [ボタン][ボタン][ボタン][ボタン]を押して日付を移動します。
- [ボタン]を押して前月、[ボタン]を押して翌月に切り替えます。
- カレンダーは、前回終了したときの設定で表示されます。
  カレンダーの動作や表示形式は、カレンダーモード設定で変更できます。→下記

お知らせ

- カレンダーは2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。
- スクリーン設定の設定により、表示される色は異なる場合があります。→P186
- 祝日は表示されません。
- 休日を設定できます。→P219
- 画面を英語表示に切り替える(→P190)と、カレンダーの曜日などは英語で表示されます。

カレンダーの動作や表示形式を変更する＜カレンダーモード設定＞

お買い上げ時	動作モード：マンスリーモード　表示モード：ノーマルモード

カレンダーの表示方法と表示形式を変更します。

1 待受画面で[ボタン]を1秒以上押す

カレンダーが表示されます。

2 MENU 6 1 を押す

カレンダーモード設定
動作モード
マンスリーモード
表示モード
ノーマルモード

項　目	説　明
動作モード	カレンダーの表示方法を設定します。 • 「マンスリーモード」に設定すると、1ヶ月ごとに画面が切り替わります。前月と翌月の日付は背景の色が変わります。 • 「スライドモード」に設定すると、1 週間ごとに画面がスクロール表示されます。偶数月と奇数月で背景の色が変わります。
表示モード	カレンダーの表示形式を設定します。 • 「ノーマルモード」に設定すると、日曜日が1週間の始まり（左側に表示）になります。 • 「ビジネスモード」に設定すると、月曜日が1週間の始まり（左側に表示）になります。

3 設定する項目を選択して◯を押し、設定する

4 [カレンダーキー]を押す

カレンダーモードが設定されます。

日付を指定して表示する

特定の日を指定して、目的の日付にカーソルを移動します。

1 待受画面で[カレンダーキー]を1秒以上押す

カレンダーが表示されます。

2 MENU 4 2 を押す

日付指定
移動したい日付を入力してください
2004/07/12(月)

- 西暦は下2桁を入力します。
- 西暦、月、日が1〜9のときは、前に0を付けます。
- 当日の日付にカーソルを戻すときはMENU 4 1を押します。

3 年月日を入力して◯を押す

指定した日付にカーソルが移動します。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  デイリービュー画面から操作する場合はMENUを押し、「日付移動」→「日付指定移動」を選択して操作します。当日の日付にカーソルを戻す場合はMENUを押し、「日付移動」→「当日に戻る」を選択して操作します。

休日を設定する<休日設定>

会社や学校の休日を設定します。日にちを指定して設定したり、曜日で設定したりします。

日にちを指定して休日を設定する

- 最大30件登録できます。

1 待受画面で（📖）を1秒以上押す

カレンダーが表示されます。

2 休日にする日を選択して MENU 6 2 1 を押す

休日が設定されます。

- 休日に設定された日付の色が変わります（当日以外）。
- 毎年繰り返して休日にするときは MENU 6 2 2 を押します。

休日設定を解除する

1 待受画面で（📖）を1秒以上押す

カレンダーが表示されます。

2 休日設定を解除する日を選択して MENU 6 2 3 を押す

休日設定が解除されます。

- 休日設定を全解除するときは MENU 6 2 4 を押します。

曜日を指定して休日を設定する

お買い上げ時	日曜日

1 待受画面で（📖）を1秒以上押す

カレンダーが表示されます。

2 MENU 6 3 を押す

曜日選択画面が表示されます。

3 1～7 を押す

- 押したダイヤルキーに対応した数字の□が☑に変わり、選択されます。
- 既に選択されている曜日（☑）を選択して（●）を押すと、選択が解除（□）されます。
- 日曜日以外の曜日を選択したり、日曜日の選択を解除するとガイド行に「リセット」が表示されます。お買い上げ時の状態に戻すときは MENU を押します。

4（📖）を押す

選択した曜日が休日に設定されます。

お知らせ

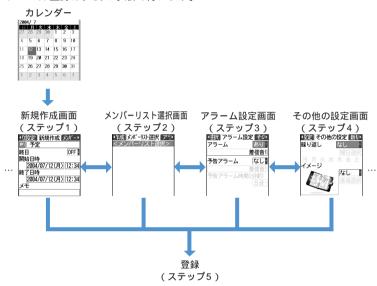
- 曜日が１つも選択されていない状態で登録した場合は、自動的に日曜日が休日に設定されます。

スケジュールを登録する

仕事の予定などを登録します。設定日時になると画面表示やアラーム音でお知らせします。

- 同じ日に複数のスケジュールを登録できます。
- 300件まで登録できます。
- 日付・時刻の設定が必要です。→P65

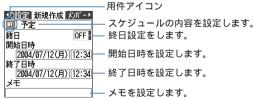
スケジュール登録の流れ

スケジュール登録は、次の手順で行います。

- スケジュールを利用するには、ステップ1で内容と開始日時を入力し、ステップ5で登録操作をしてください。それ以外の項目は、必要に応じて任意の順序で設定します。
- 画面は を押して切り替えます。

ステップ1　スケジュール日時と内容を設定する[新規作成画面]

1 **待受画面で を1秒以上押す**

カレンダーが表示されます。

2 **スケジュールを登録する日を選択して を押す**

3 用件アイコンを選択して○を押す

4 アイコンを選択して○を押す

アイコンが設定され、新規作成画面に戻ります。
- アイコンは30種類から選択できます。
- 設定したアイコンはスケジュールの先頭に表示されます。

5 内容欄を選択し、スケジュールの内容を入力して○を押す

- 操作3で選択した用件アイコンに対応した内容が表示されています。必要に応じて変更します。内容入力後にアイコンを変更しても、内容は変更されません。
- 内容は全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。

■ 電卓で計算した数値を入力するには

電卓で計算した数値を入力することができます。

①文字入力画面でMENU 8 2を押す

電卓画面が表示されます。
- 操作8の文字入力画面からも同様に操作できます。

②計算を行い、ガイド行に「挿入」と表示されたら○を押す

数値が文字入力画面に入力されます。
- 電卓の詳しい操作→ P251

6 終日欄を選択して○を押し、1～2を押す

- 時間を指定せずに終日のスケジュールとして設定するときは1を押します。
- 終日に設定しないときは2を押します。
- 終日に設定すると、デイリービュー画面のスケジュールの日付・時刻表示部分には「終日」と表示されます。日付をまたいだ長期間スケジュールを終日に設定すると、日付・時刻表示部分の後ろに「終日」と表示されます。

7 開始日時と終了日時を入力する

- 「終日」を指定した場合は時刻を設定できません。

①開始日時の日付欄を選択して○を押し、開始日を入力して○を押す

- 西暦は下2桁を入力します。西暦、月、日が1～9のときは、前に0を付けます。
- 2060年12月31日まで設定できます。
- ◯◯を押して数字を増減することもできます。
- ◯◯を押して変更する数字を選択してから入力することもできます。

②開始日時の時刻欄を選択して○を押し、開始時刻を入力して○を押す

- 24時間制で設定します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。
- ◯◯を押して数字を増減することもできます。
- ◯◯を押して変更する数字を選択してから入力することもできます。

③同様にして、終了日時を入力する

- 日付をまたいだ長期間スケジュールを設定すると(例：8月14日〜8月17日など)、カレンダーには設定した期間の日付の右上にが表示されます。デイリービュー画面ではスケジュールの内容の先頭に が表示されます。
- 期間を設定しない場合は、終了日時を指定する必要はありません。

8 メモ欄を選択し、スケジュールの詳細などを入力してを押す

- メモは全角で最大300文字、半角で最大600文字入力できます。

お知らせ

- デイリービュー画面から操作する場合はを押して操作します。
- 日付をまたいだ長期間スケジュールは、設定された期間のすべての日付で表示されます。
- 日付をまたいだ長期間スケジュールの削除のしかた→P230
- スケジュール帳に登録した内容は、別にメモを取り保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト(→『アプリケーション編』P390)とFOMA USB接続ケーブルや市販のUSBケーブルと付属の卓上ホルダを利用して、パソコンに保管することもできます。
- 文字入力のしかた→P309

ステップ2　メンバーリストを作成する[メンバーリスト選択画面]

スケジュールに関連したメンバーを電話帳から検索して、スケジュールのメンバーリストに登録します。登録したメンバーリストから、電話をかけたりメールを送信したりできます。

- 最大5名登録できます。
- プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)は、4 〜8 桁の端末暗証番号の入力または指紋認証が必要になります。→P208

1 を押す

作成 メンバーリスト選択 アニ
<メンバーリスト選択>

2 「<メンバーリスト選択>」を選択してを押す

電話帳一覧が表示されます。

- FOMA端末(本体)電話帳とFOMAカード電話帳を切り替えるにはを押します。

3 登録するメンバーを選択してを押す

作成 メンバーリスト選択 アニ
<メンバーリスト選択>
鈴木太郎

- 電話帳の1件目に登録されている電話番号、メールアドレス、URLが登録されます。
- 同様にして、登録するメンバーをすべて選択します。
- メンバーを削除するときは、メンバーを選択しを押します。

ステップ3　アラームを設定する[アラーム設定画面]

お買い上げ時	アラーム：あり／端末設定に従う　予告アラーム：なし

スケジュールの開始日時にアラームを鳴らすかどうかと、鳴らすメロディを選択します。
また、開始日時の前にアラームを鳴らす「予告アラーム」を設定します。

1 を押す

2 アラーム音を設定する

■ アラームを設定するとき

①アラーム欄を選択してを押し、1～2を押す

- スケジュール開始日時にアラームを鳴らさないときは2を押し、ステップ4に進みます。

②メロディ欄を選択してを押す

メロディ欄には着信音設定(→P173)の電話に設定したメロディが設定されています。
「メロディ」のフォルダ一覧が表示されます。

③フォルダを選択しを押し、一覧からメロディを選択してを押す

メロディが設定され、アラーム設定画面に戻ります。

- メロディ一覧の見かた→『アプリケーション編』P288
- メロディ一覧からメロディを選択してを押すとメロディを再生できます。再生中はサイドキー[▲▼]、を押して音量調整、を押して前後のメロディの再生ができます。を押すと設定されます。

■ 予告アラームを設定するとき

①予告アラーム欄を選択してを押し、1～2を押す

- スケジュール開始日時の前に予告アラームを鳴らさないときは2を押し、ステップ4に進みます。

②メロディ欄を選択し、メロディを選択する

- 操作方法はアラームの設定と同じです。

③予告アラーム時間欄を選択してを押し、1～5を押す

- 何分前に鳴らすかを選択します。

ステップ4　繰り返しの設定などを行う［その他の設定画面］

お買い上げ時	繰り返し：なし　イメージ：なし

スケジュールの繰り返しを設定します。また、スケジュールにイメージを登録します。

- 繰り返しを設定すると、カレンダーには設定した日付の右上に◥が表示されます。デイリービュー画面ではスケジュールの内容の先頭に が表示されます。
- イメージに横縦（または縦横）のサイズが640×480（ドット）を超える画像を設定している場合、画像の表示に時間がかかることがあります。
- イメージにFlash画像は設定できません。

1 を押す

2 繰り返しを設定する

①繰り返し欄を選択して を押し、1～6を押す

繰り返し方法は次の中から選択できます。

項　目	説　明
1 なし	繰り返しを行いません。
2 毎日	毎日、同じスケジュールを設定します。
3 毎週	毎週、開始年月日と同じ曜日に同じスケジュールを設定します。
4 毎月	毎月、スケジュールの開始年月日と同じ日※に同じスケジュールを設定します。
5 毎年	毎年、スケジュールの開始年月日と同じ日※に同じスケジュールを設定します。
6 曜日指定	毎週、指定した曜日に同じスケジュールを設定します。

※：スケジュールの開始年月日を「31日」やうるう年の「2月29日」などに設定した場合、該当する日が存在しない月、年には、その月、年の月末（「30日」や「2月28日」など）が繰り返し日となりますのでご注意ください。

- 6を押したときは、「曜日選択」を選択することができます。それ以外のときは、操作3へ進みます。

②「曜日選択」を選択して を押し、1～7を押す

- 押したダイヤルキーに対応した数字の☐が☑に変わり、選択されます。
- 既に選択されている曜日（☑）を選択して を押すと、選択が解除（☐）されます。
- MENUを押すとすべての曜日を選択（または解除）できます（選択状況によってガイド行の表示が異なります）。

③ を押す

曜日が設定され、その他の設定画面に戻ります。

- 「曜日選択」の下に操作②で選択した曜日が表示されます。

3 イメージを選択する

①イメージ欄を選択して を押し、1～2を押す

- 2を押したときは、ステップ5に進みます。

②「画像選択」を選択して を押す

画像フォルダ一覧が表示されます。

③フォルダを選択して を押し、一覧から静止画を選択して を押す

静止画が設定され、その他の設定画面に戻ります。

- 画像一覧の見かた→『アプリケーション編』P245
- 静止画を選択して を押すと静止画を表示できます。アニメーション、パラパラマンガ、連写画像の場合、画像を表示すると自動的に再生されます。 を押すと前後の静止画を表示できます。 を押すと設定されます。
- 選択した画像は、スケジュールアラーム画面に表示されます。イメージを設定していない場合は、スケジュールのイメージが表示されます。
- パラパラマンガ、連写画像を設定すると、スケジュールの設定画面、スケジュールアラーム画面には、最初の画像が表示されるだけで、再生はされません。

ステップ5 登録する

1 を押す

スケジュールが登録されます。

- アラームや予告アラームを設定したスケジュールを登録すると、待受画面に またはは (目覚まし設定も設定しているとき)が表示されます。
  FOMA端末がクローズ状態のときにサイドキー[▲]を2回押すと、背面ディスプレイに または (目覚まし設定も設定しているとき)が表示されます。

スケジュールアラーム、予告アラームを設定していると

- 設定した日時になるとディスプレイに左の画面(日時、スケジュールの内容、イメージ)が表示され、着信音量調整(→P83)で設定した音量でアラーム音が鳴ります。
  FOMA端末がクローズ状態のときは、背面ディスプレイにアラーム起動日時と「スケジュールアラーム」が表示されます。
  また、着信イルミネーションやバイブレータ設定を設定している場合は、その設定に従って動作します。
- 予告アラームを設定していると、開始日時の前に予告アラーム音が鳴ります。
- アラーム音鳴動中に(電源)を押すとアラーム音などが止まり、待受画面に戻ります。
- アラーム音鳴動中に1分間何も操作しないか、(電源)またはサイドキー[▼]以外を押すと、ディスプレイの表示はそのままでアラーム音などが止まります。
- 設定した日時に、通話などの動作を行っていた場合は、次のように動作します。

通話中の場合	設定したアラーム音ではなく、警告音が鳴り、スケジュールアラーム画面が表示されます。このとき、バイブレータは動作しません。
電源を切っている場合	指定した日時になっても電源は入らず、アラーム音も鳴りません。鳴らしたい場合は、アラーム自動電源ON 設定を「ON」に設定してください。→P212
データ送受信中(パケット通信の送受信中は除く)や電話の発着信・切断中、赤外線リモコンの操作中に指定した日時になった場合	左記動作終了後にアラームが動作します。ただし、データ通信でスケジュールデータを受信した場合は動作しません。

同日時に複数のスケジュールを設定していると

アラーム音などを停止してから、(左右キー)を押して、同日時に設定していた他のスケジュール内容を確認することができます。

お知らせ

- ドライブモード中はアラーム音が鳴らず、ディスプレイの点灯やバイブレータも動作しません。
- マナーモード中はアラーム音が鳴らず、バイブレータは「パターンA」で動作します。
  オリジナルマナーモード設定が設定されている場合は、バイブレータと目覚まし／スケジュール音、着信音量の設定に従います。
- イメージにパラパラマンガ、連写画像を設定している場合は、最初の画像が表示されます。
- オールロック中、PIMロック中はスケジュールアラーム、予告アラームは動作しません。
- FOMA端末がクローズ状態のときにサイドキーでアラーム音を止めるにはサイドキー[▲]を押してください。サイドキー[▼]またはサイドキー[ ]を押してもアラーム音は止まりません。

スケジュールのクイック登録をする<クイックスケジュール>

待受画面からの簡単なキー操作で、日時を指定したスケジュール登録画面を表示します。

● PIMロック中は本機能を利用できません。

● 日付・時刻の設定が必要です。→P65

〈例〉当日の14時のスケジュールを登録するとき

1 待受画面でダイヤルキーを使ってスケジュールを登録する日時（1 4 0 0）を入力する

- 当日の時刻を入力するときは、時間2桁、分2桁の4桁を入力します。
- 日時を入力するときは、月2桁、日2桁、時間2桁、分2桁の8桁を入力します。

2 [スケジュールキー]を押す

開始日時には、操作1で入力した時間が設定されています。

- 既に経過した日時を入力した場合は翌年、経過した時刻を入力した場合は翌日のスケジュール登録画面が表示されます。

3 登録する

- 操作方法→P220

メンバーリストを利用する

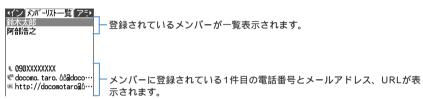
スケジュールに登録されているメンバーリストを選択して、電話をかけたり、ｉモードメールを作成したりします。また、メンバーリストの電話帳データに登録されているURLからサイトを表示します。

● プライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）は、本機能を利用できません。

1 カレンダー画面で利用するスケジュールの登録日を選択して◯を押す

デイリービュー画面が表示されます。

- 操作方法→P217

2 利用するスケジュールを選択して◯を押し、◁▷を押してメンバーリスト一覧画面を表示する

- シークレット属性が設定されているメンバーは、シークレットモードを設定していないと名前と詳細情報が「*」で表示されます。→P205

3 電話帳データを利用する

■ 音声電話をかけるとき

メンバーを選択して(☎)を押す

表示されている電話番号に音声電話をかけます。

- 発信者番号の通知／非通知を選択することはできません。電話帳データに登録されている電話番号の発番号設定に従います。→P145
- (☎)を押すと、相手の声がスピーカーから聞こえるようになります（スピーカーホン機能）。→P69

■テレビ電話をかけるとき

メンバーを選択して(テレビ電話キー)を押す

表示されている電話番号にテレビ電話をかけます。

- 発信者番号の通知／非通知や通信速度を選択することはできません。電話帳データに登録されている電話番号の発番号設定や通信速度に従います。→P145、P146
- (☎)を押すと、相手の声がスピーカーから聞こえるようになります（スピーカーホン機能）。→P95

■ iモードメールを送信するとき

①メンバーを選択して[メール]を押す

選択したメンバーのメールアドレスが宛先に設定され、スケジュールはDate To形式で本文に設定されます。

Date To形式→P254

- メンバー全員にｉモードメールを送信するときは、[MENU][5][2]を押します。全員の宛先がメール作成画面に設定され、スケジュールはDate To形式で本文に設定されます。

②ｉモードメールを編集して送信する

- ｉモードメールの作成・送信方法→『アプリケーション編』P127

■ サイトを表示するとき

メンバーを選択して[MENU][6]を押す

サイトに接続されます。

お知らせ

- 電話帳の2件目以降の電話番号やメールアドレスを利用するときは、メンバーリスト一覧画面からメンバーを選択して[●]を押し、電話帳の詳細画面を表示します。電話帳の詳細画面から音声電話やテレビ電話をかけたり、ｉモードメールを作成したりできます。→P133、P137
  ただし、電話帳の詳細画面からｉモードメールを作成すると、スケジュールは本文に設定されずDate To機能は使用できません。
- メンバーリスト一覧画面で[電話帳]を押すと、メンバーリスト選択画面が表示され、メンバーを登録、削除することができます。→P222
- 電話帳データの発番号設定が｢設定なし｣に設定されている場合は、発信者番号通知設定の設定に従って音声電話／テレビ電話がかかります。→P145、P295

スケジュールを削除する

スケジュールを削除します。1件ずつ削除することも、1日分などでまとめて削除することもできます。

● 次の方法で削除できます。

○：実行可　―：実行不可

削除件数＼操作する画面	カレンダー	デイリービュー	スケジュール詳細画面
1件	―	○	○
1日	○	○	―
前日まで	○	○	―
全件	○	○	―

● 繰り返し設定されているスケジュールは、カレンダー画面からは「全件削除」、デイリービュー画面からは「1件削除」または「全件削除」、詳細画面からは「削除」を選択して削除してください。

〈例〉デイリービュー画面からスケジュールを削除するとき

1 カレンダー画面で利用するスケジュールの登録日を選択して を押す

デイリービュー画面が表示されます。

- 操作方法→P217

2 MENU 3 を押す

3 1 ～ 4 を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 全件削除するときは 4 を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

■「1日削除」で日付をまたいだ長期間スケジュール（→P217）があるとき

「長期間も削除」または「長期間は残す」を選択して を押す

選択した方法でスケジュールが削除されます。

- 選択した日のスケジュールと、その日を含む、日付をまたいだ長期間スケジュール全体を削除するときは「長期間も削除」を選択して を押します。
- 選択した日の日付をまたいだ長期間スケジュール以外のスケジュールを削除するときは「長期間は残す」を選択して を押します。

■「前日まで削除」で日付をまたいだ長期間スケジュール（→P217）があるとき

「長期間も削除」または「長期間は残す」を選択して を押す

選択した方法でスケジュールが削除されます。

- 選択した日以前のスケジュールと、その日以前を含む、日付をまたいだ長期間スケジュール全体を削除するときは「長期間も削除」を選択して を押します。
- 選択した日以前の日付をまたいだ長期間スケジュール以外のスケジュールを削除するときは「長期間は残す」を選択して を押します。

4 「はい」を選択して◯を押す

スケジュールが削除されます。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  カレンダー、スケジュール詳細画面から操作する場合はMENUを押し、「削除」を選択して操作します。

他人に見られたくないスケジュールを守る<シークレット属性設定>

他人に見られたくないスケジュールデータは、認証操作（4〜8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証）をしないと呼び出せないシークレット属性を持ったデータとして登録します。シークレット属性を設定するにはシークレットモード（→P205）中に設定操作をする必要があります。

- デイリービュー画面、スケジュール詳細画面のどちらからも設定できます。
- シークレットモードを設定していないときは、シークレット属性の設定／解除はできません。

1 シークレットモードを設定する

- 操作方法→P205

2 カレンダー画面で利用するスケジュールの登録日を選択して◯を押す

デイリービュー画面が表示されます。

- 操作方法→P217

3 設定するスケジュールを選択してMENU 9を押す

選択されているスケジュールにシークレット属性が設定されていると点滅します。

- シークレット属性を解除するには、シークレット属性が設定されているスケジュールを選択してMENU 9を押します。

お知らせ

- シークレット属性が設定されているスケジュールは、シークレットモードを設定していないと表示されません。
- シークレットモードを設定中に作成されたスケジュールは、自動的にシークレット属性が設定されます。
- シークレット属性が設定されているスケジュールは、シークレットモードを設定していないとスケジュールアラーム、予告アラームは動作しません。

スケジュールをコピーする

スケジュールをコピーして別の日のスケジュールとして貼り付けます。

● 日付をまたいだ長期間スケジュールをコピーして貼り付けた場合は、設定されていた日付分のスケジュールが貼り付けられます。

スケジュールをコピーする

- スケジュールのコピーはデイリービュー画面から行います。カレンダーからはコピーできません。
- コピーしたスケジュールはスケジュール帳を終了するまでFOMA 端末に保持され、別の日に何度でも貼り付けることができます。
- 保持できるのは1 件だけです。新たにコピーを行うと内容は上書きされます。

1 カレンダー画面で利用するスケジュールの登録日を選択して●を押す

デイリービュー画面が表示されます。

- 操作方法→P217

2 コピーするスケジュールを選択してMENU 6 1を押す

スケジュールがコピーされます。

スケジュールを貼り付ける

- スケジュールの貼り付けは、カレンダー、デイリービュー画面のどちらからもできます。

1 スケジュールをコピーする

- 操作方法→上記

2 スケジュールを貼り付ける日を選択してMENU 5を押す

スケジュールが貼り付けられます。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  デイリービュー画面から操作する場合はMENUを押し、「コピー／貼り付け」→「貼り付け」を選択して操作します。

登録したスケジュールを確認する

登録したスケジュールを表示します。また、表示した画面から、スケジュールの追加や変更、削除を行います。

● シークレット属性が設定されているスケジュールは、シークレットモードを設定していないと表示されません。

1 カレンダー画面で確認するスケジュールの登録日を選択して○を押す

デイリービュー画面

- デイリービュー画面で◁▷を押すと、日付が切り替わります。
- 操作方法→P217

2 確認するスケジュールを選択して○を押す

スケジュール詳細画面

- スケジュール詳細画面で◁▷を押すと、画面が切り替わります。

お知らせ

- 表示中のスケジュール内容に電話番号・メールアドレス・URLが含まれている場合は、Phone To (AV Phone To)・Mail To・Web To機能を利用できます。→『アプリケーション編』P49、P50
- 繰り返し設定されているスケジュールには が、日付をまたいだ長期間スケジュールには が表示されます。
- スケジュールに終日設定すると、デイリービュー画面では「終日」と表示されます。

スケジュールを変更する

登録したスケジュールを変更します。

1 カレンダー画面で変更するスケジュールの登録日を選択して○を押す

デイリービュー画面が表示されます。

- 操作方法→P217

2 変更するスケジュールを選択して○を押し、(機能)を押す

編集画面が表示されます。

3 スケジュールの内容を変更して(機能)を押す

登録するかどうかの確認画面が表示されます。

- 操作方法→P220

4 「はい」を選択して◯を押す

変更したスケジュールが登録されます。

お知らせ

- デイリービュー画面から操作する場合はMENUを押し、「編集」を選択して操作します。

特定の用件のスケジュールのみ表示する

特定の用件アイコンのスケジュールだけを表示します。

1 カレンダー画面を表示する

- 操作方法→P217

2 MENU 3 2 を押す

- 全用件表示にするときはMENU 3 1を押します。

3 用件アイコンを選択して◯を押す

用件が絞り込まれて表示されます。

選択した用件アイコンが表示されます。

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  デイリービュー画面から操作する場合はMENUを押し、「表示切替え」→「用件別表示」を選択して操作します。全用件表示に戻す場合はMENUを押し、「表示切替え」→「全用件表示」を選択して操作します。

登録件数を確認する<登録件数確認>

登録したスケジュールと休日設定の件数を確認します。

1 カレンダー画面を表示する

- 操作方法→P217

2 MENU 7 を押す

- ◯を押すとカレンダーに戻ります。

スケジュールからメールを作成する

スケジュールをｉモードメールの本文として送信します。

● 操作する画面によって、送信できるスケジュールの件数が異なります。

操作する画面／送信件数	カレンダー	デイリービュー画面	スケジュール詳細画面
1件	×	○	○
1日分	○	○	×
全件※	○	○	×

※：登録されているすべてのスケジュール（過去のスケジュールも含む）が送信されます。

● スケジュールはメール本文にDate To形式で書き込まれます。→P254
● メール本文の容量を超えたスケジュールは、超過した分以降が切り捨てられます。
● 用件別に表示されているときは、表示されている用件だけがメール送信の対象になります。
● シークレット属性が設定されたスケジュールを送信するときは、シークレットモードを設定してください。→P205

〈例〉デイリービュー画面から1件のスケジュールをメール送信するとき

1 カレンダー画面でメール送信するスケジュールの登録日を選択して ● を押す

デイリービュー画面が表示されます。

- 操作方法→P217

2 メール送信するスケジュールを選択して [メール] を押す

- 選択した日に登録されているすべてのスケジュールをメール送信するときは[MENU][7][2]を押します。
- 登録されているすべてのスケジュールをまとめてメール送信するときは[MENU][7][3]を押します。
- ｉモードメールの作成・送信方法→『アプリケーション編』P127

お知らせ

- サブメニューの項目番号は操作する画面により異なります。
  カレンダー、スケジュール詳細画面から操作する場合は[MENU]を押し、「メール作成」を選択して操作します。
- スケジュール詳細画面から操作する場合も、[メール]を押してｉモードメールを作成できます。

自分の名前やメールアドレスなどを登録する<プロフィール情報>

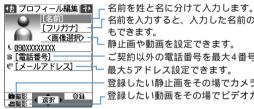
お客様のご契約端末の電話番号(自局電話番号)の他、名前やメールアドレスなどを登録します。

● 登録できるのは次の項目です。
- ・名前、フリガナ
- ・画像
- ・電話番号(FOMA端末の電話番号を含めて、最大5番号)
- ・メールアドレス(最大5アドレス)
- ・その他情報(URL・テキストメモ・郵便番号・住所・会社名・役職名)

● PIMロック中は本機能を利用できません。

プロフィール情報を登録する

1 待受画面でMENU 0を押す

- 自局電話番号には、ご契約の電話番号が設定されています。

2 ［📖］を押し、4〜8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

- 既に設定されている項目は、その内容が表示されます。
- 1件目の電話番号には、ご契約の電話番号(自局電話番号)が設定されています。変更はできません。

3 電話番号やメールアドレスなどを設定する

- 各項目の設定方法は、電話帳の設定方法(ステップ3)と同じです。→P114

4 ［◁］［▷］を押し、その他の情報を設定する

- 初期登録時はいずれも設定されていません。既に設定されている場合は、その内容が表示されます。
- 各項目の設定方法は、電話帳の設定方法(ステップ6)と同じです。→P120

5 を押す

プロフィール情報が登録されます。

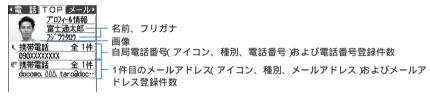
お知らせ

- 自局電話番号はFOMAカードに登録されています。それ以外の項目を登録すると、FOMA端末(本体)に記録されます。
- 圏外でもプロフィール情報は登録できます。
- プロフィール情報のメールアドレス欄を変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、プロフィール情報のメールアドレス欄は自動的には変更されません。
  メールアドレスを変更する→『アプリケーション編』P164
- 動画撮影中にキー操作を行うと、操作音が録音される場合があります。

プロフィール情報の詳細を表示する

1 待受画面でMENU 0を押す

プロフィール情報
あなたの名前
富士通太郎
自局電話番号
090XXXXXXXX
メールアドレス
docomo.ΔΔΔ.taro@doco…

2 を押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 プロフィール情報を確認する

- 既に設定されている内容が表示されます。文字が長い場合は、途中までしか表示されません。
- を押すと、名前、フリガナ、および電話番号とメールアドレスの各1件目が表示されます。→P133
- を押すたびに画面が切り替わり、登録内容の詳細を確認できます。を押すと逆順に切り替わります。→P134

お知らせ

- プロフィール情報に記録されている情報を利用して、電話帳と同様にいろいろな操作ができます。
  ・電話帳を使いこなす→P139
  ・プロフィール情報を転送する(赤外線プロフィール送信)→『アプリケーション編』P305
  ・各種機能を設定する→P145

プロフィール情報を修正する

1 プロフィール情報の詳細(TOP)画面を表示する

- 操作方法→P237

2 MENU 2ABCかを押す

プロフィール情報編集画面が表示されます。

3 プロフィール情報を修正する

- 操作方法→P236

登録内容をリセットする

プロフィール情報の登録内容を、お買い上げ時の状態に戻します。 自局電話番号以外の登録内容は削除されます。

1 プロフィール情報の詳細(TOP)画面を表示する

- 操作方法→P237

2 MENU 3DEFさを押す

リセットするかどうかの確認画面が表示されます。

3 「はい」を選択して◯を押す

プロフィール情報の登録内容がリセットされます。

タッチメニューをカスタマイズする<タッチメニュー>

FOMA端末では、あらかじめ登録されているメニューの他に、機能や電話帳データを自由に登録して、自分だけのオリジナルのメニューを作ることもできます(タッチメニュー)。よく使う機能や連絡をとる相手の電話帳データを登録しておけば、機能を手早く実行したり、簡単に電話をかけたりできます。

- 9つの機能・電話帳データが登録できます。
- タッチメニューには、あらかじめ3種類のサンプルがテンプレートとして用意されています。サンプルを読み込んでから任意の機能を追加・削除することで、オリジナルのタッチメニューを作成することもできます。→P240
- テンプレートのサンプル1には、スタイラスペンによるタッチパネルで操作可能な機能があらかじめ登録されています。お買い上げ時にMENUを押すとサンプル1が表示されます。
- タッチメニューに登録できる項目は次のとおりです。

項　目	説　明
人物	電話帳データを登録します。よく連絡をとる相手などを登録して、簡単に電話をかけたり、メールを送信したりすることができます。
機能	機能や、2階層目があるメニューを登録します。よく使用する機能やメニューを登録して、目的の機能をすばやく呼び出すことができます。 • 2階層目のあるメニューを登録すると、その項目を選択したとき下位の階層のメニューをメニュー設定(→P46)の「ノーマル」に設定した表示形式で表示します。
グループ	電話帳データや機能、メニューを目的に合わせてグループ分けするためのグループフォルダを作成します。 • グループフォルダ内にグループフォルダを作成することで、3階層まで項目を登録できます。グループフォルダは2階層まで作成できます。

■ タッチメニューの例

タッチメニューの表示形式は、ノーマルメニューと同様です。→P46
次の例は「タイルアイコン」の場合のタッチメニューです。

機能(画面は「受信メール」「メロディ」)
・機能を実行します。

グループ
・機能や人物をまとめて登録します。

人物
・電話帳から選択して登録し、電話をかけたり、メールを送信したりします。

テンプレートのサンプルを読み込む

ここではあらかじめ登録されているテンプレートのサンプルを読み込む手順を説明します。

- お買い上げ時は次のサンプルが登録されています。

項　目	登録されている機能
1サンプル1	ｉモード、ソフト一覧、マルチメディア、カメラ、手書きメモ
2サンプル2	ダイヤルアップ通信、ハンズフリー、ヘッドセット、ｉモード、ソフト一覧、マルチメディア、miniSDカード
3サンプル3	ｉMenu、Bookmark、画面メモ、イメージ、ｉモーション、メロディ

- テンプレートを読み込むと、タッチメニューの登録内容はすべて上書きされます。

1 待受画面で MENU を押す

- タッチメニューにはあらかじめテンプレートのサンプル1が登録されています。→P239
- タッチメニューで 📖 を押すとノーマルメニューに切り替わります。
- タッチメニューに何も登録されていないときは、● を押すと項目選択画面が表示されます。項目を選択すると、機能、人物、グループを登録できます。以降の操作は操作3の各項目の登録操作と同じです。

2 MENU 7 1 を押し、1 ～ 3 を押す

テンプレートが読み込まれ、タッチメニューに設定されます。

- 既にタッチメニューが作成されているときは新しいタッチメニューにするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して ● を押すと、選択したテンプレートがタッチメニューに設定されます。

タッチメニューを作成する

タッチメニューを作成します。ここではテンプレートのサンプルを読み込んでから任意の項目を追加し、オリジナルのメニューを作成します。

- 項目を入れ替えたり、アイコンを変更したり、グループ名を変更したりすることもできます。→P244
  また、サンプルをリセットすることで、あらかじめ登録されている項目をすべて削除し、任意の項目を登録することもできます。→P245

1 テンプレートのサンプルを読み込む

- 操作方法→P239

2 項目を登録する

■ 人物を追加登録するとき

- シークレット属性を設定した電話帳データは、シークレットモードを設定していないと表示されません。→P205
- PIMロック中、プライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）は、人物を登録できません。
- 動画やｉモーションを設定している電話帳データをタッチメニューに登録すると、アイコンは 👤 になります。

①MENU 1 1 を押す

電話帳一覧が表示されます。

- 検索方法を変えて検索し直すときは電話帳一覧で MENU を押します。
- FOMAカード電話帳から検索するときは電話帳一覧で 📖 を押します。
- 電話帳の操作方法→P128、P135

②登録する相手を選択して ● を押す

人物が登録されます。

■ 機能を追加登録するとき

- PIMロック中は、電話帳やプロフィール情報などの機能は選択できません。

①MENU 1 2を押す

- 機能選択の画面は、メニュー設定のノーマルに従った表示形式で表示されます(画面はタイルアイコン表示の場合です)。→P46

②登録するメニュー項目を選択して を押す

「受信メール」を登録した場合

メニュー項目が登録されます。

下位の階層がないメニュー項目を登録するときは、項目を選択して を押すか、ショートカット操作で登録できます。

■ グループを追加登録するとき

①MENU 1 3を押し、グループ名を入力して を押す

- 全角で最大9文字、半角で最大18文字入力できます。
- 2階層目を表示しているときはグループは登録できません。

② を押す

グループが登録されます。

■ グループ内に登録するとき

①グループを選択して を押す

グループ内の項目が表示されます。

- 空のグループを選択したときは項目選択画面が表示されます。

②追加登録または上書き登録の操作を行う

- 操作方法→P240
- タッチメニューは3階層までです。既に2階層目を表示しているときは、機能または人物だけが登録されます。

■ 登録済みの項目に上書き登録するとき

①上書きする項目を選択してMENU 2を押す

項目選択画面が表示されます。

- 上書きする項目がないときは選択できません。

②1～3を押し、「はい」を選択して を押す

- グループに上書きすると、グループ内の項目はすべて削除されます。
- 以降の操作は各項目の登録操作と同じです。

お知らせ

- 登録した項目の並び順を変更できます。→P244
- 登録した項目のアイコンを変更できます。→P244
- 文字入力のしかた→P309

タッチメニューを利用する

タッチメニューに登録されている機能や人物を選択して実行します。

- グループフォルダの2階層目にメニューを登録すると、メニュー設定のノーマルに従った表示形式で2階層目のメニューが表示されます。

タッチメニュー表示中もショートカット操作ができます。ショートカット操作の番号は、ノーマルメニューと同じ方法と、タッチメニューの項目位置に対応したダイヤルキーで行う方法のどちらかを選択できます。→P46

機能を選択する

1 待受画面でMENUを押す

- 画面はタイルアイコン表示の場合です。
- メニュー設定の起動メニューを「ノーマル」に設定しているときは、を押します。

2 機能を選択してを押す

機能が実行されます。

- 下位の階層があるメニュー項目を選択したときは、メニュー項目が表示されます。
- グループ内の機能を選択するときはグループを選択し、グループ内の機能を表示します。

人物を選択する

人物を選択して電話をかけたり、メールを送ったりします。電話帳データにURLが登録されているときはサイトなども表示できます。電話帳の詳細画面も表示できます。

- シークレット属性(→P148)を設定した電話帳データの人物は、シークレットモード(→P205)を設定していないと人物名が「＊＊＊」で表示されます。アイコンはになります。
- PIMロック中、プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)は、人物の選択はできません。アイコンがに変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。
- シークレット属性とPIMロックの両方が設定されている場合は、PIMロック中のアイコン、動作になります。→P206

1 待受画面でMENUを押す

- 画面はタイルアイコン表示の場合です。
- メニュー設定の起動メニューを「ノーマル」に設定しているときは、を押します。

その他の機能を利用する　タッチメニュー

2 人物を選択する

- グループ内の人物を選択するときはグループを選択し、グループ内の人物を表示します。

3 電話帳データを利用する

■ 電話をかけるとき

を押す

音声電話がかかります。

テレビ電話をかけるときはを押します。

- 電話番号が2件以上登録されているときは、電話帳の詳細（電話）画面が表示されます。電話番号を選択してを押します。
- またはを1秒以上押して電話をかけると、相手の声がスピーカーから聞こえるようになります（スピーカーホン機能）。→P69、P95

■ｉモードメールを送信するとき

を押す

- メールアドレスが2件以上登録されているときは、電話帳の詳細（メール）画面が表示されます。メールアドレスを選択してまたはを押します。
- メールアドレスが登録されていないときは、宛先は空欄になります。
- ｉモードメールの作成・送信方法→『アプリケーション編』P127

■ショートメッセージ（SMS）を送信するとき

を1秒以上押す

SMS作成画面が表示されます。

- 電話番号が2件以上登録されているときは、電話帳の詳細（電話）画面が表示されます。電話番号を選択してまたはを押します。
- 電話番号が登録されていないときは、宛先は空欄になります。
- ショートメッセージ（SMS）の作成・送信方法→『アプリケーション編』P175

■登録されているURLに接続するとき

5を押す

ｉモードに接続され、サイトやインターネットホームページが表示されます。

- サイトの操作→『アプリケーション編』P30

■電話帳の詳細画面を表示するとき

6を押す

電話帳の詳細（TOP）画面が表示されます。→P133

タッチメニューを編集する

タッチメニューに表示される項目の表示順やアイコンの変更、グループ名の変更や項目の削除を行います。

- グループ内の項目を編集するときは、グループを選択して◯を押し、グループ内の画面を表示します。

項目を入れ替える

同じ画面内で、項目の表示順序を変更します。

1 **待受画面でMENUを押す**

- メニュー設定の起動メニューを「ノーマル」に設定しているときは、mを押します。

2 **移動する項目を選択してMENU 4を押す**

3 **移動先の項目を選択して◯を押し、「はい」を選択して◯を押す**

項目が移動します。

アイコンを変更する

1 **待受画面でMENUを押す**

- メニュー設定の起動メニューを「ノーマル」に設定しているときは、mを押します。

2 **アイコンを変更する項目を選択してMENU 5を押す**

- アイコンは32種類から選べます。
- アイコンを元に戻すにはmを押します。

3 **アイコンを選択して◯を押す**

アイコンが変更されます。

グループ名を変更する

1 **待受画面でMENUを押す**

- メニュー設定の起動メニューを「ノーマル」に設定しているときは、mを押します。

その他の機能を利用する
タッチメニュー

名前を変更するグループを選択して[MENU][6]を押す

グループ名を入力して[●]を押し、[📖]を押す

グループ名が変更されます。
- 全角で最大9文字、半角で最大18文字入力できます。

お知らせ
- 文字入力のしかた→P309

項目を削除する

待受画面で[MENU]を押す

- メニュー設定の起動メニューを「ノーマル」に設定しているときは、[📖]を押します。

削除する項目を選択して[MENU][3]を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

「はい」を選択して[●]を押す

項目が削除されます。
- グループを削除するとグループ内の項目も削除されます。

タッチメニューをリセットする

登録した内容やサンプルの項目をすべて削除します。タッチメニューの全項目に任意の機能や電話帳データを登録する場合に行います。

待受画面で[MENU]を押す

- メニュー設定の起動メニューを「ノーマル」に設定しているときは、[📖]を押します。

[MENU][7][2]を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

3 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

「はい」を選択して[●]を押す

タッチメニューの登録内容がすべて削除されます。

お知らせ
- タッチメニューをリセットすると、登録されている機能や人物がすべて削除されます。リセット後は、タッチメニューに機能や人物を登録し直す、またはテンプレートを読み込んでタッチメニューを作成してください。→P240
- テンプレートをリセットしても、読み込みを行うと再度表示することができます。→P239

着信ランプの色と点灯パターンを設定する＜着信イルミネーション＞

お買い上げ時	すべて点滅／オーシャン

音声電話やテレビ電話着信時、メールやメッセージR/F受信時の着信ランプの点灯パターンと点灯色を設定します。

● 点灯色は27色から選択できます。

1 待受画面でMENU 8 6 1を押す

2 設定する項目の点灯パターン欄を選択して◯を押す

- を押してパターンを選択すると、選択されているパターンで着信ランプが点灯／点滅します。ただし、「メロディ連動」の場合は点滅します。

3 1～5を押す

点灯パターンが設定されます。

- 着信音設定で電話やテレビ電話の着信音に「メロディ」を設定している場合や、他の設定する項目の点灯パターン欄で4を押すと、着信ランプは「レインボー」で点滅します。操作6に進みます。
- 着信音設定で電話やテレビ電話の着信音に「ｉモーション」を設定している場合、4を押すと着信ランプは点灯色で設定した色で点滅します。操作6に進みます。

4 設定する項目の点灯色欄を選択して◯を押す

- 色の選択画面は3ページあります。を押して切り替えます。
- を押して色を選択すると、選択されている色で着信ランプが点灯／点滅します。

5 1～9を押す

点灯色が設定されます。

6 を押す

着信イルミネーションが設定されます。

点灯色(着信イルミネーションカラー)一覧

オーシャン	アメジスト	ローズ
アクア	グレープ	ピーチ
メロン	オリーブ	マーズ
アパタイト	ラベンダー	コーラル
ターコイズ	サンライズ	ライラック
ライム	ペリドット	レモン
ミント	アクアマリン	ムーン
スカイ	ソーダ	オパール
ルビー	ガーネット	レインボー

お知らせ

- FOMA端末(本体)電話帳に着信設定のある相手から電話の着信やメールの受信があった場合は、その設定に従って動作します。→P117、P120
- ダウンロードしたメロディのファイル仕様によっては連動しないことがあります(2004年5月現在)。その場合はコンテンツプロバイダに確認してください。

相手の声や自分の声を録音する<通話中／待受中音声メモ>

音声電話やテレビ電話で通話中に相手の声を録音します(通話中音声メモ)。
日付・時刻を設定していると録音した日時も自動的に記録されます。

- 通話中音声メモ／待受中音声メモの録音時間は、1件につき最大30秒です。
- 通話中音声メモ／テレビ電話通話中音声メモ／待受中音声メモの録音件数は、合わせて最大4件です。
- 電波状態により、録音内容が途切れたりすることがあります。
- 通話中音声メモの内容は、手帳などに別にメモをお取りくださるようお願いします。
  FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音内容が消失してしまう場合もあります。万一、録音内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 既に4件録音されている場合は、録音できません。録音するためには、不要な音声メモを削除してください。
  →P250
- 圏外通知や番号変更案内などのガイダンスは録音できません。

通話中に相手の声を録音する

- 通話中音声メモでは通話相手の声だけが録音されます。テレビ電話通話中も音声のみ録音され、画像は録画されません。

1 通話中にサイドキー[▲]を1秒以上押す

録音が開始されます。

音声電話通話中音声メモ

録音できる残り時間の目安が表示されます。

テレビ電話通話中音声メモ

- 録音開始時から約25秒後に、録音終了予告音(ピピッ)が鳴ります(この予告音は録音されません)。また、録音終了時には「ピーッ」と音が鳴ります(録音開始時にはこの音は鳴りません)。
- 録音を途中で停止するときはサイドキー[▲]を1秒以上押します。
- 通話中にTASK 6 6 2またはサイドキー[ ] 6 6 2を押しても、音声メモは録音できません。

待受中に自分の声を録音する

1 待受画面でサイドキー[▲] 3 を押す

録音できる残り時間の目安が表示されます。

約3秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。

- 録音開始から約25秒後に、録音終了予告音(ピピッ)が鳴ります(この予告音は録音されません)。また、録音終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。

録音を途中で停止するときは を押します。

音声メモを再生／削除する<音声メモ再生／削除>

音声メモの一覧画面から、録音された音声メモを再生／削除します。

● PIMロック中は本機能を利用できません。

再生する

待受画面でサイドキー[▲]（4たGHI）を押す

音声メモ一覧には、通話中音声メモと待受中音声メモの両方が表示されます。

録音日時

通話中音声メモの場合
・電話番号が通知されたときは電話番号が、通知されなかったときは発信者番号非通知理由が表示されます。
また、電話帳に登録されている相手の場合は名前が表示されます。
プライバシーモード起動中やシークレットモード中の名前の表示→P110

待受中音声メモの場合に表示されます。

再生する音声メモを選択して（　）を押す

音声メモが、再生されます。

時間経過の目安が表示されます。

- 音声メモの再生を途中で停止するときは（　）を押します。
- サイドキー[▲▼]または（カメラ）（iα）を押して音量を調整します。
→P82
- 再生中に（電話 文字）を押すと音声メモがスピーカーから聞こえるようになります（スピーカーホン機能）。再度、（電話 文字）を押すと受話口から聞こえるようになります。

再生した音声メモを削除するかどうかを選択する

- 「はい」を選択して（　）を押すと、音声メモが削除されます。

お知らせ

- 通話中音声メモの場合、一覧画面で相手を選択して（電話 文字）を押すと音声電話、（▲テレビ電話）を押すとテレビ電話をかけることができます。また、サブメニューから発信者番号通知／非通知を設定して音声電話やテレビ電話をかけたり、通信速度を指定してテレビ電話をかけたりすることができます。
- 通話中音声メモに記録されている電話番号を電話帳に登録する→P126

削除する

1件ずつ削除することも、すべての音声メモをまとめて削除することもできます。

待受画面でサイドキー[▲]4を押す

音声メモ一覧が表示されます。

削除する音声メモを選択してMENU 2 1を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 音声メモを全件削除するときはMENU 2 2を押します。

3 「はい」を選択して●を押す

音声メモが削除されます。

電卓を使う<電卓>

FOMA端末で四則演算(+、−、×、÷)ができます。

● スケジュールやメモ帳の入力欄から電卓を利用し、その結果を元の画面の入力欄に貼り付けることができます。→P221、P252、P328

1 待受画面でMENU 電話帳 6 8 を押す

電卓画面

- 電卓画面は、対応する端末のキーの働きがわかるようにデザインされています。

2 計算する

ダイヤルキー(0〜9)と上下左右キー(×、÷、−、+)を使って計算します。

- 入力した数字を1桁消去するときは✉を押します。
- 小数点を入力するときは電話帳を押します。
- 表示中の数字の+と−を切り替えるときは#を押します。

3 ◯を押す

計算結果が表示されます。

- クリアを押すと計算結果が消去されます。

お知らせ

- 最大8桁入力できます。
- 計算結果の整数部分が8桁を超えるとエラーとなり、「E」と表示されます。解除するには、クリアを押します。小数点を含む数値が8桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されて表示されます。
- 表示されている数値をコピーするにはMENU 1を押します。コピーされている数値を貼り付けるにはMENU 2を押します。コピーした数値は電源を切るまで保持され、メモやメール作成画面などの入力欄に何度でも貼り付けることができます。
- メモやメール作成画面などの入力欄から最大上位8桁の半角数字をコピーして、電卓画面に貼り付けられます。8桁を超えた半角数字をコピーした場合、超過した分は削除されます。
- 貼り付けた数値に続けて数字を入力することはできません。また、全角数字を貼り付けたり、数字以外の文字が含まれていたりすると、貼り付けられません。

メモを作成する＜メモ帳＞

大切な情報や覚書などをメモ帳に入力します。

- メモは最大50件登録できます。
- PIMロック中は本機能を利用できません。

メモを登録する

1 待受画面で[MENU][📖][6][5]を押す

2 「＜新しいメモ＞」を選択して[●]を押す

3 メモ内容欄にメモ内容を入力して[●]を押す

- 全角で最大300文字、半角で最大600文字入力できます。

■ 電卓で計算した数値を入力するには

電卓で計算した数値を入力することができます。

①文字入力画面で[MENU][8][2]を押す

電卓画面が表示されます。

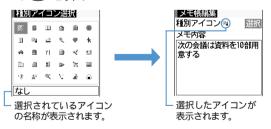
②計算を行い、ガイド行に「挿入」と表示されたら[●]を押す

数値が文字入力画面に入力されます。

- 電卓の詳しい操作→ P251

4 種別アイコン欄の「選択」を選択して[●]を押し、アイコンを選択して[●]を押す

選択されているアイコンの名称が表示されます。

選択したアイコンが表示されます。

- アイコンは30種類から選択できます。

5 [📖]を押す

メモが登録されます。

- メモ内容が入力されていないときは登録できません。

お知らせ

- 文字入力のしかた→P309
- メモ帳に登録した内容は、別にメモを取り保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフト(→『アプリケーション編』P390)とFOMA USB接続ケーブルや市販のUSBケーブルと付属の卓上ホルダを利用して、パソコンに保管することもできます。

メモを確認／修正する

1 待受画面でMENU 6 MNO 5 JKLを押す

メモの一覧が表示されます。

2 確認／修正するメモを選択して●を押す

- 表示中のメモ内容に電話番号・メールアドレス・URLが含まれている場合は、Phone To(AV Phone To)・Mail To・Web To機能を利用できます。→『アプリケーション編』P49、P50スケジュール定型文が含まれている場合は、Date To機能を利用できます。→P254
- を押すと、メモを修正できます。

メモを削除する

1件ずつ削除することも、すべてのメモをまとめて削除することもできます。

1 待受画面でMENU 6 MNO 5 JKLを押す

メモの一覧が表示されます。

2 削除するメモを選択してMENU 2 ABCを押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 登録済みのメモを全件削除するときはMENU 3 DEFを押し、4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行います。

3 「はい」を選択して●を押す

メモが削除されます。

メモからメールを作成する

メモ内容を本文として、ｉモードメールを作成します。

1 待受画面でMENU 6 MNO 5 JKLを押す

メモの一覧が表示されます。

2 メールの本文にするメモを選択してMENU 4 GHIを押す

メール作成<新規>
To
Sub
Text 9966
新しい携帯の番号は追っ

- ｉモードメールの作成・送信方法→『アプリケーション編』P127

メモからスケジュールを登録する<Date To機能>

メールの本文にDate To形式でスケジュールの内容が含まれている場合は、本文をメモ帳にコピーすることでスケジュールへ登録することができます。

1 待受画面で を押す

メモの一覧が表示されます。

2 Date To形式で記述してあるメモを選択して を押す

3 Date To形式の記述を選択して を押す

4 登録する

- 操作方法→P220

Date To形式

Date Toはメモに次の形式の文字列があったときに有効です。項目はすべて必須です。

(例)

- 内容以外の下線部分は半角文字のみ有効です。
- 開始年月日、開始時刻、「～」、終了年月日、終了時刻、内容の間は半角スペースで区切ります。
- 内容は全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。最大文字数を超える文字は切り捨てられます。
- 年は西暦、時刻は24時間制です。年、月、日、時、分が1桁のときは前の0は省略できます。
- 定型文を利用すると、簡単に現在日時のDate To形式の文をメモに設定することができます。→P319

手書きメモを作成する<手書きメモ>

お買い上げ時	モード：ペン＆ブラシ　ブラシスタイル：丸　塗り潰し：塗り潰さない　太さ：普通 拡散範囲：普通　カラー：黒色　拡大表示：等倍表示　スクロールモード：OFF

紙に文字を書くように、タッチパネル上にスタイラスペンで文字を書いたり絵を描いたりできます。作成した手書きメモは画像として保存されます。また、手書きメモはｉモードメールに添付して送信することもできます。

● PIMロック中は本機能を利用できません。
● 手書きメモは、最大1000件保存できます。→『アプリケーション編』P16
● 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、手書きメモは保存できません。不要な画像を削除し、保存し直してください。→『アプリケーション編』P47
● 手書きメモを終了すると、モードやブラシスタイルなどの各設定項目はお買い上げ時の状態に戻ります。
● 手書きメモの作成手順はタッチパネルによる操作で説明しています。

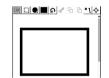
<作成例>

❶ペン&ブラシ

❷透明ペン

❸エアーブラシ

❹直線

❺四角形

❻楕円

手書きメモを作成する

手書きメモを作成し、保存します。

• カメラで撮影した静止画やテンプレートを読み込んで、背景を変更することができます。→P260

1 待受画面でMENU 5を押す

項　目		説　明
モード		
	(矩形選択)	コピーや切り取り、消去する範囲などを四角形で選択します。
	(自由選択)	コピーや切り取り、消去する範囲などを自由な形で選択します。
	(ペン＆ブラシ)	ペンやブラシのような線で描画します。
	(透明ペン)	透明なペンで描画します。 背景も透明にします。
	(エアーブラシ)	エアーブラシで描画します。
	(直線)	直線を描画します。
	(四角形)	四角形を描画します。内側を塗り潰すこともできます。
	(楕円)	楕円を描画します。内側を塗り潰すこともできます。
	(消しゴム)	描画した線や図形を消します。

項目			説明
ブラシスタイル／塗りつぶし			
	ブラシスタイル		ペン＆ブラシや透明ペンの形を設定します。
		●（丸）	丸筆で描いたように、線の両端が丸くなります。
		■（四角）	四角い筆で描いたように、線の両端が直線になります。
		／（スラッシュ）	平筆を傾斜させて描いたように、線の両端がスラッシュの形（「／」）になります。
		＼（バックスラッシュ）	平筆を傾斜させて描いたように、線の両端がバックスラッシュの形（「＼」）になります。
	塗り潰し		四角形や楕円で描画したとき、枠の内側を塗り潰すかどうかを設定します。
		□（塗り潰さない）	内側が透明の枠を描画します。
		■（塗り潰す）	内側を塗り潰した枠を描画します。
太さ／拡散範囲			
	太さ	・（細い） ●（普通） ●（太い）	線や図形を書くときの線の太さや、消しゴムで消すときの幅を設定します。
	拡散範囲	（狭い） （普通） （広い）	エアーブラシで描画するときの拡散範囲を設定します。
カラー		■	線の色や図形を塗り潰すときの色を設定します。
元に戻す			最後に行った操作を取り消します。
切り取る			範囲を選択して切り取ります。
コピー			範囲を選択してコピーします。
貼り付け			切り取った、またはコピーした画像を貼り付けます。
拡大表示		×1×2×4×6×8	手書きメモの表示する倍率を変更します。
スクロールモード切替		（スクロールモード移行） （スクロールモード解除）	拡大表示をしたときや、画面に表示しきれないサイズの手書きメモをドラッグしてスクロールできるようにします。

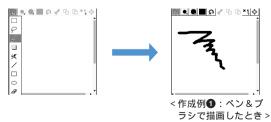
手書きメモ作成画面でMENUを押し、「ツール」から項目を選択することもできます。

2 描画方法を選択して描画する

■ 「ペン&ブラシ」「透明ペン」「エアーブラシ」で描画するとき（作成例❶❷❸）

①モードのマークをタップする

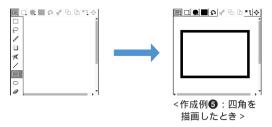
②描画するモードを選択してタップし、描画する

＜作成例❶：ペン＆ブラシで描画したとき＞

- 背景が薄い、または白い場合は、透明ペンの効果が見えないことがあります。

■ ／「直線」□「四角形」⬭「楕円」で描画するとき（作成例❹❺❻）

✎ ①モードのマークをタップする

✎ ②描画するモードを選択してタップし、開始位置から終了位置までドラッグする

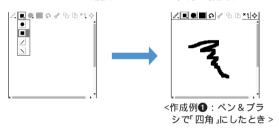
<作成例❺：四角を描画したとき>

■ ペンやブラシの形を変更して描画するとき

- モードが✎、▨の場合に変更できます。

✎ ①ブラシスタイルのマークをタップする

- ●「丸」■「四角」／「スラッシュ」＼「バックスラッシュ」から選択できます。

✎ ②ブラシスタイルを選択してタップし、線を描画する

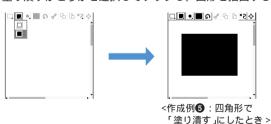
<作成例❶：ペン＆ブラシで「四角」にしたとき>

■ 塗り潰された図形を描画するとき

- モードが□、⬭の場合に変更できます。

✎ ①塗り潰しのマークをタップする

- □「塗り潰さない」■「塗り潰す」から選択できます。

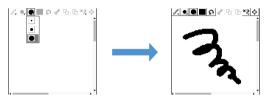
✎ ②塗り潰すかどうかを選択してタップし、図形を描画する

<作成例❺：四角形で「塗り潰す」にしたとき>

■ 線や図形の太さを変更して描画するとき

- モードが、、、、、の場合に変更できます。

①太さのマークをタップする

- 「細い」「普通」「太い」から選択できます。

②太さを選択してタップし、線や図形を描画する

＜作成例❶：ペン＆ブラシで「太い」にしたとき＞

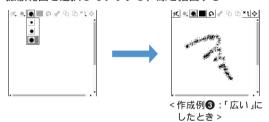
■ エアーブラシの拡散範囲を変更して描画するとき

- モードがの場合のみ表示されます。

①拡散範囲のマークをタップする

- 「狭い」「普通」「広い」から選択できます。

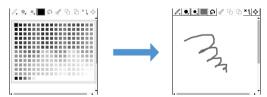
②拡散範囲を選択してタップし、線を描画する

＜作成例❸：「広い」にしたとき＞

■ 線や図形の塗り潰しの色を変更して描画するとき

- モードが、、、、の場合に変更できます。

①カラーのマークをタップする

- 222色から選択できます。

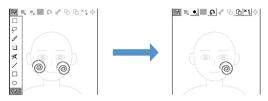
②カラーを選択してタップし、線や図形を描画する

■ 描画した線や図形を消すとき

鉛筆で紙に書いた線や図形を消しゴムで消すように、手書きメモに描画した線や図形を消すことができます。

範囲を選択して、描画した線や図形をまとめて消すこともできます。→P263

- 読み込んだ背景は消すことはできません。

①モードのマークをタップする

②を選択してタップし、消したい線や図形の上をドラッグする

- 太さ／拡散範囲で指定されている太さで消されます。

■ 最後に行った操作を取り消すとき

をタップする

最後に行った操作が取り消されます。

■ 表示する倍率を変更するとき

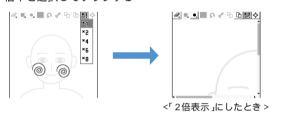
①拡大表示のマークをタップする

- ×1「等倍表示」×2「2倍表示」×4「4倍表示」×6「6倍表示」×8「8倍表示」から選択できます。

②倍率を選択してタップする

<「2倍表示」にしたとき>

■ 画面をスクロールするとき

をタップする

ドラッグするとに表示が変わり、ドラッグした方向に画面がスクロールされます。

- が表示されているときは、拡大表示とプレビューのみ操作できます。

手書きメモの作成に戻るときは、をタップします。

スタイラスペンでスクロールバーをドラッグしてスクロールさせることもできます。

■ 最初の状態に戻すとき

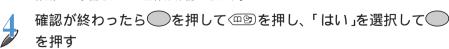
MENU 5 を押す

手書きメモを描画する前の状態に戻します。

- 描画していたすべての手書きメモが消去されます。一度消去すると元には戻せません。

3 を押し、作成した手書きメモを確認する

作成した手書きメモの全体が確認できます。

4 確認が終わったらを押してを押し、「はい」を選択してを押す

手書きメモが「イメージ」の「編集画像」フォルダに保存されます。

→『アプリケーション編』P245

お知らせ

- 作成した手書きメモは、作成日時のタイトル（たとえば2004年7月12日12時34分56秒の場合は20040712123456）で「イメージ」の編集画像フォルダに保存されます。日付・時刻が設定されていないと、タイトルは「--------------」になります。
  作成した手書きメモを削除するには→『アプリケーション編』P268
- スタイラスペンの動かしかたによっては、線が途切れるなど、描画がスムーズに動作しない場合があります。
- 電話の着信やメールの着信など、同時に多くの機能が実行されているときに手書きメモの描画を行うと、線が途切れるなど、描画がスムーズに動作しない場合があります。

手書きメモの背景を変更する

カメラで撮影した静止画や、お買い上げ時に登録されているテンプレートなどを読み込んで手書きメモの背景を変更します。

- お買い上げ時に登録されているテンプレートは削除したり、別のテンプレートを登録したりすることはできません。
- 手書きメモを作成中に静止画やテンプレートを読み込むと、作成中の手書きメモが保存されていない旨のメッセージが表示されます。「いいえ」を選択して◯を押し、作成中の手書きメモを保存してから静止画やテンプレートを読み込んでください。
- 次の画像は手書きメモで読み込むことができません。
  - ・パラパラマンガ、連写画像、アニメーション、「アイテム」フォルダ内の画像
  - ・メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画（自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く）
  - ・サイト画面（画面メモを含む）やメールから保存したファイル制限が設定されている静止画
  - ・横縦（または縦横）のサイズが320×320（ドット）を超える静止画
  - ・横縦のどちらかのサイズが8ドットより小さい静止画

「イメージ」のフォルダに保存されている静止画を読み込む

手書きメモ作成画面で MENU 3 を押し、フォルダを選択して◯を押す

画像一覧が表示されます。

読み込む静止画を選択して◯を押す

選択した静止画が背景として設定されます。

- 静止画を選択して（ボタン）を押すと静止画を表示できます。（ボタン）（ボタン）を押すと前後の静止画を表示できます。◯を押すと設定されます。

テンプレートを読み込む

手書きメモ作成画面で MENU 4 を押し、0 ～ 9 を押す

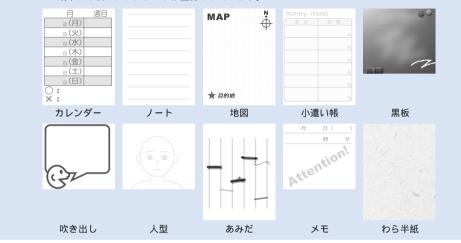
選択したテンプレートが背景として設定されます。

その他の機能を利用する　手書きメモ

お知らせ

- 読み込む画像やテンプレートを間違った場合は(クリア)を押して手書きメモを起動し直してください。
- 静止画を読み込んで作成した手書きメモは、読み込んだ静止画のタイトルと同じ名前で、「イメージ」の「編集画像」フォルダに保存されます。
- テンプレートや静止画を読み込むと、モードやブラシスタイルなどの各設定項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

✎ 静止画を読み込んで作成した手書きメモは、読み込んだ静止画の詳細情報がそのまま設定されます。変更する場合は「イメージ」の編集画像フォルダの画像一覧で(MENU)を押し、「詳細情報」→「変更」を選択して操作します。→『アプリケーション編』P251

- FOMA端末には次のテンプレートが登録されています。

手書きメモを編集する

編集中の手書きメモの範囲を指定して移動する、切り取る、コピーするなどの編集ができます。また、FOMA端末に保存している手書きメモや静止画を読み込んで編集することもできます。→P260

コピーまたは切り取る

- コピーまたは切り取った手書きメモは、手書きメモを終了するまで保持されます。新たにコピーや切り取りを行うと内容は上書きされます。

1 手書きメモ作成画面でモードのマークをタップする

- 操作方法→P255

2 コピーまたは切り取る範囲を指定する

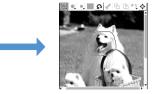
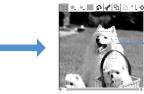
■ 矩形選択で範囲を指定するとき

選択範囲を矩形(枠)で指定します。

✎ ⬚をタップし、ドラッグして範囲を指定する

■ 自由選択で範囲を指定するとき

選択範囲を自由な形で指定します。

✎ をタップし、ドラッグして範囲を指定する

画面上範囲は四角で表示されますが、実際はドラッグした形でコピーまたは切り取られます。

- メモリが足りない場合は、自由選択を継続できない旨のメッセージが表示され、範囲を指定できません。

■ 指定した範囲を解除するとき

✎ 指定した範囲の外をタップする

- (クリア)を押しても解除できます。

3 または をタップする

指定した範囲がコピーまたは切り取られます。

- 背景もコピーまたは切り取られます。

■ 選択範囲を直接移動するとき

✎ ①指定した範囲の上をポイントし、移動する位置までドラッグする

✎ ②指定した範囲の外をタップする

移動位置が決まります。

✎ 指定した範囲を解除する、またはモードを切り替えるなど他の操作を行うまでは、ドラッグ操作で自由に移動できます。

貼り付ける

コピーまたは切り取った手書きメモを貼り付けます。手書きメモ作成中は何度でも貼り付けることができます。

1 手書きメモ作成画面で をタップする

コピーまたは切り取った手書きメモが、画面左上に表示されます。

2 表示された手書きメモの上をポイントし、貼り付ける位置までドラッグする

手書きメモが、ドラッグした位置に移動します。

3 指定した範囲の外をタップする

ドラッグした位置に手書きメモが貼り付けられます。

選択範囲を指定して消す<選択範囲のクリア>

範囲を指定して描画した線や図形をまとめて消します。

1 消去する範囲を指定する

- 操作方法→P261

2 MENU 2 5 5 を押す

選択した範囲に描画されている線や図形が消去されます。

手書きメモを添付してｉモードメールを作成する

編集中の手書きメモを添付してｉモードメールを作成します。
- 手書きメモは静止画として添付できます。→『アプリケーション編』P137

1 手書きメモ作成画面で(メール)を押す

- 手書きメモの作成方法→P255
- 作成した手書きメモは、自動的に「イメージ」の「編集画像」フォルダに保存されます。
- 作成した手書きメモがあらかじめ添付されています。
- 「ファイル名」で添付されます。→『アプリケーション編』P137

2 ｉモードメールを作成して送信する

- ｉモードメールの作成・送信方法→『アプリケーション編』P127

お知らせ

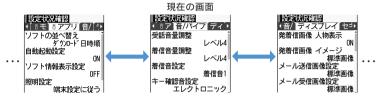
- ｉモードメールに添付する手書きメモのファイルサイズが9000バイトを超える場合、その手書きメモのファイルサイズは自動的に縮小されます。→『アプリケーション編』P137
- 受信側の機種によっては正しく表示できなかったり、手書き文字や絵などが粗く表示されることがあります。

設定状況を確認する＜設定状況確認＞

FOMA端末の各種設定状況を確認します。

1 待受画面でMENU 8 4 2を押す

「音／バイブ」のメニューの各種設定状況が表示されます。

2 を押して各種設定状況を確認する

- ガイド行に▼が表示されているときは続きがあります。を押して確認してください。
- を押すたびに、メニューが「音／バイブ」「ディスプレイ」「セキュリティ／その他」「時計」「発着信機能」「通話機能」「TV電話」「メール」「ｉモード」「ｉアプリ」の順に切り替わります。を押すと逆順に切り替わります。

3 確認が終わったらを押す

情報表示／リセットメニューが表示されます。

各種機能の設定をリセットする<各種設定リセット>

お買い上げ時	すべての項目にチェック

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

● 設定リセットを行ったときにお買い上げ時の状態に戻る機能については、メニュー一覧をご覧ください。
→P334
メニュー一覧に記載されていない機能で、お買い上げ時の状態に戻る機能は次のとおりです。
・マナーモード（基本設定を選択するとリセットされます）
・ドライブモード（基本設定を選択するとリセットされます）
・予測辞書データ
・ユーザ辞書データ（単語登録で登録したデータが削除されます）

1 待受画面でMENU・8・4・5を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 リセットする項目を選択してを押す

- 既に選択されている項目（☑）を選択してを押すと、選択が解除（□）されます。
- MENUを押すとすべての項目を選択／解除できます（選択状況によってガイド行の表示が異なります）。

4 を押す

設定をリセットするかどうかの確認画面が表示されます。

5 「はい」を選択してを押す

設定がリセットされます。

利用する通信事業者を設定する＜NW検索方法＞

お買い上げ時	ネットワーク自動検索

FOMAサービスを提供する通信事業者を設定します。自動検索で設定するか手動設定するかを選択できます。自動検索にしないときは、通信事業者を指定しておきます。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 待受画面でMENU 8 9 5を押す

項　目	説　明
検索方法	ネットワークの検索方法を設定します。 •「ネットワーク自動検索」に設定したときは、「手動選択」は設定できません。
手動選択	通信事業者を設定します。

2 検索方法欄を選択してを押し、1～2を押す

• 検索方法を自動にするときは1を押し、操作4へ進みます。

3 手動選択欄を選択してを押し、1を押す

• 手動選択には、ドコモ以外の通信業者は選択できません（2004年5月現在）。

4 を押す

通信事業者が設定されます。

イヤホンからのみ着信音を鳴らす＜イヤホン切替設定＞

お買い上げ時	イヤホン＋背面スピーカー

スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続したときに、着信音をイヤホンとスピーカーの両方から鳴らすか、イヤホンのみから鳴らすかを設定します。

1 待受画面でMENU 8 6 3を押す

2 1～2を押す

イヤホン切替設定が設定されます。

お知らせ

• スイッチ付イヤホンマイク（別売）などが接続されていないときは、本設定に関わらず、スピーカーから鳴ります。
•「イヤホンのみ」に設定した場合、着信音の開始から20秒経過すると「イヤホン＋背面スピーカー」から着信音が鳴ります。
• スイッチ付イヤホンマイクの使いかた→P353

イヤホンをつないで自動で電話を受ける<オート着信機能設定>

お買い上げ時	OFF

スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているときに着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答することができます。
音声／テレビ電話を受けたとき、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。

- テレビ電話をオート着信で受けた場合、TV電話画像選択の代替画像設定(→P106)で設定された代替画像を送信し、自動的にテレビ電話を開始します。
- 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。→P88、P281、P289
- メモリ別着信拒否／許可やメモリ登録外着信拒否を設定しているときに、着信拒否の対象となる番号や電話種別から着信があった場合は、本機能は動作しません。→P161、P162
- 通話中の着信は、本機能が設定されていても動作しません。
- ドライブモード設定中は、本機能は動作しません。→P86

1 待受画面でMENU 📖 8 6 4を押す

2 自動着信機能欄を選択して●を押し、1～2を押す

- オート着信機能を解除するときは2を押し、操作4に進みます。

3 自動着信機能時間(秒)欄を選択し、時間を入力後●を押す

- 自動着信機能時間の秒数を0～120の間で入力します。

4 📖を押す

オート着信機能が設定されます。

お知らせ

- 伝言メモの応答時間とオート着信機能設定の自動着信機能時間を同じ時間には設定できません。→P90
- Bluetoothヘッドセットはオート着信機能に対応していません。

FOMA端末から利用できるサービス

こんなサービスが利用できます

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール(料金着信払通話)	(局番なし)106
一般電話の番号案内 およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内(有料) (電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません)	(局番なし)104
電報の発信(有料)　午前8時〜午後10時	(局番なし)115
時報サービス(有料)	(局番なし)117
天気予報(有料)	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	(局番なし)110
消防・救急への緊急通報	(局番なし)119
海上で事件・事故が起きた時の緊急通報	(局番なし)118
災害用伝言ダイヤル(有料)	(局番なし)171

※オールロック中は、緊急通報(110番、119番、118番)もできません。

お知らせ

- コレクトコール(106)をご利用の際には、通話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円(税込94.5円)がかかります。(2004年5月現在)
- 番号案内(104)をご利用の際には、案内料100円(税込105円)に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは一般電話から116番(NTT営業窓口)まで、お問い合わせください。(2004年5月現在)
- FOMA端末から110番・119番通報の際は、発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように立ち止まって通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送でんわ」、「ボイスワープ」をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、設定によっては携帯電話などが通話中、サービスエリア外、および電源を切っているときでも、発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番(NTT営業窓口)、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください(一般電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話は利用できます)。

マルチアクセスについて

マルチアクセスによって、音声電話とパケット通信（ｉモード、ｉモードメール、パソコンやPDAなどをつないだデータ通信など）の2つの通信機能を同時に行うことができます。また、ショートメッセージサービス（SMS）も同時に使用することができます。

● タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。→P41

✎ 機能を実行中に(TASK)またはサイドキー[　]を押して新規起動メニューまたは画面切替メニューを表示し、新たな機能を起動したり、画面を切り替えたりできますが、タスクバーをタップしても同様の操作が行えます。

✎ 新規起動メニュー、画面切替メニューはタッチパネルで操作できます。

同時に使用可能な通信機能

次のように3つの機能を同時に使用できます。

✎ 画面切替メニュー表示中に(MENU)を押すと、新規起動メニューが表示されます。

機　能	機能数
音声電話通話	1つ
ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメールの通信 パソコンなどをつないだパケット通信	どちらか1つ
ショートメッセージサービス（SMS）	1つ

お知らせ

- マルチアクセス中はそれぞれの通信について通信料金がかかります。
- 64Kデータ通信利用時はマルチアクセス機能を使用できません。ただし、ショートメッセージサービス（SMS）の受信は可能です。
- ｉモードメールの送受信は、音声電話通話中やｉモード中でも利用できます。
- 動画やアニメーションの再生中やカメラの操作中などにメールが自動受信されるなど、同時に多くの機能が実行されていると、画面がスムーズに動作しないことや、再生中の音声が途切れることがあります。

マルチアクセスでできる主な操作

マルチアクセスでできる主な操作を次に示します。

現在の状態	できる操作	参照先
音声電話通話中	ｉモードに接続する	P270
	ｉモードメールを送信する	P270
	ｉモードメールを受信する	P271
	パケット通信を行う	P271
ｉモード中	音声電話をかける	P271
	かかってきた音声電話を受ける	P272
パケット通信中	音声電話をかける	P271
	かかってきた音声電話を受ける	P272

お知らせ

- マルチアクセスの詳細な組み合わせ→P349
- マルチアクセスは音声電話とパケット通信のみに対応しています。
- ショートメッセージサービス（SMS）は音声電話通話中、ｉモード中、64Kデータ通信中、パケット通信中でも利用できます（64Kデータ通信中、パケット通信中は受信のみ可）。
- ｉモード中はテレビ電話がかかってきても発信側に「お話中」となり、電話を受けることはできません。着信履歴には記録されます。
- 新規起動メニューから実行できる機能→P274

通話中にｉモードに接続する

音声電話通話中にｉモードに接続してサイトを表示します。

〈例〉通話中にサイトに接続するとき

通話中に(TASK)またはサイドキー[▭]を押す

新規起動メニューが表示されます。

(2ABC)(1あ/@)を押す

- 電話はつながったままなので、そのまま話せます。このとき、スピーカーホン機能を使用すると、画面を見ながら話すことができます。→P69
- 通話中の画面とサイトの画面を切り替えながら操作できます。→P275
- サイト表示を終了するにはサイトの画面で(電源)を押します。
- 通話を終了するには通話中の画面で(電源)を押します。

お知らせ

- サイトの表示方法→『アプリケーション編』P27

通話中にｉモードメールを送信する

音声電話通話中にｉモードメールを送信します。

通話中に(TASK)またはサイドキー[▭]を押す

新規起動メニューが表示されます。

(1あ/@)(2ABC)を押す

- 電話はつながったままなので、そのまま話せます。このとき、スピーカーホン機能を使用すると、画面を見ながら話すことができます。→P69
- 通話中画面とメール作成画面を切り替えながら操作できます。→P275
- メール作成を終了するにはメール作成画面で(電源)を押します。
- 通話を終了するには通話中の画面で(電源)を押します。

3 ｉモードメールを作成／送信する

ｉモードメールを送信すると通話中の画面に戻ります。

- ｉモードメールの作成・送信方法→『アプリケーション編』P127

通話中にｉモードメールを受信する

音声電話通話中にｉモードメールを受信します。

1 通話中にメールを受信する

ディスプレイ上部に が表示されます。

通話中にパケット通信を行う

音声電話通話中にパケット通信を行います。

- パケット通信実行時の画面は優先通信モード設定によって異なります。→P170

1 通話中にパソコンから発信操作を行う

パケット通信が始まります。

- 電話はつながったままなので、そのまま話せます。このとき、通話中の画面に切り替え（→P２７５）、スピーカーホン機能（→P６９）を使用すると、画面を見ながら話すことができます。
- 通話を終了するには通話中の画面を表示して を押します。

ｉモード中・パケット通信中に電話をかける

サイトを表示しながら音声電話をかけます。

- パソコンとつないだパケット通信中も、同様にして電話をかけることができます。

〈例〉サイト表示中に電話をかけるとき

1 ｉモード中に TASK またはサイドキー[ ]を押す

新規起動メニューが表示されます。

2 を押す

- 電話帳や着信履歴、リダイヤルからも電話をかけられます。→P274

3 電話番号を入力して(文字)を押す

電話がかかります。

- サイト表示を終了するにはサイトの画面で(電源)を押します。
- 通話を終了するには通話中の画面で(電源)を押します。

お知らせ

- ｉモード中でもテレビ電話をかけることはできますが、ｉモードは切断されます。→P349

ｉモード中・パケット通信中に電話を受ける

サイトを表示しながら、かかってきた音声電話を受けます。

- パソコンとつないだパケット通信中も、同様にして電話を受けることができます。
- 電話がかかってきたときの画面は優先通信モード設定によって異なります。→P170

〈例〉優先通信モードがお買い上げ時の設定(「設定なし」)のときのサイト表示中

1 電話がかかってくる

着信中の画面が表示されます。

2 (文字)を押す

電話がつながります。

- サイト表示を終了するにはサイトの画面で(電源)を押します。
- 通話を終了するには通話中の画面で(電源)を押します。

マルチアクセス・マルチタスク

マルチアクセスについて

マルチタスクについて

マルチタスクによって、複数の機能を同時に実行し、画面を切り替えながら操作することができます。

● タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。→P41

✎ 機能を実行中に(TASK)またはサイドキー[◯]を押して新規起動メニューまたは画面切替メニューを表示し、新たな機能を起動したり、画面を切り替えたりできますが、タスクバーをタップしても同様の操作が行えます。

✎ 新規起動メニュー、画面切替メニューはタッチパネルで操作できます。→P274、P276

新しい機能を実行する

通話中、通信中、操作中に別の機能を実行できます。

✎ 画面切替メニュー表示中に(MENU)を押すと、新規起動メニューが表示されます。

〈例〉通話中にスケジュールを表示／登録するとき

1 通話中に(TASK)またはサイドキー[◯]を押す

新規起動メニューが表示されます。

2 (6)(4)を押す

- 電話はつながったままなので、そのまま話せます。このとき、スピーカーホン機能を使用すると、画面を見ながら話すことができます。→P69
- 実行中の操作により、選択できない機能があります。→P351

3 スケジュールを表示／登録する

- 操作方法→P220、P233
- スケジュールの画面と通話中の画面を切り替えながら操作できます。→P275
- スケジュールを終了するにはスケジュールの画面で(電源)を押します。
- 通話を終了するには通話中の画面で(電源)を押します。

お知らせ

- 動画やアニメーションの再生中やカメラの操作中などにメールが自動受信されるなど、同時に多くの機能が実行されていると、画面がスムーズに動作しないことや、再生中の音声が途切れることがあります。
- 画面切替メニュー表示中に(📖)を押しても、Bluetoothのサービスは終了しません。
  Bluetooth→『アプリケーション編』P376
- 新規起動メニューから実行できる機能→P274
- 赤外線送受信中、マルチタスクによる操作はできません。

新規起動メニュー一覧

新規起動メニューから実行できる機能は次のとおりです。

- 機能によっては同時に起動できないものや制限のあるものがあります。
  マルチタスクの詳細な組み合わせ→P351
- ✎ メニュー項目に✎がある機能は、遷移後の画面の項目をタッチパネルで操作できます。→P36
- 参照先の■は『アプリケーション編』のページを示します。

メニュー項目			説　明	参照先
大項目	中項目	小項目		
ダイヤル発信			ダイヤル入力画面を表示して電話をかけます。	P68
1 メール	1 受信メール		受信メールのフォルダ一覧を表示します。	P150、182
	2 新規メール		メールを作成します。	P127
	3 SMS作成		ショートメッセージ(SMS)を作成します。	P175
	4 未送信メール		未送信メールのフォルダ一覧を表示します。	P143、178
	5 送信メール		送信メールのフォルダ一覧を表示します。	P143、178
	6 問合せ	1 iモード問合せ	ｉモードセンターにｉモードメールやメッセージR/Fが届いていないか問い合わせます。	P149
		2 SMS問合せ	ショートメッセージセンターにショートメッセージ(SMS)が届いていないか問い合わせます。	P181
		3 メール選択受信	ｉモードセンターに接続し、メールを選択して受信します。	P147
	7 FOMAカード保存SMS	1 受信メール	FOMAカードの受信ショートメッセージ(SMS)を表示します。	P186
		2 送信メール	FOMAカードの送信ショートメッセージ(SMS)を表示します。	P186
	8 テンプレート読込み		登録されているメールテンプレートを表示します。	P140
2 iモード✎	1 iMenu✎		ｉモードに接続してｉMenuを表示します。	P27
	2 Bookmark✎		ブックマークのフォルダ一覧を表示します。	P38
	3 Internet✎	1 URL入力✎	URLを入力してインターネットホームページを表示します。	P36
		2 URL履歴✎	URL履歴を選択してインターネットホームページを表示します。	P36
	4 画面メモ✎		画面メモを表示します。	P43
	5 メッセージ	1 メッセージリクエスト	メッセージRを表示します。	P115
		2 メッセージフリー	メッセージFを表示します。	P115
	6 iモード問合せ		ｉモードセンターにｉモードメールやメッセージR/Fが届いていないか問い合わせます。	P114、149
3 iアプリ一覧✎			ｉアプリのフォルダ一覧を表示します。	P68
4 電話帳・履歴	1 電話帳		電話帳一覧を表示します。	P128、135
	2 着信履歴		着信履歴を表示します。	P80
	3 リダイヤル		リダイヤルを表示します。	P74
5 マルチメディア✎	1 イメージ✎		「イメージ」のフォルダ一覧を表示します。	P245
	2 iモーション✎		「ｉモーション」のフォルダ一覧を表示します。	P270
	3 メロディ✎		「メロディ」のフォルダ一覧を表示します。	P288
	4 キャラ電		「キャラ電」のフォルダ一覧を表示します。	P23、95

メニュー項目			説　明	参照先
大項目	中項目	小項目		
6 ツール	1 カメラ		静止画を撮影します。	P216
	2 ビデオカメラ		動画を撮影します。	P224
	3 バーコードリーダー		バーコードを読み取ります。	P242
	4 スケジュール帳		カレンダーを表示し、スケジュールを登録・確認できます。	P217
	5 メモ帳		メモを登録・確認します。	P252
	6 伝言メモ・音声メモ	1 伝言メモ一覧	伝言メモの一覧を表示します。	P91
		2 音声メモ録音	音声メモを録音します。	P248
		3 音声メモ一覧	音声メモの一覧を表示します。	P249
	7 電卓		電卓を表示します。	P251
	8 手書きメモ		手書きメモを書いたり、絵を描いたりします。	P255
	9 Bluetooth	1 ハンズフリー	Bluetoothハンズフリーの登録・接続・サービス停止を行います。	P378
		2 ヘッドセット	Bluetoothヘッドセットの登録・接続・サービス停止を行います。	P378
0 プロフィール情報			プロフィール情報を表示し、自分の電話番号(自局電話番号)やメールアドレスなどを確認・編集します。	P66、236

画面を切り替える

複数の機能を実行中に(TASK)またはサイドキー[▭]を押すと画面切替メニューが表示され、画面を切り替えながら操作できます。

- タスクバーをタップし、画面切替メニューを表示して操作することもできます。
- 画面切替メニューに表示される機能名→P276

〈例〉通話中の画面からサイトの画面へ切り替えるとき

通話中に(TASK)またはサイドキー[▭]を押す

- 画面切替メニューには、実行中の機能が一覧表示されます。
- 画面切替メニュー表示中に(MENU)を押すと、新規起動メニューが表示されます。

「モード」を選択して◯を押す

- 通話中の画面に戻すには、再度(TASK)またはサイドキー[▭]を押し、画面切替メニューから「電話」を選択して◯を押します。
- 画面切替メニュー表示中に(MENU)を押すと新規起動メニューが表示され、新しい機能を起動できます。再度(MENU)を押すと画面切替メニューに戻ります。

画面切替メニューに表示される機能名

画面切替メニューの項目名は、メニューの項目名などと異なる場合があります。

項目名	対応する機能・画面
電話	電話
TV電話	テレビ電話
64Kデータ通信	64Kデータ通信
AV通信	外部機器によるテレビ電話
ダイヤル入力	電話番号入力
メール	iモードメール、ショートメッセージ(SMS)(一覧画面や表示画面など)
メール作成	iモードメール、ショートメッセージ(SMS)(作成画面)
メッセージR/F	メッセージR/F
問合せ	iモードメール、メッセージR/F、ショートメッセージ(SMS)のセンター問合せ
iモード	サイト、インターネットホームページ、ブックマーク、画面メモ
iアプリ	iアプリ(ソフトの一覧画面や実行中の画面)
PPPデータ通信	パソコンとつないだパケット通信
iモーション	iモーション
メロディ	メロディ
イメージ	イメージ
カメラ	カメラまたはビデオカメラ
電話帳	電話帳(登録画面、検索画面など)
メモ帳	メモ帳
スケジュール帳	スケジュール帳
手書きメモ	手書きメモ
電卓	電卓
着信履歴	着信履歴
リダイヤル	リダイヤル
データ連携	データ転送(赤外線通信、USB接続)
miniSDカード	miniSDカード
キャラ電	キャラ電
バーコードリーダー	バーコードリーダー
ソフトウェア更新	ソフトウェア更新
SMS受信	ショートメッセージ(SMS)の受信画面
iモードメール着信	iモードメール、メッセージR/Fの受信画面
通知(目覚まし)	目覚まし設定の設定時刻になったときのアラーム画面
通知(スケジュール)	スケジュールの設定日時になったときのアラーム画面
プロフィール情報	プロフィール情報
伝言メモ	伝言メモ
音声メモ	音声メモ
ヘッドセット	Bluetooth(ヘッドセット画面)
ハンズフリー	Bluetooth(ハンズフリー画面)
ダイヤルアップ	Bluetooth(ダイヤルアップ通信画面)

お知らせ

- マルチタスクの組み合わせ(→P351)以外の組み合わせでは、画面を切り替えることはできません。

実行中の全機能を終了する

マルチタスク中の全機能を一度に終了させます。

マルチタスク中に(TASK)またはサイドキー[ ]を押す

「はい」を選択して を押す

マルチタスク中の全機能が終了し、待受画面に戻ります。

- Bluetoothのサービスは終了できません。

ネットワークサービスを利用する

ネットワークサービスについてご不明な点は、下記にお問い合わせください(番号をよくお確かめの上、おかけください)。

○お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHS からの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話からはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHS からもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

「留守番電話サービス」、「キャッチホンサービス」、「転送でんわサービス」、「迷惑電話ストップサービス」、「WORLD CALL」、「WORLD WING」はドコモeサイトにてお申し込みいただけます。

● ｉモードはこちら　ｉMenu ▶□料金＆お申込 ▶■ドコモeサイト　パケット通信料無料

● パソコンなどはこちら　http://www.nttdocomo.co.jp/ ▶ オンライン手続き/照会サービス ▶ドコモｅサイト
または　http://www.esite.nttdocomo.co.jp/

※ ｉモードからご利用になる場合、ドコモにお申し込みいただいた「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ ｉモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。ただし一部パケット通信料がかかる場合があります。
※パソコンなどからご利用になる場合、「ユーザID」「パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「ユーザID」「パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は上記お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。
※一部ご利用できない料金プランがあります。

FOMA端末から利用できるネットワークサービス

FOMA端末を便利に利用するために、次のネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	内　容	月額使用料	申し込み
留守番電話サービス	電波が届かない所にいるとき、電源を切っているときなどに、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。→P281	有料	必要
キャッチホンサービス	現在お話し中の通話を保留にしたまま、第三者と通話できます。→P286	有料	必要
転送でんわサービス	電波が届かない所にいるとき、電源を切っているときなどに、かかってきた電話を自動的に転送します。→P289	無料	必要
迷惑電話ストップサービス	相手先の電話番号を登録すると、以後登録した電話番号からの着信には、自動的にガイダンスが応答し、迷惑電話を拒否します。→P293	有料	必要
発信者番号通知	自分の電話番号を電話をかけた相手に通知します。→P295	無料	不要
番号通知お願いサービス	発信者番号が通知されない電話に番号通知をお願いする旨のガイダンスを流した後、自動的に電話を切ります。→P297	無料	不要
ドライブモード	運転中に電話がかかってくると、運転中のため電話に出られない旨のガイダンスが自動応答します。→P86	無料	不要
デュアルネットワークサービス	1つの電話番号でFOMA端末とmovaを使い分けて利用できます。→P299	有料	必要
英語ガイダンス	音声ガイダンスを英語で聞けます。→P301	無料	不要
サービスダイヤル	ドコモ総合案内・受付や、ドコモ故障窓口へ電話をかけます。→P302	無料	不要
ショートメッセージサービス(SMS)	FOMA端末間で文字メッセージを送受信できます。→『アプリケーション編』P125	無料	不要
iモード	iモードメールの送受信やサイト、インターネットホームページの利用ができます。→『アプリケーション編』P20	有料	必要

ネットワークサービスのご利用について

ネットワークサービスのうち、留守番電話サービス、キャッチホンサービス、転送でんわサービス、迷惑電話ストップサービス、デュアルネットワークサービス、iモードは、お申し込みが必要なオプションサービスです。

ネットワークサービスについては下記にお問い合わせください。

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの)151(無料)

※一般電話からはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

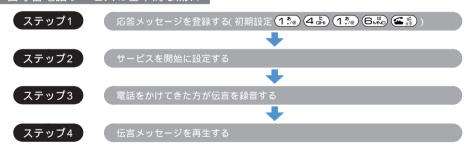
留守番電話サービスを利用する<留守番電話>

電話をかけてきた方には、応答メッセージでお答えし、伝言メッセージをお預かりします。

- 日本全国どこからでも伝言メッセージを聞くことができます。
- 電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。
- 留守番電話サービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、留守番電話サービスの操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。

> ●伝言メッセージは1件あたり最長3分、最大20件録音できます。
> ●伝言メッセージは最長72時間保存されます。
> ●電話に出られないことをお伝えするだけの、不在案内機能もあります。
> ●留守番電話サービスを開始に設定していても、電話をかけたり、受けたりできます。
> ●着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。着信音が鳴る時間(呼出時間)は変更できます。→P282
> ●応答しなかった電話は、留守番電話サービスセンターに接続し、伝言メッセージをお預かりします。待受画面のマークや着信履歴で、着信があったことをお知らせします。
> ●留守番電話サービスと転送でんわサービスの両方をお申し込みになっても、2つのサービスを同時にはご利用になれません。転送でんわサービスを開始に設定すると、留守番電話サービスは、自動的に停止になります(その後、転送でんわサービスを停止に設定しても、留守番電話サービスは自動的には再開しません)。
> ●着信中の電話を、留守番電話サービスセンターに転送できます。→P78
> 通話中にかかってきた電話も留守番電話サービスセンターに転送できます。→P303
> ●プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも、「ネットワーク暗証番号」を利用して留守番電話サービスの操作ができます。あらかじめ遠隔操作を開始に設定してください。→P305
> ●番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに、「非通知設定」の電話がかかってくると、発信者番号通知をお願いする内容のガイダンスが流れます。伝言メッセージはお預かりできません。
> ●テレビ電話がかかってきたときは、留守番電話サービスを開始に設定していても留守番電話サービスセンターに接続されず、テレビ電話着信が継続されます。
> ●通話中に「ププ…ププ…」という通話中着信音(パケット通信中は着信音)が鳴り別の電話がかかってきたことをお知らせします。

詳しい操作については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

留守番電話サービスの基本的な流れ

※:急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音する場合は、応答メッセージが流れているときに # を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えられます。

留守番電話サービスの料金

留守番電話サービスをご利用になるには、毎月の使用料とは別に伝言メッセージの再生などにかかる通話料が必要となります。詳しい内容については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

留守番電話サービスを開始/停止する

留守番電話サービスを開始または停止します。また、設定内容を確認します。

留守番電話サービスを開始する

1 待受画面でMENU・📖・9・1・1を押す

開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して〇を押す

留守番呼出時間を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「はい」を選択して〇を押す

- 「いいえ」を選択して〇を押すと、呼出時間を設定せずにご契約時の呼出時間(10秒)で留守番電話サービスを開始します。

4 呼出時間を入力して〇を押す

留守番電話サービスが開始されます。

- 呼出時間の秒数を0～120の間で入力します。
- 📷・iαを押して数字を増減することもできます。

5 〇を押す

留守番電話メニューが表示されます。

お知らせ

- 待受画面でMENU・📖・9・1・2を押すと、呼出時間だけ設定できます。
- お話し中(パケット通信中)に別の電話がかかってきても、その電話を留守番電話サービスセンターでお受けすることもできます。
  かかってきた電話を手動で転送する→P78
- 呼出時間の設定を変更していた場合、設定は保持されます。

留守番電話サービスを停止する

1 待受画面でMENU・📖・9・1・3を押す

停止するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して〇を押す

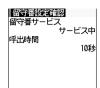
留守番電話サービスが停止されます。

3 〇を押す

留守番電話メニューが表示されます。

設定内容を確認する

1 待受画面でMENU 🕮 9 1 4を押す

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して●を押す

お知らせ

- サブメニューから選択して設定を変更できます。
  - ・留守番サービス開始：MENU 1を押します。
  - ・留守番サービス停止：MENU 2を押します。
  - ・留守番呼出時間設定：MENU 3を押します。

伝言メッセージを聞く

新しい伝言メッセージがあると、待受画面にマークと伝言メッセージ件数（ 1 数字は伝言メッセージ件数）が表示されます。

1 待受画面でMENU 🕮 9 1 5を押す

再生するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して●を押し、音声ガイダンスの指示に従って操作する

伝言メッセージが再生されます。

お知らせ

- 新しい伝言メッセージがあるときは、待受画面からすばやく伝言メッセージを再生できます（フォーカスモード）。→P52
- FOMA端末がクローズ状態のときにサイドキー[▲]を2回押すと、新しい伝言メッセージがある場合は背面ディスプレイに が表示されます。→P43
- 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は、含まれません。

音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定する

音声ガイダンスを聞きながら留守番電話サービスを設定します。

1 待受画面でMENU 📖 9 1 6を押す

設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して●を押し、音声ガイダンスの指示に従って操作する

留守番電話サービスが設定されます。

- 新しい伝言メッセージがあるか確認する、または伝言メッセージを聞くには、一度電話を切ってから操作してください。

新しい伝言メッセージがあるか確認する

新しい伝言メッセージがあるかどうかを留守番電話サービスセンターに問い合わせます。

1 待受画面でMENU 📖 9 1 7を押す

メッセージ問合せするかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して●を押す

3 ●を押す

新しい伝言メッセージがあると、待受画面に伝言メッセージの有無と件数が表示されます。

- 件数増加鳴動設定を設定していると、新しい伝言メッセージがあると通知音が鳴り、バイブレータが振動します。

伝言メッセージが増えたときに着信音が鳴るようにする<件数増加鳴動設定>

お買い上げ時	件数通知音：ON　通知メロディ：着信音1

新しい伝言メッセージがあるかどうかを確認したときに、伝言メッセージの件数が増加していたら通知音が鳴るようにします。

- メッセージ問合せを行って新しい伝言メッセージがあると、バイブレータ設定に従って振動します。
- メッセージ問合せ後にお預かりしたメッセージは、本機能にて確認できない場合があります。
- PIMロック中は本機能を利用できません。
- オールロック中、PIMロック中、ドライブモード中、目覚まし音鳴動中は通知音は鳴らず、バイブレータは振動しません。

1 待受画面でMENU 📖 9 1 8を押す

2 件数通知音欄を選択して●を押し、1～2を押す

- 通知音を鳴らさないときは2を押し、操作5に進みます。

3 通知メロディ欄を選択して●を押す

「メロディ」のフォルダ一覧が表示されます。

4 フォルダを選択して●を押し、一覧からメロディを選択して●を押す

メロディが設定され、件数増加鳴動設定画面に戻ります。

- メロディ一覧の見かた→『アプリケーション編』P288

メロディを選択して📖を押すとメロディを再生できます。再生中はサイドキー[▲▼]、◀▶を押して音量調整、📷 iαを押して前後のメロディの再生ができます。●を押すと設定されます。

5 📖を押す

件数増加鳴動設定が設定されます。

お知らせ

- バイブレータ設定が「OFF」に設定中でも、マナーモード中（オリジナルマナーモードの場合はバイブレータを「ON」に設定中）は、メッセージ問合せを行って新しい伝言メッセージがあると、「パターンB」で振動します。

伝言メッセージマークを消去する

待受画面に表示されている伝言メッセージのマークと伝言メッセージ件数（ 1 数字は伝言メッセージ件数）を消去します。

1 待受画面でMENU 📖 9 1 9を押す

消去するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して●を押す

待受画面から伝言メッセージのマークが消えます。

お知らせ

- 待受画面で伝言メッセージのマークを選択してクリアを1秒以上押しても、マークおよび件数を一時的に消去することができます。
- 一度消去した伝言メッセージのマークと件数は、電源を入れ直したり、新しい伝言メッセージが通知されると再表示されます。

キャッチホンサービスを利用する＜キャッチホン＞

通話中に第三者から電話がかかってきたことを、通話中着信音「ププ・・ププ・・」でお知らせします。通話中の電話を保留にして、第三者と通話することができます。

- 通話中の電話を保留にして、新たに別の相手に電話をかけられます。
- キャッチホンサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、キャッチホンサービスの操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中、「非通知設定」の着信があった場合は、番号通知お願いガイダンスが流れ、キャッチホンサービスはご利用できません。→P297
- 次のとき、キャッチホンサービスは動作しません。
  - ・104、110、117、118、119にかけているとき
  - ・ダイヤル中、および相手を呼び出し中のとき
  - ・留守番電話サービスをご利用のお客様で、メッセージの再生など、留守番電話サービスセンターに接続されている間
  - ・1411（留守番電話サービスの開始）、1420（転送電話サービスの停止）など、各種ネットワークサービスの設定を行うために、4桁の電話番号にかけているとき
  - ・テレビ電話通話中（着信履歴には不在着信として残ります）
  - ・音声電話通話中にテレビ電話がかかってきたとき（着信履歴には不在着信として残ります）
- 通話保留中も発信者の方の料金は加算され続けます。
- 通話中にテレビ電話をかけることはできません。

詳しい操作については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

キャッチホンサービスを開始／停止する

キャッチホンサービスを開始または停止します。また、設定内容を確認します。

キャッチホンサービスを開始する

1 待受画面でMENU 9 2 1を押す

開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して○を押す

キャッチホンサービスが開始されます。

3 ○を押す

キャッチホンメニューが表示されます。

お知らせ

- キャッチホンサービスを利用するときは、通話中着信動作選択を「通常着信」に設定してください。通話中着信設定の開始／停止操作に関わらず、キャッチホンサービスが利用できます。→P303
- 通話中着信動作選択が「通常着信」以外の設定になっている場合は、キャッチホンサービスを開始しても着信動作は行いません。

キャッチホンサービスを停止する

1 待受画面でMENU 📖 9 2 2を押す

停止するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して◯を押す

キャッチホンサービスが停止されます。

3 ◯を押す

キャッチホンメニューが表示されます。

設定内容を確認する

1 待受画面でMENU 📖 9 2 3を押す

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して◯を押す

設定内容が表示されます。

3 ◯を押す

キャッチホンメニューが表示されます。

お話し中の通話を保留にしてかかってきた電話に出る

1 通話中に☎文字を押す

最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話を受けられます。

- 📖を押すたびに通話の相手が切り替わります。
- ガイド行に「保留」と表示されているときは、◯を押すと現在通話中の相手も保留にできます。もう一度◯を押すと保留が解除されます。

2 一方の相手との通話が終わったら☎電源を押す

一方の相手との通話が終了し、着信音が鳴ります。

- ☎文字を押すと、保留中の相手との通話が再開します。

お話し中の通話を終わらせてかかってきた電話に出る

1 通話中に☎電源を押す

かかってきた電話の着信音が鳴ります。

2 ☎文字を押す

新しくかかってきた電話と通話できます。

話し中の通話を保留にして別の相手に電話をかける

1 通話中にMENU 8を押し、電話番号をダイヤルする

- 着信履歴から電話をかける場合はMENU 1を、リダイヤルから電話をかける場合はMENU 2を押します。電話帳に登録されている相手に電話をかける場合は、MENU 3を押し、電話帳から相手を選択し、文字を押します。

2 文字を押す

新しくかけた相手と通話できます。話し中の通話は自動的に保留になります。

- を押すたびに通話の相手が切り替わります。
- ガイド行に「保留」と表示されているときは、を押すと現在通話中の相手も保留にできます。

3 新しくかけた相手との通話が終わったら電源を押す

新しくかけた相手との通話が終了します。

- 文字を押すと、保留中の相手との通話が再開します。

保留中の通話を終わらせる

1 マルチ接続中にMENU 7を押す

保留中の相手との通話を終了します。

お知らせ

- マルチ接続中に別の電話がかかってきても受けることはできません。ただし、着信履歴には不在着信として残ります。

キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。

転送でんわサービスを利用する＜転送でんわ＞

電波が届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、FOMA端末にかかってきた電話を、ご家庭やオフィスなどに自動的に転送します。

- 全国のFOMAサービスエリア内ならどこでも利用できます。
- 転送でんわサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額料金はかかりません。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、転送でんわサービスの操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。

●転送先の登録は1件です。
●転送でんわサービスを開始に設定していても、通常どおり電話をかけたり、受けたりできます。
●応答しなかった電話は、転送先に転送します。
●着信音が鳴る時間(呼出時間)は変更できます。→P290
●着信中の電話を転送できます。→P78
また、通話中にかかってきた電話も転送できます。→P303
●転送でんわサービスと留守番電話サービスの両方をお申し込みになっても、2つのサービスを同時には利用できません。留守番電話サービスを開始に設定すると、転送でんわサービスは、自動的に停止になります(その後、留守番電話サービスを停止に設定しても、転送でんわサービスは自動的には再開しません)。
●番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに、「非通知設定」の電話がかかってくると、発信者番号通知をお願いする内容のガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
●プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも、「ネットワーク暗証番号」を利用して転送でんわサービスの操作ができます。あらかじめ遠隔操作を開始の設定にしてください。→P305
●テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を3G-324M(→P93)に準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません。
●通話中に「ププ…ププ…」という通話中着信音(パケット通信中は着信音)が鳴り別の電話がかかってきたことをお知らせします。

詳しい操作については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送でんわサービスの利用料金

月額使用料　無料 ＋ 通話料

発信者 ←→ 転送でんわサービスのご契約者 ←→ 転送先

電話をかけた方のご負担です。　**転送でんわサービスのご契約者のご負担です。**

※転送でんわサービスを契約している電話機より転送を行った場合、転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスご契約者のご負担となります。
※転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始・停止、呼出時間の設定の通話料は無料です。

転送でんわサービスを開始／停止する

転送でんわサービスを開始または停止します。また、転送先の電話番号などの設定内容を確認します。

- 転送でんわサービスをON（転送中）にしている場合、コレクトコール（料金着信払通話）での着信はできません。

転送でんわサービスを開始する

1 待受画面でMENU ⊞ 9 3 1を押す

開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して◯を押す

転送先電話番号を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「はい」を選択して◯を押す

4 転送先電話番号を入力して◯を押す

- 転送先として、フリーダイヤルおよび110番などの3桁の電話番号は指定できません。
- 最大26桁入力できます。
- 「＃」「※」を入力できます。

■ 転送先電話番号を電話帳から設定するとき

①ガイド行に 📖 が表示されている状態でMENUを押す

- 前回使用した検索結果画面が表示されます。ただし、シークレット属性を設定した電話帳データは、シークレットモードを設定していないと表示されません。→P205
- 検索方法を変えて検索し直すにはMENUを押します。
- FOMAカード電話帳から選択するには⊞を押します。

②転送先電話番号を選択して◯を押す

電話番号が入力され、転送先電話番号の設定画面に戻ります。

5 ⊞を押す

転送でんわ呼出時間を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

6 「はい」を選択して◯を押す

- 「いいえ」を選択して◯を押すと、呼出時間を設定せずにご契約時の呼出時間（7秒）で転送でんわサービスを開始します。

7 呼出時間を入力して◯を押す

転送でんわサービスが開始されます。

- 呼出時間の秒数を0〜120の間で入力します。
- ◯◯を押して数字を増減することもできます。

8 ◯を押す

転送でんわメニューが表示されます。

お知らせ

- 電波が届かない場合や電源が入っていない場合は、着信音が鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスご契約者のご負担となります。
- 転送先から申し出があり、当社が必要と認めるときは、お客様に代わってその転送を中止させていただくことがあります。
- PBX、ポケットベル※、FAXを転送先とした場合、かけてきた方に誤解を与えることがありますので、ご注意ください。
  ※：2001年1月から、NTTドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。
- お話し中(パケット通信中)に別の電話がかかってきても、その電話を転送先へ転送することもできます。
  かかってきた電話を手動で転送する→P78
- 呼出時間の設定を変更していた場合、設定は保持されます。

転送でんわサービスを停止する

1 待受画面でMENU ◯ 9 3 2を押す

停止するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して◯を押す

転送でんわサービスが停止されます。

3 ◯を押す

転送でんわメニューが表示されます。

設定内容を確認する

転送でんわサービスの利用の有無や転送先の電話番号などを確認します。

1 待受画面でMENU ◯ 9 3 5を押す

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して◯を押す

設定内容が表示されます。

転送先を変更する

1 待受画面で[MENU][📖][9][3][3]を押す

転送先電話番号の設定画面が表示されます。

2 転送先電話番号を入力して[●]を押し、[📖]を押す

- 操作方法→P290

3 「はい」を選択して[●]を押す

転送先電話番号が変更されます。

4 [●]を押す

転送でんわメニューが表示されます。

転送先が通話中のとき留守番電話サービスで応対する

転送先の電話が通話中で転送できないときに、留守番電話サービスで応対するように設定します。

- 留守番電話サービスのご契約が必要です。

1 待受画面で[MENU][📖][9][3][4]を押す

留守番サービスセンターへ接続するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して[●]を押す

転送先が通話中のときは、留守番電話サービスが動作するように設定されます。

- 留守番電話サービスでの応対を解除するときは「いいえ」を選択して[●]を押します。

3 [●]を押す

転送でんわメニューが表示されます。

迷惑電話ストップサービスを利用する<迷惑電話ストップサービス>

迷惑電話を自動的に着信拒否します。迷惑電話の登録操作をすると、以降、同じ電話番号から電話がかかってきたときに、着信を拒否するガイダンスを流して通話を終了します。

- 最大30件登録できます。
- 迷惑電話ストップサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、迷惑電話ストップサービスの操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。
- 着信拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、着信を拒否するガイダンスを流さずにテレビ電話は切断されます。

詳しい操作については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

最後に通話した電話番号を登録する

1 迷惑電話がかかってきた後に、待受画面でMENU　9　4　1を押す

登録するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して●を押す

最後に通話した電話番号が、着信拒否する迷惑電話番号として登録されます。不在着信など通話していない場合は登録の対象になりません。

3 ●を押す

迷惑電話ストップメニューが表示されます。

■ 既に30件登録されているとき

最も古い電話番号を上書きするかどうかの問い合わせ画面が表示されます。「はい」を選択して●を押すと、最も古い電話番号が削除され、新しい電話番号が登録されます。

電話番号を指定して登録する

1 待受画面で1　4　4　発信を押し、音声ガイダンスの指示に従って操作する

指定した電話番号が登録されます。

お知らせ

- 迷惑電話ストップサービスを設定中の着信と、各サービスとの関係は次のとおりです。

サービス名	着信拒否登録した電話番号からの着信の取り扱い
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホンサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。
ドライブモード	着信拒否ガイダンスが流れます。ドライブモードのガイダンスは流れません。

- 発信者番号非通知の電話でも着信拒否登録できます。
- 着信拒否登録した電話番号は、確認や問い合わせができません。着信拒否登録した電話番号をメモなどに控えておくことをおすすめします。
- 国際電話は着信拒否登録できません。
- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも残りません。

登録した電話番号を削除する

最後に登録した電話番号から1件ずつ削除できます。すべての電話番号をまとめて削除することもできます。

1 待受画面で[MENU][帳][9][4][3]を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

電話番号を全件削除するときは[MENU][9][4][2]を押します。

2 「はい」を選択して[ ]を押す

最後に登録した電話番号が削除されます。

3 [ ]を押す

迷惑電話ストップメニューが表示されます。

相手の電話機に自分の電話番号を通知する＜発信者番号通知＞

電話をかけたとき、相手の電話機のディスプレイに自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する設定に変更するときには、十分にご注意ください。
- 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
- 発信者番号通知はお申し込み不要です。また、月額使用料もかかりません。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、発信者番号通知の設定操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。

詳しい操作については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

発信者番号を通知する／通知しない

1 待受画面でMENU［📖］951を押す

ネットワーク暗証番号入力画面が表示されます。

2 4桁のネットワーク暗証番号を入力して●を押す

3 1～2を押す

発信者番号通知が設定されます。

4 ●を押す

発信者番号通知メニューが表示されます。

お知らせ

- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を通知する設定にしてからおかけ直しください。
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合は、相手の電話番号がディスプレイに表示されます。このとき、相手の電話番号が電話帳に登録されている場合は、登録されている名前が表示されます。
  名前の表示→P110
  次の場合は、通知されない理由（発信者番号非通知理由）が表示されます。

表　示	状　況
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話から発信した場合※1
通知不可能	発信者番号を送出することができない回線から発信した場合※2

※1：NTTの公衆電話、ドコモの自動車公衆電話からの通話などです。
※2：海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由して着信があった場合などです。ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知される場合もあります。

- ネットワーク暗証番号→P192

設定内容を確認する

1 待受画面でMENU 📖 9 5 2を押す

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して●を押す

設定内容が表示されます。

3 ●を押す

発信者番号通知メニューが表示されます。

番号通知お願いサービスを利用する＜番号通知お願いサービス＞

発信者番号を通知してこない電話がかかってくると、発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスで応答します。迷惑電話などによるトラブルを防ぎ、安心して携帯電話を活用できます。

- テレビ電話による番号通知お願いサービスはご利用になれません。
- 発信者番号の非通知理由が、「非通知設定」の場合に、番号通知お願いサービスが動作します。非通知理由が「通知不可能」および「公衆電話」の場合は動作しません。
- ガイダンスが応答している間は、発信者に通話料金がかかります。
- 番号通知お願いサービスはお申し込み不要です。また、月額使用料、工事費もかかりません。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、番号通知お願いサービスの操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。

詳しい操作については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

番号通知お願いサービスを開始する

1 待受画面で[MENU][9][6][1]を押す

開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して[ ]を押す

番号通知お願いサービスが開始されます。

3 [ ]を押す

番号通知お願いサービスメニューが表示されます。

お知らせ

- 番号通知お願いサービス開始中の着信と、各サービスの関係は次のとおりです。

サービス名	発信者番号を通知しない着信の取り扱い
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホンサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	着信拒否に登録した電話番号から着信すると、着信拒否ガイダンスが流れます。
ドライブモード	番号通知お願いガイダンスが流れます。ドライブモードのガイダンスは流れません。

- 番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに、非通知設定の電話がかかってきたときは、着信音は鳴らず、着信履歴にも残りません。
- 番号通知お願いサービスは、お客様ご自身のFOMAカードを取り付けたFOMA端末からのみ開始／停止の操作ができます。遠隔操作はできません(→P305)。なお、開始／停止の操作には通話料金はかかりません。
- FOMA端末の発番号なし動作設定と本サービスを同時に設定した場合は、本サービスが優先されます。

番号通知お願いサービスを停止する

1 待受画面でMENU 電話帳 9 6 2を押す

停止するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して●を押す

番号通知お願いサービスが停止されます。

3 ●を押す

番号通知お願いサービスメニューが表示されます。

設定内容を確認する

1 待受画面でMENU 電話帳 9 6 3を押す

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して●を押す

設定内容が表示されます。

3 ●を押す

番号通知お願いサービスメニューが表示されます。

デュアルネットワークサービスを利用する<デュアルネットワーク>

デュアルネットワークサービスを利用すると、お使いになっているFOMA端末の電話番号で、movaを利用することができます。
FOMAサービスエリア外でも、movaに切り替えることで通信が可能になります。

● FOMAとmovaを同時に利用することはできません。
● デュアルネットワークサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
● サービスエリア外や電波の届いていない場所では、FOMA端末とmovaの切り替えはできません。電波状態のよい場所で操作してください。

詳しい操作については『デュアルネットワークサービスガイド』をご覧ください。

movaを使えるようにする

1 movaで「1540」とダイヤルし、音声ガイダンスの指示に従って操作する

mova端末として利用できるようになり、FOMA端末としては利用できなくなります。

FOMA端末を使えるようにする

1 待受画面で MENU 📖 9 9 5 1 を押す

切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して ◯ を押す

ネットワーク暗証番号入力画面が表示されます。

3 4桁のネットワーク暗証番号を入力して ◯ を押す

ネットワークが切り替えられます。

4 ◯ を押す

デュアルネットワークメニューが表示されます。

- FOMA端末として利用できるようになり、mova端末としては利用できなくなります。

お知らせ

- ネットワーク暗証番号→P192

設定内容を確認する

1 待受画面でMENU 0 9 9 5 2を押す

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して◯を押す

設定内容が表示されます。

3 ◯を押す

デュアルネットワークメニューが表示されます。

お知らせ

- FOMA端末では従来どおりFOMAのｉモードが利用できます。movaでもｉモードを利用することが可能ですが、一部利用できないサービスがあります。また、ｉモード利用時や各種ネットワークサービスにおいては、FOMA、movaそれぞれのネットワーク設備を利用するための制限事項や注意事項があります。詳しくは『デュアルネットワークサービスガイド』をご覧ください。

ガイダンスを日本語と英語で切り替える＜英語ガイダンス＞

電波が届かない所にいたり、電源を切っている場合などに相手が聞くガイダンスを、英語に変更します。自分が聞くガイダンス（発信時の言語）と相手へのガイダンス（着信時の言語）の両方が切り替えられます。

- 利用できるガイダンス言語は、「日本語」と「英語」です。
- 英語ガイダンスはお申し込み不要です。また、月額使用料もかかりません。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、ガイダンスの切り替え操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。
- テレビ電話で発信または着信したときは、英語ガイダンスは利用できません。
- 発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

詳しい操作については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

1 待受画面でMENU 9 9 4 1を押す

発信時の言語を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して●を押す

ガイダンス設定
1 日本語
2 英語

項　目	説　明
日本語	発信時に自分が聞くガイダンスを日本語に設定します。
英語	発信時に自分が聞くガイダンスを英語に設定します。

3 1～2を押す

着信時の言語設定をするかどうかの確認画面が表示されます。

4 「はい」を選択して●を押す

ガイダンス設定
1 日本語
2 日本語+英語
3 英語+日本語

項　目	説　明
日本語	着信時に相手が聞くガイダンスを日本語に設定します。
日本語＋英語	着信時に相手が聞くガイダンスを日本語→英語の順に設定します。
英語＋日本語	着信時に相手が聞くガイダンスを英語→日本語の順に設定します。

5 1～3を押す

音声ガイダンスが切り替えられます。

6 ●を押す

英語ガイダンスメニューが表示されます。

設定内容を確認する

1 待受画面でMENU 🕮 9 9 4 2を押す

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して◯を押す

設定内容が表示されます。

3 ◯を押す

英語ガイダンスメニューが表示されます。

サービスダイヤルを利用する＜サービスダイヤル＞

ドコモ故障窓口や、ドコモ総合案内・受付へ電話をかけます。

- サービスダイヤルはお申し込み不要です。また、月額使用料もかかりません。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、サービスダイヤルの操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。
- お使いのFOMAカードによっては、ドコモ故障窓口とドコモ総合案内・受付の項目番号が異なる場合や表示されない場合があります。

詳しい操作については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

故障の問い合わせをする

1 待受画面でMENU 🕮 9 9 6 1を押す

発信するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して◯を押す

ドコモ故障問合せに電話がかかります。

総合案内・受付へ電話をかける

1 待受画面でMENU 🕮 9 9 6 2を押す

発信するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して◯を押す

ドコモ総合案内・受付に電話がかかります。

通話中にかかってきた電話の対処を選択する<通話中着信動作選択>

音声電話通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときに、留守番電話や転送でんわなどで対応します。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービスは、あらかじめご契約が必要なオプションサービスです。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所でも操作できます。
- 通話中に64Kデータ通信の着信やテレビ電話がかかってきた場合、または64Kデータ通信中に64Kデータ通信の着信やテレビ電話がかかってきた場合は、「着信拒否」になります。

詳しい操作については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

1 待受画面でMENU 9 8を押す

通話中着信動作選択
1 通常着信
2 留守番電話
3 転送でんわ
4 着信拒否

項　目	説　明
1通常着信	通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、応答、切断、保留の操作ができます。キャッチホンサービスをご契約の上、サービスを開始している場合に有効となります。
2留守番電話	通話中または64Kデータ通信中にかかってきた電話を留守番電話サービスで応答します。
3転送でんわ	通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、あらかじめ登録されている転送先に転送されます。
4着信拒否	通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、着信を拒否し、呼び出されないようにします。

2 1～4を押す

通話中着信動作が設定されます。

- 選択した通話中着信動作を有効にするには、通話中着信設定を開始してください(→P304)。ただし、キャッチホンサービスを契約しサービスを開始している場合には、通話中着信設定の開始、停止に関わらず、通話中着信動作は有効になります。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを停止中のままで本機能を「留守番電話」または「転送でんわ」に設定した場合は、通話中着信設定を開始すれば自動的にそれらの設定が有効になります。

通話中着信設定を開始／停止する<通話中着信設定>

通話中着信動作選択で選択した応答方法を開始／停止します。また、設定内容を確認します。

- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、通話中着信設定はできません。電波状態のよい場所で操作してください。
- キャッチホンサービスを契約しサービスを開始している場合には、本機能に関わらず、通話中着信動作選択で設定した動作となります。

通話中着信設定を開始／停止する

1 待受画面でMENU 📖 9 7を押す

2 1～2を押す

開始するときは1を押します。
停止するときは2を押します。

3 「はい」を選択して◯を押す

通話中着信設定が開始／停止されます。

4 ◯を押す

通話中着信設定メニューが表示されます。

お知らせ

- 通話中着信設定を停止した場合は、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを契約している場合、その設定に従います。

設定内容を確認する

1 待受画面でMENU 📖 9 7 3を押す

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して◯を押す

設定内容が表示されます。

3 ◯を押す

通話中着信設定メニューが表示されます。

遠隔操作を設定する<遠隔操作>

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話から操作できるようにします。

- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、遠隔操作の設定はできません。電波状態のよい場所で行ってください。
- FOMA端末から固定留守番電話機などを操作する際に、相手側の機器によっては受信できない場合があります。

詳しい操作については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

遠隔操作を開始／停止する

1 待受画面でMENU 📖 9 9 3を押す

2 1〜2を押す

開始するときは1を押します。
停止するときは2を押します。

3 「はい」を選択して●を押す

遠隔操作が開始／停止されます。

4 ●を押す

遠隔操作設定メニューが表示されます。

設定内容を確認する

1 待受画面でMENU 📖 9 9 3 3を押す

設定内容を確認するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」を選択して●を押す

設定内容が表示されます。

3 ●を押す

遠隔操作設定メニューが表示されます。

サービスを登録して利用する<追加サービス(USSD登録)>

新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

● 最大10件登録できます。

サービスを登録／変更する

1 待受画面でMENU 📖 9 9 1を押す

USSD登録 1/2
1 [未登録]
2 [未登録]
3 [未登録]
4 [未登録]
5 [未登録]
6 [未登録]
7 [未登録]
8 [未登録]

- USSD登録画面は2ページあります。◁▷を押して切り替えます。

2 サービスを登録する番号を選択して📖を押す

- 登録済みの欄を選択すると、登録内容を変更できます。

3 USSDコード欄を選択し、USSDコードを入力して●を押す

- ドコモから通知されたサービスコードをUSSDコードの入力欄に入力します。
  サービスコードとはネットワークサービスの設定などを行うためのコードです。
  FOMA端末ではUSSDコードとして登録します。

4 名称欄を選択し、名称(サービス名)を入力して●を押す

- 名称(サービス名)は全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

5 📖を押す

サービスが登録／変更されます。

お知らせ

- 文字入力のしかた→P309

登録したサービスを利用する

待受画面で[MENU][📖][9][9][1]を押す

- USSD登録画面は2ページあります。[◀][▶]を押して切り替えます。

選択されたサービスのコードが表示されます。

2 **[1]〜[8]を押す**

登録されたコードがサービスセンターに発信されます。

応答メッセージを登録／変更する

追加したサービスを実行したときに、サービスセンターから返ってくるコードに対応したメッセージを登録します。登録したコードが応答として返ってきたときにこのメッセージが表示されます。

- 最大10件登録できます。

待受画面で[MENU][📖][9][9][2]を押す

- 応答メッセージ登録画面は2ページあります。[◀][▶]を押して切り替えます。

2 **[1]〜[8]を押す**

- 登録済みの欄を選択すると、登録内容を変更できます。

3 **USSDコード欄を選択し、USSDコードを入力して[●]を押す**

- ドコモから通知されたUSSDコードを入力します。

4 **応答メッセージ欄を選択し、応答メッセージを入力して[●]を押す**

- 応答メッセージは全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

5 **[📖]を押す**

応答メッセージが登録／変更されます。

お知らせ

- 文字入力のしかた→P309

登録したサービスを削除する

待受画面でMENU 0 9 9 1を押す

- 応答メッセージを削除するときはMENU 0 9 9 2を押します。
- USSD登録画面は2ページあります。左右キーを押して切り替えます。

2

削除するサービスを選択してMENU 1を押す

- サービスを全件削除するときはMENU 2を押します。

3

「はい」を選択して決定キーを押す

サービスが削除されます。

文字の入力のしかた

文字入力について

FOMA端末には電話帳やメールなど、文字を入力して活用する多くの機能があります。

● 文字の入力方式には「かな入力方式」と「スロット入力方式」があります。
かな入力方式は、1つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押すたびに文字が替わります。
文字の割り当てについては「ダイヤルキーの文字割り当て一覧」をご覧ください。→P313
スロット入力方式は、上下2段の入力バーに表示された文字から、を使って入力文字を指定します。→P329
● 文字の種類には「全角文字」と「半角文字」があります。
全角文字は、半角文字2文字分にカウントされます。半角文字では、濁点・半濁点も1文字分にカウントされます。
● 入力する文字の呼び出しかたがわからない場合などは、区点コードで入力することができます。→P324
● 入力できる漢字はJIS第一水準漢字・第二水準漢字の6355文字です。
● 複雑な漢字は一部変形もしくは省略して表示されます。

■ 文字の種類

○：入力可　×：入力不可　—：入力文字なし

入力方式 / 文字の種類	かな入力方式		スロット入力方式	
	全角	半角	全角	半角
ひらがな／漢字	○	—	○	—
カタカナ	○	○	×	○
英字	○	○	×	○
数字	○	○	×	○
記号	○	○	○	○
絵文字	○	—	○	—

文字入力画面の見かた

文字の入力欄には、画面を切り替えて文字を入力する全画面入力と、画面を切り替えずに入力欄に直接文字を入力するインライン入力の2種類があります。

• 入力欄によっては、どちらか一方だけ利用できる場合があります。

■ 全画面入力

入力欄を選択してを押すと、入力エリアが全画面表示されます。

■ インライン入力

入力欄を選択して⓪〜⑨、＊、＃を押すと、入力欄に文字が直接入力できます。

ガイド行は文字入力用のものに変わります。

文字を確定した状態

お知らせ

- 入力欄によっては、入力した文字が「＊」で表示されます。入力時に「＊」になる場合と、編集完了時に「＊」になる場合があります。

文字入力画面のサブメニュー

入力欄によって表示される項目が異なります。

明日
1 コピー
2 切り取り
3 貼り付け
4 電話帳引用
5 単語登録
6 定型文登録
7 入力設定
8 データ引用
9 編集終了

スロット入力画面の場合

項目	説明	参照先
1 コピー	文字をコピーします。	P323
2 切り取り	文字を切り取ります。	P323
3 貼り付け	コピー／切り取りした文字を貼り付けます。	P324
4 電話帳引用	電話帳データの内容を引用します。	P327
5 単語登録	入力した文字を単語登録します。	P325
6 定型文登録	入力した文字を定型文登録します。	P322
7 入力設定	文字入力の設定を行います。	P331
8 データ引用	プロフィール情報の内容や電卓の計算結果、URL入力画面やｉモード中の入力画面でバーコードリーダーを起動して読み取ったデータを引用します。 ※入力欄によって表示される項目が異なります。	P327、328
9 編集終了	文字入力を終了します。スロット入力方式で文字を入力中にのみ表示されます。	―

※メール本文の入力中は、入力ウィンドウ（文字を入力すると表示されます）の文字が確定されているときに表示されます。

入力モードを切り替える

2つの方法があり、入力画面によって切り替えられる入力モードが異なります。

📞で切り替えるには

📞を押すたびに切り替わります。

※：スロット入力方式では表示されません。

入力モードリストで切り替えるには

文字入力中に[文字キー]を押し、表示された入力モードリストから次の入力モードを選択できます。

項　目	モード		項　目	モード	
かな※	ひらがな／漢字	漢	ｶﾅ※	半角カナ	半ｶﾅ
カナ	全角カナ	全ｶﾅ	ABC※	半角英字	半英
ＡＢＣ	全角英字	全英	123	半角数字	半数
１２３	全角数字	全数			

※：スロット入力の入力モードリストに表示される項目
＊ひらがなのみ入力できる場合には全かなが表示されます。

＜かな入力方式＞

＜スロット入力方式＞

- [カメラキー][iαキー][左キー][右キー]、または対応するダイヤルキーを押して入力モードを選択します。
- 入力モードリストから選択して、次の操作もできます。
  「記号」　　：記号を入力します。→P317
  「絵文字」　：絵文字を入力します。→P317
  「定型文」　：定型文を入力します。→P319
  「区点入力」：区点コードで文字を入力します。→P324

かな入力方式で文字を入力する<かな入力方式>

ダイヤルキーの文字割り当て一覧

かな入力方式では、ダイヤルキーには次のように文字が割り当てられています。
カナ、英字、数字モードでは、入力モードに従って全角文字または半角文字が入力されます。

キー	ひらがな／漢字モード(全角)※1	カナモード(全角または半角)	英字モード(全角または半角)	数字モード(全角または半角)※3
1	あ い う え お 1	ア イ ウ エ オ 1	. / @ - ※2 ― : _ [¥] ^ ` { | } 1	1
2	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c 2	2
3	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f 3	3
4	た ち つ て と 4	タ チ ツ テ ト 4	g h i 4	4
5	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l 5	5
6	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o 6	6
7	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s 7	7
8	や ゆ よ 8	ヤ ユ ヨ 8	t u v 8	8
9	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z 9	9
0	わ を ん ー 、 。 ・ ? ! 「 」 □ 0	ワ ヲ ン ー 、 。 ・ ? ! 「 」 □ 0	! ” # $ % & ’ ( ) ＊ + , ; < = > ? □ 0	0 +※4
＊	゛ ゜	゛ ゜	※半角の場合だけ、次の文字列が入力できます。 @docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm	＊ P※4
#	改行	改行	改行	改行 # T※4
クリア	1文字戻る	1文字戻る	1文字戻る	
A/a	大文字と小文字の切り替え	大文字と小文字の切り替え	大文字と小文字の切り替え	

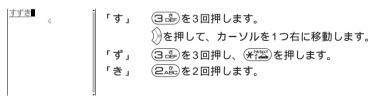
□ ：空白を示します。
■ ：文字入力後に(A/a)を押すたびに、大文字と小文字が切り替わります。
※1 ：全角の数字モード以外の数字は半角で入力されます。
※2 ：半角の英字モードは「~」で入力されます。
※3 ：数字モードの「＊」「#」「P」「T」「+」は、これらの文字が有効な入力欄でだけ入力できます。
※4 ：該当するキーを1秒以上押すと入力できます。

- ひらがな、カタカナの小文字を入力するときや、英字の大文字を入力するときは、文字入力後に[▲]（A/a）を押します。[▲]（A/a）を押すたびに、大文字と小文字が切り替わります。
- 文字入力直後に[✉▼]を押して1つ前の文字に戻すことができます。[✉▼]を押すたびに、通常の文字入力順とは逆順に文字が切り替わります（例：･･･→1→お→え→う→い→あ→1→･･･）。
- 同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するときは、最初の文字を入力した後に[→]を押してカーソルを右に移動させ、次の文字を入力します。「あか」のように別のキーに割り当てられている文字を続けて入力するときは、[1]を押して「あ」を入力した後、続けて[2]を押して「か」を入力します。
- 次の入力モードのときは、入力途中でキーを押さずに一定時間経過すると、自動カーソル機能によってカーソルが右に移動します。
  ・ひらがな／漢字　・全角／半角カタカナ　・全角／半角英字
- 自動カーソル機能によってカーソルが右に移動した後でも[＊]、[▲]、[✉▼]を押して次の操作ができます。
  ・[＊]　：濁点／半濁点を付ける（ひらがな、全角／半角カタカナ）
  ・[▲]　：大文字／小文字を切り替える（ひらがな、全角／半角カタカナ、全角／半角英字）
  ・[✉▼]　：1つ前の文字に戻す
- カーソルが自動的に移動するまでの時間を変更したり、自動カーソル機能を使わないように設定することもできます。→P331

文字を入力する<かな漢字変換>

〈例〉電話帳の登録で「鈴木」と入力するとき

1 姓の入力欄を選択して[●]を押す

2 「すずき」と入力する

- キーを押し間違えたときは[クリア]を押して取り消します。
- 文字に「゛」「゜」を付けるときは、文字を入力し[＊]を押します。
  （例）「ほ」を入力して[＊]を押すと、押すたびに「ぼ」→「ぽ」→「ほ」と入力が切り替わります。
  「゛」「゜」が付けられない文字のときは、「゛」「゜」が全角で入力されます。
- [MENU]を押すと全角カタカナに変換できます。

3 を押す

鈴木

- 目的の文字が表示されないときは、　　または　を押して変換候補を一覧表示し、目的の文字を選択します。
- 予測変換候補が表示されていないときは、　を押してもかな漢字変換されます。予測変換→P316
- クリアを押すと、変換前の状態に戻ります。

4 を押す

文字が確定します。

■ 変換候補を一覧表示するとき

を1回押しても目的の文字が表示されないときは、　　または　を押すと変換候補が一覧表示されます。変換候補の一覧が複数ページあるときは、　を押して次ページ、MENUを押して前ページに切り替えることができます。　　を押して変換候補を選択し、　を押します(候補の番号のダイヤルキーを押しても選択できます)。

■ ひらがなのまま確定するとき

ひらがなを入力した状態で　を押します。

■ 文字を挿入するとき

　　を押して挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

■ 文字を削除するとき

- カーソルが入力文字の途中にある場合(例： 鈴木一郎)
  - クリアを押すと、カーソル位置の1文字が削除されます。
  - クリアを1秒以上押すと、カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字が削除されます。
- カーソルが入力文字の末尾にある場合(例：鈴木一郎▌)
  - クリアを押すと、カーソルの左の1文字が削除されます。
  - クリアを1秒以上押すと、すべての入力文字が削除されます。

■ 改行するとき

改行する位置にカーソルを移動し、#マナーを押します。

- 入力欄によっては改行できない場合があります。

5 を押す

文字入力が終了し、電話帳の登録画面に戻ります。

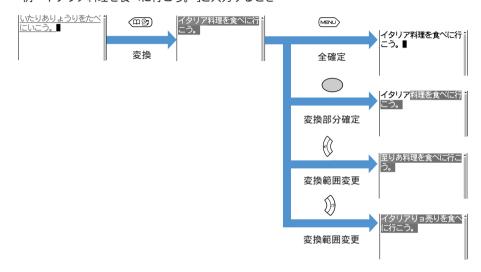
- 入力した文字を無効にして文字入力を終了するには、すべての文字を削除してからクリアを押します。

お知らせ

- ｉモードメールの本文編集画面では、画面上部にマーク（　）が、ガイド行には「デコレーション」が表示されます。　を押し、　でマークを選択するか、MENU 1 を押して目的の項目を選択すると、文字を装飾したメール（デコメール）を作成できます。
→『アプリケーション編』P130

複数の文節を一括変換するには

複数の文節を一括変換し、文章を簡単に入力できます。
- 全角で最大24文字変換できます。

〈例〉「イタリア料理を食べに行こう。」と入力するとき

お知らせ

- ひらがなで読みを入力して、記号や絵文字、アルファベット、ギリシャ文字などを入力できます。読みと文字の対応は、付録の「特殊記号入力変換表」「絵文字入力変換表」をご覧ください。→P346、P348

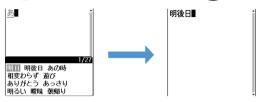
予測変換機能を使う

予測変換機能では、文字を入力すると、読みの先頭部分が一致する予測変換候補が一覧表示されます。予測変換候補には一度入力した単語が自動的に登録されるので、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。
- 次の単語や文字列が候補として表示されます。
  ・標準搭載の単語　・かな漢字変換で入力した単語　・単語登録した文字列
- 予測変換は、ひらがな／漢字モードだけ利用できます。ただし、次の場合は予測変換できません。
  ・インライン入力（入力欄への直接入力）を行う場合
  ・スロット入力方式の場合 →P329
- 予測変換候補を表示しないように設定することもできます。→P331

1 文字を入力する

予測変換候補リストが表示されます。

- 1文字、2文字、3文字と文字を入力するたびに候補は絞り込まれます。
- [辞書]を押すと漢字変換されます。
- ( )を押すとひらがなのまま確定されます。
- [MENU]を押すと全角カタカナに変換されます。

2 [i α]を押して候補を選択し、( )を押す

- 該当する用語がない場合、[辞書]を押すとかな漢字変換になり、予測変換候補リストが消えます。
- 続けて文字を入力すると候補が絞り込まれます。候補が絞り込まれた後は、再度[i α]を押してから候補を選択します。

お知らせ

- 予測変換機能で登録された単語や文字列（予測辞書データ）は、各種設定リセットで削除されます。→P265

記号・絵文字を入力する

記号、絵文字を一覧から入力します。

- 記号は入力可能なもののみ一覧表示されます。
- 記号や絵文字は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
- 絵文字を入力してｉモード端末以外の相手にメールを送信すると、正しく表示されない場合があります。
- 絵文字2（絵文字一覧の破線以降→P318）を入力してメールを送信すると、相手端末によっては正しく表示されない場合があります。

✎ 文字入力画面のタスクバーに✎が表示されているときは、ガイド行を操作して記号や絵文字を入力できます。

- 絵文字の読み(入力)については、付録の「絵文字入力変換表」をご覧ください。→P348

〈例〉記号を入力するとき

1 文字入力画面で[▲]を押す

- 絵文字を入力するときは[✉▼]を押します。
- 絵文字、記号が入力できない入力欄のときは選択できません。
- [辞書][1]を押して記号一覧、[辞書][2]を押して絵文字一覧を表示することもできます。
- 記号一覧は6ページ、絵文字一覧は3ページあります。[▲]または[✉▼]を押すと一覧のページが切り替わります。

文字入力のしかた

かな入力方式

2 記号を選択して⬭を押す

記号が入力されます。

- 次のかっこの左側（例：{ ）を選択した場合は、右側のかっこ（例：}）も自動的に入力されます。

() [ ] {} 「 」「　」（　）〔　〕［　］｛　｝＜　＞《　》『　』【　】

■ 絵文字一覧

■ 記号一覧

定型文を入力する

定型文を一覧から入力します。

- 選択した定型文はカーソル位置に挿入されます。
- 定型文を入力したとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、入力可能な文字数以降は削除されます。

1 文字入力画面で［メニュー］［7］を押す

2 ［1］～［8］を押す

「1 顔文字」を選択した場合

- 定型文を作成・登録した場合は、［8］を押して定型文の種類を選択できます。

3 ［1］～［8］を押す

(o^_^o)

定型文が入力されます。

- ページが複数ある場合には［◀］［▶］を押して切り替えます。
- 定型文の内容を確認するときは、定型文を選択して［メニュー］を押します。［●］を押すと定型文が入力されます。

■ 定型文一覧

- 顔文字（５１件）

<table>
<tr><td>(o^_^o)</td><td>(－'｀－;)</td><td>_¢(。。;)</td><td>(○｀ε´○)</td></tr>
<tr><td>(^－^)</td><td>(;￢_￢)</td><td><(｀^´)></td><td>(*￣ε￣*)</td></tr>
<tr><td>(^0^)v</td><td>(°0°;)</td><td>(￣^￣)</td><td>o(°－°)=○</td></tr>
<tr><td>(*⌒▽⌒*)</td><td>Σ(￣□￣|||)</td><td>(´－`)</td><td>0(><;)(;><)0</td></tr>
<tr><td>ヽ(▽⌒ヽ)(ノ⌒▽)ノ</td><td>(;_;)</td><td>ヽ(´－`)ノ</td><td>...ρ(..)イジイジ</td></tr>
<tr><td>ヾ(@^▽^@)ノ わーい</td><td>(;o;)</td><td>(°_°)(。_。)(°_°)(。_。)</td><td>(・・、)ヾ(^^)ヨシヨシ</td></tr>
<tr><td>ヽ(´▽`)/</td><td>(T_T)</td><td>('◇')ゞ</td><td>(。。)ヾ(^^)いこいこ</td></tr>
<tr><td>(x_x;)</td><td>(T-T)</td><td>∠(°-°)</td><td>(/-＼)イヤン</td></tr>
<tr><td>(^o^;)</td><td>(ＴＯＴ)</td><td>(-_-)zzz‥</td><td>(^￢^)</td></tr>
<tr><td>(^_^;</td><td>(T^T)</td><td>(_ _).oO</td><td>(..?)</td></tr>
<tr><td>(^^ゞ</td><td>(>_<。)</td><td>(~0~)(-.-)(_ _)</td><td>{{(>_<)}}</td></tr>
<tr><td>(￣▽￣;)</td><td>__〆(。。)</td><td>(^0^)/~~</td><td>m(__)m</td></tr>
<tr><td>(－。－;)</td><td>(._.)φ</td><td>(^_^)/~~~</td><td></td></tr>
</table>

• アドレス・データ形式（11件）

http://
www.
http://www.
@docomo.ne.jp
.com
.ne.jp
.co.jp
.or.jp
.go.jp
.ac.jp
XXXX/XX/XX XX:XX 〜 XXXX/XX/XX XX:XX Schedule※↵

※：「XXXX/XX/XX XX:XX」には現在の日付、時刻が設定されます。Date to機能用のスケジュールの入力に使用できます。→P254

• ビジネス（22件）

いつもお世話になっております。	これから出社します。
よろしくお願い致します。	お待ちしております。
至急、連絡ください。	確認しますので、少々お待ちください。
至急、メールの返事をください。	申し訳ありません。
至急、戻ってください。	これから、お伺い致します。
只今、移動中です。後程、連絡差し上げます。	FAXを送ってください。
只今、会議中です。後程、連絡差し上げます。	出張中です。
本日の会議は中止になりました。	延期します。
本日の会議は延期になりました。	変更します。
これから帰社します。	トラブルが起きました。
これから帰宅します。	本日は、当社までご足労いただき、誠にありがとうございました。

• 返事（23件）

OK	ごちそうさまでした	遅れます
NG	メールどうもありがとう	もうちょっと待って
了解です	メールの返事が遅くなってゴメン	あとどれくらい?
ゴメン	あとで連絡します	少し遅れます
キャンセル	今、電車の中	先に行ってて
また、あとで	問題なし	先に行ってる
どういたしまして	予約しました	すぐ行く
ごちそうさま	また、誘ってね	

- プライベート（18件）

昨日は、おつかれ	TELください	食事に行こう
飲み行こう	連絡ください	今日は、疲れた
遊び行こう	これから行くよ	なんか、イイカンジ
飲み誘ってよ	海行こう	今日、ヒマ?
遊び誘ってよ	スノボ行こう	愛してる
合コン行きますか	走り行こう	付き合ってください

- あいさつ（24件）

おはよう	ゴメン
おはようございます	ごめんなさい
おやすみ	ごちになります
おやすみなさい	あけましておめでとう
いただきます	あけましておめでとうございます
ごちそうさまでした	今年もよろしく
こんにちは	今年もよろしくお願いします
こんばんは	A HAPPY NEW YEAR
ごきげんよう	メリークリスマス
ありがとう	Merry X'mas
ありがとうございます	誕生日おめでとう
ありがとうございました	Happy Birthday

- その他（34件）
表のかっこ内は意味を表します。

（おはよう）	（最高）	（遅刻）
（よろしく）	（最悪）	（仲直り）
（やっほー）	（急いで）	（ドライブ）
（バイバーイ）	（ゆっくり）	（花火）
zzz （おやすみ）	（合コン）	（クリスマス）
（ありがとう）	（ナンパ）	（遊びに行こう）
（ごめんなさい）	（フラフラ）	（怒ってる）
（聞いて）	（酔っぱらう）	（始発）
（教えて）	（飲みすぎ）	zzz （終電）
（さみしい）	（カップル）	（サーフィン）
（大変）	（デート）	（スノボ）
（幸せ）		

- ユーザ作成（最大50件）
登録した定型文が表示されます。

お知らせ

- 顔文字を使ったメールを送信する場合、相手端末のディスプレイの大きさ、表示文字数やフォントにより、形がくずれたり、見えかたが異なるなど、正しく表示されない場合があります。
- 「その他」の定型文を選択してｉモード端末以外の相手にメールを送信すると、正しく表示されない場合があります。
- 「その他」の“サーフィン”、“スノボ”は絵文字2を使用しているため、相手端末によっては正しく表示されない場合があります。

定型文を登録する

定型文を登録します。登録した定型文は「ユーザ作成」に登録されます。

- 最大50件登録できます。

待受画面で[MENU][帳][8][9][2]を押す

2 「<新しい定型文>」を選択して[●]を押す

- 登録済みの定型文を修正するときは定型文を選択して[●]を押します。
- 登録済みの定型文を確認するときは、定型文を選択して[帳]を押します。[●]を押すと編集できます。

3 定型文を入力して[●]を押す

- 全角で最大64文字、半角で最大128文字入力できます。

4 [帳]を押す

定型文が登録されます。

- 登録済みの定型文を修正したときは確認画面が表示されます。上書き登録するときは「はい」を選択して[●]を押します。登録を中止するときは「いいえ」を選択して[●]を押します。

定型文を削除する

1 待受画面で[MENU][帳][8][9][2]を押す

定型文登録画面が表示されます。

2 削除する定型文を選択して[MENU]を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「はい」を選択して[●]を押す

定型文が削除されます。

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して定型文に登録します。

1 **文字入力画面でMENU 6を押す**

2 **開始位置にカーソルを合わせて◯を押す**

- MENUを押すと、全文が選択されます。
- MENUを押すと、カーソルが文頭に移動します。
- 📖を押すと、カーソルが文末に移動します。

3 **終了位置にカーソルを合わせて◯を押す**

選択した範囲の文字が定型文編集画面に表示されます。

4 **📖を押す**

定型文が登録されます。

お知らせ

- メール本文の入力画面から操作する場合はMENUを押し、「登録」→「定型文登録」を選択しても登録できます。
- 上記操作で選択した入力済みの文字列内に空白が含まれていた場合は、次の動作となります（メール本文の入力画面から操作する場合は、空白データは有効になります）。
  ・空白のみ：データなし（空白のみの場合、定型文として登録できません）
  ・文字列の前後に空白：文字列のみのデータ
  ・文字と文字の間に空白：空白データも有効
- 入力済みの文字がない場合にMENU 6を押すと、すぐに定型文編集画面が表示されます。
- 定型文が既に５０件登録されている場合は、新規登録はできません。

文字のコピー／切り取りと貼り付け

文字入力画面から文字のコピーや切り取りを行い、別の場所に貼り付けます。別の文字入力画面に貼り付けることもできます。

- コピーまたは切り取った文字は電源を切るまでFOMA端末に保持され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
- 保持できるのは1件だけです。新たにコピーまたは切り取りを行うと内容は上書きされます。

コピー／切り取りする

入力済みの文字を選択してコピー／切り取りを行います。

〈例〉文字をコピーするとき

1 **文字入力画面でMENU 1を押す**

- 文字を切り取るときはMENU 2を押します。

2 **開始位置にカーソルを合わせて◯を押す**

- MENUを押すと、全文が選択されます。
- MENUを押すと、カーソルが文頭に移動します。
- 📖を押すと、カーソルが文末に移動します。

3 終了位置にカーソルを合わせて◯を押す

選択した範囲の文字がコピーされます。

お知らせ

- メール本文の入力画面から操作する場合はMENUを押し、「コピー」／「切り取り」を選択しても操作できます。

貼り付ける

コピー／切り取りした文字を文字入力画面に貼り付けます。

- 貼り付けを行ったとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、入力可能な文字数以降は削除されます。

1 文字入力画面で、貼り付ける位置にカーソルを合わせMENU 3を押す

文字がカーソル位置に挿入されます。

お知らせ

- メール本文の入力画面から操作する場合はMENUを押し、「貼り付け」を選択しても操作できます。
- コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が適合しないときは貼り付けられません。たとえば、メールアドレス欄（半角英数字）にひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
- 改行が入力できない入力画面に、改行を含んだ文字列を貼り付けた場合は、空白に置き換えられます。

区点コードで入力する

区点コード一覧表にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。

〈例〉「携」（区点コード2340）を入力するとき

1 文字入力画面で 8を押す

2 4桁の区点コード（この場合は2 3 4 0）を入力して◯を押す

「携」が入力されます。

- 有効な区点コードは0101～8406です。
- 対応する文字、数字、記号がない区点コードの入力は無効です。

お知らせ

- 区点コード一覧表→P342

よく使う単語をあらかじめ登録する<単語登録>

よく使う単語をあらかじめ登録しておき、文字の変換のときに簡単に呼び出します。
- 最大200件登録できます。

1 待受画面でMENU 8 9 1を押す

2 「<新しい単語>」を選択してを押す

単語の編集画面が表示されます。

- 登録済みの単語を修正するときは、修正する単語を選択してを押します。
- 登録済みの単語を確認するときは、単語を選択してを押します。を押すと編集できます。

3 単語欄を選択し、登録する単語を入力してを押す

- 全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。
- 登録できる文字の種類は次のとおりです。
  - ・ひらがな／漢字　・全角／半角カタカナ　・全角／半角英字
  - ・全角／半角数字　・全角／半角記号　・絵文字

4 読み欄を選択し、読みを入力してを押す

- 全角で最大16文字入力できます。
- ひらがなのみ入力できます。

5 を押す

単語が登録されます。

■ 登録済みの単語を修正したとき

確認画面が表示されます。
- 元の単語に上書きするときは「上書き登録」を選択してを押します。
- 修正をした単語を新規に登録するときは「新規登録」を選択してを押します。元の単語もそのまま残ります。

■ 単語を削除するとき

①単語一覧から削除する単語を選択してMENUを押す

削除方法の選択画面が表示されます。

②「削除」を選択してを押す

選択した単語が削除されます。
- 登録した単語を全件削除するときは、「すべて削除」を選択してを押します。

お知らせ

- 単語と読みが入力されていないと登録できません。
- 読みにひらがなと長音、濁点、半濁点以外の文字が入力されていた場合は、登録できません。空白を入力すると、その空白は保存後削除されます。
- 単語と読みの組み合わせで、同じ単語が既に登録されている場合は登録できません。
- 同じ読みの単語は、最大5つ登録できます。さらに登録する場合は、読みを変更して登録してください。
- 単語登録で登録された単語(ユーザ辞書データ)は、各種設定リセットで削除されます。→P265

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して単語登録できます。

1 文字入力画面でMENU 5を押す

2 開始位置にカーソルを合わせて○を押す

- MENUを押すと、全文が選択されます。

3 終了位置にカーソルを合わせて○を押す

選択した範囲の文字が選択されます。

- MENUを押すと、カーソルが文頭に移動します。
- 📖を押すと、カーソルが文末に移動します。

4 読みを入力し登録する

- 操作方法→P325

お知らせ

- メール本文の入力画面から操作する場合はMENUを押し、「登録」→「単語登録」を選択しても操作できます。
- 読みにひらがなと長音、濁点、半濁点以外の文字が入力されていた場合は、登録できません。空白を入力すると、その空白は保存後削除されます。
- 入力済みの文字がない場合にMENU 5を押すと、すぐに単語編集画面が表示されます。
- 単語が既に200件登録されている場合は、単語登録の一覧画面が表示されます。新たに登録する場合は、一覧から登録データの削除を行うか、登録済みの単語を修正してください。

データを引用して文字を入力する

電話帳データやプロフィール情報の登録内容を引用して入力することができます。
また、電卓の計算結果や、バーコードリーダーで読み取ったデータの文字列情報を引用して入力することもできます。

電話帳データの内容を引用する

- プライバシーモード起動中（電話帳を「認証後に表示」に設定した場合）は、本機能を利用できません。→P208
- 文字入力画面を全画面入力（→P310）に切り替えて操作してください。
- 全画面入力のサブメニューで「電話帳引用」がグレーなどで薄く表示されているときは、操作できません。

1 文字入力画面でMENU 4を押す

電話番号検索画面が表示されます。

2 引用する電話帳データを選択して●を押す

3 引用する内容を選択して●を押す

引用した内容が入力されます。

プロフィール情報の内容を引用する

- 文字入力画面を全画面入力（→P310）に切り替えて操作してください。

1 文字入力画面でMENU 8 1を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 引用するプロフィール情報を選択して●を押す

引用した内容が入力されます。

電卓の計算結果を引用する

- URL入力画面やｉモード中の入力画面では「電卓」の代わりに「バーコードリーダー」が表示され、本機能を利用できません。

1 文字入力画面でMENU 8 2を押す

電卓画面が表示されます。

2 計算を行う

- 操作方法→P251

3 （キー）を押す

計算結果が入力されます。

バーコードリーダーの読み取りデータを引用する

- URL入力画面やｉモード中の入力画面でバーコードリーダーを起動して、読み取ったデータを引用します。

1 文字入力画面でMENU 8 2を押す

2 JANコードまたはQRコードを読み取る

読み取りデータの文字列が入力されます。

- 操作方法→『アプリケーション編』P243

文字入力のしかた

かな入力方式

スロット入力方式で文字を入力する<スロット入力方式>

スロット入力ボードに表示された文字から、を使って入力文字を指定します。

● スロット入力方式で入力するには、入力方式の設定が必要です。→P331

入力モードが表示されます。→P312

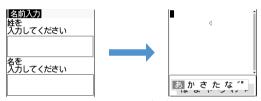
スロット入力ボードで操作している場合に、入力エリアの操作(文字の削除やカーソル移動など)を行うときは、を押します。スロット入力ボードの操作に戻すときは再度を押します。

を押すと上段と下段の入力バーが切り替わります。

〈例〉電話帳の登録で「鈴木」と入力するとき

1 姓の入力欄を選択してを押す

- を押し、で入力エリアのカーソルを移動させます。もう一度を押すと、スロット入力ボードが有効になります。

2 「すずき」と入力する

「す」→を2回、を2回押し、を押します。
「ず」→を押し、を3回押し、を押します。
「き」→を4回、を1回押し、を押します。

- 上段と下段の入力バーを入れ替えるときは、を押します。
- を押すと、文字を確定してカタカナ(半角)モードに切り替わります。

3 を押す

変換されます。

- 変換方法はかな入力方式と同じです。→P313
- 予測変換機能は使えません。
- 変換前の状態に戻して文字入力を続けるにはを押します。
- ひらがなのまま確定するときはを押します。確定と同時にスロット入力ボードが有効になります。

4 を押す

文字が確定します。

- 続けて文字を入力できます。

5 [✉▼]を押し、[ ]を押す

文字入力が終了し、電話帳の登録画面に戻ります。

入力バーの文字割り当て一覧

入力バー		ひらがな／漢字モード（全角）
上段	あ	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ 1
	か	か き く け こ 2
	さ	さ し す せ そ 3
	た	た ち つ て と っ 4
	な	な に ぬ ね の 5
	゛゜※	゛ ゜
下段	は	は ひ ふ へ ほ 6
	ま	ま み む め も 7
	や	や ゆ よ ゃ ゅ ょ 8
	ら	ら り る れ ろ 9
	わ	わ を ん ー 、 。 ？ ！ 「 」 全角空白 0
	↵	改行

入力バー		カナモード（半角）
上段	ｱ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ 1
	ｶ	ｶｷｸｹｺ 2
	ｻ	ｻｼｽｾｿ 3
	ﾀ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ 4
	ﾅ	ﾅﾆﾇﾈﾉ 5
	ﾞ	ﾞﾟ
下段	ﾊ	ﾊﾋﾌﾍﾎ 6
	ﾏ	ﾏﾐﾑﾒﾓ 7
	ﾔ	ﾔﾕﾖｬｭｮ 8
	ﾗ	ﾗﾘﾙﾚﾛ 9
	ﾜ	ﾜｦﾝｰ ､｡?!｢｣ 半角空白 0
	↵	改行

入力バー		英数字モード（半角）
上段	.	. / @ ~ - : _ [\ ] ^ ` { | } 1
	A	A B C a b c 2
	D	D E F d e f 3
	G	G H I g h i 4
	J	J K L j k l 5
	定	@docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm
下段	M	M N O m n o 6
	P	P Q R S p q r s 7
	T	T U V t u v 8
	W	W X Y Z w x y z 9
	!	! " # $ % & ' ( ) * + , ; < = > ? 半角空白 0
	↵	改行

※：[ ]を押すたびに「゛」「゜」が切り替わります。

お知らせ

- スロット入力方式では予測変換機能は利用できません。
- 文字入力画面のサブメニュー→P311

入力方法を設定する＜入力設定＞

お買い上げ時	入力方式：かな入力　入力予測：ON　自動カーソル：普通

文字を入力するときの入力方法を設定します。

1 待受画面でMENU 📖 8 9 3を押す

入力設定
入力方式　かな入力
入力予測　ON
自動カーソル　普通

項　目	説　明
入力方式	「かな入力」方式にするか「スロット入力」方式にするかを設定します。 • 「スロット入力」に設定した場合は、「入力予測」「自動カーソル」を設定できません。
入力予測	予測変換候補を表示するかどうかを設定します。
自動カーソル	カーソルが自動移動するまでの時間を設定します。 • 「OFF」に設定すると、カーソルは自動移動しません。 • 「遅い」に設定すると、約1.5秒経過するとカーソルが移動します。 • 「普通」に設定すると、約1秒経過するとカーソルが移動します。 • 「速い」に設定すると、約0.5秒経過するとカーソルが移動します。

2 設定する項目を選択して●を押し、設定する

3 📖を押す

設定内容が登録されます。

文字入力中に設定を変更するには

1 文字入力画面でMENU 7を押す

入力設定の選択項目が表示されます。

2 1～3を押す

- 「かな入力」と「スロット入力」を切り替えるときは1を押します。
- 「入力予測ON」と「入力予測OFF」を切り替えるときは2を押します。
- 自動カーソルの移動時間を選択するときは3を押し、1～4を押して設定します。
- 入力方式に「スロット入力」を選択すると、入力予測および自動カーソルは選択できなくなります。
- インライン入力中は、入力方式および入力予測は選択できません。

お知らせ

- 各種設定リセット（→P265）を行うと、入力予測の予測辞書データはお買い上げ時の状態に戻ります。

付録

メニュー一覧

メニューの表示は、メニューの表示形式（メニュー設定）によって異なります。下記のショートカット操作はタッチメニュー（お買い上げ時に表示されるメニュー）から操作する場合を示しています。メニュー設定→P45

● 参照先の■は『アプリケーション編』のページを示します。
● 表中のメニュー一覧に✎がある項目は、タッチパネル操作に対応しています。

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
1 メール			
1 受信メール	MENU ▢ 1 1 / ✉▼ 1	――	P150、182
2 新規メール	MENU ▢ 1 2 / ✉▼ 2 / ✉▼ 1 秒以上押す	――	P127
3 SMS 作成	MENU ▢ 1 3 / ✉▼ 3	――	P175
4 未送信メール	MENU ▢ 1 4 / ✉▼ 4	――	P143、178
5 送信メール	MENU ▢ 1 5 / ✉▼ 5	――	P143、178
6 問合せ			
1 ｉモード問合せ	MENU ▢ 1 6 1 / ✉▼ 6 1 / サイドキー[▼]1 秒以上押す	――	P149
2 SMS 問合せ	MENU ▢ 1 6 2 / ✉▼ 6 2	――	P181
3 メール選択受信	MENU ▢ 1 6 3 / ✉▼ 6 3	――	P147
7 FOMA カード保存 SMS			
1 受信メール	MENU ▢ 1 7 1 / ✉▼ 7 1	――	P186
2 送信メール	MENU ▢ 1 7 2 / ✉▼ 7 2	――	P186
8 テンプレート読込み	MENU ▢ 1 8 / ✉▼ 8	お買い上げ時のテンプレート※	P140
9 メール設定			
1 メール着信設定	MENU ▢ 1 9 1 / ✉▼ 9 1	着信音選択：ON、着信音 1 着信イルミネーション：点滅、オーシャン バイブレータ設定：OFF 鳴動時間(秒)：10	P202
2 メール振り分け設定	MENU ▢ 1 9 2 / ✉▼ 9 2	ON※	P203
3 署名設定	MENU ▢ 1 9 3 / ✉▼ 9 3	する	P207
4 メール返信引用設定	MENU ▢ 1 9 4 / ✉▼ 9 4	引用：する 引用文字：>	P208
5 メール選択受信設定	MENU ▢ 1 9 5 / ✉▼ 9 5	OFF	P148
6 メール受信添付ファイル設定	MENU ▢ 1 9 6 / ✉▼ 9 6	画像：受信する メロディ：受信する	P163

※：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。→P265

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
1 メール			
9 メール設定			
7 SMS 設定	MENU [メール] 1 9 7 / [✉] 9 7	送信文字種：日本語 送達通知：要求しない 有効期間：3 日 SMSC：ドコモ アドレス：81903101652 Type of Number：international	P209
8 i モード問合せ設定	MENU [メール] 1 9 8 / [✉] 9 8	すべて選択	P149
9 表示設定			
1 メール一覧表示設定	MENU [メール] 1 9 9 1 / [✉] 9 9 1	2 桁表示	P194
2 添付ファイル自動再生設定	MENU [メール] 1 9 9 2 / [✉] 9 9 2	自動再生する	P163
2 i モード			
1 i Menu✎	MENU 1 1 / [iα] 1	――――	P27
2 Bookmark✎	MENU 1 2 / [iα] 2	――――	P38
3 Internet✎			
1 URL 入力✎	MENU 1 3 1 / [iα] 3 1	――――	P36
2 URL 履歴✎	MENU 1 3 2 / [iα] 3 2	――――	P36
4 画面メモ✎	MENU 1 4 / [iα] 4	――――	P43
5 メッセージ			
1 メッセージリクエスト	MENU 1 5 1 / [iα] 5 1	――――	P115
2 メッセージフリー	MENU 1 5 2 / [iα] 5 2	――――	P115
6 i モード問合せ	MENU 1 6 / [iα] 6	――――	P114、149
7 i モード設定			
1 ツータッチサイト表示✎	MENU 1 7 1 / [iα] 7 1	――――	P42
2 接続待ち時間設定	MENU 1 7 2 / [iα] 7 2	60 秒間	P57
3 接続先設定	MENU 1 7 3 / [iα] 7 3	接続先：i モード（FOMA カード）	P57
4 証明書表示／使用設定	MENU 1 7 4 / [iα] 7 4	――――	P59
5 ユーザ証明書操作✎	MENU 1 7 5 / [iα] 7 5	――――	P60
6 証明書発行接続先設定	MENU 1 7 6 / [iα] 7 6	接続先：ドコモ※	P62

※：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。→P265

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
2 iモード			
8 表示設定			
1 表示・効果設定	MENU 1 8 1 / i 8 1	画像：表示する アニメーション：表示する 照明設定：常灯 効果音設定：ON	P55
2 表示色設定	MENU 1 8 2 / i 8 2	文字／背景：指定しない リンク色：指定しない	P56
3 iモーション設定	MENU 1 8 3 / i 8 3	自動再生設定：自動再生する iモーションタイプ設定：標準タイプ	P110
9 メッセージ設定			
1 自動表示設定	MENU 1 9 1 / i 9 1	メッセージR優先	P112
2 iモード問合せ設定	MENU 1 9 2 / i 9 2	すべて選択	P149
3 添付ファイル自動再生設定	MENU 1 9 3 / i 9 3	自動再生する	P163
4 メッセージ着信設定	MENU 1 9 4 ☆ / i 9 4 ☆	着信音選択：ON、着信音1 着信イルミネーション：点滅、オーシャン バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	P113
3 iアプリ			
1 ソフト一覧	MENU 2 / i 1秒以上押す	――――	P68
2 iアプリ設定			
1 ソフトの並べ替え	MENU 電話帳 3 2 1	ダウンロード日時順	P89
2 自動起動設定	MENU 電話帳 3 2 2	ON	P83
3 ソフト情報表示設定	MENU 電話帳 3 2 3	OFF	P67
4 照明設定	MENU 電話帳 3 2 4	端末設定に従う	P88
5 バイブレータ設定	MENU 電話帳 3 2 5	ON	P88
3 履歴表示	MENU 電話帳 3 3	――――	P70、84、87
4 電話帳／履歴			
1 電話帳	MENU 電話帳 4 1 / 電話帳	――――	P111
2 着信履歴	MENU 電話帳 4 2 / [illegible]	――――	P80
3 リダイヤル	MENU 電話帳 4 3 / [illegible]	――――	P74
4 発着信履歴表示設定	MENU 電話帳 4 4	ON	P210
5 マルチメディア			
1 イメージ	MENU 3 1	――――	P245
2 iモーション	MENU 3 2	――――	P270
3 メロディ	MENU 3 3	――――	P288
4 キャラ電	MENU 3 4	――――	P95
6 ツール			
1 カメラ	MENU 4 / カメラ	――――	P216
2 ビデオカメラ	MENU 電話帳 6 2 / カメラ 1秒以上押す	――――	P224

※：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。→P265
☆：メッセージR/F個別に設定できます。

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
6 ツール			
3 バーコードリーダー✎	MENU 📖 6 3	――――	P242
4 スケジュール帳	MENU 📖 6 4 / 📖 1 秒以上押す	――――	P217
5 メモ帳	MENU 📖 6 5	――――	P252
6 伝言メモ／音声メモ			
1 伝言メモ設定✎	MENU 📖 6 6 1 / サイドキー［▲］ 1	応答時間：8 秒※ 伝言メモ応答ガイダンス：内蔵音※	P88、90
2 伝言メモ一覧✎	MENU 📖 6 6 2 / サイドキー［▲］ 2	――――	P91
3 音声メモ録音✎	MENU 📖 6 6 3 / サイドキー［▲］ 3	――――	P248
4 音声メモ一覧✎	MENU 📖 6 6 4 / サイドキー［▲］ 4	――――	P249
7 目覚まし設定	MENU 📖 6 7	OFF※	P213
8 電卓	MENU 📖 6 8	――――	P251
9 手書きメモ✎	MENU 5	――――	P255
7 外部連携			
1 赤外線プロフィール送信✎	MENU 📖 7 1	――――	P305
2 赤外線全件送信			
1 電話帳✎	MENU 📖 7 2 1	――――	P305
2 スケジュール✎	MENU 📖 7 2 2	――――	P305
3 受信メール✎	MENU 📖 7 2 3	――――	P305
4 送信メール✎	MENU 📖 7 2 4	――――	P305
5 未送信メール✎	MENU 📖 7 2 5	――――	P305
6 メモ✎	MENU 📖 7 2 6	――――	P305
7 Bookmark✎	MENU 📖 7 2 7	――――	P305
3 赤外線受信✎	MENU 📖 7 3	――――	P303
4 赤外線全件受信✎	MENU 📖 7 4	――――	P304
5 データ送受信設定✎	MENU 📖 7 5	通信終了音：OFF※ 自動認証：なし※ 保存時の確認：あり※ 電話帳の画像送信：あり※	P308
6 miniSD カード✎	MENU 📖 7 6	――――	P311
7 Bluetooth			
1 ダイヤルアップ通信✎	MENU 📖 7 7 1	――――	P335
2 ハンズフリー✎	MENU 📖 7 7 2	――――	P377
3 ヘッドセット✎	MENU 📖 7 7 3	――――	P377
4 Bluetooth 設定✎			
1 自局情報✎	MENU 📖 7 7 4 1	機器名称：F900iT	P384
2 登録機器一覧✎	MENU 📖 7 7 4 2	――――	P385
3 詳細設定✎	MENU 📖 7 7 4 3	認証設定：認証有り 暗号化設定：暗号化有り 切断設定：通話終了 低消費電力モード：ON 着信音送出設定：ON	P386

※：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。→ P265

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
7 外部連携			
7 Bluetooth			
4 Bluetooth 設定✎			
4 マルチサービス起動設定✎	MENU 7 7 4 4	ダイヤルアップ起動：無効 ハンズフリー起動：無効 ヘッドセット起動：無効	P383
5 機器検索時間設定✎	MENU 7 7 4 5	10 秒	P387
6 ダイヤルアップ優先着信設定✎	MENU 7 7 4 6	USB	P387
7 イルミネーション設定✎	MENU 7 7 4 7	ON	P388
5 マルチサービス起動✎	MENU 7 7 5	――――	P384
6 Bluetooth 電源 OFF✎	MENU 7 7 6	――――	P382
7 接続機器情報表示✎	MENU 7 7 7	――――	P388
8 設定			
1 音／バイブ			
1 着信音設定	MENU 8 1 1	電話：メロディ／着信音1 メール、メッセージR、メッセージF：ON／着信音1 通話中保留音：内蔵音(ENTERTAINER) TV電話：メロディ／ハープ	P173
2 着信音量調整	MENU 8 1 2	レベル 4	P83
3 受話音量調整	MENU 8 1 3	レベル 4	P82
4 キー確認音設定	MENU 8 1 4	エレクトロニック	P176
5 電池アラーム音設定	MENU 8 1 5	ON	P63
6 オリジナルマナーモード設定	MENU 8 1 6	通常マナーモード	P155、157
7 バイブレータ設定	MENU 8 1 7	すべて OFF	P158
8 着信呼出動作開始時間	MENU 8 1 8	OFF	P160
9 充電確認音設定	MENU 8 1 9	ON	P176
2 ディスプレイ			
1 待受画面設定	MENU 8 2 1	標準画像	P177
2 発着信画面選択			
1 電話発着信画像設定	MENU 8 2 2 1	ON ／標準画像	P184
2 メール送信画像設定	MENU 8 2 2 2	標準画像	P185
3 メール受信画像設定	MENU 8 2 2 3	標準画像	P185
4 問合せ画像設定	MENU 8 2 2 4	標準画像	P185
3 スクリーン設定	MENU 8 2 3	Accessories Sapphire	P186
4 電池マーク設定	MENU 8 2 4	▮→▮→▯	P186
5 照明設定	MENU 8 2 5	照明方法：点灯 点灯時間：10 秒 範囲：ディスプレイ＋キー 明るさ：標準 AC アダプタ接続時動作：端末設定に従う	P187
6 背面ディスプレイ設定			
1 背面情報表示設定	MENU 8 2 6 1	相手情報表示あり	P188
2 背面輝度設定	MENU 8 2 6 2		P188

※：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。→ P265

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
8 設定			
2 ディスプレイ			
7 フォント設定	MENU 8 2 7	中（標準）	P189
8 バイリンガル	MENU 8 2 8	FOMAカードの設定に従う※	P190
3 セキュリティ			
1 オールロック	MENU 8 3 1	――――――	P204
2 シークレットモード	MENU 8 3 2	未設定	P205
3 PIMロック	MENU 8 3 3	OFF※	P206
4 ダイヤル発信制限	MENU 8 3 4	OFF	P207
5 FOMA カード	MENU 8 3 5	PIN1 コード：0000※ PIN2 コード：0000※ PIN コード ON/OFF：OFF※	P195 P196 P194
6 暗証番号変更	MENU 8 3 6	0000※	P193
7 指紋設定	MENU 8 3 7	――――――	P200
8 プライバシーモード設定	MENU 8 3 8	電話帳：表示する※ メール：表示する※ 自動起動：OFF※	P208
4 情報表示／リセット			
1 通話時間	MENU 8 4 1	※	P171
2 設定状況確認	MENU 8 4 2	――――――	P264
3 電池レベル表示	MENU 8 4 3	――――――	P62
4 積算情報リセット	MENU 8 4 4	――――――	P172
5 各種設定リセット	MENU 8 4 5	すべての項目にチェック	P265
5 時計			
1 日付時刻設定	MENU 8 5 1	※	P65
2 自動電源 ON 設定	MENU 8 5 2	OFF	P211
3 自動電源 OFF 設定	MENU 8 5 3	OFF	P212
4 時計表示設定	MENU 8 5 4	待受時計：大きく表示 形式：24 時間表示 曜日：日本語	P191
5 アラーム自動電源ON設定	MENU 8 5 5	OFF	P212
6 発着信機能			
1 着信イルミネーション	MENU 8 6 1	すべて点滅／オーシャン	P246
2 発番号なし動作設定	MENU 8 6 2	すべて設定解除	P163
3 イヤホン切替設定	MENU 8 6 3	イヤホン＋背面スピーカー	P266
4 オート着信機能設定	MENU 8 6 4	OFF	P267
5 メモリ別着信拒否／許可	MENU 8 6 5	設定解除	P161
6 メモリ登録外着信拒否	MENU 8 6 6	OFF	P162
7 応答保留ガイダンス設定	MENU 8 6 7	内蔵音	P168
8 エニーキーアンサー設定	MENU 8 6 8	ON	P169
9 優先通信モード設定	MENU 8 6 9	設定なし	P170
7 通話機能			
1 ノイズキャンセラ設定	MENU 8 7 1	ON	P165
2 再接続アラーム設定	MENU 8 7 2	アラーム高音	P166
3 通話保留音設定	MENU 8 7 3	内蔵音（ENTERTAINER）	P167

※：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。→ P265

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
8 設定			
7 通話機能			
4 通話品質アラーム設定	MENU ▢ 8 7 4	アラーム高音	P166
5 プレフィックス設定	MENU ▢ 8 7 5	009130010	P164
6 サブアドレス設定	MENU ▢ 8 7 6	ON	P165
7 通話中クローズ設定	MENU ▢ 8 7 7	切断	P169
8 TV電話			
1 TV電話動作設定	MENU ▢ 8 8 1	音声自動再発信：OFF 通話中画像表示：両方（相手画像、自画像） 子画面表示：自画像 親画面サイズ：大 発信時自画像送信：ON 送信画像品質：標準 照明設定：常灯（標準）	P105
2 TV電話画像選択	MENU ▢ 8 8 2	代替画像：標準キャラ電 伝言メモ画像：標準画像 応答保留画像：標準画像 通話中保留画像：標準画像	P106
3 TV電話使用機器設定	MENU ▢ 8 8 3	本体※	P108
9 文字入力／その他			
1 単語登録	MENU ▢ 8 9 1	――――	P325
2 定型文登録	MENU ▢ 8 9 2	――――	P322
3 入力設定	MENU ▢ 8 9 3	入力方式：かな入力 入力予測：ON 自動カーソル：普通	P331
4 セルフモード設定	MENU ▢ 8 9 4／ クリア 1秒以上押す	OFF	P209
5 NW検索方法	MENU ▢ 8 9 5	ネットワーク自動検索※	P266
6 ソフトウェア更新	MENU ▢ 8 9 6	――――	P360
7 タッチパネル補正	MENU ▢ 8 9 7	未設定	P64
9 NWサービス			
1 留守番電話			
1 留守番サービス開始	MENU ▢ 9 1 1	はい※	P282
2 留守番呼出時間設定	MENU ▢ 9 1 2	はい※ 呼出時間：－－秒※	P282
3 留守番サービス停止	MENU ▢ 9 1 3	はい※	P282
4 留守番設定確認	MENU ▢ 9 1 4	はい※	P283
5 留守番メッセージ再生	MENU ▢ 9 1 5	はい※	P283
6 留守番サービス設定	MENU ▢ 9 1 6	はい※	P284
7 メッセージ問合せ	MENU ▢ 9 1 7	はい※	P284
8 件数増加鳴動設定	MENU ▢ 9 1 8	件数通知音：ON 通知メロディ：着信音1	P284
9 表示消去	MENU ▢ 9 1 9	いいえ※	P285
2 キャッチホン			
1 キャッチホン開始	MENU ▢ 9 2 1	はい※	P286
2 キャッチホン停止	MENU ▢ 9 2 2	はい※	P287
3 キャッチホン設定確認	MENU ▢ 9 2 3	はい※	P287

※：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。→P265

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
9 NWサービス			
3 転送でんわ			
1 転送サービス開始	[MENU][□][9][3][1]	はい※	P290
2 転送サービス停止	[MENU][□][9][3][2]	はい※	P291
3 転送先変更	[MENU][□][9][3][3]	―	P292
4 転送先通話中時設定	[MENU][□][9][3][4]	はい※	P292
5 転送サービス設定確認	[MENU][□][9][3][5]	はい※	P291
4 迷惑電話ストップ			
1 迷惑電話着信拒否登録	[MENU][□][9][4][1]	はい※	P293
2 迷惑電話全登録削除	[MENU][□][9][4][2]	いいえ※	P294
3 迷惑電話１登録削除	[MENU][□][9][4][3]	いいえ※	P294
5 発信者番号通知			
1 発信者番号通知設定	[MENU][□][9][5][1]	―	P295
2 発信者番号通知確認	[MENU][□][9][5][2]	はい※	P296
6 番号通知お願いサービス			
1 番号通知開始	[MENU][□][9][6][1]	はい※	P297
2 番号通知停止	[MENU][□][9][6][2]	はい※	P298
3 番号通知確認	[MENU][□][9][6][3]	はい※	P298
7 通話中着信設定			
1 通話中着信設定開始	[MENU][□][9][7][1]	はい※	P304
2 通話中着信設定停止	[MENU][□][9][7][2]	はい※	P304
3 通話中着信設定確認	[MENU][□][9][7][3]	はい※	P304
8 通話中着信動作選択	[MENU][□][9][8]	通常着信※	P303
9 その他のNWサービス			
1 USSD登録	[MENU][□][9][9][1]	―	P306
2 応答メッセージ登録	[MENU][□][9][9][2]	―	P307
3 遠隔操作設定			
1 遠隔操作開始	[MENU][□][9][9][3][1]	はい※	P305
2 遠隔操作停止	[MENU][□][9][9][3][2]	はい※	P305
3 遠隔操作設定確認	[MENU][□][9][9][3][3]	はい※	P305
4 英語ガイダンス			
1 ガイダンス設定	[MENU][□][9][9][4][1]	はい※	P301
2 ガイダンス設定確認	[MENU][□][9][9][4][2]	はい※	P302
5 デュアルネットワーク			
1 デュアルネットワーク切替	[MENU][□][9][9][5][1]	はい※	P299
2 デュアルネットワーク状態確認	[MENU][□][9][9][5][2]	はい※	P300
6 サービスダイヤル			
1 ドコモ故障問合せ	[MENU][□][9][9][6][1]	はい※	P302
2 ドコモ総合案内・受付	[MENU][□][9][9][6][2]	はい※	P302
0 プロフィール情報	[MENU][0]	―	P66

※：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。→P265

お知らせ

- 文字の全角／半角は、実際の表示と異なる場合があります。

区点コード一覧表

※区点コード入力の操作→P324
※区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	そ									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	た									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ち									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	つ									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	て									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	な									
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	に									
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	ぬ									
390									濡	
	ね									
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
	の									
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	は									
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	ひ									
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	ふ									
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	へ									
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	ほ									
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	ま									
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	み									
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	む									
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	め									
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	も									
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	や									
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮

区点 1～3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
449	鑓									
					ゆ					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					よ					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					ら					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					り					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
					る					
466	瑠	塁	涙	累	類					
					れ					
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
					ろ					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
					わ					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	競	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀

区点 1～3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					

区点 1～3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衍	衒	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

特殊記号入力変換表

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換してください。→P314

読　み	入力文字
あーる	Ｒ ｒ ㌃
あい	Ｉ ｉ
あるふぁ	α Α
あんだーばー	＿
あんど	＆
いー	Ｅ ｅ
いーた	Η η
いこーる	＝
いおた	Ι ι
いち	①Ⅰ
いぷしろん	Ε ε
えっくす	Ｘ ｘ
えっち	Ｈ ｈ
えー	Ａ ａ
えい	Ａ ａ
えいち	Ｈ ｈ
えす	Ｓ ｓ
えぬ	Ｎ ｎ
えふ	Ｆ ｆ
えむ	Ｍｍ
える	Ｌ ｌ
えん	￥
おー	Ｏ ｏ
おう	Ｏ ｏ
おす	♂
おみくろん	Ο ο
おめが	Ω ω
おんぐすとろーむ	Å
おんぷ	♪
かっこ	「」【】『』 《》〈〉｛｝ 〔〕［］（）
かっぱ	Κ κ
かい	Χ χ
かける	×
かぶ	㈱
かぶしきがいしゃ	㈱ K.K.
から	～
かろりー	㌍
がんま	γ Γ

読　み	入力文字
きゅー	Ｑ ｑ
きゅう	⑨Ⅸ
きごう	〃々＠× ÷∴／＼ ∞∈∋⊆ ⊇⊂⊃∪ ∩⊿Σ∮ 〟〝∟≧ √∽∝∵ ∫∬Å≫ ‰†‡∨ ¶§≦＞ ＜≠≪∧ ¬∀∃∠ ⊥⌒∂∇ ≡　±
きろ	㌔
きろぐらむ	㎏
きろめーとる	㎞
く	⑨Ⅸ
くさい	Ξ ξ
ぐらむ	㌘
けー	Ｋ ｋ
けい	Ｋ ｋ
こめ	※
こめじるし	※
ころん	：
ご	⑤Ⅴ
さん	③Ⅲ
さんかく	△▲▽▼
し	④Ⅳ
しゃーぷ	＃
しょうわ	㍼
しー	c
しーしー	㏄
しーた	θ Θ
しかく	□■◇◆
しぐま	Σ σ
しち	⑦Ⅶ
しめ	〆

読　み	入力文字
じぇー	Ｊ ｊ
じぇい	Ｊ ｊ
じゅう	⑩Ⅹ
じゅういち	⑪
じゅうく	⑲
じゅうご	⑮
じゅうさん	⑬
じゅうし	⑭
じゅうしち	⑰
じゅうに	⑫
じゅうはち	⑱
じゅうよん	⑭
じゅうろく	⑯
じー	Ｇ ｇ
すらっしゅ	／＼
せくしょん	§
せみころん	；
せんち	㌢ ㎝
せんちめーとる	㎝
せんと	㌣ ￠
ぜーた	Ζ ζ
ぜっと	Ｚ ｚ
たいしょう	㍽
たう	Τ τ
たす	＋
だい	㈹
だいひょう	㈹
だぶりゅ	Ｗｗ
だぶりゅー	Ｗｗ
てぃー	Ｔ ｔ
てー	Ｔ ｔ
てん	‘ ゝ、ヾ ¨ ｀…． ヽゞ´＼ ”“ ’、
てんてん	‥…
でぃー	Ｄ ｄ
でるた	Δ δ
でんわ	℡
とん	㌧

読　み	入力文字
どう	々〃
どしー	℃
どる	㌦ ＄
なな	⑦Ⅶ
なみ	～
なんばー	№
に	②Ⅱ
にゅー	Ν ν
にじゅう	⑳
のま	々
はいふん	‐
はち	⑧Ⅷ
はてな	？
ぱい	Π π
ばつ	×
ぱーせんと	％ ㌫
ひく	－
ひしがた	◇◆
びっくり	！
びー	B b
ぴー	P p
ふぁい	Φ φ
ふらっと	♭
ぶい	V v
ぷさい	Ψ ψ
ぷらす	＋
へいせい	㍻
へいほうめーとる	m²
へくたーる	㌶
べーた	β Β
ぺーじ	㌻
ほし	☆★
まいなす	－

読　み	入力文字
まる	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯ ⑰⑱⑲⑳ ㊤㊥㊦㊧ ㊨○◎● ⬭。
みゅー	Μ μ
みり	㎜ ㍉
みりぐらむ	㎎
みりばーる	㍊
みりめーとる	㎜
めーとる	㍍
めいじ	㍾
めす	♀
やじるし	↑↓→ ←⇔⇒
ゆー	Υ υ
ゆう	㈲
ゆうげんがいしゃ	㈲
ゆうびん	〒
ゆうびんばんごう	〒
ゆぷしろん	υ Υ
よん	④Ⅳ
らむだ	λ Λ
りっとる	㍑
ろー	Ρ ρ
ろく	⑥Ⅵ
わっと	㍗
わい	Y y
わる	÷

※ 特殊記号の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。
※ 入力文字の中には、半角文字しか存在しないものや、全角文字と半角文字の両方が存在するものがあります。

絵文字入力変換表

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換してください。→P314

入　力	変　換
えもじ	（絵文字）
おんぷ	（絵文字）
かお	(^-^) m(_ _)m (^0^)v (^_^; (T_T) (;_;) (-。-;) (>_<。) (-_-)zzz･･･ （絵文字）
からだ	（絵文字）
すうじ	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
すぽーつ	（絵文字）
せいざ	（絵文字）
そのた	（絵文字）
ちず	（絵文字）
つき	（絵文字）
てんき	（絵文字）
とらんぷ	♥ ♠ ♦ ♣
のりもの	（絵文字）
はーと	（絵文字）
やじるし	↗ ↘ ↖ ↙ ⤴ ⤵

お知らせ

- 絵文字1の（絵文字）、（絵文字）と絵文字2（絵文字一覧の破線以降→P318）は漢字入力モードで変換して入力することができません。入力方法→P317
- 絵文字を入力してｉモード端末以外の相手にメールを送信すると、正しく表示されない場合があります。
- 絵文字2（絵文字一覧の破線以降→P318）を入力してメールを送信すると、相手端末によっては正しく表示されない場合があります。

アイコンデザインの種類

タイルアイコンまたは3Dアイコンのデザインは、次の4種類から選択できます。→P46

〈例〉ノーマルメニューの場合

タイプ1

タイプ2

タイプ3

タイプ4

- ノーマルメニューの第1階層目のアイコンデザインが変更されます。
- タッチメニューの場合、タッチメニューに登録されているノーマルメニューの第1階層目のメニューのアイコンデザインが変更されます。タッチメニューに登録されているノーマルメニューの第2階層目の機能やグループ、人物のアイコンデザインは変更されません。

マルチアクセスの組み合わせ

現在実行中の動作ごとに、発生・実行する処理の動作可否を次に示します。

発生・実行する処理／現在の状態	音声電話通話		テレビ電話通話		i モード	i モードメール	
	発信	着信	発信	着信	接続	送信	受信
音声電話通話中	①	②	×	×※7	○	○	○※1
テレビ電話通話中	×	×※7	×	×※7	×	×	×
i モード中	○	○	○※5	×※7	―	○	○
i モードメール送受信中	○	○	○※5	×※7	○	○※6	○※6
ショートメッセージ(SMS)送受信中	○	○	○	○	○	○※6	○※6
64Kデータ通信中	×	③	×	×※7	×	×	×
パケット通信中	○	○	×	×※7	×	×	×
データ転送中(赤外線通信／USB接続)	×	―	×	―	×	×	―
i アプリ動作中	○※3	○※3	○※3	○※3	×	○	○
SDカード起動中(コピー・初期化処理中)	○※8	―	×	―	×	×	―
SDカード起動中(コピー・初期化処理中以外)	○	○	○	○	×	×	○
ソフトウェア更新中	×	○	×	×※7	×	×	×

発生・実行する処理／現在の状態	ショートメッセージ(SMS)		64Kデータ通信		パケット通信		データ転送(赤外線通信／USB接続)	
	送信	受信	発信	着信	発信	着信	送信	受信
音声電話通話中	○	○※1	×	×※7	○	○	×	×
テレビ電話通話中	×	×	×	×※7	×	×	×	×
i モード中	○	○	×	×※7	×	×	×	×
i モードメール送受信中	○※6	○※6	×	×※7	×	×	×	×
ショートメッセージ(SMS)送受信中	○※6	○※6	○	○	○※4	○※4	×	×
64Kデータ通信中	×	○※1	×	×	×	×	×	×
パケット通信中	○	○※1	×	×※7	×	×	×	×
データ転送中(赤外線通信／USB接続)	×	―	×	―	×	―	×	×
i アプリ動作中	○	○	○※2	○※2	○※2	○※2	○	×
SDカード起動中(コピー・初期化処理中)	×	―	×	―	×	―	×	×
SDカード起動中(コピー・初期化処理中以外)	×	○	○	○	○	○	○	×
ソフトウェア更新中	×	×	×	×	×	×	×	×

○：現在の通信状態を維持したまま、新たに通信を実行できます。
×：発信・着信できません。
―：実現しない組み合わせです。
①：キャッチホンサービスをご契約の場合、通話中に別の相手に電話をかけられます。
②：キャッチホンサービスをご契約の場合、通話中にかかってきた電話を受けられます。また、留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約の場合は各サービスで対応できます。
③：同時にはご利用いただけません。キャッチホンサービスをご契約の場合、現在の通信を終了して電話に出るか、着信を拒否するかを選択できます。また、留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約の場合は各サービスで対応できます。

※1：着信音は鳴りません。
※2：ｉアプリが通信していない場合に限ります。
※3：ｉアプリのメロディは鳴らなくなります。また、ｉアプリでｉモード通信中の場合は次のようになります。
・テレビ電話をかけると、ｉモード通信が切断されます。
・テレビ電話がかかってくると、その電話着信は拒否されます。
※4：ショートメッセージ（SMS）送信中は発着信はできません。
※5：ｉモード通信中の場合は、ｉモード通信が切断されます。
※6：送信どうし、または受信どうしは実行できません。また、送信と受信を同時にできないことがあります。
※7：キャッチホンサービスをご契約の場合、着信履歴には不在着信として残ります。ただし、ソフトウェア更新中にテレビ電話やデータ通信の着信があった場合は、キャッチホンサービスのご契約に関わらず着信履歴が不在着信として残ります。
※8：緊急通報のみ発信可能です。

マルチタスクの組み合わせ

現在実行中／設定中の機能ごとに、新規起動メニュー項目の選択可否を次に示します。

● 現在複数の機能を実行中の場合は、実行中の全機能に対して○の場合だけ選択可能です。

○：選択可能　×：選択不可

実行中機能／状態 ＼ 新規起動メニュー項目	ダイヤル発信	1メール 1受信メール	1メール 2新規メール	1メール 3SMS作成	1メール 4未送信メール	1メール 5送信メール	1メール 6問合せ 1 iモード問合せ	1メール 6問合せ 2 SMS問合せ	1メール 6問合せ 3 メール選択受信	1メール 7FOMAカード保存SMS 1受信メール	1メール 7FOMAカード保存SMS 2送信メール	1メール 8テンプレート読込み	2 iモード 1 iMenu	2 iモード 2 Bookmark	2 iモード 3Internet 1URL入力	2 iモード 3Internet 2URL履歴	2 iモード 4画面メモ	2 iモード 5メッセージ 1メッセージリクエスト	2 iモード 5メッセージ 2メッセージフリー	2 iモード 6 iモード問合せ
電話	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイヤル入力	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テレビ電話	×	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×
64Kデータ通信	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
送信／未送信／受信メール	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
メール／SMS作成	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テンプレート読込み	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード受信メール	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード送信メール	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージR/F	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
iモードメール問合せ	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
SMS問合せ	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iMenu	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○
Internet URL入力／履歴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○
Bookmark	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○
画面メモ	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○
iアプリ一覧	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○
iモーション	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メロディ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イメージ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カメラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ビデオカメラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電話帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メモ帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スケジュール帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
着信履歴／リダイヤル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロフィール情報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iアプリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○
iアプリダウンロード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○
iモードメール受信	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
SMS受信	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
データ連携	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
PPPデータ通信	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
キャラ電	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バーコードリーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伝言メモ／音声メモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
目覚まし／スケジュールアラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
miniSDメモリーカード	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
手書きメモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Bluetoothハンズフリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Bluetoothヘッドセット	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Bluetooth電源OFF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Bluetooth設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Bluetoothダイヤルアップ通信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Bluetoothマルチサービス起動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード未挿入時	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	○	○	×
ターミナルリンク中	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	○	○	×
PINロック解除10回失敗によるロック中	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	○	○	×
セルフモード中	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×
PIMロック中	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
FOMAカード読み込み中	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイヤル発信制限中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発着信履歴表示設定「OFF」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外部機器によるテレビ電話	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

新規起動メニュー項目＼実行中機能／状態	3 iアプリ一覧	4 電話帳・履歴 1 電話帳	4-2 着信履歴	4-3 リダイヤル	5 マルチメディア 1 イメージ	5-2 iモーション	5-3 メロディ	5-4 キャラ電	6 ツール 1 カメラ	6-2 ビデオカメラ	6-3 バーコードリーダー	6-4 スケジュール帳	6-5 メモ帳	6-6 伝言メモ・音声メモ 1 伝言メモ一覧	6-6-2 音声録音	6-6-3 音声メモ一覧	6-7 電卓	6-8 手書きメモ	6-9 Bluetooth 1 ハンズフリー	6-9-2 ヘッドセット	0 プロフィール情報
電話	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイヤル入力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テレビ電話	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○
64Kデータ通信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
送信／未送信／受信メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール／SMS作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テンプレート読込み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード受信メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード送信メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージR/F	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iモードメール問合せ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SMS問合せ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
i Menu	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Internet URL入力／履歴	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Bookmark	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画面メモ	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iアプリ一覧	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
iモーション	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メロディ	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イメージ	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
カメラ	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
ビデオカメラ	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
電話帳	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メモ帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
スケジュール帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
着信履歴／リダイヤル	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロフィール情報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
iアプリ	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
iアプリダウンロード	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
iモードメール受信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SMS受信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
データ連携	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
PPPデータ通信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キャラ電	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
バーコードリーダー	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
伝言メモ／音声メモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
目覚まし／スケジュールアラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
miniSDメモリーカード	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
手書きメモ	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
Bluetoothハンズフリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
Bluetoothヘッドセット	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
Bluetooth電源OFF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
Bluetooth設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
Bluetoothダイヤルアップ通信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
Bluetoothマルチサービス起動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
FOMAカード未挿入時	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ターミナルリンク中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PINロック解除10回失敗によるロック中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
セルフモード中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
PIMロック中	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×
FOMAカード読み込み中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイヤル発信制限中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発着信履歴表示設定「OFF」	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外部機器によるテレビ電話	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 選択可能な機能でも、FOMA端末の状態によって実施できない操作もあります。

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

イヤホンマイク端子に別売のスイッチ付イヤホンマイク(ステレオイヤホンセット含む)を接続すると、スイッチを押すだけで電話をかけたり受けたりすることができます。
スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続するには、イヤホンマイクの端子カバーを開け、スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込んでください。→P34

- スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA 端末に巻き付けないでください。
- スイッチ付イヤホンマイクのコードをアンテナ部に近づけると雑音が入ることがあります。
- プラグは確実に差し込んでください。半差しなど途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。

ワンタッチで電話をかける

スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して、電話帳のメモリ番号0に登録してある電話番号に音声電話をかけます。

- メモリ番号0に複数の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている電話番号に電話がかかります。
- スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押してテレビ電話をかけることはできません。
- オールロック中、PIMロック中、セルフモード中、プライバシーモード起動中(電話帳を「認証後に表示」に設定した場合)は電話をかけることはできません。また、このときメモリ番号0の電話帳の1件目に緊急通報(110 番、119 番、118 番)が登録されていても、スイッチを押して電話をかけることはできません。
- 通話中に第三者の電話番号を入力し、スイッチを押しても電話をかけることはできません。スイッチを押すと、通話が終了してしまいますのでご注意ください。
- miniSDメモリーカードのデータを移動またはコピーしている場合は、スイッチを押しても電話をかけることができません。
- メモリ番号0にシークレット属性を設定した場合は、シークレットモードに設定してからスイッチを押して電話をかけてください。→P205

1 「ピピッ」と音がするまで、スイッチを1秒以上押して電話をかける

メモリ番号0の1件目に登録されている電話番号に音声電話がかかります。

2 お話しが終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

- (電源)を押しても通話を終了することができます。

スイッチを押して電話を受ける

あらかじめスイッチ付イヤホンマイクを接続しておきます。

- 着信音はイヤホン切替設定で設定したところから聞こえます。→ P266

1 **電話がかかってきたら、「ピピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す**

- テレビ電話の場合、相手には代替画像が送信されます。FOMA端末のを押すと自画像に切り替えられます。

2 **お話しが終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す**

- を押しても通話を終了することができます。

お知らせ

- オート着信機能が設定されていると、かかってきた電話をスイッチを押すことなく自動的に受けることができます。→P267
- スイッチ付イヤホンマイクを接続して音声電話／テレビ電話通話中にFOMA端末を閉じた場合の動作は次のようになります。
  - ・接続中の機器から音を鳴らす設定にしている場合は、通話中クローズ設定（→P169）の設定に関わらず通話を継続でき、テレビ電話通話中の場合は、相手にはTV電話画像選択（→P106）の代替画像で設定した静止画／キャラ電が表示されます。自画像にフレームを付けて送信中の場合は、フレームは解除され、相手にはTV電話画像選択（→P106）の代替画像で設定した静止画／キャラ電が表示されます。再度FOMA端末を開いたときは、代替画像が静止画の場合は自画像送信に戻り、代替画像がキャラ電の場合は継続してキャラ電が送信されます。
  - ・FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合は、通話中クローズ設定の設定に従います。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまなオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取扱いしていない商品もあります。詳しくは、当社営業窓口などへお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

●電池パック F04

●ACアダプタ F03

●卓上ホルダ F04

● キャリングケース　F04
● DCアダプタ　F01
● 車内ホルダ　F04
● スタイラスペン　F01
● FOMA USB接続ケーブル
● スイッチ付イヤホンマイク　P001※／P002※
● 平型スイッチ付イヤホンマイク　P01／P02
● 平型ステレオイヤホンセット　P01
● イヤホンターミナル　P001※
● ステレオイヤホンセット　P001※
● Bluetoothヘッドセット　F01
● Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ　F01

※：イヤホンジャック変換アダプタ P001を接続しないとご使用になれません。

故障かな？と思ったら、まずチェック

故障かな？と思ったときは、まず下記の点をお調べください。

症　状	チェック
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	• 電池が正しく取り付けられていますか。 →P57 • 電池切れになっていませんか。 →P63 • デュアルネットワークサービスでmovaが有効となっている場合、FOMA端末でのサービスの利用はできません。FOMA端末が有効になっているかご確認ください。詳しくは「デュアルネットワークサービスガイド」をご覧ください。
FOMA端末の電源を入れると「FOMAカードを挿入してください」とメッセージが表示される	• FOMAカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMAカードが正しく取り付けられているかご確認ください。 →P53
キーを押してもディスプレイ表示が変化しない	• 電源を入れ直してください。電源での電源の入れ直しができない場合は、電池パックを取り付け直してください。
ダイヤルキーを押しても発信できない	• ダイヤル発信制限が設定されています。解除してください。 →P207
ディスプレイにが表示されている	• サイドキーロック中のため、サイドキーの操作が無効になっています。解除してください。 →P210
ダイヤルしたが話中音（プープー音）が出てつながらない	• 市外局番を忘れていませんか。 →P68 • 発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。 • 「圏外」の表示が出ていませんか。 →P61
ディスプレイに圏外が表示され、話中音（プープー音）が出る	• サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。 →P61
ディスプレイに「オールロック中」と表示されている	• オールロックが設定されています。解除してください。 →P204
ディスプレイ上部が点滅し、ピピピというアラーム音が出ている	• 電池が少なくなってきています。充電してください。 →P56
ディスプレイに「しばらくお待ちください」と表示され、消えない	12:34 しばらくお待ちください • 回線が非常に混み合っていますので、しばらくたってからおかけ直しください。ダイヤルキーを押すと、文字情報を消すことができます。
ディスプレイに「このカードは認識できません」と表示される	• FOMAカードが正しく取り付けられていないか、異常です。 →P53
ダウンロードデータ・メール添付のファイル・メッセージR/Fの表示や再生ができない	• FOMAカード動作制限機能により、FOMAカードを差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合は、これらの機能は動作しません。 →P55
自動電源ONを「ON」に設定しても、指定した時刻に電源が入らない	• 通常の電源を切る操作や自動電源OFF機能以外で電源が切れると（電池パックが外れてしまった場合など）、これらの機能は動作しません。 →P57
目覚まし設定やスケジュールを設定しても、電源が切れているときに指定した時刻に動作しない	• 通常の電源を切る操作や自動電源OFF機能以外で電源が切れると（電池パックが外れてしまった場合など）、これらの機能は動作しません。 • アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定してください。 →P212
メール受信時に、設定したメール着信音と違う着信音が鳴る	• 電話帳ごとに着信動作が設定されていませんか。電話帳ごとに着信動作を設定した電話帳の相手からメールを受信すると設定したメール着信音ではなく、電話帳に設定した着信音が鳴ります。 →P120

症　状	チェック
「データが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？」と表示される	• 予期しない操作などにより、データが壊れています。「はい」を選択して○を押すと次のデータは削除され、お買い上げ時の状態に戻ります。 受信メール、送信メール、未送信メール、メールテンプレート、メッセージR/F、スケジュール、定型文
指紋認証や登録の際、指紋センサーに指を触れていないのに「操作が速すぎます」、「操作が遅すぎます」のメッセージが表示される	• 指紋センサー表面が濡れていたり、結露していたりすることが考えられます。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。
取扱説明書に記載されていない電池残量マークが表示されている	• 隠し機能が起動しています。隠し機能の起動または解除を行う場合は、タッチメニューのグループ名に全角で「オリンピック？」を設定します。　→P245 ・メロディ再生中に2または8を押すと音程の変更、4または6を押すとテンポの変更、5を押すと残響音の設定／解除ができます。0を押すと通常の再生に戻ります。 ・パソコンなどの外部機器で作成した動画（ASFファイル）再生中に1〜9を押すと、全再生時間の10%を超えない範囲で10秒〜90秒先に早送りすることができます。0を押すと全再生時間の10%先に早送りすることができます。
スクリーン設定で選択できる組み合わせの種類が増えている	
メロディ再生中にできる操作が増えている	
メニュー設定のアイコンデザインが増えている	
普段とｉモーションの早送りのしかたが違う	
充電中に充電ランプが点滅する	• 通話／通信中の場合は、ただちに終了してください。 FOMA端末からACアダプタ（または卓上ホルダ）、DCアダプタを外してセットし直し、正しい方法で再度充電を行ってください。　→P58、59、60 以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、当社窓口にご連絡ください。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。
  記載内容および『販売店名・お買上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

◎調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。→P356

それでも調子がよくないときは、下記の連絡先にご連絡の上、ご相談ください。

連絡先（ドコモグループ各社）

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）113（無料）

※一般電話からはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

携帯・PHS OK **0120-800-000**

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

◎お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

◎保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷は有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

◎次の場合は、修理できないことがあります。

- 水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

◎保証期間が過ぎた場合は

- ご要望により有償修理いたします。

◎**部品の保有期間は**

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、「アフターサービスについて」の連絡先へお問い合わせください。→P358

◎**お願い**

- FOMA端末、FOMAカードおよび付属品の改造はおやめください。
  - ・火災・けが・故障の原因となります。
  - ・FOMA端末、FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末、FOMAカードは使用できません。
  - ・改造（部品の交換・改造・塗装など）が施された場合は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘板シールは、剥がさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意に剥がされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能のON／OFF設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度、設定を行ってくださるようお願いします。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本製品の修理や点検などの場合において、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。また、当社の都合により本体を代替品に交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その場合にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることができません。当社はこれらのデータなどの変化、消失、移し替えられないことについて何らの責任を負うものではありません。
- 電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によっては修理できないことがあります。

◆メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて◆

- お客様ご自身で携帯電話機などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- 携帯電話を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることができません。当社はこれらの責任を負うものではありません。

ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ＆ヘルプ」にてご案内させていただきます。

※：ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

● ソフトウェア更新には、次の2種類の方法があります。
- ・即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。→P362
- ・予約更新：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。→P362

● 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
- ・オールロック中
- ・日付・時刻を設定していないとき
- ・電池がフル充電されていないとき
- ・通話中
- ・圏外が表示されているとき
- ・PIMロック中
- ・セルフモード設定中
- ・他の機能を使用しているとき
- ・FOMAカードが未挿入のとき
- ・PIN1コード入力中
- ・PIN1コードロック中
- ・電源が入っていないとき

● 当社に送信されたお客様の携帯電話情報（機種や製造番号など）を第三者に公表・転用することはありません。

お知らせ

- 接続先設定を「ｉモード」以外に設定している場合でもソフトウェア更新を行うことができます。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、他の機能を利用することはできません。ただし、ダウンロード中に音声電話の着信のみ受けることができます。
- ダウンロード中にテレビ電話の着信があっても電話を受けることはできません。着信履歴には不在着信として残ります。
- ソフトウェア更新中にアラームなどが設定されていても、ソフトウェア更新が継続され、アラームなどは起動しません。
- ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。「証明書表示／使用設定」でSSL証明書を有効に設定してください。→『アプリケーション編』P59
- ソフトウェア更新は、電池をフル充電してから実行してください。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。
  また、メール選択受信を「ON」に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
  →『アプリケーション編』P147
- ソフトウェア更新中は、電池パックを絶対に外さないでください。更新に失敗する恐れがあります。更新に失敗すると、電源を入れる／切る以外の操作はできなくなります。その場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- ソフトウェア更新は、携帯電話に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。
- Bluetoothの電源が入っているときにソフトウェア更新を行うと、Bluetoothの電源は切れます。

ソフトウェア更新を起動する<ソフトウェア更新>

1 待受画面で(MENU)(□)(8)(9)(6)を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行い、注意事項を確認して( )を押す

3 ( )を2回押す

- 携帯電話情報の送信確認画面で( )を押すとサーバに接続され、携帯電話情報（携帯電話の機種や製造番号など）を送出します。

■ 更新が必要ないとき

ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックした結果、更新の必要がない場合は左の画面が表示されます。( )を押してFOMA端末をそのままご利用ください。

すぐにソフトウェアを更新する＜即時更新＞

- サーバが混みあっていて、即時更新ができない場合があります。

1 更新方法の選択画面を表示する

- 操作方法→Ｐ361

2 「今すぐ更新」を選択してを押し、を押す

ダウンロードが開始され、ダウンロードが終了するとソフトウェアの書き換えが自動的に開始されます。ダウンロード中、書き換え中は着信ランプが点滅します。書き換えが終了すると、自動的に再起動が行われます。再起動すると、再度サーバと通信を行いますので、しばらくお待ちください。

ソフトウェア更新
ダウンロードしました
ソフトウェアを
書換えます
OK

- ダウンロードを中止するときはを押します。ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- ソフトウェア書き換え中はすべてのキー操作が無効となり、更新を中止することもできません。

3 を押す

更新が終了し、待受画面が表示されます。

日時を予約してソフトウェアを更新する＜予約更新＞

ダウンロードに時間がかかる場合、サーバが混みあっている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておくことができます。

1 更新方法の選択画面を表示する

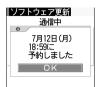
- 操作方法→Ｐ361

2 「予約」を選択してを押す

ソフトウェア更新
希望日時を
選んでください
07/12(月) 18:59
07/13(火) 19:33
07/13(火) 23:24
07/13(火) 00:46
07/13(火) 02:19
07/13(火) 03:55
その他の日時

3 希望日時を選択する

■ 表示されている予約候補から選択するとき

希望日時を選択して◯を押し、「はい」を選択して◯を押す

- 希望日時の候補が複数ページあるときは、◎を押してページを切り替えます。

■ 表示されている予約候補以外から選択するとき

①「その他の日時」を選択して◯を押す

②希望日を選択して◯を押す

- 希望日の候補が複数ページあるときは、◎を押してページを切り替えます。

③希望時間帯を選択して◯を押す

サーバに接続され、選択した希望日・時間帯に近い予約候補が表示されます。

- 希望時間帯の候補が複数ページあるときは、◎を押してページを切り替えます。
- ◯を押すと、時間帯の左に表示されている記号の説明を表示できます。

④希望日時を選択して◯を押し、「はい」を選択して◯を押す

予約設定の完了画面が表示されます。

- 希望日時の候補が複数ページあるときは、◎を押してページを切り替えます。

4 を押す

予約の設定が完了し、メニューが表示されます。
予約日時になると、携帯電話は自動的にソフトウェア更新を開始します。予約日時前には、電池がフル充電されていることを確認の上、電波の十分届くところで携帯電話を待受画面にしておいてください。

- 予約中は、待受画面に が表示されます。

お知らせ

- ソフトウェア更新の予約では、サーバの日時が表示されます。

予約を確認・変更・取り消しをする

ソフトウェア更新の予約日時を確認することができます。

1 待受画面で MENU 8 9 6 を押す

端末暗証番号入力／指紋認証画面が表示されます。

2 4～8桁の端末暗証番号の入力または指紋認証を行う

3 内容を確認する

- 確認を終了するときは「OK」を選択して を押します。

■ 予約を変更するとき

「変更」を選択して を2回押す

予約候補の選択画面が表示されます。

- 以降の操作は、予約更新の操作2からと同じです。→P362
- 携帯電話情報の送信確認画面で を押すとサーバに接続され、携帯電話情報（携帯電話の機種や製造番号など）を送出します。

■ 予約を取り消すとき

①「取消」を選択して を押し、「はい」を選択して を押す

携帯電話情報の送信確認画面が表示されます。

② を2回押す

予約が取り消され、メニューが表示されます。

- 携帯電話情報の送信確認画面で を押すとサーバに接続され、携帯電話情報（携帯電話の機種や製造番号など）を送出します。

予約の日時になると

ソフトウェア更新
予約時刻です
更新を開始します
OK

- 予約日時になると左の画面が表示され、自動的にダウンロードが開始されます。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動されます。
- ソフトウェア更新を中止する場合は(電源)を押し、「はい」を選択して(　)を押します。

お知らせ

- 他の機能を使用していると予約日時になっても起動しないことがあるのでご注意ください。
- 同じ日時にアラームなどが設定されていた場合には、アラームなどが優先され、ソフトウェア更新が起動されない場合があります。

主な仕様

項目		仕様
品名		FOMA F900iT
サイズ		高さ110×幅53×厚さ32mm（クローズ状態のとき）
質量		約154g（電池パック装着時）
連続待受時間		静止時：約450時間 移動時：約340時間
連続通話時間		音声電話時　：約160分 テレビ電話時：約100分
電池パック種別		リチウムイオン電池
電池容量		830mAh
ACアダプタ F03での充電時間		約140分
DCアダプタ F01での充電時間		約150分
カメラ画素数		インカメラ　：有効画素数約11万画素 （記録画素数約10万画素） アウトカメラ：有効画素数約128万画素 （記録画素数約123万画素）
デジタルズーム		インカメラ　：最大2倍 アウトカメラ：最大16倍
Bluetooth	バージョン	標準規格 Ver. 1.1準拠
	出力※1	最大+4dBm（Power Class 2）
	受信感度※2	見通し10m（最大）
	サポートプロファイル	Generic Access Profile（ジェネリックアクセスプロファイル） Dial-Up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル） Headset Profile（ヘッドセットプロファイル） Hands-Free Profile（ハンズフリープロファイル）

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- ｉモード通信を行うと連続通話（通信）・連続待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくてもｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させると連続通話（通信）・連続待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末をクローズ状態にし、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末をクローズ状態にし、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

※1：アンテナの効率は含みません。
※2：周囲の電波環境、障害物、設置環境、通話接続相手の機器性能などで異なります。上記通信距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。

INDEX 索引

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

英数字・記号

クイックマニュアル

クイックマニュアルの使いかた

1 **キリトリ線から切り離す（2枚）**

※切り離しの際にはケガなどにご注意ください。

2 **それぞれを縦半分に折る**

3 **それぞれを横半分に折る**

4 **それぞれをさらに横半分に折る**

NTT DoCoMo

FOMA® F900iT

クイックマニュアル

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

ドコモの携帯電話、PHSからの場合（局番なしの）151（無料）
※一般電話からはご利用になれません。

一般電話などからの場合 0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

故障お問い合わせ先

ドコモの携帯電話、PHSからの場合（局番なしの）113（無料）
※一般電話からはご利用になれません。

一般電話などからの場合 0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違えのないようおかけください。

電話帳の登録

FOMA 端末（本体）電話帳の登録

1. 待受画面で [MENU][電話帳][4][1][1]

2. 姓欄を選択→姓を入力→[ ]
3. 名欄を選択→名を入力→[ ]
4. [電話帳] →各項目を設定

・着信音など他の項目を登録：[左]／[右]
・撮影：新規登録画面で [MENU]（静止画）／[カメラ]（動画）撮影方法→P8

5. [電話帳]
6. メモリ番号（0～699）を入力→[ ]

FOMA カード電話帳の登録

1. 待受画面で [MENU][電話帳][4][1][電話帳][1]
2. 名前を入力→[ ]
3. [電話帳]
4. 各項目を設定→[電話帳]

着信履歴やリダイヤルからの登録

1. 待受画面で [左] または [右]
2. 登録する相手を選択→[MENU][1]
   ・[MENU][2]：登録済みの電話帳へ追加
3. [1]（FOMA 端末（本体）電話帳）～[2]（FOMA カード電話帳）
4. 各項目を設定→[電話帳]
   ・FOMA 端末（本体）電話帳の場合は、操作 5 に進む
5. メモリ番号（0～699）を入力→[ ]

電話帳の修正

1. 待受画面で [電話帳]
   ・電話帳の切り替え：[電話帳]
2. 修正する相手を選択→[MENU][3]
3. 修正する→以降は「電話帳の登録」の操作 2～6
4. 「はい」を選択→[ ]

電話帳の検索

1. 待受画面で [MENU][電話帳][4][1]
   ・電話帳の切り替え：[電話帳]
2. [2]～[7]
   ・FOMA カード電話帳は [2]～[4] を押す

文字の入力

文字入力方式の切り替え

● **かな入力方式とスロット入力方式の切り替え**

文字入力中→[MENU][7][1]
待受中→[MENU][電話帳][8][9][3]→「かな入力」／「スロット入力」を選択→[電話帳]

入力モードの切り替え

[文字]（文字）を押すたびに切り替わる
漢（漢字・ひらがな・半角数字・一部の記号）→
ｶﾅ（半角カタカナ・半角数字・一部の記号）→
英数（半角英数字・一部の記号・一部の定型文）→
ｽﾛｯﾄ※→…
※：かな入力方式の場合のみ切り替え可能

文字の入力・変換（かな方式）

〈例〉「鈴木」と入力するとき

1. ひらがな／漢字モードで文字を入力
   「す」：[3] を 3 回→[右]（カーソルを 1 つ右に移動）
   「ず」：[3] を 3 回→[*]
   「き」：[2] を 2 回
   ・文字の挿入：カーソルを挿入位置に移動→文字を入力
   ・入力した文字の確定前にできる操作
   [MENU]：全角カタカナに変換
   [クリア]：入力した文字の取り消し
   [カメラ]：大文字／小文字の切り替え
   [メール] を複数回：通常の文字入力順と逆順で文字の切り替え（例：…→1→お→え→う→い→あ→1→…）
   [*] を複数回：濁点「゛」や半濁点「゜」の付加（例：…→は→ば→ぱ→は→…）

2. [電話帳]
   ・変換候補一覧の表示
   [上]／[下]／[電話帳]
   ・変換前の状態に戻す：[クリア]
3. [ ]

文字の削除

● **カーソルが文中にあるとき**

[クリア]：カーソル位置の文字の削除
[クリア] を 1 秒以上：カーソル位置の文字と、その右側にあるすべての文字を削除

● **カーソルが文末にあるとき**

[クリア]：カーソル位置の左にある文字の削除
[クリア] を 1 秒以上：入力したすべての文字の削除

記号・絵文字・定型文の入力

● **記号を入力する**

文字入力中に [カメラ] →記号を選択→[ ]
・[電話帳][1] を押しても入力可能

● **絵文字を入力する**

文字入力中に [メール] →絵文字を選択→[ ]
・[電話帳][2] を押しても入力可能

● **定型文を入力する**

文字入力中に [電話帳][7] →定型文を選択→[ ]
・[電話帳][MENU] を押しても入力可能

区点コードでの入力

文字入力中に [電話帳][8] →区点コード（4 桁）を入力→[ ]

キリトリ線

カメラ機能

静止画／動画の撮影

●**静止画を撮影する**

1. 待受画面で（カメラキー）
2. 被写体にカメラを向けて（決定キー）またはサイドキー［ ］
3. （決定キー）またはサイドキー［ ］

●**動画を撮影する**

1. 待受画面で（カメラキー）を 1 秒以上
2. 被写体にカメラを向けて（決定キー）またはサイドキー［ ］
3. （メールキー）、またはサイドキー［ ］を1秒以上
4. （決定キー）またはサイドキー［ ］

撮影した画像の表示／動画の再生

●**画像を表示する**

1. 待受画面で MENU 3 1
2. 「撮影画像」フォルダを選択→（決定キー）
3. 表示する画像を選択→（決定キー）
   - 表示画像の切り替え：（カメラキー）（iαキー）

●**動画を再生する**

1. 待受画面で MENU 3 2
2. 「撮影画像」フォルダを選択→（決定キー）
3. 再生する動画を選択→（決定キー）
   - 動画再生中にできる操作
     - （カメラキー）（iαキー）：音量調整（サイドキー［▲▼］でも操作可能）
     - （マルチカーソルキー）：早送り再生
     - （決定キー）：一時停止／再開
     - （メールキー）：停止
     - クリア：動画一覧に戻る

テレビ電話

テレビ電話のかけかた

1. 待受画面で電話番号を入力
2. （テレビ電話キー）
   - 通信速度を指定して発信：MENU 5（64K）／ MENU 6（32K）
3. 通話する
   - 通話保留：（決定キー）
   - スピーカーホン機能を利用して通話：（スピーカーホンキー）
   - 送信画像の切り替え：（テレビ電話キー）
4. 通話が終了したら（電源キー）

テレビ電話の受けかた

1. 電話がかかってくる
   - 応答保留：（電源キー）
2. （テレビ電話キー）
   - 通話中の操作は「テレビ電話をかける」の操作 3 と同様
3. 通話が終了したら（電源キー）

手書きメモ

手書きメモの作成

1. 待受画面で MENU 5
2. 描画方法を選択

画面上部のマークをタップ、または（マルチカーソルキー）で画面上部のマークを選択→（決定キー）→（カメラキー）（iαキー）で項目を選択→（決定キー）
- 背景を静止画に変更：MENU 3
- テンプレートの読み込み：MENU 4 → 0 ～ 9

3. スタイラスペンで描画する
   - メールの送信：（メールキー）
4. （メールキー）→「はい」を選択→（決定キー）

i モードメール

送信できる文字数

項　目	全角文字	半角文字
題名	15 文字	30 文字
メールアドレス	―	50 文字
本文	5000 文字	10000 文字

i モードメールの作成・送信

未送信メールと送信メールは、それぞれ最大 200 件保存できます。

1. 待受画面で（メールキー）を 1 秒以上

2. To を選択→（決定キー）→宛先を入力→（決定キー）
   - 電話帳から宛先を入力：To を選択して（テレビ電話キー）
3. Sub を選択→（決定キー）→題名を入力→（決定キー）
4. Text を選択→（決定キー）→本文を入力→（決定キー）
   - デコメールの作成：本文入力画面で（メールキー）→装飾方法を選択→文字を入力
5. （メールキー）
   - メールの保存：MENU 2

ファイルの添付

1. 待受画面で（メールキー）を 1 秒以上
2. （添付）を選択→（決定キー）
3. 添付するファイルの種類を選択→（決定キー）
4. フォルダを選択→（決定キー）
5. ファイルを選択→（決定キー）
   - 添付ファイルの解除：（メールキー）→「はい」を選択
6. （メールキー）

送信・保存した i モードメールの編集・送信

〈例〉未送信メールを編集するとき

1. 待受画面で（メールキー）4
   - （メールキー）5：送信メールの編集
2. フォルダを選択→（決定キー）
3. メールを選択→（決定キー）
   - 編集：（メールキー）

i モードメールの受信

受信メールは、最大 1000 件保存できます。

1. メールを受信する
   メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信結果画面が表示される
2. （決定キー）または 1
3. フォルダを選択→（決定キー）
4. メールを選択→（決定キー）

i モード問合せ

待受画面でサイドキー[▼] を 1 秒以上

メニュー一覧

- ✐が付いている項目は、各操作画面でタッチ操作できます。
- 待受画面で MENU（メールキー）を押してから、各項目の番号を入力してください。

〈例〉カメラを起動するとき

MENU → 6 → 1

1 メール
- 1 受信メール　2 新規メール
- 3 SMS 作成　4 未送信メール
- 5 送信メール
- 6 問合せ
  - 1 i モード問合せ　2 SMS 問合せ
  - 3 メール選択受信
- 7 FOMA カード保存 SMS
  - 1 受信メール　2 送信メール
- 8 テンプレート読込み
- 9 メール設定
  - 1 メール着信設定　2 メール振り分け設定
  - 3 署名設定　4 メール返信引用設定
  - 5 メール選択受信設定　6 メール受信添付ファイル設定
  - 7 SMS 設定　8 i モード問合せ設定
  - 9 表示設定
    - 1 メール一覧表示設定　2 添付ファイル自動再生設定

キリトリ線

2 iモード
- 1 i Menu　2 Bookmark
- 3 Internet
  - 1 URL入力　2 URL履歴
- 4 画面メモ
- 5 メッセージ
  - 1 メッセージリクエスト　2 メッセージフリー
- 6 iモード問合せ
- 7 iモード設定
  - 1 ツータッチサイト表示　2 接続待ち時間設定
  - 3 接続先設定　4 証明書表示／使用設定
  - 5 ユーザ証明書操作　6 証明書発行接続先設定
- 8 表示設定
  - 1 表示・効果設定　2 表示色設定
  - 3 iモーション設定
- 9 メッセージ設定
  - 1 自動表示設定　2 iモード問合せ設定
  - 3 添付ファイル自動再生設定　4 メッセージ着信設定

3 iアプリ
- 1 ソフト一覧
- 2 iアプリ設定
  - 1 ソフトの並べ替え　2 自動起動設定
  - 3 ソフト情報表示設定　4 照明設定
  - 5 バイブレータ設定
- 3 履歴表示

4 電話帳・履歴
- 1 電話帳　2 着信履歴
- 3 リダイヤル　4 発着信履歴表示設定

5 マルチメディア
- 1 イメージ　2 iモーション
- 3 メロディ　4 キャラ電

6 ツール
- 1 カメラ　2 ビデオカメラ
- 3 バーコードリーダー　4 スケジュール帳
- 5 メモ帳
- 6 伝言メモ／音声メモ
  - 1 伝言メモ設定　2 伝言メモ一覧
  - 3 音声メモ録音　4 音声メモ一覧
- 7 目覚まし設定　8 電卓
- 9 手書きメモ

7 外部連携
- 1 赤外線プロフィール送信
- 2 赤外線全件送信
  - 1 電話帳　2 スケジュール
  - 3 受信メール　4 送信メール
  - 5 未送信メール　6 メモ
  - 7 Bookmark
- 3 赤外線受信　4 赤外線全件受信
- 5 データ送受信設定　6 miniSDカード

7 外部連携
- 7 Bluetooth
  - 1 ダイヤルアップ通信　2 ハンズフリー
  - 3 ヘッドセット　4 Bluetooth設定
  - 5 マルチサービス起動　6 Bluetooth電源OFF
  - 7 接続機器情報表示

8 設定
- 1 音／バイブ
  - 1 着信音設定　2 着信音量調整
  - 3 受話音量調整　4 キー確認音設定
  - 5 電池アラーム音設定　6 オリジナルマナーモード設定
  - 7 バイブレータ設定　8 着信呼出動作開始時間
  - 9 充電確認音設定
- 2 ディスプレイ
  - 1 待受画面設定
  - 2 発着信画面選択
    - 1 電話発着信画像設定　2 メール送信画像設定
    - 3 メール受信画像設定　4 問合せ画像設定
  - 3 スクリーン設定　4 電池マーク設定
  - 5 照明設定
  - 6 背面ディスプレイ設定
    - 1 背面情報表示設定　2 背面輝度設定
  - 7 フォント設定　8 バイリンガル

8 設定
- 3 セキュリティ
  - 1 オールロック　2 シークレットモード
  - 3 PIMロック　4 ダイヤル発信制限
  - 5 FOMAカード　6 暗証番号変更
  - 7 指紋設定　8 プライバシーモード設定
- 4 情報表示／リセット
  - 1 通話時間　2 設定状況確認
  - 3 電池レベル表示　4 積算情報リセット
  - 5 各種設定リセット
- 5 時計
  - 1 日付時刻設定　2 自動電源ON設定
  - 3 自動電源OFF設定　4 時計表示設定
  - 5 アラーム自動電源ON設定
- 6 発着信機能
  - 1 着信イルミネーション　2 発番号なし動作設定
  - 3 イヤホン切替設定　4 オート着信機能設定
  - 5 メモリ別着信拒否／許可　6 メモリ登録外着信拒否
  - 7 応答保留ガイダンス設定　8 エニーキーアンサー設定
  - 9 優先通信モード設定
- 7 通話機能
  - 1 ノイズキャンセラ設定　2 再接続アラーム設定
  - 3 通話保留音設定　4 通話品質アラーム設定
  - 5 プレフィックス設定　6 サブアドレス設定
  - 7 通話中クローズ設定

8 設定
- 8 TV電話
  - 1 TV電話動作設定　2 TV電話画像選択
  - 3 TV電話使用機器設定
- 9 文字入力／その他
  - 1 単語登録　2 定型文登録
  - 3 入力設定　4 セルフモード設定
  - 5 NW検索方法　6 ソフトウェア更新
  - 7 タッチパネル補正

9 NWサービス
- 1 留守番電話
  - 1 留守番サービス開始　2 留守番呼出時間設定
  - 3 留守番サービス停止　4 留守番設定確認
  - 5 留守番メッセージ再生　6 留守番サービス設定
  - 7 メッセージ問合せ　8 件数増加鳴動設定
  - 9 表示消去
- 2 キャッチホン
  - 1 キャッチホン開始　2 キャッチホン停止
  - 3 キャッチホン設定確認
- 3 転送でんわ
  - 1 転送サービス開始　2 転送サービス停止
  - 3 転送先変更　4 転送先通話中時設定
  - 5 転送サービス設定確認

9 NWサービス
- 4 迷惑電話ストップ
  - 1 迷惑電話着信拒否登録　2 迷惑電話全登録削除
  - 3 迷惑電話1登録削除
- 5 発信者番号通知
  - 1 発信者番号通知設定　2 発信者番号通知確認
- 6 番号通知お願いサービス
  - 1 番号通知開始　2 番号通知停止
  - 3 番号通知確認
- 7 通話中着信設定
  - 1 通話中着信設定開始　2 通話中着信設定停止
  - 3 通話中着信設定確認
- 8 通話中着信動作選択
- 9 その他のNWサービス
  - 1 USSD登録　2 応答メッセージ登録
  - 3 遠隔操作設定
    - 1 遠隔操作開始　2 遠隔操作停止
    - 3 遠隔操作設定確認
  - 4 英語ガイダンス
    - 1 ガイダンス設定　2 ガイダンス設定確認
  - 5 デュアルネットワーク
    - 1 デュアルネットワーク切替　2 デュアルネットワーク状態確認
  - 6 サービスダイヤル
    - 1 ドコモ故障問合せ　2 ドコモ総合案内・受付

0 プロフィール情報

その他の主な操作（オープン状態で待受中）

機　能	操作方法
電源ON/OFF	電源を2秒以上
セルフモードの設定／解除	クリアを1秒以上
サイドキーロックの設定／解除	MENUを1秒以上
ドライブモードの設定／解除	＊を1秒以上
iモードメニューの表示	i
iアプリフォルダー覧の表示	iを1秒以上
着信履歴の表示	
プライバシーモードの起動／解除	を1秒以上（解除時はを1秒以上→端末暗証番号入力／指紋認証）
リダイヤルの表示	
マナーモードの設定／解除	#を1秒以上
新規起動メニュー／画面切替メニューの表示	TASK／サイドキー［ ］
伝言メモ／音声メモメニューの表示	サイドキー[▲]
伝言メモの設定／解除	サイドキー[▲]を1秒以上

機　能	操作方法
iモード問合せ	サイドキー[▼]を1秒以上
Bluetooth電源ON（マルチサービス起動）／OFF	サイドキー［ ］を1秒以上

キリトリ線

ネットワークサービス

留守番電話サービス

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

●サービスを開始する

1. 待受画面で MENU 電話帳 9 1 1
2. 「はい」を選択→○
3. 「はい」を選択→○
4. 呼出時間を入力→○→○

●サービスを停止する

1. 待受画面で MENU 電話帳 9 1 3
2. 「はい」を選択→○→○

●伝言メッセージを再生する

1. 待受画面で MENU 電話帳 9 1 5
2. 「はい」を選択→○
3. 音声ガイダンスに従って操作する

キャッチホンサービス

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

●サービスを開始／停止する

1. 待受画面で MENU 電話帳 9 2
2. 1（開始）～ 2（停止）
3. 「はい」を選択→○→○

●通話中にかかってきた電話に出る

通話中に 発信

・通話相手の切り替え：電話帳

●通話中に電話をかける

通話中に MENU 8 →電話番号をダイヤル→ 発信

・通話相手の切り替え：電話帳

●通話を終了する

一方の相手との通話が終了したら 電源

・保留中相手との通話再開：発信

転送でんわサービス

お申し込みが必要なオプション（無料）サービスです。

●サービスを開始する

1. 待受画面で MENU 電話帳 9 3 1
2. 「はい」を選択→○
3. 「はい」を選択→○
4. 転送先電話番号を入力→○
   ・電話帳から転送先を入力：MENU
5. 電話帳 →「はい」を選択→○
6. 呼出時間を入力→○→○

●サービスを停止する

1. 待受画面で MENU 電話帳 9 3 2
2. 「はい」を選択→○→○

番号通知お願いサービス

お申し込みなしでご利用いただけます（無料）。

●サービスの開始／停止

1. 待受画面で MENU 電話帳 9 6
2. 1（開始）～ 2（停止）
3. 「はい」を選択→○→○

利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料） 午前8時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きた時の緊急通報	（局番なし）118

ディスプレイの見かた

ディスプレイ上部

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬

① ：電池残量表示　漢 ：文字入力モード
② ：受信レベル　圏外 ：圏外表示
Self ：セルフモード中→P22
TML ：ターミナルリンク中
：データ転送モード中など
③ ：ｉモード（接続）中
：ｉモード（データ送受信）中
④ ：赤外線通信中など
：Bluetooth 電源 ON／通信中
：Bluetooth 低消費電力モード中
⑤ ：スピーカーホン機能動作中
：USB ハンズフリー通信中
：Bluetooth ハンズフリー通信中
：Bluetooth ヘッドセット通信中
：通話継続（マイクミュート）中

⑥ ：ｉモードセンター蓄積状態表示
⑦ ：受信メール状態表示
⑧ R ：受信メッセージ R 状態表示
⑨ F ：受信メッセージ F 状態表示
⑩ ：ｉアプリ待受画面表示中
：ｉアプリ DX 待受画面表示中
：ｉアプリ／ｉアプリ DX 実行状態表示
⑪ ：SSL ページ表示中など
⑫ ：シークレットモード中
⑬ ：ｉアプリ自動起動失敗

ディスプレイ下部

①②③④
⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮

① ：不在着信件数表示
② ：伝言メモ件数
③ ：留守番電話新メッセージ件数
④ ：未読メール件数

⑤ ：マナーモード中→P22
⑥ S ：着信音消音
V ：バイブレータ→P18
SV ：着信音消音とバイブレータ
⑦ ：ドライブモード中→P22
⑧ ：伝言メモ設定中　：伝言メモ満杯
⑨ ：USB ケーブル接続状態表示など
⑩ ：有効マルチカーソルキー表示
⑪ SD ：miniSD メモリーカード装着中
⑫ ：FOMA カード読み込み中
⑬ ：PIM ロック中
：ダイヤル発信制限中
：サイドキーロック中→P22
⑭ ：目覚まし設定の設定中
：目覚まし設定とスケジュール
：スケジュール設定中
⑮ ：ソフトウェア更新予約中

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話からはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

故障お問い合わせ先

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話からはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違えのないようおかけください。

キリトリ線

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

・ 航空機内 ・病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

FOMA端末を使用しながら運転すると、事故の原因になります。

※運転中、電源を切りたくない場合は、ドライブモードを設定してください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード／オリジナルマナーモード

キー確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します(マナーモード)。→P155

マナーモードの動作を変更することもできます(オリジナルマナーモード)。→P157

●ドライブモード

電話をかけてきた相手に、運転中のため電話に出られないことを知らせるガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので安全に運転できます。→P86

●バイブレータ

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。→P158

●伝言メモ

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。→P88

その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。→P281、P289

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◯公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道
株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ北陸
株式会社NTTドコモ中国
株式会社NTTドコモ九州
株式会社NTTドコモ東北
株式会社NTTドコモ東海
株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ四国

製造元　富士通株式会社

古紙配合率100％再生紙を使用しています。

大豆油インキを使用しています。

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

'04.8（3版）
CA92002-4330